

岡山縣

○作陽 ○北本 ○加茂 ○湯原 ○久米

△決算 五月、十一月(昭和四年十一月末)

△開業 明治二十七年五月

△受電 電力三、五〇〇K(山陽中央水電ヨリ)

△電壓 最大三、五〇〇V 供給三、〇〇〇V

△電線 延長一、五八・三軒 互長五二・八軒

△周波 六〇

△會長 速水 太郎 專務 土居 修治

△取締役 井上 周 清水榮次郎 志津野直文

△監査役 木原 通一 高島三郎 磯田幾久藏

△供給電燈數 一六、四三三個

△供給電力數 動力三、四六馬力 電熱二、四〇〇K

作陽水力電氣株式會社

岡山縣真庭郡新庄村

△資本 二五〇、〇〇〇圓

△收入 四二、六九九圓

△支出 二九、八七〇圓

△積立 二〇、〇〇〇圓

△利益 一、八二九圓

△決算 年一回三月(昭和四年三月末)

△開業 大正十二年五月

△發電 水力二、〇〇〇K △周波 六〇

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V

△電線 互長九哩 延長三三哩

△取締役 長瀬 照 榮谷藤十郎 渡藤堅治郎

△監査役 最相 楠市 乾 利一

△主任技術者 金田 專司

△供給電燈數 四三三三個 總燭數 五、五〇〇燭

北本

△出張所 (山中)真庭郡川上村中福田

△資本 二〇〇、〇〇〇圓

△收入 六〇、〇〇〇圓

△支出 一、四五〇圓

△積立 年五五

△決算 六月、十二月

△開業 大正十四年九月

△發電 汽力二〇〇K △周波 六〇

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V

△電線 互長九哩五五 延長三三哩二

△專務取締役 太田壽之助

△取締役 鶴田 長輔 有岡 寛二 奥田 常吉

△監査役 山本 房吉 山本 憲二

△主任技術者 門田 亨

△供給電燈數 一、七〇七個 總燭數 二〇、一九燭

△加茂水力電氣株式會社

岡山縣吉田郡加茂町大字塔電話二

△資本 七五、〇〇〇圓

△收入 九、二三四圓

△支出 九、〇七二圓

△積立 三、二五〇圓

△利益 一、六二四圓

△決算 大正五年十月(昭和四年十一月末)

△開業 大正五年十月

△發電 電力二〇〇K(中國合同電氣ヨリ)

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V

△電線 互長四哩六軒 延長二二・九軒

湯原

△社長 榮谷藤十郎 取締役 乾 利一

△監査役 最相 楠市

△供給電燈數 二、八七〇個 總燭數 三三、七〇燭

△湯原水電株式會社

岡山縣真庭郡湯原村大字湯本八四ノ一

△資本 五〇、〇〇〇圓

△收入 一〇、二〇九圓

△支出 九、三五八圓

△積立 一、九七〇圓

△利益 八五一圓

△決算 五月、十一月

△開業 大正十二年五月

△發電 電力二〇〇K(中國合同電氣ヨリ)

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V

△電線 互長五・九七五軒 延長二五・六七軒

△周波 六〇

△社長 乾 利一

△取締役 坂野鐵次郎 渡藤堅治郎

△監査役 長瀬 照

△主任技術者 安城 義雄

△供給電燈數 二、三〇〇個 總燭數 二五、八〇燭

△久米水力電氣株式會社

岡山市上四川町一五 電話一五九一

△資本 四一、〇〇〇圓

△收入 三〇、七五〇圓

△支出 二四、二〇〇圓

△積立 一、三〇〇圓

△利益 六、四〇〇圓

△決算 六月、十二月

△開業 大正十二年五月

△發電 電力二〇〇K(中國合同電氣ヨリ)

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V

△電線 互長九哩 延長三三哩

△取締役 坂野鐵次郎 渡藤堅治郎

△監査役 長瀬 照

△主任技術者 橋本秀太郎

△供給電燈數 四、四〇〇個 總燭數 四、四〇〇燭

△吉川村信用販賣利用組合

岡山縣上房郡吉川村

△工事費 二二、〇〇〇圓

△受電 電力六K

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V

△電線 互長二・五五二

△主任技術者 佐々木凡二

△代表者 佐々木凡二

△責任大塚和利用組合

岡山縣久米郡大塚和村大字大塚和

△工事費 三三、八五一圓

△受電 電力三K(中國合同電氣ヨリ)

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V

△電線 互長三・三三三

△主任技術者 村上 正道

△代表者 村上 正道

△責任倭文西電氣利用組合

岡山縣久米郡倭文西村

△工事費 九、七〇〇圓

△受電 電力七K

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V

△電線 互長三・〇〇〇

△主任技術者 矢木 作夫

△代表者 矢木 作夫

△責任菅生電氣利用組合

岡山縣阿曾郡菅生村

△工事費 三、六四三圓

△發電 水力二K

△代表者 水力二K

△開始 大正十五年九月

岡山電氣軌道株式會社

岡山市門田九五 電話一一三・九八九

△資本 一、五五〇、〇〇〇圓

△收入 二四九、五七四圓

△支出 一七五、五七四圓

△積立 一、三〇〇、〇〇〇圓

△利益 七三、〇九圓

△決算 四月、十月

△開業 明治四十五年五月

△發電 火力二〇〇K(豫備)

△受電 電力二〇〇K(中國合同電氣ヨリ)

△電壓 最大三、〇〇〇V 電車線五五〇V

△電線 互長二、〇〇〇

△周波 六〇

△社長 日笠祐太郎

△取締役 服部 重藏 尾谷半三郎 石井 熊夫

△監査役 星島義兵衛 大森 尚則 藤田 聯藏

△支配人 原 權 德田喜久松

△相談役 妹尾 敦 主任技術者 伊藤善之丞

△石津 龍輔

電燈、力、鐵

岡山縣 ○岡山電軌 ○中國鋼索 ○上加芳 ○菅生 ○吉川 ○大塚和 ○倭文西 ○大瀧 一四三

岡山縣 ○奥津 ○西川 山口縣 ○山口 ○山陽電軌

山口縣

有限大瀧電氣利用組合 岡山縣真庭郡津田村
△工事費 一、二、五〇〇圓 △開始大正十四年三月
△受電 電力五K (山陽中央水電ヨリ受電)
△電壓 最大三、五〇V △組合員 一八〇名
代表者 網島善五郎

有限奥津利用組合 岡山縣吉田郡奥津町五四
△工事費 九、〇六〇圓
△開始 大正十四年四月
△受電 水力五K
△電壓 電力五K (中國合同電氣ヨリ)
△電壓 最大二、二〇V 供給二、二〇V △周波 六〇
代表者 友保雅朝 主任技術者 植田 周平
△供給電燈數 一五〇個 總燭數一、五〇〇燭

有限西川販賣利用組合 岡山縣久米郡西川村
△工事 六、四〇〇圓 △開始 大正十五年十月
△受電 電力五K (山陽中央水電ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V △組合員 一五名
代表者

山口縣電氣局 山口市電話一八〇・二六一・二二三〇

△資本 四一、一八〇、六一八圓
△收入 六、二六一、八〇三圓
△支出 二、二四六、六一八圓
△利益 四、〇一五、一八五圓
△決算 年一回三月 (昭和四年三月末決算)
△開業 大正十三年四月
△買收會社 山陽電氣、宇部電氣、中外電氣、各買收縣營トナル昭和二年十一月防府電燈、萩電燈ヲ買收
△發電 水力七、二五五K 汽力三、七五五K
△受電 電力三、五〇K (東邦電力ヨリ)
△電壓 最大四、〇〇V △周波 六〇
△送電線 互長 四、四六五米
△配電線 互長 四、三七七、五五米
△電氣局長 精谷 陽二
△庶務課長電氣主事 宮崎 武吉
△業務課長電氣技師 森脇 小祐
△工務課長電氣技師(主任技術者) 林 秀勝
△供給電燈數 總燭數 三、五二、七四八個
△供給電力數 總燭數 五、五七八、五四二燭
△二九K 小口四、三六五馬力 電熱一、三、八二九K
△電氣出張所 岩國町、柳井町、山口町、徳山町、仙崎町、宇部市、防府町、萩町

一四四

山陽電氣軌道株式會社 下關市外濱町二 電話二四九五・三六〇七
△資本 四、五〇〇、〇〇〇圓 △利益三八、八三圓
△拂込 一、二二五、〇〇〇圓 △配當 五分
△收入 一三五、五九〇圓 △決算 四月十月
△支出 一〇七、五〇七圓 (昭和四年十月末)
△開業 昭和元年十二月
△受電 電力四〇K (東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V △電車線六〇V
△周波 六〇

△社長 林 平四郎
△取締役 西村熊太郎 依岡 省輔 實邊岩次郎
中司文次郎 榎谷 晋三 高良 宗七
岡田伊賀彦
△監査役 西岡貞太郎 土井 重吉 金子 圭介
主任技術者 濤崎 徳市
△軌道 山口縣長府町鳥居前ヨリ下關市境之浦町
△電車賃金 全線五區 一五錢 一區四錢
△軌道 下關市幡生町ヨリ下關市唐戸町
△電車賃金 全線四區 一二錢 一區三錢
△電車線路 互長六哩七分 延長一〇哩九分
△未開業線 長府町字江尻一同町鳥居前間三、五米
下關市境之浦町一彦島町字福浦間 九、〇〇米

彦品町字本村一同町字江之浦間 一、二五米
彦島町字老一同町字西山間 一、四八米
下關市大字大坪一同市大字新地間 一、八三米
宇部電氣鐵道株式會社 山口縣宇部市小串一、九五九

△資本 六五〇、〇〇〇圓 △決算 五月、十一月
△拂込 六五〇、〇〇〇圓
△開業 昭和四年五月
△受電 電力二〇〇K
△社長 渡邊 祐策
△事務 依田 明
△取締役 名和田哲郎 磯邊 啓作 濱田 久七
西條 惣助 佐藤 定一 品田善四郎
西野 吉藏 支配人 濱田 淺一
監査役 松本和三郎 大井 太郎 河村 唯輔
△軌道經過地 厚狭郡小野町ヨリ宇部市小串間
△電車線路 延長六哩九

見島電燈株式會社 山口縣阿武郡萩町楯
△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 二五、〇〇〇圓
△開業 大正十五年七月
△發電 瓦斯力二〇K
△電壓 最大二、二〇V 供給 一、〇一、一〇〇V
△電線 互長三哩九 延長八哩八
△周波 六〇
△社長 厚東 常吉 主任技術者 澄川 帝助
△取締役 鈴木 美徳 林 安次郎 安田 新治

美禰水力電氣株式會社 山口縣美禰郡共和村
△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一〇〇、〇〇〇圓
△借入 一七、〇〇〇圓
△積立 一三、八〇五圓 △收入 一四、六四六圓
△支出 一〇、九六九圓 △配當 六分六厘
△利益 三、六七七圓 (昭和四年上半年)
△開業 大正九年六月 △決算 六月、十一月
△發電 水力五K (山口縣管電氣ヨリ)
△受電 電力五K
△電線 互長三哩九 供給二〇〇-一〇〇V
△電線 互長三哩九 延長二〇〇V
△社長 中本 保一
△取締役 鹿島 素彦 阿武 義一 坂内 義雄
平井松太郎 刀爾 哲夫
監査役 江島 正一 原川萬壽 小田村茂太郎
△支配人 廣島 芳介
主任技術者 國光 豊助
△供給電燈數 二、八六三個 總燭數二、八六三燭
△供給電力數 三〇馬力

有限大島信用利用組合 山口縣阿武郡大島村大字大島三八三
△工事費 一〇、〇〇〇圓 △開始 大正十五年三月
△發電 內燃力一五K
△電壓 最大二、二〇V 供給二〇〇V
代表者 久保次郎作 △組合員二二〇名
△供給電燈數 二六三個 總燭數五、七三燭
有限祝島電燈利用組合 山口縣熊毛郡上關村大字祝島
△工事費九、六〇〇圓 △開始 昭和二年八月
△發電 內燃力一五K
△電壓 最大三、三〇V △組合員 四〇三名

香川縣

四國水力電氣株式會社

香川縣仲多度郡多度津町大字多度津
甲四八四 電話長四〇・三六

- △資本 二一、七〇〇、〇〇〇圓
- △配當 一割二分
- △拂込 一〇、七〇〇、〇〇〇圓
- △借入 一、九〇〇、〇〇〇圓
- △積立 八三八、七五〇圓
- △收入 一、八八、八八八圓
- △支出 八八七、一四四圓 (償却二〇萬圓ヲ含ム)
- △利益 六八一、七〇四圓 (昭和四年十一月末)
- △決算 五月、十一月
- △開業 明治三十六年七月
- △合併會社 辻町電氣株式會社 大正二年二月
- 日本瓦斯高松出張所 大正五年十月 東讚電氣軌道株式會社 大正五年十二月 丸龜瓦斯株式會社 大正九年十月 西讚電氣株式會社 大正十五年十一月
- △發電 水力、汽力、瓦斯力六K
- △配當 年一割
- △開業 大正八年五月 (大正九年小豆電氣合併)
- △受電 電力二〇K (中國合同ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
- △電線 架空線長一、六三三二 延長八、八五九
- △周波 六〇
- △取締役會長 景山甚右衛門 專務 高橋 正忠
- △取締役 合田房太郎 豐田岩五郎 寒川 恒貞

高松電燈株式會社

高松市壽町二丁目八番地 電話二五・三五

- △資本 一、二〇〇、〇〇〇圓
- △借入 五〇〇、〇〇〇圓
- △積立 三三、一〇〇圓
- △收入 二四九、二四九圓
- △支出 三三、〇〇〇圓
- △利益 三、五六〇圓
- △決算 六月、三月、九月
- △開業 大正十二年四月 (昭和四年九月末)
- △受電 電力四〇K (四國水力ヨリ)
- △電壓 最大二、五〇〇V 供給二〇V
- △電線 延長二、二〇〇 供給二〇V
- △周波 六〇
- △取締役 增田 一良 大西貞次郎 田中 隆
- △取締役 增田 精一 中尾 果
- △監査役 增田 收平 神原 茂英 東條吟次郎
- △營業所 香川縣仲多度郡七ヶ村福良見

島電氣株式會社

香川縣小豆郡草壁町 電話安田四〇

- △資本 五二五、〇〇〇圓
- △借入 四二〇、〇〇〇圓
- △積立 四二〇、〇〇〇圓
- △收入 七六、六三六圓
- △支出 六三、〇三三圓
- △利益 一三、六〇三圓
- △配當 年一割
- △開業 大正八年五月 (大正九年小豆電氣合併)
- △受電 電力二〇K (中國合同ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
- △電線 延長六、六三三 延長三、七三三
- △周波 六〇
- △取締役 中田 才藏

大川電氣株式會社

本社 香川縣仲多度郡多度津町
出張所 大川町 引田町

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △借入 四一、五〇〇圓
- △積立 七四、八二五圓
- △收入 九、五六七圓
- △支出 六五、二五七圓
- △利益 九、五六七圓
- △配當 一割五分
- △開業 大正三年一月 (昭和四年十一月末)
- △受電 電力三〇K (四國水力電氣ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
- △電線 延長一、四〇〇 延長四、〇〇〇
- △周波 六〇
- △取締役 合田房太郎、寒川 恒貞、佐野 新平
- △監査役 豐田岩九郎
- △營業所 香川縣仲多度郡多度津町

琴平電鐵株式會社

香川縣高松市櫻町字田中三二〇
電話四一九・二二五

- △資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓
- △借入 一、三〇〇、〇〇〇圓
- △積立 一七、五〇〇圓
- △收入 二一四、四三九圓
- △支出 一八九、一五三圓
- △利益 二五、二八六圓
- △配當 六分
- △政府補助 五九、四四二圓 (昭和四年十月末)

讚岐電氣株式會社

香川縣香川郡安原村

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓
- △借入 一八、一五〇圓
- △積立 三、六〇〇圓
- △收入 二〇、四二二圓
- △支出 一、五三三圓
- △利益 七、九一九圓 (昭和四年下半年)
- △配當 年一割
- △開業 大正十二年五月 (四國水力電氣ヨリ)
- △受電 電力四五K (四國水力電氣ヨリ)
- △電壓 最大二、〇〇〇V 供給二〇V
- △電線 延長七、五三三 延長二、七三三
- △周波 六〇
- △取締役 北村 荀吉
- △取締役 井戸文四郎 鎌野 藤太 上原 準一
- △監査役 橋笠 茂市 安田美代造
- △主任技術者 入江 守
- △供給電燈數 四、四四四個 總燭數 五、三三三燭

鹽入水力電氣株式會社

香川縣仲多度郡十郷村十郷

- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △收入 一一、九〇〇圓

飯野電燈株式會社

香川縣綾歌郡飯野村大字東二

- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △借入 一一、三〇〇圓
- △積立 一一、五六六圓
- △收入 四、四八四圓
- △支出 八、〇三三圓
- △利益 四、四八四圓 (昭和四年上半年)
- △開業 大正十一年十月 (四國水力電氣ヨリ)
- △受電 電力四〇K (四國水力電氣ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇V
- △電線 延長三、三三三 延長一、〇〇七
- △周波 六〇
- △取締役 橫田鯉連 專 務 龜井 萬太
- △取締役 橫田達太郎 河野千百馬 今瀧 幸信
- △監査役 齊藤 治雄 增田 一良
- △主任技術者 吉田武比古
- △供給電燈數 二、七〇七個 總燭數 四四、二七〇燭

香川縣

琴平急行電鐵

高松電氣軌道株式會社

△開業 大正十五年十二月 (栗林公園驛、瀧宮驛間) 昭和二年三月 (瀧宮驛、琴平驛間) 昭和二年四月 (栗林公園驛、高松驛間)

△買收會社 岡田電燈株式會社

△受電 電力200K (四國水力ヨリ)

△電壓 受電3,000 配電 2,100 電車線 1,500V

△電線 互長二軒 △周波 50

專務 大西虎之介 常務 細漢宗次郎

取締役 合田房太郎 瀨尾 等 魚田 長造

川崎合恒三 武田 謙 中村 實

武田亮太郎

監査役 加藤 謙吉 今井 傳太 三輪憲太郎

中村新太郎 支那人 松崎 實

主任技術者 (電氣) 景山和夫 (工務) 松浦信男

△供給電燈數 七、五二二個 總燭光數二、三六、七燭

△軌道經過地 高松市ヨリ琴平町間

△電車線路 延長二哩九 互長一九哩四

△車輛數 電氣客車一〇臺 附隨客車三臺

△電車賃金 查區五錢 全線十六區、十三區以上 六拾五錢 (特定賃金)

琴平急行電鐵株式會社

代表取締役 鈴木仁十郎

專務取締役 西島藤三郎

取締役 野田儀一郎、宅萬 次郎、金谷 武弘

監査役 田中鐵之助、白川 朋吉 木原吉太郎

主任技術者 永島 芳門

總務課長 村島 照雄

△軌道經過地 琴平—善通寺—丸龜—坂出 (分岐)

善通寺—多度津

△延長免許線 坂出町—下笠原—高松 (二哩八)

△電車線路 互長一六哩五 延長二四哩

△車輛 客車二六臺 貨車三臺

△賃金 一區五錢 全線四九錢 一哩當二九厘

琴平急行電鐵株式會社

△資本 三〇〇,〇〇〇圓 △拂込 100,000圓

△借入 一一五,〇〇〇圓 △積立 八、四〇〇圓

△收入 一〇三、八七〇圓 △支出 六、七九七圓

△利益 三七、〇七二圓 △配當 一割一分

(昭和四年九月末)

△開業 明治四十五年四月 △決算 三月、九月

△發電 汽力200K (高松電燈ヨリ)

△受電 電力200K (高松電燈ヨリ)

△電壓 最大3,000—1050V 電車線600V

△電線 互長三哩 延長七哩八

△周波 50

專務 北村 荀吉

取締役 西本政次郎 山田 惠一 廣瀬渡太郎

小田 榮次

監査役 中村 祐吉 加藤 謙吉 鎌田 連

主任技術者 高橋 清

△供給電燈數 六、二八八個 總燭光數三、四三、七燭

△軌道經過地 高松市、太田町、木太村、川添村、林村、前田村、平井町、下高岡村、井戸村、長尾町

△電車線路 互長九哩 延長九哩四

△車輛數 客車九臺 貨車二臺

△乘車賃金 一區五錢 全線三錢 一哩當三錢八厘

尾島登山鐵道株式會社

△資本 六五〇,〇〇〇圓

△開業 昭和四年四月

△受電 電力200K

社長 大西虎之介 常務 蓮井 藤吉

取締役 武田 謙 合田 健吉 寒川 恒貞

景山 和吉 鹽田 智章 瀨尾 等

監査役 細漢宗次郎 鎌田 憲夫 武田亮太郎

中村新太郎

△軌道經過地 香川縣木多郡尾島村大字東湯元字 山王ヨリ同大字、字矢倉迄 (尾島山上)

鹽江溫泉鐵道株式會社

△資本 七五〇,〇〇〇圓

△開業 昭和三年八月

△受電 電力200K

社長 大西虎之助

取締役 津森 元治 瀨尾 等 細谷宗次郎

入谷 哲平 武田亮太郎 鹽田政太郎

監査役 中村新太郎 中村 實 合田 健吉

總務部 南原 隆平 技術長 松浦 衛男

△電車 鹽江佛生山間 一〇哩一分

八栗登山鐵道株式會社

△資本 三八五,〇〇〇圓

△拂込 三八、五〇〇圓

電燈、力、鐵

香川縣 ○尾島登山鐵 ○鹽江鐵 ○八栗鐵 愛媛縣 ○伊豫鐵

香川縣信用販賣購買利用組合

△設立 昭和三年十二月

△受電 電力K (四國水力電氣ヨリ)

社長 北村 荀吉 常務 入谷 哲平

取締役 安田美代造 大西虎之介 鎌野 藤太

山内 勝造 三木 將雄

監査役 中村 謙 松田 友良

△軌道 香川縣木田郡牟禮村大字牟禮ヨリ同村牟禮八栗山上ニ至ル

愛媛縣

伊豫鐵道電氣株式會社

△資本 三〇,九八七,〇〇〇圓 △配當一割

△拂込 二四、四八四、六四〇圓 △決算五月、七月

△借入 五、〇〇〇,〇〇〇圓

△積立 二、〇四六、三六二圓

愛媛縣 ○土佐吉野川

庶務課長 大塚小三郎 會計課長 河野喜一郎
電燈課長 高岡 慎吉 工務課長 中路新太郎
建設課長 關 源吉 保線課長 土居 幸作
運檢課長 相原和一郎 車輛課長 大野林次郎
調査部主査 岩本 勝彌 渡邊保次郎

○直瀬 ○中島

二臺 電動客車一九輛 搬水電車一輛
△乘車賃金 區間制 一區二錢五厘 哩制一哩三錢二厘

土佐吉野川水力電氣株式會社

△資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓 △積立 一八五、〇〇〇圓
△拂込 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △配當 七分
△收入 四六二、八四七圓 △利益 一四、四三三圓
△支出 三〇八、四三三圓(昭和四年十二月末)
△開業 昭和二年七月 △決算 六月十二月
(昭和二年六月舊住友別子鑛業所ヨリ發、送電設備一切ヲ譲受開業)
△發電 水力六、七〇〇K 汽力二、〇〇〇K
△周波 最大三、〇〇〇V
△電壓 最大六、〇〇〇V
△電線 延長二、四〇〇K 亘長四、七K
△周波 六〇

中島電氣株式會社

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 八〇、〇〇〇圓
△積立 二一、八二六圓
△收入 三、三六六圓 △利益 一、一七二圓
△支出 三、三六六圓
△開業 大正十四年十月
△發電 水力三、〇〇〇K
△電線 延長二、四〇〇K 亘長四、七K
△周波 六〇
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
△電線 延長二、四〇〇K 亘長四、七K
△周波 六〇

直瀬水力電氣株式會社

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 五、〇〇〇圓
△積立 一八五、〇〇〇圓
△收入 四六二、八四七圓 △利益 一四、四三三圓
△支出 三〇八、四三三圓(昭和四年十二月末)
△開業 昭和二年七月 △決算 六月十二月
(昭和二年六月舊住友別子鑛業所ヨリ發、送電設備一切ヲ譲受開業)
△發電 水力六、七〇〇K 汽力二、〇〇〇K
△周波 最大三、〇〇〇V
△電壓 最大六、〇〇〇V
△電線 延長二、四〇〇K 亘長四、七K
△周波 六〇

久萬町電氣部

△資本 四〇、〇〇〇圓
△開業 大正八年一月(大正七年十二月久萬水力電氣株式會社譲受)
△發電 電力三、〇〇〇K (伊豫鐵道電氣ヨリ)
△電線 最大六、〇〇〇V 供給二〇〇V
△電線 亘長三、〇〇〇K 周波 六〇
△電壓 最大六、〇〇〇V
△電線 延長三、〇〇〇K 亘長三、〇〇〇K
△周波 六〇

湯山共同自家用電氣組合

△工事實費 八、五〇〇圓 △開始大正十一年二月
△發電 水力六、〇〇〇K
△電線 最大三、〇〇〇V △周波 六〇
△共同者 一七六名

古味共同自家用電氣組合

△工事實費 一、〇〇〇圓
△發電 水力三、〇〇〇K
△電線 最大二、〇〇〇V △周波 六〇
△共同者 八〇名

弘形電氣株式會社

△資本 六五、〇〇〇圓 △積立 二、三五〇圓
△拂込 六一、七五〇圓
△收入 六、四九二圓 △支出 四、九八六圓
△利益 一、五六〇圓 △配當 二分五厘
△開業 大正十四年十二月
△發電 電力六、五K (伊豫鐵道電氣ヨリ)
△電線 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
△電線 亘長三、〇〇〇K 周波 六〇

大島電氣株式會社

△資本 二〇、〇〇〇圓 △拂込 一五、〇〇〇圓
△收入 四、四五三圓 △支出 三、六八〇圓
△利益 七七三圓 △配當 四分
△決算 每年十二月
△開業 昭和三年四月
△發電 電力一、一K (伊豫鐵道電氣ヨリ)
△電線 供給二〇〇V △周波 六〇
△電線 亘長三、〇〇〇米 海底線一軒

橋原水力電氣株式會社

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三、〇〇〇圓
△設立 大正十三年四月
△發電 既許可(水力)七、〇〇〇K
△電線 最大三、〇〇〇V
△周波 六〇

湯山共同自家用電氣組合

△工事實費 八、五〇〇圓 △開始大正十一年二月
△發電 水力六、〇〇〇K
△電線 最大三、〇〇〇V △周波 六〇
△共同者 一七六名

古味共同自家用電氣組合

△工事實費 一、〇〇〇圓
△發電 水力三、〇〇〇K
△電線 最大二、〇〇〇V △周波 六〇
△共同者 八〇名

電燈、力、鐵

愛媛縣 ○弘形 ○大島 ○久萬町 ○橋原 ○南条 ○湯山 ○古味

愛媛縣 ○魚島 ○和久 ○高橋 熊本縣 ○日本窒素 ○熊本

魚島村共同自家用組合 愛媛縣魚島村

- △工事費 二、九五三圓
- △發電 汽力七K
- △電壓 最大二〇K △共同者 一四六名

和久與之助外 愛媛縣宇摩郡五上村

- △發電 水力四K
- △電壓 最大三〇V △周波 〇
- △設立 大正十五年九月

高橋晴夫外 愛媛縣新居郡加茂村

- △工事費 五、九八九圓
- △受電 電力五K (伊豫鐵道電氣局)
- △電壓 最大三、〇〇V △周波 〇
- △開始 昭和二年七月 △共同者 一四八名

熊本縣

日本窒素肥料株式會社

大阪市北區宗是町一 (詳細別項電氣化學事業參照)

- △開業 明治四十年一月
- △主任技術者 柳屋 佐祐
- △供給電燈數 一四、〇六五個 總燭數三、八二九燭
- △供給馬力數 七、七〇三馬力
- △營業所 羣北郡水俣町
- △供給區域 羣北郡水俣町、久木野町、球摩郡五木村一圓、阿蘇郡草部村一圓及柏村
- △元曾木電氣、四十二年八月改稱、發電力大部分(電氣化學二使用)

熊本電氣株式會社

- 熊本市紺屋今町四六電話長一四一、三一五〇
- 三一五一、三一五二、三一五三、三一五四
- △資本 二、一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三、一〇〇、〇〇〇圓
- △社債及借入 五、六九〇、〇〇〇圓
- △積立 四、五〇〇、五八八圓
- △收入 三、五九〇、一八八圓
- △支出 二、一〇〇、八五五圓

一五二

- △利益 一、四八九、二六三圓
- △配當 一割
- △決算 三月、九月 (昭和四年九月末)
- △開業 明治四十二年六月
- △合併會社 昭和二年十二月 濱町電氣株式會社
- △發電 水力二、七〇K 汽力八、〇〇〇K
- △受電 電力三、〇〇〇K
- △電壓 六、〇〇〇—六、〇〇〇—三、〇〇〇—一〇〇—一〇〇V
- △電線 延長三、八五五 互長四、〇七五

- △主任技術者 大原 雅一
- △監察員 杉原 雅一
- △主任技術者 大原 雅一
- △調查課長 國 宗吾
- △庶務課長 村山 桂哉
- △電氣課長 大原 雅一
- △秘書係長 鈴木 彌直
- △調度課長 渡邊 喬
- △經理課長 中島 惟孝
- △供給電燈數 五、三九七個 總燭數 一、二五、六六燭
- △供給電力數 五、七馬力
- △出張所 飽託郡川尻町 八代郡八代町 下益城郡松橋町 上益城郡御船町 上益城郡濱町 玉名郡高瀬町 鹿本郡山鹿町 菊地郡隈府町 菊地郡大津町 阿蘇郡宮地町 阿蘇郡白水村 天草郡坂戸村

球磨川電氣株式會社

熊本縣球磨郡人吉町字五日町三六

- 出張所 東京市麹町區丸ノ内帝國生命館七、八號 電話九ノ内二〇一一
- △資本 六、五二五、〇〇〇圓
- △拂込 三、八二五、〇〇〇圓
- △收入 八二二、五一五圓
- △支出 五〇三、九七二圓
- △配當 年一割一步 (昭和四年十月末)
- △開業 大正二年十一月 △決算 四月、十月
- △合併 大正七年 社名變更(舊稱人吉水力電氣)
- △大正九年九月 眞平電氣株式會社 大正十三年六月 佐敷水力電氣、嚴原電氣 大正十五年五月 天草電燈 同年七月 都城電氣
- △發電 水力三、九七五K 火力四、五五五K 受電八、〇〇〇K
- △電壓 六、〇〇〇V △周波 〇及五〇
- △電線 一、八七五 延長三、六八五

山鹿水力電氣株式會社

熊本縣鹿本郡山鹿町一六〇九 電話三七

- △人吉營業所 供給電燈數 〇、〇〇〇個
- △供給電力數 一、三三、七馬力 大口三、四三、八馬力
- △天草營業所 供給電燈數 三、三〇〇個
- △供給電力數 三、〇〇〇馬力 大口 三、〇〇〇馬力
- △都城營業所 供給電燈數 五、七六二個
- △供給電力數 一、二七馬力 大口三、四、六馬力
- △嚴原營業所 供給電燈數 五、〇〇〇個
- △其他供給電燈數 一、一八一一個
- △資本 三〇〇、〇〇〇圓 △全額拂込
- △借入 三〇、〇〇〇圓
- △諸積立 六〇、九一四圓
- △收入 六五、二六二圓
- △支出 三六、八四八圓
- △利益 二八、四一四圓
- △決算 十月 △配當 五分九厘 (昭和四年十月末)
- △開業 大正九年七月
- △發電 水力三、〇〇〇K
- △受電 夜間常時三K
- △電壓 最大三、〇〇〇 供給一、〇〇—一〇〇V
- △電線 互長三、四三三 延長三、四三三
- △社長 高木 三平
- △取締役 栗原 一策 森川喜代太 長野親太郎 古田 謙 中浦 敬吉 宇美 常吉 鶴井 辰彦 坂田 正男 松田 藤太
- △監察員 宮崎 鶴喜 古家 文治 堀 龜喜
- △主任技術者 松田 藤太
- △庶務兼經理主任 大月 照雄

馬見原水力電氣株式會社

熊本縣阿蘇郡馬見原町 電話三八

- △營業主任 吉川 末彦
- △供給電燈數 六、〇三燈例 總燭數九、六四燭
- △供給電力數 〇、五馬力
- △資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一五、〇〇〇圓
- △配當 五分九厘
- △積立 三一、九〇〇圓 △決算 三月、九月
- △開業 大正九年十一月
- △發電 水力六、〇〇〇K △周波 〇
- △電壓 最大三、〇〇〇K 供給三〇—一〇〇V
- △電線 延長三、七五五 互長一、〇三三
- △社長 山口 三省 專務 工藤 平藏
- △取締役 甲斐 親亮 藤岡育太郎 吉田谷五郎 田中巖 後藤松齡 兼支配人小屋迫一
- △監察員 松本 亦作 今村龜三郎
- △主任技術者 桑原 利明
- △營業主任 伊藤 辰夫 庶務主任 工藤 義房
- △供給電燈數 三、二〇九個 總燭數四七、六五四燭
- △供給電力數 八、五馬力

北天草電氣株式會社

熊本縣天草郡宮岡町二七五五ノ一 電話二

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一五、〇〇〇圓
- △借入 五、五〇〇圓
- △積立 一、二四七〇圓 △配當 年一割
- △開業 大正五年十二月 △決算 五月、十一月
- △發電 水力六、〇〇〇K

一五三

電燈、力、鐵

熊本縣 ○球磨川 ○山鹿 ○馬見原 ○北天草

熊本縣 ○小國 ○菊池電軌 ○熊本電軌 ○熊本市電

△受電 電力六〇K (球摩川電氣ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇—三〇〇V
△電線 亘長七、三〇〇 延長二、六六六

△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、二〇九、八九九圓
△積立 三〇、二一七圓
△開業 明治四十二年八月
△決算 一年一回三月

小國水力電氣株式會社

△資本 五、〇〇〇圓
△借入 一五、〇〇〇圓
△收入 二四、六八五圓
△開業 大正五年十月
△受電 電力二〇K (秋立川水力ヨリ)

菊池電氣軌道株式會社

△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、二〇九、八九九圓
△積立 三〇、二一七圓
△開業 明治四十二年八月

△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
△積立 五〇〇、〇〇〇圓
△開業 昭和四年十二月

熊本電氣軌道株式會社

△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
△積立 五〇〇、〇〇〇圓
△開業 昭和四年十二月

一五四

△積立 八、二二〇圓
△收入 七一、三三〇圓
△支出 六七、五九三圓
△利益 三、七三七圓 (昭和四年九月末)

△資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓
△借入 二、七五〇、〇〇〇圓
△積立 二五〇、〇〇〇圓
△開業 大正二年二月

熊本市電氣水道局

△電氣軌道建設費 五、七五一、四九一圓
△市債 五、四三〇、〇〇〇圓
△收入 七、五四、七一四圓
△決算 一年一回三月 (昭和四年三月末)

長崎縣

湯島電氣株式會社

△資本 五〇、〇〇〇圓
△借入 五〇、〇〇〇圓
△積立 五〇、〇〇〇圓
△開業 昭和四年十二月

島原水電株式會社

△資本 二、三〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、六五〇、〇〇〇圓
△積立 一三〇、〇〇〇圓
△開業 明治四十三年四月

平戸電燈製氷株式會社

△資本 三〇〇、〇〇〇圓
△借入 二七、五〇〇圓
△積立 八、七三三圓
△開業 大正二年二月

電燈、力、鐵 熊本縣

△工事費 一三、一九八圓
△電壓 最大二、〇〇〇V
△開始 大正十四年三月
代表者 荒井梅太郎

熊本縣 ○滿願寺 ○鹿山 ○湯島 長崎縣 ○島原 ○平戸

△資本 二、三〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、六五〇、〇〇〇圓
△積立 一三〇、〇〇〇圓
△開業 明治四十三年四月

一五五

△資本 三〇〇、〇〇〇圓
△借入 二七、五〇〇圓
△積立 八、七三三圓
△開業 大正二年二月

長崎縣 ○五島 ○西彼 ○諫早 ○平戸島 ○宇久

五島電燈株式會社

△供給電燈數 六、二七個 △總燭數 九、九〇燭
△供給馬力數 九四・五馬力
△資本 三〇〇、〇〇〇圓 △積立 一四、八六八圓
△拂込 二九八、八五〇圓 △借入 一五、七三九圓
△決算 二月、八月
△開業 大正二年四月
△周波 〇
△受電 三三〇K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三三〇 供給二〇一・二〇V
△電線 互長六哩二 延長二五八哩二
社 長 近藤 眞一
取締役 坂内 虎次 田中 英治 坂内 文治
監査役 坂内 順榮 中村 政記
主任技術者 神村 朝儀
△供給電燈數 六、四六個 △總燭數 九、六六燭
△供給馬力數 五馬力

西彼電氣株式會社

長崎縣西彼郡西濱郷七九
△資本 二四〇、〇〇〇圓 △積立 二五〇、〇〇〇圓
△積立 五、四三〇圓 △借入 三、八五〇圓
△決算 四月、十月
△開業 大正五年一月
△受電 電力三〇〇K(東邦電力)
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇〇V
△周波 〇

諫早電燈株式會社

長崎縣北高來郡諫早町乙二二五 電話一五九九
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △借入二〇、〇〇〇圓
△積立 二〇〇、〇〇〇圓
△配當 年一割
△開業 大正五年十一月
△受電 電力三〇〇K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、五〇〇 供給二〇一・二〇V
△電線 互長二七・二軒 延長四二軒
△周波 〇
社 長 土橋 瀧平
取締役 山田 達雄 池松 林一 中村 寛治
中村長八郎
監査役 田崎 謙貞 田川 道英
主任技術者 山口 榮吉
△供給電燈數 八、二四個 △總燭數 二、四三燭
△供給馬力數 一一・九馬力

平戸島電燈株式會社

佐世保市保立町一四
△資本 一五〇、〇〇〇圓 △積立 六七、五〇〇圓
△積立 一、五〇〇圓 △配當 四分
△決算 四月、十月
△開業 大正十四年九月
△受電 電力五〇〇K(平戸電燈製米ヨリ)
△電壓 三、四〇〇V 供給二〇〇V
△電線 延長八、六〇米 互長七、二九米
△周波 〇
社 長 中倉 萬次郎 專務 喜重
取締役 川下 誠五郎 西川 淺之助 青崎 寛重
監査役 坊方 武平 七種 純一郎 近藤 市作
同 永田 米作 堤 榮之助
主任技術者 鶴田 巖外
△供給電燈數 三、二〇個 △總燭數 三、二七燭

宇久電氣株式會社

長崎縣北松浦郡宇久平村三〇三一
△資本 一〇〇、〇〇〇圓
△積立 六〇、〇〇〇圓
△借入 一一、八四七圓
△積立 一、九〇〇圓
△收入 九、六二三圓
△支出 九、七四二圓
△損失 一一九圓
△開業 大正九年三月
△決算 年一回三月
△受電 石油力二〇K

△電壓 最大二、一〇〇V 供給二〇〇V
△電線 延長二哩二 互長八哩八
△周波 〇
取締役社長 古川 虎作
取締役 高澤 八郎 小西 支三郎 福田 茂一郎
尼ヶ崎 忠兵衛
監査役 山田 甚平 瀨尾 吉藏 佐々 幸一
戸田 梅重
主任技術者 缺員
△供給電燈數 一、〇八個 △總燭數 九、三五燭

對馬電氣株式會社

長崎縣上縣郡佐須奈村字佐須奈二八〇〇
△資本 一〇〇、〇〇〇圓
△積立 一〇〇、〇〇〇圓 △借入四五、〇二九圓
△開業 大正十四年十一月
△發電 瓦斯力五K
△周波 〇
△電壓 最大三、三〇〇 需要家論子電壓二〇一・二〇V
△電線 互長六、四軒
社 長 堀 彌七 取締役 中尾 熊三郎
專務取締役 中川 愷一 監査役 原 安太郎
主任技術者 山内 平吉
△供給電燈數 一、七〇九個 △總燭數 三、五七二燭

野母電燈株式會社

長崎市本博多町 四七電話特長四五五
△資本 八〇、〇〇〇圓 △積立 八〇、〇〇〇圓
△積立 三〇、〇〇〇圓 △配當 年一割
△電燈、力、鐵 長崎縣 ○對馬 ○野母 ○有川 ○壹岐 ○内海

△開業 大正五年九月 △決算 三月、九月
△受電 電力三〇〇K(東邦電力會社ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇 供給二〇一・二〇V
△電線 延長三、三軒 互長六、一軒
△周波 〇
專務 村木 清三郎
取締役 牟田 卯三郎 津田 德藏
監査役 村木 嘉作
主任技術者 井手 一男
△供給電燈數 三、五八五個 △總燭數 六、六六燭

有川電燈株式會社

長崎縣南松浦郡有川村
昭和四年十月五島電燈株式會社に
讓渡決議日下手續中
△資本 七五、〇〇〇圓 △積立 全額
△借入 二二、二五〇圓 △積立 六五〇圓
△收入 一、六五三圓 △支出 九、九六〇圓
△利益 一、六九三圓 (昭和四年十一月)
△開業 大正五年九月 (昭和四年十一月)
△發電 一セセル二〇K 豫備瓦斯力三三K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V △周波 〇
△電線 互長七、六〇六米 延長八、六〇六米
社 長 坂内 義雄 專務 永野 廣
取締役 田中 榮吉
監査役 山田 義孝 中村 政記
主任技術者 鶴田 友之
△供給電燈數 一、七九〇個(十燭換算)二、〇四三個

壹岐電燈株式會社

長崎縣壹岐郡田河村 電話廣邊三九
△資本 七五、〇〇〇圓 △積立 七五、〇〇〇圓
△收入 二、九二九圓 △支出 一八、二五九圓
△利益 四、六七〇圓 △積立 八、六四〇圓
△開業 大正三年八月 (昭和四年十一月末)
△發電 瓦斯力一〇〇K
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇一・二〇V
△周波 〇
社 長 松永安左衛門
取締役 田中 茂一 長島 俊光 今西 銀彌
松永英太郎
監査役 辻川 與一右衛門 藤崎 慶太郎
齋藤 清太郎
主任技術者 納富 嘉六
△供給電燈數 三、七三九個 △總燭數 四七、九七一燭

内海電氣株式會社

長崎縣西彼郡長浦村長浦郷
△資本 五〇、〇〇〇圓 △積立 二五、〇〇〇圓
△借入 一七、〇〇〇圓
△開業 昭和三年五月
△決算 三月一回
△受電 電力四〇〇K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V △周波 〇
△電線 互長三哩 延長五哩
代表取締役 森 旗十郎 一五七

長崎縣 ○奈良尾 ○生月 ○對馬 ○小值賀 ○香燒 ○崎戶

取締役 志田 清一 山浦 安藏 朝長 鶴市
同 田島 精一 青木友三郎
監査役 朝長 乾造 一瀬庄太郎 福田 近作
同 横田 興作 主任技術者 國信平次郎
△供給電燈數一、九五〇個 總燭數一、九五、〇〇〇燭

奈良尾電燈株式會社

長崎縣南松浦郡奈良尾村

△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
△借入 一一、八〇〇圓 △決算 五月、十一月
△開業 大正十二年六月
△發電 瓦斯力三瓦 △周波 五〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 延長二哩五 延長五哩五
取締役 木村 清藤 吉武政太郎 宮崎政太郎
津田小右衛門
監査役 吉本 英一 津田 喜作 吉本正二郎
主任技術者 用田 増茂
△供給電燈數 八八二個 總燭數一、四、〇四一燭

生月電氣株式會社

本社 長崎縣北松浦郡生月村
營業所 北松浦郡青村大字山田山田山田免三五

△資本 五〇、〇〇〇圓 △借入 一九、三八〇圓
△拂込 五〇、〇〇〇圓
△開業 大正九年四月 △決算 三月、九月
△受電 電力三瓦 △供給100V
△電壓 三、三〇〇V

株式會社小值賀魚市場電氣部

長崎縣北松浦郡笛吹村笛吹字掛小路

△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 二七、〇〇〇圓
△積立 四、九七〇圓 △配當 一割
△開業 大正八年二月 △決算 年一回三月
△發電 瓦斯力三瓦
△電壓 最大二、三〇〇V 供給100V
△電線 延長二哩一 延長五哩一
△周波 五〇
代表者 小西 常藏
取締役 浦富士太梨 岩波常次郎 小西 勘一
樋口 清吉
監査役 尾崎權三郎 田口德三郎 樋口伊七郎
主任技術者 近藤梅三郎
△供給電燈數 九四六個 總燭數一〇、四八〇燭

香燒村電氣部

長崎縣西彼杵郡香燒村役場内

△資本 五二、〇〇〇圓 △開業 大正十一年一月
△發電 瓦斯力三瓦 △周波 五〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100-200V
△電線 延長七哩五
村長 香田 初次 主任技術者 江崎一郎
△供給電燈數 三一四個 總燭數三、〇七燭

崎戶村電氣部

長崎縣西彼杵郡崎戶村

△資本 五〇、〇〇〇圓

長崎電氣軌道株式會社

長崎市船越町五ノ一
電話一五二〇・一八八一・二四三七

△資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二、〇〇〇、〇〇〇圓
△社債 一、七〇〇、〇〇〇圓 △諸積立 三、一〇〇圓
△決算 四月、十月 △配當 五分
△開業 大正四年十月
△受電 電力三〇〇K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 電車線200V
△電線 延長三哩三 延長五哩一
△周波 五〇
專務 山田 慶治 櫻木亮三 澁谷辰三郎
取締役 小曾根喜一郎 藤野 光輔
監査役 菊地 武和 脇山啓次郎 藤瀬宗一郎
支配人 脇山 勘助 主任技術者 堀之内吉清
土木課長 森 由太郎 運輸主任 幸所 秀作
電氣課長 堀之内吉清 經理課長 淺田 重夫
△軌道經過地 長崎市内
△電車線路 延長九哩 延長五哩 海上連絡路五哩
△車輛數 客車四四臺 連絡船六隻
△乘車賃金 片道六錢 往復一二錢(均一制)

茂木鐵道株式會社

長崎市油屋町七四 電話一六七七

△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △決算 二月、八月
△拂込 二六六、六五〇圓
△開業 大正十二年三月 △組合員 四〇名
代表者 井原 熊作 主任技術者 林 省吾
△供給電燈數 一六〇個 總燭數一、六〇〇燭

上波佐見村電氣部

長崎縣東彼杵郡上波佐見村役場内

△開業 大正五年九月(大正十三年十月崎戶電燈會社讓受、村營設立)
△受電 電力三〇〇K(九州鐵業汽船ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V △周波 五〇
△電線 延長二哩八 延長八哩六
村長 田崎房太郎 主任技術者 松田 旭
△供給電燈數 一、九〇六個 總燭數一七、七〇燭

下波佐見村電氣部

長崎縣東彼杵郡下波佐見村

△資本 四〇、〇〇〇圓(固定) △開業 大正十二年四月
△延電 電力三瓦K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V △周波 五〇
△電線 延長二哩三 長話三六哩六
村長 深山千太郎 主任技術者
△供給電燈數 九三八個 總燭數 一五、三三七燭

電燈、力、鐵

長崎縣 ○上波佐見

○下波佐見 ○長崎電軌 ○茂木鐵 ○大島 ○小茂田

福岡縣

九州水力

九州水力電氣株式會社

本社 東京市麹町區丸ノ内三丁目二
(電話丸ノ内二七〇八・二七〇九)
出張所 福岡市大字庄三(電話七九〇・九一〇)

- △資本 八六、〇〇〇、〇〇〇圓
△拂込 六七、七六〇、〇〇〇圓
△積立 三、七三二、七六六圓
△收入 九、三三三、一八八圓(内地所家屋三、三三圓)
△支出 五、六六七、二七六圓 △配當 一割
△利益 三、七〇五、九一二圓(昭和四年十一月末)
△開業 明治四十四年四月 △決算五月、十一月
△合併會社 若松電氣、直方電氣、後藤寺電燈、日
田水電、豐後電氣軌道、大分水力電氣、行橋電燈、
北筑軌道、筑後水力、日向水力、昭和四年七月福
岡市内及北筑線電鐵ヲ博多電氣軌道會社ニ譲渡
△發電 水力五、九〇〇K 火力三、〇〇〇K
△増設計畫中 水力三、七〇〇K 火力二、〇〇〇K
△受電 最大六、〇〇〇 供給六、〇〇〇—一〇〇〇V
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一〇〇〇V
△電線 延長七、九八・九八新 延長三、三三三・七九新
△電線路 延長七、九八・九八新 延長三、三三三・七九新
社長 麻生 太吉 副社長 棚橋琢之助
常務 今井 三郎 村上巧兒 木村平右衛門
取締役 森村市左衛門 大田黑重五郎
長野善五郎 上野山重太夫 大藪守治
大和田市郎

〇嘉穂

監査役 江藤甚三郎 渡邊綱三郎
主任技術者 眞貝買一 本社支配人八塚秀二郎
出張所營業部支配人 永井 善治
同副支配人鶴丸卓一 同調査部支配人黒木佐久馬
大分支部長 淺尾新十郎 同庶務課長 坂本猛
同經理課長 池田常二 同技術課長 増田堯夫
同秘書課長 久保田貞次

- △供給電燈數及小口供給電力數(電熱器ヲ含ム)
電燈取付數 拾燭換算數 電力裝置 馬力數
日田營業所 二四、七四一 三八、三三八 三三、一〇一・五
甘木營業所 六九、二六〇 一〇〇、九四九 八八・八
後藤寺營業所 六、〇〇〇 一、五〇〇 一、六一七
直方營業所 六、〇〇〇 一、五〇〇 一、六一七
若松營業所 四、三六六 一、〇〇〇 一、〇〇〇
戸畑營業所 三、七〇八 一、〇〇〇 一、〇〇〇
羽犬塚營業所 六、九二九 二、〇〇〇 二、〇〇〇
行橋營業所 三、七二五 一、〇〇〇 一、〇〇〇
中津營業所 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
別府營業所 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
大分營業所 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
佐伯營業所 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
宮崎營業所 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇
合計 九〇九、五〇〇 一、五五五、三三〇 一、五五五、三三〇
△大口電力供給數 一〇、三三三、一五五K(一八三口)
各營業所主任
(大分) 玉繁 悟 (別府) 喜久田又一郎
(日田) 木橋 文雄 (中津) 菊池安右衛門
(若松) 川崎 圭三 (戸畑) 中島 三郎
(直方) 隈元 幸六 (宮崎) 荻野 清太郎
(後藤寺) 和田 冬生 (甘木) 藤山 研一郎

一六〇

東邦電力株式會社九州區域

(常務取締役駐在)
福岡市天神町 代表電話三〇〇一

- 駐在常務取締役 海東 要造
九州技術部長理事 西山 信一
事務部長理事 宮村 格二
電氣課長技師 坂井 坂昇
福岡支店福岡市天神町五八支店長理事齋藤英一
長崎支店長崎市長崎町一 同 主事 稻津 豊
佐賀支店佐賀市唐人町二 同 主事 津田重彦
下關支店 下關市竹崎町七 同 理事 内田百合正
佐世保支店佐世保市戸尾町八 同 主事 川口惠吉郎
久留米支店久留米市日吉町六 同 理事 兼齋藤英一
大牟田支店大牟田市有朋町 同 同上
△電車軌道 福岡市今川橋吳服橋間九軒 客車七三
△供給電燈電力數
支店 取付電燈數個 電力數馬力
福岡 三三、〇〇一 一七、八三三
長崎 三〇、九二六 一八、七四〇
佐賀 一四、八五一 一〇、二八四
下關 一四、八五一 一〇、二八四
佐世保 一〇、五五一 七、六一五
久留米 一三、七六一 九、〇〇〇
大牟田 一三、七六一 九、〇〇〇
計 一三三、〇〇一 八七、三三三

嘉穂電燈株式會社

福岡縣嘉穂郡飯塚町立岩 電話一〇一香

- △資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三、〇〇〇、〇〇〇圓
△積立 一〇、四七〇圓 △配當 年九分
△開業 明治四十三年五月 △決算 年一回五月
△受電 電力三、〇〇〇K(九州水力ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一〇〇〇V
△電線 延長一、四七・四新 延長六、〇三三新 △周波 五〇
社長 麻生 太吉
取締役 野田勢次郎 麻生義之介
監査役 野見山米吉 麻生太七郎
主任技術者 花村久兵衛
△供給電燈數 五六、〇三三個 總燭光數五、九九六燭
△供給電力數 八、七六六馬力 電力裝置六、五二四K

筑後電氣株式會社

福岡縣浮羽郡田主丸植木二五四

- △資本 一、五五〇、〇〇〇圓 △決算 四月、十月
△拂込 一、二八六、五〇〇圓 △開業 大正元年五月
△受電 電力三、〇〇〇K(九州水力ヨリ)
△發電 水力五、九〇〇K △周波 五〇
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一〇〇〇V
△電線 延長一、四七・四新 延長六、〇三三新
常務取締役 香月 登司
取締役 麻生 太吉 棚橋琢之助 今井 三郎
村上 巧兒 木村平右衛門 長野善五郎
大藪 守治 大和田市郎 永井 善治
菱形 重之

電燈、力、鐵

福岡縣 〇筑後 〇幸袋 〇大正 〇岩丘 〇九州電軌

株式會社幸袋工作所

福岡縣嘉穂郡幸袋町二一五
電話飯塚 七二六長一八

- 監査役 橋詰又三郎 江藤甚三郎 渡邊綱三郎
黒木佐久馬 主任技術者 原田 頑藏
△供給電燈數 三三、五一四燭
△同燭燭數 四、三三燭(十燭換算)
△供給電力數 一、三〇六・二五馬力
△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓(鐵工業業)
△開業 明治四十五年四月 △決算 五月、十一月
△受電 電力五、〇〇〇K 内課常時三〇〇(從前通り)特殊
一〇〇(同)特殊五〇〇(增加電氣爐專用)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一〇〇〇V
△電線 延長二、七〇・九新 延長三、二五五新 △周波 五〇
社長 伊藤傳右衛門 專務 葛西徳一郎
取締役 麻生 太吉 松本同次郎
監査役 中村 昇 玉井 廣輔
主任技術者 高橋 泰最
△供給電燈數 一八、四〇四個 總燭數三〇、五五燭
△供給電力數 七〇一馬力

大正鑛業株式會社

福岡縣遠賀郡中間町七四九二 電話中間四〇

- △資本 七二、五三〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
(以上ノ資本金ハ電氣部ノミヲ抽出セリ)
△開業 大正元年九月 △決算 四月、十月
△受電 電力一、〇〇〇K(九州水力電氣ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一〇〇〇V

岩丘水電株式會社

福岡縣築上郡合河村下河内一二二六八

- △電線 延長六、八八新 延長一、八八新 △周波 五〇
社長 伊藤傳右衛門 專務 三本 達治
取締役 伊藤 金次 林 眞一 長谷川 恭平
大藏 藤作
監査役 湯川 兼吉 伊藤秀三郎
主任技術者 松尾 龍郎
△供給電燈數 四、二五〇個 總燭數五、六〇燭
△供給電力數 自家用八五〇K 小口一〇・五馬力
△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
△借入 三、七九一圓 △積立 七、五八三圓
△開業 大正十二年六月 △配當 年四分
△決算 六月、十二月
△發電 水力二、〇〇〇K 受電 八K △周波 五〇
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一〇〇〇V
△電線 延長三、三三三新 延長三、三三三新
社長 新貝芳三郎
取締役 福岡 正巳 山田他治郎 上村 義雄
花岡 峰藏
監査役 植村 喜藏 仲 豊三郎 諫山 留雄
主任技術者 尾崎 繁
△供給電燈數 一、二〇五個 總燭數 一五、三二一燭

九州電氣軌道株式會社

小倉市京町三五八番地ノ二 電話二八番外四

- △資本 五〇、〇〇〇、〇〇〇圓 △配當 年一割二分

福岡縣 ○九州鐵道 ○博多灣鐵道 ○門司築港

△拂込 三六、四〇〇、〇〇〇圓
△借入 五、六〇〇、〇〇〇圓
△積立 三、二四八、二〇〇圓
△收入 四、五四一、七二〇圓
△支出 二、〇三六、三二九圓
△利益 二、五〇五、三九五圓(昭和四年十二月末)
△開業明治四十一年十二月△決算 五月、十一月
△合併會社 大阪電燈門司支店 小倉電燈會社
明治四十二年十一月買收 八幡電燈會社 明治
四十四年十月合併
△發電 汽力三、七〇〇K(內常用三、七〇〇K)
豫備一〇〇、〇〇〇K
△電壓 最大六、〇〇〇V 電車線六、〇〇〇V
△周波 五〇
△電線 延長三、七三三米 亘長八三、六七米
社長 松方幸次郎 專務 松本 泰藏
常務 宮田 兵三
取締役 富安保太郎 山口恒太郎 妹尾万次郎
小畑岩次郎 小曾根喜一郎 山田正隆
監査役 廣石紋太郎 關口高次 伊藤傳右衛門
主任技術者 廣瀬 良知 建設部長 山田正隆
庶務課長 村岡 猛二 會計課長 安田 隆助
土木課長 田中 拓也 運輸課長 福井 正治
電氣課長 廣瀬 良知 電燈課長 橋本 良資
△供給電燈數三、〇〇〇個 總燭數九、六〇八、八〇燭
△營業所 門司營業所 門司市本町三
八幡營業所 八幡市中本町四
出張所 大里出張所(門司市大里町)魚町出張所
(小倉市魚町)北方町(企救郡企救町)曾根町(企
救郡曾根村)折尾町(遠賀郡折尾町)芦屋町(遠賀

九州鐵道株式會社

△軌道經過地 門司市—遠賀郡折尾町間 小倉市
大門—分岐戸畑市間 八幡市中央區—戸畑市間
△電車線路 亘長二四哩七、延長四九哩四
△車輛數 客車八一臺 貨車三臺

九州鐵道株式會社

福岡市天神町五八 電話四四〇(番外二)
△資本 八、七〇〇、〇〇〇圓 △積立 三三、五〇〇圓
△拂込 八、七〇〇、〇〇〇圓 △配當 年六分
△社債 七、〇〇〇、〇〇〇圓 △決算五月十一月
△開業 大正十三年四月(舊稱筑紫電氣鐵道)
△合併會社 三井電氣鐵道株式會社大正十三年六月
△受電 電力三、六〇〇K(東邦電力會社ヨリ)
電力五、〇〇〇K(九州水力電氣會社ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V △周波 六〇
△電線 延長三、三二哩六 亘長二六哩一
取締役 伊丹彌太郎 田中德次郎 藤山啓次郎
古川與四吉 鈴木 利十 野口忠太郎
海東 要造
監査役 松永安左衛門 小林作五郎 福田芳太郎
石橋 襄
主任技術者 電氣 西岡憲三郎 土木 熊澤政一
經理課長兼支配人 林 第三郎
庶務課長 福邑 義生 營業課長 神田幸三郎
電氣課長 西岡憲三郎 土木課長 熊澤 政一
△供給電燈數 一七、〇二八個 總燭數二、五、六、〇燭
△軌道經過地 (本線)福岡市、二日市町、久留米
市間(支線)朝倉郡甘木町—福島町間

博多灣鐵道株式會社

北野營業所 三井郡北野町(主任 白川應則)
△未成線 久留米市東町—同津福町間 一哩五釐
八女郡福島町—同郡水田村間 四哩二七釐
△電車線路 延長六九哩 亘長四四哩七
△車輛數 客車四〇臺 貨車一八臺
△乘車賃金 本線一區六錢 全線一區四區 六四錢
支線一區二錢 全線五區 一圓一〇錢

博多灣鐵道株式會社

福岡縣糟屋郡四戸崎町 電話一
△資本 六、三三〇、〇〇〇圓
△社債 四、七四七、〇〇〇圓
△配當 優先 年一割、普通一分五厘
△開業 蒸氣鐵道 明治三十七年一月
電氣鐵道 昭和四年八月
△受電 四〇〇K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 電車線一、五〇〇V
社長 太田 清藏
取締役 安田善四郎 山口恒太郎
監査役 古井 由之 宇土 兵藏
支配人 家永 茂
主任技術者 山元 海門
△鐵道經過地
電氣 福岡市築港ヨリ宗像郡津屋崎町宮地間
汽鐵 粕屋郡兩戸崎ヨリ同郡宇美町間
門司築港株式會社 電話三四二
福岡縣門司市門司二六九九
△資本 二、五〇〇、〇〇〇圓 △積立 九三〇圓

△拂込 二、五〇〇、〇〇〇圓
△收入 一三〇、一〇六圓 △支出三、七七圓
△利益 一〇四、七三八圓
△開業 大正十二年十二月△決算 五月、十一月
△受電 電力六、〇〇〇K(九州電氣鐵道ヨリ)
△電線 電車線六〇〇 △周波 五〇
取締役 片山喜三郎 西村熊太郎 二宮 秀
自念春次郎
取締役兼支配人 賀山 正雄
監査役 若木 榮助 宮崎 高四
主任技術者 廣瀬良知 運輸主任 片山正次郎
會計主任 柳原 正之 保線主任 高村 守成
△軌道 門司市東本町三丁目 同市田ノ浦間
△電車線路 亘長二哩七 △車輛 客車五臺
△乘車賃金 一區片道四錢 全線二區八錢
舊門司、大久保間蒸氣鐵道延長九分(貨物線)
(昭和四年二月十一日開業)

博多電氣軌道株式會社

福岡市大字庄三五 電話五四四二
△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 一七三、〇〇〇圓
△拂込 五〇〇、〇〇〇圓 △支出 一六三、七〇〇圓
△借入 二、四〇〇、〇〇〇圓 △利益 九、五〇〇圓
△開業 昭和四年七月
△受電 電力七、〇〇〇K(九州水力ヨリ)
社長 藤生 太吉
常務 黑澤 豐治 取締役 木村平右衛門
取締役 今井 三郎 渡邊綱三郎 永井 哲治
監査役 江藤甚三郎 黒木佐久馬 鶴丸 卓市

電燈、力、鐵

福岡縣 ○博多電軌 ○小倉電軌 ○太宰府軌道 ○大牟田電軌 ○筑豐電軌

小倉電氣軌道株式會社

福岡縣企救郡足立村 電話二四〇
△資本 六〇〇、〇〇〇圓 △拂込 七五、〇〇〇圓
△開業 大正九年九月 △配當 八分
△受電 電力三、〇〇〇K(九州電氣鐵道ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 電車線三〇〇V
△周波 六〇
專務 唐生 惟義
取締役 生田 仙松 廣石紋太郎 九橋 清平
監査役 中野萬次郎 福井 正治 松井 正美
主任技術者 廣瀬 良知
△軌道經過地 自企救郡企救町至同郡足立村
△電車線路 延長六哩三 △車輛 客車六臺
△乘車賃金 一一錢

太宰府軌道株式會社

福岡縣筑紫郡太宰府町
△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △決算 二月 八月
△拂込 一九二、五〇〇圓 △借入三、六三三圓
△積立 二六、三一七圓
△開業 明治三十五年五月 電化昭和二年十一月

大牟田電氣軌道株式會社

大牟田市三川町字白金塚
電話大牟田七四九 三川二三
△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 七三、〇〇〇圓
△設立 大正七年(未開業)
△受電 電力三、〇〇〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 電車線三〇〇V
社長 野田儀三郎 取締役 鈴木仁十郎
取締役 宅 萬次郎 今井多三郎 西島藤三郎
監査役 白川 明吉 田中鐵之助
主任技術者 須山久一
△軌道 大牟田市旭町三川町四山道間(第一期
線)大牟田、三池間、關山通荒尾海水浴場前間
(第二期線) △車輛 客車一三臺
△線路 延長 三哩五 亘長二哩九

筑豐電氣軌道株式會社

小倉市京町三五八ノ二
△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △設立 大正八年九月
△拂込 一二五、〇〇〇圓 (未開業)

福岡縣 ○愛宕 ○素道 ○千手 ○津野村 ○白川 ○御笠村 ○大島 ○上脇田 ○平等寺 一六四

△受電 電力一、〇〇〇K
△電壓 電車線△〇〇V
△周波 五〇
社長 松本 孟藏 專務 宮田 兵三
取締役 伊藤傳右衛門 廣瀬良知 山田 正隆
富安保太郎 田中 拓也
監査役 草薙 雄治 安田 隆助 村田 猛二
△軌道 遠賀郡折尾町、嘉穂郡飯塚町間
△線路 二〇哩

愛宕索道株式會社

福岡縣早良郡姪濱町四一六六
△資本 五〇、〇〇〇圓
△設立 昭和二年三月(未開業)
取締役 澤口 素正 細吉 久男 佐伯仙之助
監査役 山崎 增喜 森山隆之助

有限千手電氣利用組合

福岡縣嘉穂郡千手村千手
△工事費 四七、三五一圓
△發電 水力三K △周波 五〇
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇—一〇〇V
△開始 大正十五年九月
代表者 井手 一編 △組合員 四六九名

有限津野村利用組合

福岡縣田川郡津野村六二四三
△工中費 三七、五〇〇圓
△發電 水力三K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V △周波 五〇

△開始 大正十三年六月 △組合員 二六五名
代表者 柏木 茂彦 主任技術者 宮原 茂
△供給電燈數 五〇〇個

有限白川信用購買組合

福岡縣京都郡白川村稻光四八八
△工事費 三六、八〇〇圓
△發電 水力二五K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V △周波 五〇
△開始 大正十二年二月

有限御笠村信用購買組合

福岡縣筑紫郡御笠村大字吉木
△資本 二七、五八三圓
△開業 大正十一年四月(御笠村營讓受)
△發電 水力三K
△電壓 三、〇〇〇V △周波 五〇
代表者 主任技術者 山川 靖一

有限大島信用購買組合

福岡縣宗像郡大島村一〇
△工事費 二六、八一〇圓
△發電 水力二五K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V △周波 五〇
△開始 大正十三年九月
代表者 立石 伸平 △組合員 三五一名

△工事費 一二、五五五圓
△發電 水力七五K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V △周波 五〇
△開始 大正十二年九月
代表者 牧 桂太郎 △組合員 一九一名

有限上脇田電氣利用組合

福岡縣鞍手郡吉川村字脇田
△工事費 八、三八四圓
△發電 水力三K △開始大正十三年八月
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V △周波 五〇
代表者 野美山俊次 △組合員 八二名

有限平等寺利用組合

福岡縣筑紫郡山口村平等寺
△資本 一〇、〇〇〇圓 △拂込 三三、〇〇〇圓
△積立 四一、四五一圓 △配當 一割
△收入 四七九、六〇五圓

大分縣

杖立川水力電氣株式會社

大分市南新町 電話大分一二四(外二)
出張所 福岡市大字庄三五
△資本 四〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三三、〇〇〇圓
△積立 四一、四五一圓 △配當 一割
△收入 四七九、六〇五圓

△支出 一二九、五〇一圓
△利益 三五〇、一〇四圓
△決算 四月、十月 (昭和四年十月末)
△開業 大正十三年一月
△發電 水力一六、〇〇〇K
△電壓 最大六、〇〇〇V
△電線 延長三軒 延長三軒 △周波 五〇
社長 麻生 太吉 專務 村上 巧兒
常務 内本 浩亮
取締役 森村市左衛門 櫻橋琢之助 今井三郎
木村平右衛門 太田黒重五郎
長野善九郎 上野山重太夫 大藏守治
大和田市郎 八塚秀二郎 久野五十志
監査役 江藤甚三郎 渡邊綱三郎
主任技術者 電氣係主任 久野五十志
事務係主任 小田切盛三 土木係主任山田復一
△供給電燈數 一六、一〇〇K(特定供給)

大海電氣株式會社

電話一五四〇
本社 廣島市南竹屋町六三二ノ一
營業所 福岡縣大野郡津野市村
△資本 六五〇、〇〇〇圓 △拂込 三九、〇〇〇圓
△借入 二九三、一七二圓 △決算 五月、十一月
△開業 大正九年七月(大正十四年舊釘宮水電株式會社ヲ改稱)
△發電 水力二五K
△受電 電力二〇K(九州水力電氣ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V (供給一〇〇—一〇〇V)
△電線 延長四八哩九 延長二〇哩八

豐後電氣株式會社

大分縣西國東郡西眞玉村大字西眞玉二二〇番ノ一
△周波 五〇
△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一〇、〇〇〇圓
△積立 九一、四四〇圓
△收入 八七、三四七圓 △配當 年一割
△支出 五四、九四二圓
△利益 三二、四〇五圓(昭和四年十一月末)
△開業 大正九年九月 △決算 五月、十一月
△合併會社 國東電氣 眞玉電氣 大正十二年一月合併
字佐南部電氣株式會社 大正十四年七月合併
△受電 二七五K(九州水力電氣ヨリ)
△電壓 三、〇〇〇V 供給一〇〇—一〇〇V
△電線 三六八軒 △周波 五〇
社長 野上菊太郎
取締役 野上菊太郎 一宮房次郎 土谷 助市
野上登太郎 岡部 誠米 山村 三作
監査役 佐藤 眞人 福村萬五郎 田中誠治郎
支配人 植木 肇 主任技術者 荒瀬 寛正

久住湯原電業株式會社

大分縣直入郡久住町久住六四二七 電話三
△供給電燈數 一七、八五四個 總燭數三三、〇五五燭
△供給電力數 二三八、二五馬力
字佐南部營業所 主任 野上 穗一
國東營業所 主任兼任 野上 穗一

久住湯原電業株式會社

△資本 四〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三三、〇〇〇圓
△借入 三六、五七四圓
△積立 四〇、九七六圓 △配當 四、〇〇〇圓
△收入 二七、〇五八圓
△支出 一八、五五八圓
△利益 八、五〇〇圓
△決算 年二回 五月、十一月
△開業 大正四年三月(湯原水力電氣合併)
△發電 水力一八K
△電壓 三、〇〇〇V 供給一〇〇—一〇〇V
△電線 延長一七、三三軒 延長三、〇六八軒
△周波 五〇
社長 山田 英三
代表取締役 渡邊丈平 首藤勝馬
取締役 志賀 二三 佐藤 千藏 中島 麻磨
御香 藏人 伊東 次郎 工藤 慎男
監査役 佐原秀太郎 工藤 元平 黒澤 珠記
清水 莊作 志賀助次郎
主任技術者 西木幾治郎 書記 佐藤 晃哲
△供給電燈數 七、〇〇〇個 燈總燭數七、八〇〇燭

電燈、力、鐵

大分縣 ○杖立川 ○大海 ○豐後 ○久住湯原

大分縣 ○竹田 ○田染 ○蒲江 ○大野 ○森

竹田水電株式會社

大分縣直入郡竹田町 電話三三三

- △資本 三二五、〇〇〇圓
- △積立 二四三、七五〇圓
- △借入 一六九、〇〇〇圓
- △收入 五六、二七四圓
- △配當 一割
- △開業 明治三十三年八月
- △決算 六月、十二月
- △發電 水力六八K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給100-100V
- △電線 互長三六軒一 延長六九軒一 △周波 六〇
- △社長 龜島清太郎 常務 大河原德藏
- △取締役 黒野 喜一 後藤治八郎
- △監査役 黒野 健士 本郷 令藏
- △主任技術者 田近 十三
- △供給電燈數 一五、九二八個 總燭光數三〇、八三三
- △供給電力數 二九五、二五馬力 從量 六、一三三K
- △受電 三K (九州水力電氣ヨリ)

田染水力電氣株式會社

大分縣西國東郡田染村

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓
- △積立 一、八五〇圓
- △借入 八七、三〇〇圓
- △決算 五月、十一月
- △開業 大正十年五月 (昭和四年十一月末)
- △發電 三K
- △受電 三K (九州水力電氣ヨリ)

大野水力電氣株式會社

大分縣大野郡大野町大野七七 電話五

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓
- △積立 三五、〇〇〇圓
- △借入 大正十二年三月
- △開業 大正十二年三月
- △發電 水力七〇K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給100-100V
- △電線 互長九哩九 延長三六哩四
- △周波 五〇
- △社長 神宮 林吾 專 務 毛利 貞三
- △取締役 菅 慎雄 林田 昌藏 葛城 潤吉
- △監査役 河端 正修 上尾鶴太郎 廣瀬彦太郎
- △主任技術者 神宮 章男 椿 陸典雄
- △供給電燈數 三、四四一個 總燭數 四、四六燭
- △供給電力數 二五馬力 外二一七・八K

森水力電氣株式會社

大分縣玖珠郡森町大字森一三三五

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △積立 五二、七一〇圓
- △借入 四七、九三六圓
- △利益 一一、五〇七圓 (昭和四年十一月末)
- △開業 大正三年五月
- △受電 電力二〇K (九州水力電氣ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給100-100V
- △電線 互長三三軒 延長三三〇軒

東豐電氣株式會社

大分縣東國東郡竹田津町

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △積立 二〇三、六〇〇圓
- △借入 大正九年二月
- △開業 大正九年二月
- △發電 瓦斯力五五K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給100V
- △電線 延長六哩六 互長六哩八
- △社長 杉原 康夫 取締役 池田房之進
- △取締役 安達 一作 毛利 貞郎 齋藤 秀吉
- △監査役 岩間 直 榮居義十郎 津崎 濟
- △主任技術者 佐藤 源米
- △供給電燈數 四、〇八二個 總燭數 四九、六二燭
- △供給電力數 八馬力 外二八K

上井出水力電氣株式會社

大分縣大野郡上井出村下野四五

- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △積立 六〇、〇〇〇圓
- △借入 四、一〇〇圓
- △開業 大正十一年七月
- △發電 水力五K 工事中水力二五K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給100-100V
- △電線 互長六・三軒 延長二〇・二軒

朝來水力電氣株式會社

大分縣東國東郡朝來村三四八

- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △積立 三九、二五〇圓
- △借入 大正十一年九月
- △開業 大正十一年九月
- △發電 水力三K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給100-100V
- △電線 互長四三軒 延長九三哩四
- △周波 五〇
- △社長 森 環
- △取締役 森 壽一郎 首藤 虎八 吉良 精一
- △監査役 萩原 實 和田 五郎 原田 一利
- △主任技術者 羽田野常夫 田部 安馬
- △供給電燈數 二、三三五個 總燭數三、五四八燭
- △供給電力數 三九馬力

電燈、力、鐵

大分縣 ○明治 ○東豊 ○上井出 ○朝來

- △周波 五〇
- △社長 了戒 晋作
- △取締役 齋藤 幸六 清水 嘉十 河谷 休市
- △監査役 藤生邦太郎 同支配人 山上 直次
- △主任技術者 橋爪 安彦 長尾 虎太 小幡 康夫
- △供給電燈數 一〇、三〇〇個
- △供給電力數 一三〇馬力

明治水力電氣株式會社

大分縣南海部郡明治村

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △積立 一、〇五〇圓
- △借入 一四、二六圓
- △開業 大正九年一月
- △發電 水力七九K 瓦斯力五五K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給100-100V
- △電線 延長三九哩 互長九哩
- △周波 五〇
- △社長 山口 吾一
- △取締役 村上 森藏 河野計佐治
- △監査役 一瀬 茂吉 高司 涉
- △主任技術者 狩生 惠作 高木 彦作 辻木岩太郎
- △供給電燈數 三、五七六個 總燭數 四九、七六燭
- △供給電力數 二八馬力

大分縣 ○津江 ○合川

津江電燈株式會社

大分縣日田郡中津江村大字柳野二七七八

- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △收入 七、〇八八圓
- △支出 六、九九六圓
- △利益 四二圓
- △借入 三九、〇二六圓
- △開業 大正十三年三月
- △決算 六月、十二月
- △電線 延長七哩九、互長三哩六
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇五V
- △周波 五〇

- △社長 井上 篤
- △取締役 合谷 三郎 渡邊 圓平 川津 波平 永瀨 力 川島 美郎 川村 鶴吉 合谷 亨 合谷 圓俊
- △監査役 岩本 萬吉 猪野 増太 壁村 優
- △主任技術者 坂田 良雄
- △供給電燈數 一、〇三三個 總燭數三、四八二燭

合川水電株式會社

大分縣大野郡合川村字田枝一六五〇ノ一

- △資本 六〇、〇〇〇圓
- △拂込 五七、〇〇〇圓
- △積立 五、〇〇〇圓
- △開業 大正十三年六月
- △決算 十一月
- △發電 水力三K △周波 五〇
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
- △電線 互長三哩 延長二六哩
- △電線 延長三哩 互長三哩
- △社長 齋藤 虎藏 專 務 堀 文次郎

大分縣 ○大入島 ○姫島 ○野津原 ○富士緒

大入島電氣株式會社

大分市大分八六九

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △拂込 一一、五〇〇圓
- △借入 一〇、三三三圓
- △開業 大正十四年五月
- △決算 五月、十一月
- △受電 電力三K(九州水力電氣ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
- △電線 互長八哩二 延長二〇哩
- △周波 六〇

- △社長 藤田 健策
- △取締役 甲斐 一郎 高野 大二
- △監査役 豊田 清 主任技術者 山部 春吉
- △供給電燈數 五九五個 總燭數九、一六六燭

姫島電氣株式會社

大分縣東郡姫島村

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △拂込 三〇、〇〇〇圓
- △借入 三、〇〇〇圓
- △積立 一、二九九圓
- △開業 大正十年七月
- △決算 六月、十二月
- △發電 瓦斯力三K △周波 五〇
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 延長三哩 互長三哩

野津原電氣株式會社

大分縣大分郡野津原村

- △資本 四〇、〇〇〇圓
- △拂込 二〇、〇〇〇圓
- △借入 一八、二〇三圓
- △積立 七五〇圓
- △開業 大正十一年二月
- △決算 五月、十一月
- △受電 電力三K(九州水力電氣ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長三哩六 延長七哩二
- △周波 六〇

- △社長 高崎 管太郎
- △取締役 三浦 恒雄 工藤 五郎 工藤 幸八 池邊 喜代馬 小野村 喜一 加藤 清磨
- △主任技術者 工藤 喜一
- △供給電燈數 一、〇一〇個 總燭數一〇、一七〇燭

株式會社富士緒電燈所

大分縣大野郡小富士村二〇七三ノ二

- △資本 二二、五〇〇圓
- △拂込 二二、五〇〇圓
- △積立 一、六〇〇圓
- △配當 一割
- △開業 大正十三年三月
- △決算 年一回十二月
- △受電 電力三K(富士緒井路水利組合ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長三哩 延長八哩

別府大分電鐵株式會社

大分市大字勢家一三三七電話六一、〇七九

- △資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 七〇、〇〇〇圓
- △社債 一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △配當 七分
- △開業 昭和二年七月
- △受電 電力三K
- △電壓 最大六〇〇V

別府遊園地索道

大分縣別府市靈泉寺

- △車輛數 客車二〇臺 貨車二臺
- △乘車賃金 全線二〇錢 一區五錢
- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △受電 五K
- △開業 昭和五年十一月
- △經營者 木村久太郎
- △軌道 自別府市靈泉寺至同市乙原〇哩二

國東鐵道株式會社

大分縣東郡國東町

- △資本 二、五〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 一、一五〇、〇〇〇圓
- △借入 八二〇、〇〇〇圓
- △設立 大正三年三月(電化計畫中)
- △會長 風間八左衛門 專 務 村井善四郎
- △取締役 太田 光熙 成清 信愛 井上 周 加島安治郎 稻葉 彌吉 寺西四治郎 福富 孝喜
- △監査役 坂内 義雄 有永 景郎 一井 源吉

河原内信用購買組合

大分縣大分郡竹中

- △工事實費 二〇、五〇〇圓
- △受電 電力二K(大野水力ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △開始 昭和二年二月
- △組合員 二八四名

電燈、力、鐵

大分縣 ○別府大分 ○別府遊覽 ○國東 ○桐木 ○養老 ○上津 ○河原内 ○久保 一六九

別府遊覽

大分縣別府市靈泉寺

- △工事實費 三六、二六五圓
- △發電 水力三K △周波 五〇
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
- △開始 大正十四年十月
- △組合員 一七〇名

國東

大分縣東郡國東町

- △工事實費 二〇、五〇〇圓
- △受電 電力二K(大野水力ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △開始 昭和二年二月
- △組合員 二八四名

國東鐵道株式會社

大分縣東郡國東町

- △資本 二、五〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 一、一五〇、〇〇〇圓
- △借入 八二〇、〇〇〇圓
- △設立 大正三年三月(電化計畫中)
- △會長 風間八左衛門 專 務 村井善四郎
- △取締役 太田 光熙 成清 信愛 井上 周 加島安治郎 稻葉 彌吉 寺西四治郎 福富 孝喜
- △監査役 坂内 義雄 有永 景郎 一井 源吉

河原内信用購買組合

大分縣大分郡竹中

- △工事實費 二〇、五〇〇圓
- △受電 電力二K(大野水力ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △開始 昭和二年二月
- △組合員 二八四名

養老信用購買組合

大分縣大野郡大野町

- △工事實費 二四、六四〇圓
- △受電 電力二K(上井田水力ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
- △開始 大正十四年四月
- △周波 五〇
- △代表者 齋藤 森太郎
- △組合員 三二八名

上津電氣利用組合

大分縣下毛郡上

- △工事實費 二〇、五四二圓
- △發電 水力七、五K △周波 六〇
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △開始 大正十四年七月
- △組合員 一七七名
- △組合長 西 嘉十郎 主任技術者 田邊 茂作
- △供給電燈數 三四四個 總燭數五、三三二燭

久保

大分縣大分郡竹中

久保

大分縣大分郡竹中

大分縣 ○內成 ○大谷 佐賀縣 ○有浦 ○玉島 ○肥前電鐵

△開始 大正十五年六月
代表者 土師猪太郎 △組合員 一四〇名
有限內成信用購買組合大分縣大分市
責任内成信用購買組合石城川町内成

△工事費 一〇、一七七圓
△受電 電力三K △周波 六〇
△電壓 最大三三〇V 供給二〇〇V
△開始 大正十五年七月
代表者 平野 政喜 △組合員 一一四名
有限大谷電氣利用組合

大分縣大野郡上穴馬村大谷
△資本 五、五〇〇圓 △開始 昭和二年一月
△發電 電力三K △組合員 五五名
理事 池尾 宇兵
△電燈數 一〇〇個(十六燭)

佐賀縣

有浦電氣株式會社

佐賀縣東松浦郡有浦村大字新田一五七六
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一五、〇〇〇圓
△借入 六四、三一五圓
△積立 一、五五六二圓
△開業 大正十年七月 △決算 六月 十二月
△發電 水力六K
△電壓 三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△電線 延長三哩九 亘長五哩六
△周波 五〇
專務 堀田 彦根
取締役 小山利平治 小川 次郎
監査役 黒岩金次郎 青木 藤吉
主任技術者 岩間 直
△供給電燈數 四、二七一個 總燭數四、三三七燭

玉島水電株式會社

佐賀縣東松浦郡玉島村
△資本 一五〇、〇〇〇圓 △收入 一八、一九五圓
△拂込 七六、五〇〇圓 △支出 一五、一〇八圓
△借入 一一、〇〇〇圓 △利益 三、〇八七圓
△積立 八八〇圓 △配當 五分
(昭和四年一月末)

△開業 大正十一年三月 △決算 年一回一月
△發電 水力五K
△電線 延長三哩 亘長三哩四
△電壓 最大三三〇V 供給二〇〇V
△周波 六〇
社長 田中 次郎
取締役 栗原市太郎 田中兵太郎 田中大次郎
内山 直治
監査役 原田滿太郎 田中伊三郎 松隈 末數
主任技術者 峯 良雄
△供給電燈數 二、二二三個 總燭數七、七三八燭
△供給電力數 三一K

肥前電氣鐵道株式會社

佐賀縣藤津郡嬉野町下宿乙一、一〇四
電話嬉野一一番
△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
△拂込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
△積立 二六三、〇〇〇圓 △決算四月、十月
△收入 三九六、一三三圓
△支出 二九八、〇五二圓(償却金三五、〇〇〇圓ヲ含ム)
△利益 九八、〇六〇圓(一ヶ年間昭和四年十月末)
△開業 (電燈)大正二年八月(鐵道)大正四年三月
△發電 水力七K
△受電 電力六K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△電線 延長一、七三九 亘長九九九
△電線 延長一、七三九 亘長九九九

宮崎縣

延岡電氣株式會社

宮崎縣東臼杵郡同富村大字同富九
拾六番地ノ貳 電話二二七・二五六
△資本 三、五〇〇、〇〇〇圓 △收入 一、〇三、〇三六圓
△拂込 二、八〇〇、〇〇〇圓 △支出 二、七、三二二圓
△借入 八〇〇、〇〇〇圓 △利益 一、七、八八八圓
△積立 二一七、三〇〇圓 △配當 一割
△決算 三月 九月 (昭和四年九月末)
△開業 大正三年六月
△發電 水力五、四〇〇K △受電 電力三〇〇K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△電線 亘長一、七三九 延長三、三〇〇 亘長六〇〇
社長 鈴木憲太郎 常務 大谷 治忠
取締役 後藤 常吉 三宅 忠己 山名 勝重
甲斐 鹿治 高見 益藏
監査役 間野寅次郎 佐藤 潤也 松浦順太郎
主任技術者 小松 正彦 工務係長 河島重一
電氣係長 大村乾一郎 調度係長 岡田 晴次
經理係長 加藤小三郎 庶務係長 小野 清
△供給電燈數 六、五三一一個 總燭數二、三六、八〇五燭
△供給電力數 壹、五〇〇K 夜二、一五〇K
高鍋出張所(主任兒島理一) 富岡出張所(缺)
都農出張所(主任鎌田惣太郎)
三田井出張所(主任工藤儀助)

電燈、力、鐵

佐賀縣 ○佐賀電軌

△供給電燈數 三三、〇七二個 總燭數九四、〇〇〇燭
社長 高取 盛 事務兼支配人 長谷川公平
取締役 橋爪 勇 古館 九
監査役 高取 九郎 垂井 保平
主任技術者 松尾安五郎
運輸課長 百武 千文 電氣課長 松尾安五郎
電燈課長 山田和惣次 土木課長 深川彌太郎
會計課長 山口 悦三
△軌道經過地 嬉野、下宿、今寺、式浪、大草野
橋山、美野、宮ノ元、鹽田
△電車線路 亘長六哩一 延長八哩三
△車輛數 客車四臺 貨車三臺
△乘車賃金 一區四錢 全線八區
出張所
(北方) 杵島郡北方村志久 (吉次靜太)
(秀津) 同 福治村福田 (富澤邦盛)
(被杵) 長崎縣東彼杵郡被杵村宿郷(山口治市)
佐賀電氣軌道株式會社
佐賀市 神野 町

○北山村 ○東背振 ○肥前電鐵

○延岡

保證北山村利用組合 佐賀縣小城市北山村
大字中原四七九
△工事費 七六、三五七圓
△發電 水力三K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
△開始 大正十四年一月 △組合員 六四九名
代表者 岩井 俊雄 主任技術者 陣内 米作
△供給電燈數 一、三五六個 總燭數八、二八一燭
△供給電力數 二〇馬力
有限東背振信用購買組合 佐賀縣神埼郡
東背振村三津
△工事費 七三、〇五七圓
△發電 水力三K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△開始 大正十二年七月 △組合員 六六〇名
代表者 築地 太助 主任技術者 進藤 末吉
△供給電燈數 一、六七六個
△供給電力數 二三馬力
有限服卷水電利用組合 佐賀縣神埼郡背振
村服卷五五一四
△工事費 一八、六三一圓
△發電 水力三K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△開始 大正十四年六月 △組合員 八三名
代表者 一番ヶ淵勝次
主任技術者 藤井 善作 助 手 入谷 勉
△供給電燈數 二一〇個 總燭數二二、二〇〇燭
△供給電力數 七・五馬力

宮崎縣 ○日豐 ○都城市 ○南那珂 ○九州送電 ○宮崎鐵道 ○宮崎電氣

日豐水電株式會社

本社 宮崎縣東臼杵郡延岡町
出張所 宮崎縣東臼杵郡北浦村古江

△資本 四〇〇,〇〇〇圓 △拂込 三〇,〇〇〇圓
△開業 大正十一年八月 △決算 六月 十二月
△受電 電力五〇〇K

△電壓 送電線三、〇〇〇V 配電線二、五〇〇V 供給一〇〇V
△電線 互長六軒 延長三五軒

社長 鷺海 徹
取締役 村上 森藏 市原 繁 萩原 藤助
佐藤 重遠
監査役 古川常次郎 江藤 定吉 河野歌次郎
外山敬五郎
主任技術者 中村喜次郎
△供給電燈數 二、七三三個 總燭數四〇,〇八六燭

都城市電氣課

宮崎縣都城市城町 電話四一二

△市債 八三〇,〇〇〇圓
△事業收入 二四二,五八四圓
△開業 昭和二年八月(球磨川電氣經營都城市内事業ヲ買取)
△受電 常時電力四〇K 臨時電力二〇K
(球磨川電氣ヨリ受電) △周波 五〇
△電壓 互長六軒三九 延長二七軒六〇
市長代理助役 山下次之助

南那珂郡十六ヶ町村組合

宮崎縣南那珂郡飯肥町 電話四三三
出張所 南那珂郡福島町及油津町

△資本 五九五,五〇〇圓
△開業 大正八年六月
△受電 電力三五〇(日本水電ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V △周波 五〇
△電線 互長四三、六七〇米 延長三、二〇、九六米
△電線 互長四三、六七〇米 延長三、二〇、九六米
△供給電燈數 三〇,九九二個 總燭數四九、九三三燭
△供給電力數 五八八馬力

九州送電株式會社

東京市麹町區丸ノ内二丁目
(三菱東七號館三階)

△資本 一〇,〇〇〇,〇〇〇圓 △拂込 七、五〇〇,〇〇〇圓
△積立 一三、一三三圓 △配當 六分
△收入 三九九、五一九圓 △利益 二六二、六五一圓
△支出 一三六、八六八圓 (昭和四年十二月末)
△開業 昭和四年五月 △決算 六月 十二月
△受電 電力三、〇〇〇K(工事中三、〇〇〇K)
△電壓 最大一〇、〇〇〇V 供給六、〇〇〇V
△電線 互長四四軒 延長八八軒 △周波 五〇
△供給電力數 五八八馬力

鹿兒島縣

鹿兒島電氣株式會社

鹿兒島市六日町三二 電話一三七、七四三

△資本 一〇,〇〇〇,〇〇〇圓 △收入 九、七四〇、〇〇〇圓
△拂込 五、二〇〇,〇〇〇圓 △支出 六、八八〇、〇〇〇圓
△積立 五、〇〇〇,〇〇〇圓 △利益 三、〇〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、二八七、〇〇〇圓 △配當 九分
(昭和四年九月末)

△開業 明治二十九年六月 △決算 三月 九月
△受電 電力一、〇〇〇K(日本水電ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V
△電線 延長三、〇〇〇軒 互長四四軒 △周波 五〇
社長 岩元勇次郎 常務 糸山半太郎
取締役 山下 源助 三宅重孝 山下 喜兵衛
大川平三郎 山元玄十郎 久米田新太郎
上田 萬平 長野 友博
常任監査役 河野庄太郎 監査役 松元 萬藏
監査役 池江 喜助 稻松貞一郎 杉原 惟敬
營業部長(工) 古賀 成文
工務部長(工) 相川 權一(兼主任技術者)
庶務課長 石塚 榮助 營業課長 佐藤 景
經理課長 佐分利 進 工務課長 桐野 城
△供給電燈數 一三、三三三個 總燭數二、一七、六九燭
△供給電力數 三、九〇七馬力

日本水電株式會社

鹿兒島市樋之口町二七
電話四六二、五二五・一六一六

△資本 九、七四〇,〇〇〇圓 △收入 一、五八、〇〇〇圓
△拂込 八、三八一、〇〇〇圓 △支出 八、八五〇、〇〇〇圓
△借入 八、〇〇〇,〇〇〇圓 △利益 六三三、〇〇〇圓
△積立 四六九、〇〇〇圓 △配當 一割
五月 十一月 (昭和四年十一月末)

△開業 大正十三年三月
大正十三年 高限電氣 南九州水力電氣
大正十五年 川内川電氣株式會社
昭和二年 萬瀬水力電氣株式會社
昭和三年 薩摩興業會社電氣部ヲ買取
(水天淵大田兩發電所モ之ニ含ム)

△受電 電力二、五〇〇K 汽力五〇〇K
△電壓 最大六、六〇〇V 供給一〇〇V
△電線 互長三、七四〇軒
△周波 五〇

社長 野口 進 專務 井上 多助
取締役 市川 誠次 荻生 傳 柳屋 佐祐
林 菊太郎 遠矢 軍生 坂本 犬熊
伊藤 祐祥 小山田太七 上野 博正
中山熊雄 上野喜左衛門 宮原 少
吉峯 長作 前田 慶吉
監査役 中村猪之助 椎原 彦二 天野 利介
兒玉 吉藏 浦島正兵衛 楠山吉之進
支配人 上野喜左衛門 主任技術者中村清太郎

宮崎鐵道株式會社

宮崎縣宮崎郡赤江町

常務 木村平右衛門
取締役 堀内秀太郎 田中徳次郎 山口恒太郎
大屋 敦 肥後 八次 奥村 政雄
笠原賢太郎 大和田市郎 村上 巧兒
海東 要造
監査役 小倉正恒 松永安左衛門 榑橋琢之助
上野山重太夫 主任技術者 柳原才次郎
庶務課長兼支配人 井上 博通
會計課長 持田 重夫 購買課長 立川 欽次
電氣課長 大淵 俊次 送電課長兼柳原才次郎
△供給電力數鹿兒島外九州一圓七、〇六、〇〇〇KW時
△電力料金特定

△資本 五〇〇,〇〇〇圓 △拂込 五〇〇,〇〇〇圓
△借入 六六、一九八圓
△積立 四〇、四一九圓 △配當 年五分
△決算 五月 十一月
△設立 明治十四年九月(電化施設中)

社長 大和田市郎 支配人 石川 若藏
取締役 永岡 莊一 日高 三郎 大崎 敬方
監査役 金丸伊勢吉 岡本榮三郎

宮崎電氣鐵道株式會社
宮崎市廣島通二丁目十九
△資本 八〇〇,〇〇〇圓
△拂込 一八六、一三五圓
△設立 昭和三年九月

電燈、力、鐵

宮崎縣 ○神門 鹿兒島縣 ○鹿兒島 ○日本

鹿兒島縣 ○大德

△供給電燈數 二〇六、六四六個
△總燭數 三、三六五、三〇〇燭
△供給電力數 小口電力數 五、九一〇・八馬力
電熱七八・八K 大口電力數一〇、四六九K
支店 (川内) 薩摩郡隈之城村
(加世田) 川邊郡加田町
營業所 (鹿屋) 肝屬郡黃屋町
(大口) 伊佐郡大口町
(出水) 出水郡出水町
(國分) 始良郡國分村

大德水電興業株式會社

鹿兒島市易居町三六
出張所 大島郡天城村平上野

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
△拂込 五五〇、〇〇〇圓
△開業 大正十二年九月
△決算 四月 十月
△發電 水力三三K
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 延長三、九哩 亘長五哩一
常務 古元 喜八
取締役 竹下藤三 小久保公純 志々日榮藏
櫻井 武道 楠元 芳熊 坂 敏雄
監査役 山田 有秀 徳田岩次郎 倉岡猪之助
主任技術者 赤司 政一
△供給電燈數 三、〇〇一個 總燭數三六、七六燭

○加治木 ○種子島 ○大島 ○屋久島

加治木電氣株式會社

鹿兒島縣始良郡加治木村 電話一〇
△資本 三〇〇、〇〇〇圓
△借入 二三〇、〇〇〇圓
△積立 八一、八六七圓
△開業 明治四十四年二月
△發電 水力三三K
△電壓 電力四K (北薩電氣ヨリ)
△電線 最大三、五〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
亘長二、四九三哩 延長四、九一七哩
取締役社長 桑山準太郎
取締役 久米田新太郎 長野友博
主任技術者 橋本勇太郎
△供給電力數 四一馬力
△供給電燈數 二、八一三個 總燭數九、二〇〇燭

種子島水力電氣株式會社

鹿兒島縣熊毛郡北種子村
△資本 三〇〇、〇〇〇圓
△借入 一〇二、五七二圓
△開業 明治四十四年十月
△決算 六月 十二月
△發電 瓦斯力三K 水力三三K
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 延長二、四哩 亘長三哩四
△周波 五〇

一七四

社長 永井 房夫 副社長 山口 直衛
取締役 松下豊之助
監査役 健原榮太郎 榎本 貞彦
主任技術者 三宅 正八
△供給電燈數 三、〇二九個 總燭數三〇、三六燭

大島電氣株式會社

鹿兒島縣大島郡名瀬町大字金久六四五 電話六三・二〇二
△資本 二〇〇、〇〇〇圓
△積立 三六、四二二圓
△開業 明治四十四年九月
△決算 六月 十二月
△發電 水力三三K
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 亘長三、六三哩 延長二、五四六哩
△周波 五〇
社長 保 佐太郎 常務 吉國 好
取締役 林 爲良 大山 愛熊 緒方辰太郎
重信 彦熊 重信 加吉
監査役 白石格太郎 正親 正吉 池畑 十郎
主任技術者 眞鍋松太郎
△供給電燈數 六、八四九個 總燭數九四、〇八燭
△供給電力數 一〇五馬力 外二二二K

屋久島電氣株式會社

熊本市南新井町九三
營業所 鹿兒島縣鹿毛郡上尾久島村
△資本 一七〇、〇〇〇圓
△開業 大正十五年五月
△拂込 八五、〇〇〇圓
△決算 三月 九月

△發電 水力二〇K
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
社長 鬼塚 正治
取締役 吉田 頼三 石井 方一 横井 貞七
馬場 寛
監査役 鳥森 榮治 中塚 榮吉 計屋 爲藏
主任技術者 石井 六一
△供給電燈數 一、四八七個 總燭數三、五九〇燭

古仁屋水力電氣株式會社

鹿兒島縣大島郡東方村古仁屋一〇六
△資本 一五〇、〇〇〇圓
△借入 四三、九〇〇圓
△拂込 一一一、九四七圓
△積立 一一、二七〇圓
△開業 大正十二年三月
△決算 六月 十二月
△發電 水力三三K
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 亘長二、二二哩 延長三、三二哩
社長 登 政方
取締役 辻 嘉吉 渡 名語岸 古 福重
監査役 黒岩 正親 和志武向二 蘇 清藏
主任技術者 近藤房五郎
△供給電燈數 一、二二三個 總燭數三、七一〇燭
△供給電力數 一三馬力

笠砂電氣株式會社

鹿兒島縣川邊郡笠砂村片浦
△資本 一一〇、〇〇〇圓
△拂込 三〇、〇〇〇圓
電燈、力、鐵 鹿兒島縣 ○古仁屋

△借入 四九、九〇〇、〇〇〇圓
△決算 六月 十二月
△開業 大正十四年一月
△發電 電力三三K (日本水電ヨリ)
△電壓 最大三、五〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 亘長三、四哩 延長二、六三哩
△周波 五〇
社長 上野喜左衛門 常務 木場 英吉
取締役 宮内 莊七 林 榮吉 中尾 正幹
山元 國吉
監査役 都外川爲吉 橋口久米太郎 宮原 少
柳元熊太郎
主任技術者 山元 國吉
△供給電燈數 二、七一三燈 總燭數三、〇六六燭
△供給電力數 三、七馬力

鹿兒島市電氣局

鹿兒島市下荒田町七三七 電話長四七九外五
△資本 四、九〇〇、〇〇〇圓
△開業 昭和三年七月
(大正元年十二月開業資本金五百萬圓ノ鹿兒島電氣軌道株式會社ヲ買收)
△受電 電力四K (鹿兒島電氣ヨリ)
△電壓 最大三、五〇〇V 電車線五〇〇V
△電線 亘長二、一哩 延長四、五哩
△周波 五〇
局長兼總務課長 上田 一徳
運輸課長 藤田正一郎 副收入役 木場谷爲一
主任技術者兼工務課長 早川卯一郎
△軌道 鹿兒島市内、鹿兒島市、鹿兒島郡谷山町間、鹿兒島市、鹿兒島郡伊敷村間
○笠砂 ○鹿兒島市 ○吉田村 ○朝姪村

△線路 亘長八・三哩 延長七・六哩
△車輛 五二臺
△貸金 市内、市内ノ鴨池間 六錢均一、鴨池谷山間一區二錢五區二分、全區間乘車ノ場合ニ限リ四區投ヒトス

吉田村電氣部

鹿兒島縣鹿毛郡吉田村
△資本 一四二、五〇〇圓
△收入 一一、一一五圓 (收支共六ヶ月分)
△支出 一一、一一五圓 (六、〇八七圓事務費償却及利子共)
△開業 昭和三年八月 (北薩電氣會社讓受設立)
△發電 水力三三K
村長 下田平六左衛門 主任技術者
△供給電燈數 一、三二四個

頰娃村營

鹿兒島縣津宿郡頰娃村
△資本 二二二、五〇〇圓
△受電 水力三三K 瓦斯力三K
△開業 昭和四年 (大正九年一月開業ノ薩南水電株式會社買收開業)
管理者 頰娃 村長 樋渡 盛廣
主任技術者
△供給電燈數 四、七五一個
△供給電力數 一三七馬力

鹿兒島縣 ○鹿島
飯島水電興業株式會社
 鹿兒島縣薩摩郡下飯村

△資本 一〇〇、〇〇〇圓
 △未開業 大正十三年設立
 △發電 水力五K
 代表者 東雲 堅吉

大東水電株式會社
 本社 東京市神田區表神保町一

△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓 △決算四月 十月
 △拂込 三七五、〇〇〇圓
 △設立 大正十四年十二月(未開業)
 專務 日高 丈夫 常務 根本清次郎
 取締役 永田 哲二 小林豊太郎 戸部 種雄
 松岡熊三郎 大川甚太郎
 監査役 齊藤 尊雄 赤木 章生
 主任技術者 吉見 胤隆
 屋久島出張所 熊毛郡下屋久村

○大東 ○沖永良部 ○蒲生 ○大迫 ○蓬原 ○安樂
沖永良部電氣株式會社
 鹿兒島縣大島郡和泊村古里

△資本 二〇〇、〇〇〇圓
 △開業 昭和四年十二月
 △發電 瓦斯力四K
 社長 吉川 前友 專務 田中 新盛
 取締役 要 昌豊 安田 森川 關根 直晴
 清石 民重 吉松 總照 安田 前間
 皆 吉晋
 監査役 沖島 曾德 東 前廣 安田 森秀

有限 蒲生電氣利用組合 鹿兒島縣給良郡蒲生村久徳二二四九
 △工事費 二二一、二八二圓
 △發電 水力二K △周波 五〇

一七六
 △電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇—二〇〇V
 △開始 大正十三年九月 △組合員 一、六四六名
 代表者 小山田莊太郎 主任技術者 中島文八

有限 犬迫信用販賣組合 鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村大字犬迫
 △工事費 九九、一三四圓
 △發電 水力三K 電力二K
 △電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇—二〇〇V
 △開始 大正十二年十二月
 代表者 稻葉三太郎 △組合員 一、〇〇六名

有限 蓬原信用販賣組合 鹿兒島縣薩摩郡西志布村蓬原一四二三
 △工事費 五四、五〇六圓
 △發電 水力三K △周波 五〇
 △電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇—二〇〇V
 △開始 大正十四年五月 △組合員四七六名
 代表者 馬場 藤義 主任技術者 佐多 勇熊
 △供給電燈數 九四三個 總燭數一五、四九五燭
 △供給電力數 二〇馬力

有限 安樂電氣利用組合 鹿兒島縣薩摩郡志布志町安樂五三三七
 △工事費 一六、二三四圓
 △發電 水力一K △周波 五〇
 △電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇—二〇〇V
 △開始 大正十四年十一月 △組合員 八〇名
 代表者 木元 伊助

沖繩縣

沖繩電氣株式會社
 沖繩縣那霸市美榮橋町二ノ一五
 電話本社一六一・二六九・軌道部一一二

△資本 七二〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇〇、〇〇〇圓
 △借入 五一四、七八四圓 △配當 七朱
 △積立 一一八、九一六圓
 △收入 二〇七、〇九四圓
 △支出 一四七、〇一四圓
 △利益 六〇〇、〇八〇圓 (昭和四年九月末)
 △開業明治四十三年十二月 △決算 三月 九月
 △合併 沖繩電氣軌道株式會社大正四年三月買收
 △發電 汽力常用八〇K 豫備二〇K
 △周波 六〇
 △電壓 最大三、三〇V 電車線三三〇V
 △電線 互長六、八五五 延長六、〇八八
 社長 飛鳥 文吉 專務 松山 拾一
 取締役 高嶺 朝教 井上 爲一
 百名 朝計
 監査役 濱田 良平 稻澤 清起智 有川小三
 主任技術者 工務部長 赤司 佐一
 △供給電燈數 三、八四一個 總燭數 二九、〇七燭
 △供給電力數 八〇・五馬力

△軌道經過地 那霸市、首里市、眞和志村
 △電車線路 互長六、八五五 △車輛數 客車一〇臺
 △乘車賃金 一區四錢 全線四區

名護電燈株式會社
 沖繩縣國頭町名護町二八四五

△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
 △借入 一〇、三五五圓
 △收入 六、九五六圓
 △支出 六、八〇一圓
 △利益 一、五五五圓 (昭和四年八月末)
 △開業 大正十二年八月 △決算 二月 八月
 △發電 瓦斯力二K △周波 六〇
 △電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇V
 △電線 互長六、八五五 延長二、六六四
 社長 高崎庄三郎 取締役 宮里 東助
 取締役 吉山藤次郎 比嘉 親吉 楠瀬 忠重
 主任技術者 渡慶次實徳
 監査役 井科利右衛門 柏誠之介 玄道
 △供給電燈數 一、〇八六個 △總燭數 二、〇五五燭

八重山電氣株式會社
 沖繩縣八重山郡石垣町字登野城四

△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △收入 一九、七〇七圓
 △拂込 一〇〇、〇〇〇圓 △支出 一四、八〇三圓
 △借入 六〇、〇〇〇圓 △利益 四、九〇四圓

宮古電燈株式會社
 沖繩縣宮古郡平良町西里二二六ノ一

△積立 二、七五〇圓 △配當 八朱 (昭和四年下半年)
 △決算 二月 八月
 △開業 昭和二年六月
 △發電 瓦斯力二K △周波 五〇
 △電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇V
 △電線 延長三、三〇〇 互長五、〇一九
 社長 新井 榮吉 專務 宮良 當明
 取締役 新垣 清敏 崎山 英保 國師 金徳
 監査役 大濱 當忠 森木 直光
 主任技術者 久高 將章
 △供給電燈數 二、六九三個

電燈、力、鐵 沖繩縣 ○沖繩 ○名護 ○八重山 ○宮古

岩手縣

盛岡 〇盛岡 〇東北

盛岡電燈株式會社

盛岡市紺屋町二十七番戶 電話 二〇・二二〇・二三〇・四八六・九九七

- 資本 一四、三八〇、〇〇〇圓
拂込 一〇、四一七、〇〇〇圓
社債 八、五〇〇、〇〇〇圓
借入 一、〇六〇、九八七圓
積立 六八三、〇〇〇圓
收入 一、五五二、七八六圓
支出 一、〇〇八、七三五圓
利益 五四四、〇五一圓
決算 六月、十二月
開業 明治二十七年七月
(合併會社) 岩手電氣工業 大正八年一月
釜石電燈、花卷電氣 大正十年十二月
遠野水力電氣 大正十一年三月
溫泉軌道 大正十一年五月
(花卷溫泉鐵道二軌道部) 大正十五年九月
(花卷溫泉) 昭和二一年十一月
宮古電氣 昭和二一年十一月
岩手水力 電氣 昭和三年二月
秋田電業 昭和三年十月
水力九、二六K 汽力五、〇〇K
發電 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V 一〇〇—100V
電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V 一〇〇—100V
周波 五〇—六〇

東北電燈株式會社

本社 宮城縣小牛田驛前 電話一三三
支店 岩手縣一宮町裏下街電話一三三
支社 岩手縣盛岡市 電話五三三八
同 岩手縣千厩町 電話二二二

- 資本 二、二九、九〇〇圓
拂込 一、九一四、八二〇圓
積立 四七四、六二一圓
借入 八〇〇、〇〇〇圓
收入 九、二九九、八九四圓

一七八

(內宮城縣下事業宮城縣渡代八、九三、〇〇〇圓)
△支出 八、九二八、七五三圓
(內宮城縣內實渡資產六、五七三、〇〇〇圓)
株式消却諸債却其他二、一四八、六八四圓)
△利益 三七一、一四一圓(昭和四年十二月末)
△開業 大正十三年十月 △決算六月、十二月
△合併及讓渡 昭和二年七月黑澤尻電氣株式會社
昭和三年東勢水力電氣株式會社合併
昭和四年 宮城縣下事業宮城縣二讓渡
昭和三一年 瓦斯力二〇K
△發電 電力當時七〇K (東北送電)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇—100V
△電線 延長三、四〇哩 直長一、六九哩
△周波 五〇—六〇

- 社長 小林 久治 專務 米倉清次郎
取締役 本間半兵衛 谷井 文藏 佐藤 鐵郎
中島 徳治 吉岡 伯治 熊谷半兵衛
横山 萬平 伊藤 二郎
常任監査役 島崎壽太郎
監査役 星 康平
技師長 山口重二郎 主任技術者佐々木俊太郎
△供給電燈數 三七、一二二個
△供給電燈數 五三九、〇四〇個
△供給電力數 七六八馬力
△供給特殊供給 増田水力電氣一五〇〇K田中鐵
業土畑鐵山四〇〇K水澤鐵山其他二五四〇K

三陸水電株式會社

本社 東京市麹町區丸ノ内二丁目 (八重洲ビル)

- 資本 一、三〇〇、〇〇〇圓
拂込 六五〇、〇〇〇圓 △利息配當 五分
開業 昭和四年 △決算 六月、十二月
發電 水力三、〇〇K 外許可濟水力五、〇〇K
計畫中水力二五、〇〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V △周波 六〇
社長 中原岩三郎 常務 坂下 忠雄
取締役兼支配人 內藤 正之
取締役 栗原 幸藏 尾塚 安三 道又 勇助
山内 伊平 野口長次郎 小野 秀一
永橋剛一郎
監査役 長井 忠吉 山田 庄助 山本慶之助
總務課長 支配人兼務 經理課長 宗像 廷藏
電氣主任 草刈藤五郎 土木囑託 遲塚 安三
建設主任 冷泉 彦熊
△供給電力 (特種供給)

膽江電力株式會社

岩手縣膽澤郡水澤字吉小路 出張所 江刺郡岩谷堂町

- 資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △積立 八九、〇〇〇圓
拂込 一、〇六二、五〇〇圓 △配當 年一割
借入 二六九、六六六圓
開業 大正十一年一月 △決算 六月、十二月
發電 水力六〇K

電燈、力、鐵

岩手縣 〇三陸 〇膽江 〇陸奥 〇氣仙 〇馬淵川

陸奥電力株式會社

本社 岩手縣二戸郡福岡町字橋場九番地イ號 電話二六・二七

- 受電 電力三〇K (東北電燈及一ノ關町ヨリ)
電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇—100V
電線 延長三、四哩 直長一、〇五哩
周波 五〇
專務 辻山 右平
取締役 辻山 豊治 小林 佐平 青木 勇治
後藤 廣 及川 晃 依田美治郎
佐々木忠作
監査役 花山圭二郎 添田 善治 荻田 甚助
主任技術者 加藤 俊三
△供給電燈數 二四、八五二個 總燭數三、二〇〇燭
△供給電力數 六二六馬力

氣仙水力電氣株式會社

岩手縣氣仙郡盛岡町字八九 電話盛七

- 資本 一、二〇〇、〇〇〇圓
拂込 九七九、八八九圓
開業 大正五年九月 △決算 五月、十一月
發電 水力六〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇—100V
△周波 五〇
社長 中里 久七 專務 戸羽 一
取締役 岩崎 寛 堀江正三郎 飯田 民丸
泉田嘉右衛門 伊東彌助 須知 六郎
新沼綱五郎
監査役 小瀧豊三郎 新沼 榮藏 高橋 敦佐
及川庸三郎 伊東健之助
主任技術者 山田甚三郎
△供給電燈數 一八、七四九個
△供給電力數 二六、三八六燭

馬淵川電氣株式會社

岩手縣二戸郡福岡町字五日町七八 電話一九・二三

- 資本 六〇〇、〇〇〇圓 △收入 一六、八〇〇圓
拂込 五一〇、〇〇〇圓 △支出 一〇〇、八六圓
借入 三二五、〇〇〇圓 △利益 三六六圓
積立 一六一、五四二圓 △配當 一割
決算 五月、十月 (昭和四年下半年)
一七九

岩手縣 ○九戸 ○大槌 ○輕米 ○岩泉

△開業 大正三年(大正十五年六月荒澤電氣株式會社讓受)
△發電 水力200K
△受電 電力500K(陸奥水力ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給100-100V
△電線 延長2,400呎 延長1,800呎
△周波 60Hz
社長 國分 市郎 專務 國分 義助
取締役 三田 義正 阿部 九藏 丹野彌太郎 田中 實
監査役 矢幅三次郎 大森又太郎 本宮龍太郎
主任技術者 伊藤 七郎 會計主任 小林 直藏
營業課長 伊藤 七郎 會計主任 小林 直藏
△供給電燈數 二四、八一七個 總燭數七五、四二燭
△供給電力數 六八八、七馬力外二三〇K
營業所 青森縣三戸郡三戸町
岩手縣二戸郡荒澤村

九戸水力電氣株式會社

岩手縣九戸郡久慈町 電話九
△資本 三六〇、〇〇〇圓 △拂込 三六〇、〇〇〇圓
△借入 二〇〇、三三五圓 △積立 二、七〇〇圓
△決算 六月 十二月
△開業 大正九年十二月
△發電 水力300K 瓦斯力200K
△電壓 最大3,000V 供給100-100V
△電線 延長2,600呎 延長1,000呎
△周波 60Hz
取締役 近藤仁三郎 一戸 三矢 中森市三郎
中野 熊八 吉田兵次郎
同業支配人 中野 深吉

大槌水力電氣株式會社

岩手縣下閉伊郡大槌町 電話長五〇
田張所 下閉伊郡山田町
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △借入 一五〇、五〇〇圓
△拂込 一六七、三五七圓 △配當 年一割
△開業 大正七年五月 △決算 六月 十二月
△發電 水力200K
△受電 電力300K(盛岡電燈會社ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給100V
△電線 延長2,400呎 延長1,000呎
△周波 60Hz
社長 道又 勇助
取締役 間瀬半兵衛 荒井儀兵衛 古館 啓八 栗澤 龜藏
監査役 佐々木彦三郎 佐藤善太夫 山崎門太郎
支配人 關尾俊太郎 主任技術者 川村 秀二
△供給電燈數 八、七一六個 總燭數九、三九燭
△供給電力數 一九〇馬力

輕米水力電氣株式會社

岩手縣九戸郡輕米町大字輕米
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二二、〇〇〇圓
△借入 八〇、〇〇〇圓 △積立 三、〇〇〇圓
△開業 大正九年一月 △決算 六月 十二月

刈屋電氣株式會社

岩手縣下閉伊郡刈屋村
△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
△借入 二〇、〇〇〇圓 △積立 二、七〇〇圓
△開業 大正九年十月 △決算 六月 十二月
△發電 水力200K
△電壓 最大3,000V 供給100V
△電線 延長1,000呎 延長1,000呎
△周波 60Hz
社長 小山田榮次郎 專務 戸花喜三郎
取締役 西里吉太郎 橋本 岩松
監査役 投祖梅次郎 久保田儀三郎 野崎佐七郎
主任技術者 宇部 第三
△供給電燈數一、〇五二個 總燭數一〇、九三八燭
△供給電力數 一九、九九K

小川電氣株式會社

岩手縣下閉伊郡小川村大字門
第六地割字一〇五
△資本 三五、〇〇〇圓 △拂込 三五、〇〇〇圓
△積立 六、四五〇圓
△開業 大正九年一月 △決算 二月 八月
△發電 水力200K
△電壓 最大3,000V 供給100-100V
△電線 延長1,000呎 延長1,000呎
△周波 60Hz
社長 南澤伊兵衛 專務 上館市太郎
取締役 工藤 定七 中村 與八 山岸 直平

電燈、力、鐵

岩手縣 ○刈屋 ○小川 ○花卷電鐵 ○一關町 ○葛卷村

一八〇

△發電 水力500K △周波 50
△受電 電力500K(八戸水力電氣ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給100-100V
△電線 延長2,400呎 延長1,800呎
△周波 60Hz
社長 小笠原 利吉 專務 坂本 勝三
取締役 小笠原龜次郎 堀米喜三郎
監査役 工藤友次郎 久慈源三郎 松橋寅五郎
△供給電燈數 四、〇〇六個
△供給電力數 八一馬力 外二一三、二一六K

岩泉電氣株式會社

岩手縣下閉伊郡岩泉町
△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 四六、五〇〇圓
△積立 五、六〇〇圓 △配當 年八分
△收入 七、三五二圓 △支出 四、九一五圓
△利益 二、四〇一圓(昭和四年十二月末)
△開業 大正四年七月 △決算 六月 十二月
△發電 水力300K
△電壓 最大3,000V 供給100-100V
△電線 延長2,500呎 延長1,000呎
社長 八重樫金十郎
取締役 八重樫市左衛門 工藤定治 佐藤平古
監査役 三上甚右衛門 佐々木市太郎 藤澤俊作
主任技術者 高橋久四郎
△供給電燈數 一、三四二個 總燭數 一、四〇燭
△供給電力數 一〇、四K

中村 勝平

監査役 工藤 仙藏 關口 三平 川村久兵衛
主任技術者 缺 員
△供給電燈數 一、三三三個 總燭數九、二四五燭

花卷溫泉電氣鐵道株式會社

岩手縣盛岡市紺屋町二七 電話二二〇(外三)
△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
△借入 三〇〇、〇〇〇圓 △積立 五、〇〇〇圓
△決算 三月 △配當 三分
△開業 大正十五年十月(舊盛岡電氣工業會社溫泉軌道讓受設立)
△受電 電力300K(盛岡電燈ヨリ)
△電壓 最大3,000V 電車線600V
△周波 60Hz
社長 金田一國士
常務 坂水 潔 一戸 三矢
取締役 葛西 萬司 村井 昌八 松崎了四郎
濱川彌右衛門 宮澤直治 金田一直太郎
同業支配人 金田一 光
監査役 小野崎篤造 萬 昌一郎 梅津東四郎
吉田萬太郎 佐々木勇吉
主任技術者 小川 時雄

一關町電氣作業所

岩手縣西磐井郡一關町 電話一四六
全線片道七二錢 一區四錢五厘(鐵道)
△資本 六七五、五七一圓 △開業 大正二年三月
△積立 一四、五一二圓
△收入 二〇二、四九四圓
△支出 一七一、七九一圓
△次年度繰越金 三〇、七〇三圓
△決算 年一回五月(昭和四年五月末)
△發電 水力1,000K 特殊600K 常時600K
△電壓 最大2,000V 供給10,000V-100-100V
△周波 60Hz
△電線 延長三、三三三呎
管理者町長 中野 協藏
主任助役 橋本 元 主任技術者 富森鬼市
△供給電燈數 一四、九三八個 總燭數二九、四六燭
△供給電力數 五三七馬力

葛卷村電氣部

岩手縣九戸郡葛卷村
△資本 五三、〇〇〇圓 △借入 二、〇〇〇圓
△收入 一三、〇〇〇圓 △支出 六、六〇〇圓
△開業 大正八年十二月
△發電 水力200K 電力400K(馬淵川電氣)
△電壓 最大3,000V 供給100-100V

岩手縣 ○黑澤尻 ○三陸 ○小國 ○共力 ○普代 ○江川 ○榮内 ○横川

△電線 延長二哩 延長三哩 △周波 六〇
 村長(主任技術者) 勝 正一 助役 村木 盛
 △供給電燈數 一、七九〇個

黒澤尻電力株式會社

岩手縣和賀郡黒澤尻町

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △決算五月 十月
 △拂込 八〇〇、〇〇〇圓
 △設立 昭和二年五月(未開業)
 △發電 水力三、〇〇〇K
 (工事中、現在東北電燈ヨリ五K受電)

社長 任藤治郎助
 取締役 米谷久左衛門 郡司半助 伊藤 二郎
 高橋 芳雄 小林 久治 米倉清五郎
 谷井 文藏 松浦千代松
 監査役 星 康平 齊藤忠之丞 澤藤半兵衛
 阿部金治郎 高橋善太郎
 庶務課 立花 信種 主任技術者 長岡 美三

三陸送電株式會社

岩手縣膽澤郡水澤鹽釜

△資本 五〇〇、〇〇〇圓
 △設立 昭和二年十二月 (未開業)
 社長 辻山 豊治
 取締役 戸羽 一 伊東 彌助 山崎 寛
 監査役 辻山 右平 佐々木忠作 新沼 榮藏

有限小國電氣利用組合 巖手縣下閉伊郡小國村
 △工事費 一七、九一〇圓
 △發電 水力三、三三K
 △電壓 最大三、三〇V △組合員 一六二名
 無限共力信用購買組合 巖手縣西勢井郡山目村
 △工事費 一三、一八三圓
 △受電 電力五K
 △電壓 最大三、三〇V △組合員 一六一名

普代電氣組合

巖手縣下閉伊郡普代村
 △工事費 一〇、五〇〇圓
 △設立 大正十三年十二月
 △發電 水力V
 △電壓 最大三、〇〇V △組合員 五三名

江刈電氣組合

巖手縣九戸郡江刈村
 △工事費 一〇、〇〇〇圓
 △設立 大正十五年十二月
 △發電 水力五K
 △電壓 最大三、〇〇V △組合員 八八名

板内電氣組合

巖手縣紫波郡長岡村板内
 △工事費 八、五〇〇圓 △開始

青森縣

青森電燈株式會社

青森市大字造道字浪打參拾九番地壹號
 電話三三・八一・一一四三・一二五六

△資本 三、五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三、〇〇〇、〇〇〇圓
 △積立 三九六、九五〇圓 △配當 一年一創
 △借入 二、一〇〇、〇〇〇圓 △收入 四八、九三三圓
 △支出 二八五、九七九圓 △利益 一八、〇三三圓
 △決算 六月、十二月 (昭和四年十二月末)
 △開業 明治三十年三月
 △發電 常用水力 六、五〇〇K 豫備 六〇〇K
 △電壓 最大二、〇〇〇V 需用家二、〇〇〇V
 供給 一〇〇V、一〇〇V △周波 六〇

社長 樋口 喜輔 常務取締役 柿崎 善祐
 取締役 渡邊 佐助 同兼支配人 柿崎 守義
 大坂金助 小倉十兵衛 佐々木嘉太郎
 横内 忠作
 監査役 坂上五郎兵衛 千葉傳藏 北谷 幸八
 主任技術者 田中 豊夫
 △供給電燈數 總燈數一、三、七、二、九個
 總燈數一、七、一、七、九〇個
 △供給電力數 二、四、五、六馬力
 外二醫療用其他 七、二、三K

弘前電燈株式會社

弘前市本町一 電話一五五・五六四

△資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 五三、七五圓
 △拂込 二、七二〇、〇〇〇圓 △支出 三三、九六圓
 △積立 五一九、二五三圓 △利益 二〇、八八圓
 △借入 一七四、〇〇〇圓 △配當 一割二分
 △決算 六月、十二月 (昭和四年十二月末)
 △開業 明治三十四年六月
 △發電 水力二、〇〇〇K 火力一、〇〇〇K
 (工事中水力 三、三三K 電力五〇〇K (青森電燈受電))
 △電壓 供給三〇〇-一〇〇-一〇〇V
 最大二、〇〇〇V △周波 六〇
 △電線 延長四哩八、延長一、五哩七

社長 佐々木嘉太郎 常務 櫻庭 秀輔
 取締役 宮川久一郎 高杉 隆治 菊地 長之
 榎森 榮 安田 才助
 監査役 鶴谷 清志 菊地仁了 坂上五郎兵衛
 中谷 熊吉
 支配人 成田寅之助 書記 松山長左衛門
 主任技術者 水無瀬綱徳 發電所主任石原吉藏
 △供給電燈數 總燈數三、九、七、七個
 △供給電力數 四、〇二、三馬力
 營業所
 (黒石) 南津輕郡黒石町(電話一九) 千年清次郎
 (蔵館) 同蔵館町(電話一七) 長利 清平
 (五所川原) 北津輕郡五所川原(電二四) 山崎一郎
 (板柳) 同郡板柳町(電話六四)

八戸水力電氣株式會社

青森縣八戸市 電話一〇五・五〇四

△資本 二、四五〇、〇〇〇圓 △借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 二、一〇〇、〇〇〇圓
 △收入 二九二、一三三圓 △決算五月、十一月
 △支出 一六〇、二六〇圓 △配當(優先一創)
 一三一、八七三圓
 △開業 明治四十三年七月
 △發電 水力三、三三K
 △電壓 最大三、三〇V 供給一〇〇V
 △電線 一、三六六呎

社長 橋本八右衛門
 取締役 鈴木吉十郎 北村 益 泉山岩次郎
 三浦 善藏 橋本彌三郎 吉田 弟吉
 監査役 中村 秀三 三田 義一 近藤 眞一
 支配人 鈴木 昌實 技師長 二宮 伸輔
 主任技術者 佐藤 猛
 營業主任 野澤 扇治 庶務主任 藤尾勘之助
 △供給電燈數 五〇、六五〇個 總燈數七三、〇二個
 △供給電力數 一、五五九・五馬力

大湊電燈株式會社

青森縣下北郡田名部町大字田名部字堀替
 △資本 六〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三、七、〇〇〇圓
 △借入 一三八、七九〇圓 △積立 五七、〇〇〇圓
 △收入 六九、二五七圓 △支出 四九、五九圓
 △利益 二〇、〇九八圓 (昭和四年十二月末)

電燈、力、鐵

青森縣 ○青森 ○弘前 ○八戸 ○大湊

青森縣 ○大湊 ○七戸 ○西北

- △開業 大正五年十月 △決算 五月、十一月
△受電 電力年間200K(田中鑛業ヨリ)
△電壓 1,000V 供給10,000V 電力200V 100V
△電線 延長三八八軒 延長四四七・四

大湊水電株式會社

- △資本 五〇〇,〇〇〇圓 △拂込 三七五,〇〇〇圓
△積立 八〇〇圓
△開業 大正十五年六月 △決算 五月 十一月
△發電 水力200KVA
△電壓 最大11,000V 供給11,000V
△電線 延長二哩 △周波 五〇

七戸水電株式會社

- △供給電力數 300K
△供給先 大湊電燈 大湊冷蔵株式會社
△資本 五〇〇,〇〇〇圓 △拂込 五〇〇,〇〇〇圓
△借入 四〇〇,〇〇〇圓 △配當 年一割
△積立 一一九,五〇〇圓
△收入 二四三,一七二圓
△支出 一六四,三三〇圓 △決算六月、十二月
△利益 七〇,八四一圓 (昭和四年末決算)

上北電氣株式會社

- △資本 一〇〇,〇〇〇圓 △拂込 六三,〇〇〇圓
△借入 四〇,五〇〇圓 △積立 六〇〇圓
△開業 大正十二年十二月 △決算 年一回十一月
△合併 泊川電氣株式會社 大正十五年十一月

一八四

- △發電 水力200K △周波 五〇
△電壓 最大3,000V 供給1,000V
△電線 延長五七五軒 延長三三軒
△資本 和田 俊郎 常務 奥田 千春
取締役 柏谷運次郎 大關 勇 岩崎德九郎
種市 忠七 盛田清之助 渡邊 正三
監査役 澤谷 常松 大竹 健七
主任技術者 小杉作太郎
△供給電力數 一,九四〇個 總燭數三,九六九燭

西海電氣株式會社

- △資本 五〇〇,〇〇〇圓 △拂込 三三,〇〇〇圓
△借入 三七〇,〇〇〇圓 △積立 二,五〇〇圓
△配當 五分八厘 (昭和四年十二月)
△決算 六月 十二月△開業 大正八年八月
津輕電燈株式會社 大正十五年四月合併
雄ヶ澤町電氣部 同年八月買收

上磯電氣株式會社

- △資本 一五〇,〇〇〇圓
△拂込 一〇一,六五〇圓
△借入 九六,〇〇〇圓 △決算 年一回二月
△開業 大正十四年二月
△發電 水力200K 火力200K
△電壓 最大3,000V 供給1,000V
△電線 延長二五五軒 △周波 五〇

川内電氣株式會社

- △資本 六〇,〇〇〇圓 △拂込 六〇,〇〇〇圓
△積立 二,五四〇圓 △配當 年八分
△開業 大正八年四月 △決算 六月 十二月
△發電 瓦斯力200K
△受電 電力200K(田中鑛業ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給1,000V
△電線 延長二哩七 延長六哩七
△周波 五〇

電燈、力、鐵

青森縣 ○上磯 ○川内 ○奥入瀨 ○目屋 ○野邊地

奥入瀨電燈株式會社

- △資本 五〇,〇〇〇圓 △拂込 三五,〇〇〇圓
△積立 五,四〇〇圓 △決算 六月 十二月
△開業 大正十一年七月
△受電 電力300K(七戸水電ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給1,000V
△電線 延長三哩 延長四哩六

目屋電氣株式會社

- △資本 五〇,〇〇〇圓 △借入 二〇,〇〇〇圓
△拂込 二一,〇〇〇圓 △積立 六,五〇〇圓
△收入 二〇,六九六圓 △支出 一七,一六九圓
△利益 三,五〇〇圓 (昭和四年十二月末)

野邊地電氣株式會社(合併申請中)

- △開業 大正十一年十一月 △決算 六月、十二月
△發電 水力200K △周波 五〇
△受電 電力200K(弘前電燈ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給1,000V
△電線 延長二五哩 延長七・六哩

野邊地電氣株式會社

- △資本 三五,〇〇〇圓 △拂込 三二,九〇〇圓
△積立 八,九一〇圓 △配當 年一割三分
△收入 二二,二〇一圓 △支出 二〇,一八六圓
△利益 三,〇一五圓 (昭和四年十一月末)
△開業 大正三年七月 △決算 五月、十一月
△受電 電力200K(七戸水電ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給1,000V △周波 五〇

弘南鐵道株式會社

青森縣津輕郡大光寺村

- △資本 六〇〇、〇〇〇圓
- △設立 昭和二年九月(電化施設中)
- 社長 菊地 武憲
- 取締役 後藤 善三 宇野 勇作 宮川久一郎 宮川 忠助 田邊文四郎 福永 忠助
- 監査役 福上 赤一大川 亮 須々田孫九郎 古川七兵衛
- △軌道經過地 弘前ヨリ津輕尾上間
- △電車線路 六哩九分

五戸電氣鐵道株式會社

青森縣三戸郡五戸町字川原町一八

- △資本 五〇〇、〇〇〇圓
- △決算 三月 九月
- △未開業 大正十五年十二月設立
- △受電 電力三〇K
- 社長 三浦 善藏 專 務 三浦 種良
- 取締役 中川原貞機 菊池萬三郎 和田寛次郎
- 監査役 加賀 秀雄 山内 亮
- 主任技術者 杉浦 留吉
- △軌道經過地 自三戸郡上長苗代村 至同五戸町
- △電車線路 七哩九
- 有限切田信用購買組合 青森縣 責任切田 販賣利用組合 切田村
- △受電 電力三〇K

青森縣

○弘南鐵道 ○五戸電氣 ○切田 秋田縣 ○增田 ○北海道秋田

秋田縣

増田水力電氣株式會社

秋田縣平鹿郡增田町增田電話二三番・二四

- △資本 二、九〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 二、一七五、〇〇〇圓
- △借入 二、五二二、五一〇圓
- △社債 二八九、〇〇〇圓
- △積立 一一二六、六七七圓
- △配當 年八分
- △決算 三月 九月
- △開業 明治四十四年二月

一八六

- △合併 大正十二年二月 秋南水力 同十三年八月 羽後電力 同十四年二月 河原田水力 同十五年五月 稻庭水力 昭和三年二月 皆瀬水力
- △發電 水力四六〇K
- △受電 電力八〇〇K
- △電壓 最大三、〇〇〇 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長二、〇二四・八哩 互長六七六・五哩
- △周波 五〇
- 社長 松浦千代松
- 取締役 長坂又兵衛 東海林重太郎 近利左衛門 小川 徳助 佐藤 有秀 池田 禮治 香澤源一郎 小玉 直藏
- 監査役 豐田 圓平 杉田清治 佐藤與五兵衛
- 事務長 石田學之助 主任技術者 岡信 虎太
- △供給電燈數 五、一六個 總燭光數一、五二六、五二燭
- △供給電力數 二、一七一馬力 大口供給一、〇五K
- △事務所 平鹿郡津舞町 同郡沼館町 同郡橫手町 雄勝郡湯澤町 同郡西馬音内町 仙北郡大曲町同郡角館町

北海道電燈株式會社

秋田市谷地町五六ノ二

- △事務所長 岩橋武之助(兼工務係主任)
- △營業係主任 平塚 來吉
- △開業 明治三十四年十二月
- △合併會社 大正十四年十二月 秋田電氣株式會社 同十五年九月 秋田水力電氣株式會社 合併 昭和三年十月 最上電氣株式會社合併 大

正十五年五月 秋田瓦斯株式會社

昭和二年九月 秋田木材株式會社代電氣部讓受

- 昭和二年九月 古河鐵業株式會社自家用電氣工作物同上
- 三年四月 阿仁川電氣株式會社讓受
- 三年五月 大日本鐵業株式會社電氣事業同上
- 四年十一月 米代川水電株式會社合併
- △發電 水力二、六九七K 火力一、六五七K
- △電壓 六、〇〇〇—三、〇〇〇—二、〇〇〇—一、〇〇〇—三、〇〇〇—一、〇〇〇—一、〇〇〇—一、〇〇〇
- △電線 互長一、八三三・四哩 延長五、六〇三・三哩
- △周波 五〇—六〇
- △供給電燈數 二四七、二九三個 總燭數三、六五八・五燭
- △供給電力數 五、〇四〇馬力(特殊)三、六六四K

船川電氣株式會社

秋田縣南秋田郡船川港町 電話四

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 一七〇、〇〇〇圓
- △積立 一九、九〇〇圓
- △借入 一一〇、〇〇〇圓
- △決算 四月 十月 (昭和四年下半年)
- △開業 大正六年六月
- △合併 北浦電氣株式會社 大正七年三月
- △受電 電力一〇〇K(北海道電燈ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇A 供給二〇〇—一〇〇V
- △電線 互長一〇三哩 延長二一〇三哩
- △周波 五〇
- 社長 菊地 秀吉 常 務 中川 重春
- 取締役 鈴木徳之助 武内 良吉

電燈、力、鐵

秋田縣 ○船川 ○南鹿 ○仁賀保 ○秋田電軌 ○小坂

南鹿電氣株式會社

秋田縣鹿角郡宮川村宮號字小山五二ノ二 支店 鹿角郡曙村長井田

- 監査役 戸島藤治郎 相澤治一郎
- 營業主任 淺水 榮藏
- △供給電燈數 一、五三九個 總燭數 一七、三二燭
- △供給電力數 一七八・六七馬力
- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △拂込 一五、〇〇〇圓
- △借入 一七、六〇〇圓
- △積立 二、一五〇圓
- △決算 三月 九月
- △開業 大正十一年九月
- △受電 電力三〇K(三菱鐵業會社ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長三哩八 延長四六哩一
- △周波 五〇
- 社長 渡部 繁雄 取締役 阿部 貞吉
- 取締役 阿部 清治 根本 一二 阿部 幸藏
- 監査役 佐藤鐵太郎 阿部喜太郎 阿部 徹郎
- 阿部鐵太郎 佐藤富治 主任技術者 阿部貞一
- △供給電燈數 一、〇三五個 總燭數二、五四六燭

仁賀保四ヶ町電氣組合

秋田縣由利郡平澤町役場内

- △資本 八、〇〇〇圓(事業費)
- △開業 大正七年十一月(舊金浦町外一町二ヶ村 電氣組合改稱)
- △發電 水力一〇K 豫備火力四七K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
- △電線 互長三哩二 延長四哩九 周波 五〇

秋田電氣軌道株式會社

秋田市新大工町一〇 電話五四三

- △資本 二〇五、〇〇〇圓
- △拂込 八五、〇〇〇圓
- △積立 二、一五〇圓
- △開業 明治二十一年
- △受電 電力二〇K(北海道電燈ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 電線二〇〇V
- △電線 互長延長共、三哩三 周波 五〇
- 社長 小泉 二郎 常 務 前橋 俊一
- 取締役 千速 賢正 新庄 直知
- 監査役 林 甚之丞 松田長三郎 佐藤 亮象
- 營業部長 堀江 國彦 主任技術者 佐藤左内
- △車輛數 六臺
- △乘車賃金 全線四區二〇錢 一哩當り六錢強

小坂鐵道株式會社

秋田縣鹿角郡小坂町 電話四八

- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 五〇〇、〇〇〇圓
- △積立 一五、三三〇圓
- △收入 二一九、七五一圓
- △支出 二〇八、八六圓
- △利益 三八、八七三圓
- △決算 三月 九月
- △開業 明治四十二年五月(電化)昭和三年一月
- △受電 電力二〇K
- 社長 藤出徳次郎 常務取締役 日吉 平吉

秋田縣

山形縣

秋田縣 雄勝鐵道
取締役 白石慶太郎
監査役 吉田 信治

雄勝鐵道株式會社

資本 六〇〇、〇〇〇圓
拂込 三〇八、六七五圓

山形縣

山形電氣株式會社

山形市横町二〇五
電話一七、五六五・一〇六六
資本 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓

鶴岡水力電氣株式會社

鶴岡市一日市町甲四
電話五〇、六二四
資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓

一八八

社長 塚田 正一
取締役 濱村勘太郎
理事 鈴木 清助

福島電燈株式會社米澤支店

支店長心得 笠原 清
主任技術者 寺本 榮藏

鳥海電力株式會社

山形縣飽海郡酒田町本町五ノ三一
資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓

電燈、力、鐵

兩羽電氣株式會社

山形縣北村郡大石町大石三三八
電話五五
資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓

上山電氣株式會社

山形縣南村郡上山町十日町
電話一三六
資本 三〇〇、〇〇〇圓

飽海電氣株式會社

山形縣飽海郡飽岡村大字小松字荒駒場一四ノ四
資本 三〇〇、〇〇〇圓

山形縣 ○置賜 ○釜淵 ○飽海 ○肘折 ○三山

△受電 電力300K(兩羽電氣ヨリ)
△電壓 最大3,000V 供給1,000-2,000V
△電線 延長七哩六分 延長一哩九分

置賜電燈株式會社

△資本 二〇〇,〇〇〇圓 △拂込 50,000圓
△開業 昭和二年二月
△發電 水力5K △周波 50

釜淵電氣株式會社

△資本 一〇〇,〇〇〇圓 △拂込 50,000圓
△借入 四三,六〇〇圓 △決算 五月

一九〇

△開業 大正十二年
△發電 水力500K △周波 60
△電壓 最大3,000V 供給1,000-2,000V

飽海電燈部

△資本 五〇,〇〇〇圓 △收入 三五,七六三圓
△積立 九〇,〇〇〇圓 △支出 三〇,六三九圓

肘折電氣株式會社

△資本 三〇,〇〇〇圓 △拂込 九,三〇〇圓

一九〇

△積立 七〇八圓 △配當 五分
△收入 五、四五三圓 △支出 四、七九五圓

三山電氣鐵道株式會社

△資本 九〇〇,〇〇〇圓 △拂込 70,000圓
△積立 二、五〇〇圓 △借入 三六、二七圓

東置賜郡總町村組合

△軌道經過地 羽前高松驛—白岩—羽前宮内—海
味—西海味—間津
△電車線路 延長七哩一分
△電車賃金 羽前高松間澤間三六錢

東田川郡藤島町外二十七個町村電氣事業組合

△資本 一、〇四六、六六九圓(昭和四年十二月末)
△收入 三七八、一九六圓

電燈、力、鐵

山形縣 ○東置賜

酒田町營電氣部

△資本 九三〇,〇〇〇圓(固定)
△開業 明治四十一年十一月 △周波 60

長井町電氣部

△資本 八三、五〇〇圓
△開業 大正三年十一月
△受電 電力300K(山形電氣ヨリ)

庄内電氣株式會社

△資本 六〇〇,〇〇〇圓 △拂込 150,000圓
△設立 大正十五年六月(未開業)

庄内電氣鐵道株式會社

△資本 六〇〇,〇〇〇圓 △決算 三月 九月
△拂込 二一〇,〇〇〇圓

高島鐵道株式會社

△資本 五、五五〇,〇〇〇圓 △拂込 圓
一九一

△設立 昭和四年八月
△受電 電力五K
社長 新野彌文治
△軌道 自東置賜郡榎白村福澤至同郡二井宿村高如

福島縣

東部電力株式會社

本社 東京市丸の内二ノ六
電話九ノ内四七六三・四七六四
支店 福島縣郡山市電話五〇・五一・二七二
支店 茨城縣水戸市市北三ノ九
電話四・六・七四〇

△資本 三〇、〇〇〇、〇〇〇圓
△拂込 二二、九七七、五〇〇圓
△社債 一四、〇〇〇、〇〇〇圓
△積立 一、二六八、三五〇圓
△收入 二、八四六、六九七圓
△支出 一、六八一、五三五圓
△利益 一、一六五、一六二圓
△開業 明治三十二年六月
△合併會社 茨城電力、川前電氣、四倉電氣
△發電 水力六、六七七、內燃力五〇〇K
△受電 電力一、五〇〇K(日立電力外二社ヨリ)
△電壓 供給三、〇〇〇—五、〇〇〇—一〇〇—一〇〇V
△電線 最大五、〇〇〇V △周波 五〇—六〇
△電線 延長六、七四七 互長一、二四哩
社長 橋本萬之介 副社長 前島 平
常務 西山龜太郎 丸山德三郎
取締役 伊原五郎兵衛 穴水 熊雄
監査役 加納友之介 白井博之 七島 德太郎

主任技術者 永井 就一 支配人 内田百合正
△供給電燈數 總燈數三六〇、七二七個
十燭換算 六二三、三〇個
△供給電力數 馬力總數二七、八五五馬力
營業所 福島縣(平) 石城郡平町(電話七五・一六三)(小野新町) 同田村郡小野新町(電話三一)(四倉) 同石城郡四倉町(電話六番)
茨城縣(高萩) 茨城縣多賀郡松原町高萩(電話七)(太田) 同久慈郡太田町(電話一一六)(淡) 同那珂郡淡町(電話四九)(笠間) 同西茨城郡笠間町(電話一六)(下妻) 同眞壁郡下妻町(電話一七)(結城) 同結城郡結城町(電話一一七)

同社郡山支店

支店長 藤田平重郎
同次長兼營業課長 渡邊 秀治
工務課長 橋本 晋一 會計課長 中島 正雄
△郡山支店管轄 電燈供給數 一三八、六二三個
同總燭數 二、四九九、一一七燭
供給馬力數 一〇、九〇一馬力 一〇、三五三、五K

福島電燈株式會社

福島市置賜町七〇 電話長一六(外四)
△資本 一一、九三〇、〇〇〇圓 △配當 五分
△拂込 一一、六二一、二五〇圓
△社債 七、五〇〇、〇〇〇圓
△積立 三、〇〇〇、五三五圓(任拂手形共)
△收入 一、一三〇、七六二圓
△支出 一、五九六、三〇〇圓(內瓦斯業二、四七圓)

植田水力電氣株式會社

福島縣石城郡植田町植田字本町二二 電話三四・一二二

△資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 三〇、七五圓
△拂込 一一、五〇〇、〇〇〇圓 △支出 一六、三六圓
△社債 一一、五〇〇、〇〇〇圓 △利益 七、四三圓
△積立 一、二八〇、〇〇〇圓 △配當 八分
△開業 大正八年九月 △決算 六月 十二月
△合併 植田電燈、植田電氣工業、菊多電氣工業
△發電 四時川電氣株式會社
水力六、〇〇〇K △周波 六〇
△電壓 最大五、〇〇〇V 供給一〇〇—一〇〇V
△電線 延長三、三哩八 互長一、四哩八
社長 金成 通 取締役 安島重三郎
取締役 白井 博之 高岡唯一郎 小林 藏次
監査役 古川 傳一 根本祐太郎
主任技術者 成清 末吉
△供給電燈數 一一、六二〇個 總燭數八、四四二燭
△供給電力數 四二二馬力

二本松電氣株式會社

福島縣安達郡二本松町字東池ノ入五拾四番地ノ壹 電話一五〇
△資本 三、九六〇、〇〇〇圓 △收入 二四九、六九圓
△拂込 二、四五五、〇〇〇圓 △支出 一六六、八三圓
△借入 一、六〇〇、〇〇〇圓

電燈、力、鐵

福島縣 ○植田 ○二本松

△支出 一、二七六、〇九一圓(資産償却共)
△利益 三二〇、二三九圓(昭和四年十二月末)
△決算 五月 十一月
△開業 明治二十八年十一月
△合併會社 大正六年三月東北カーバイド 同六年四月福島瓦斯 同八年五月刈田水力電氣 同九年四月奥羽電氣 同九年十月東洋化學工業 同十四年十一月野州電氣 同十四年十二月米澤電氣 同十五年八月本宮電氣 同十五年十一月土湯電氣 同十五年八月本宮電氣 同十五年八月土湯電氣 同十五年八月本宮電氣 同十五年八月土湯電氣
△發電 水力三七、七五五K 火力五五〇K
△受電 湯水期夏季三、〇〇〇K 其他一、〇〇〇K
(一)今年通シテ東京電燈ヨリ受電)
△電壓 最大五、〇〇〇V 供給一〇〇—一〇〇V
△電線 延長九、四九七 互長一、三〇七哩
△周波 五〇—六〇
社長 西形吉次郎 常務 加藤 逸次
支配人 落合 高次
取締役 菊池右和司 大塚民三郎 山森佐太郎
服部宗次郎 伊原五郎兵衛 木村重三郎
松本庸之助 紺野九右衛門
監査役 鈴木 文七 水出 直衛 野口 義徳
同佐藤善右衛門 矢吹友右衛門
主任技術者兼工務部長 仁木 誠
庶務課長 奥山重次郎 調査課長 三品 吉藏
營業課長 金澤康之助 會計課長 村岡 勉
發電課長 佐藤胞治郎 集金課長 青島 貞次

線路課長 熊倉借二郎 調度課長 土田 留藏
土木課長 奥山重次郎
米澤支店 米澤市東町(電話四一・四二)笠原清
東京出張所 東京市麹町區丸ノ内報知ビル
△營業所十一ヶ所
△飯坂(信夫郡飯坂町(電話二九・六六) 齋藤謙吉
(長岡)伊達郡長岡村(電話三) 佐藤信一
(保原)同保原町(電話長一五) 佐藤宇基知
(原町)相馬郡原町(電話二七) 矢橋良雄
(中村)同中村町(電話三二) 大曲隆亮
(小高)同小高町(電話二二) 白石貞七郎
(本宮)安達郡本宮町(電話四五) 仁平昌雄
(白河)西白河郡白河町(電話長四三) 田中元治
(湯水)栃木縣那須村(電話二二) 中木正信
(茂木)同芳賀郡茂木町(電話三二) 塚原傳次郎
(楢出張所)東白河郡常盤村楢上町 星 貞常
△供給電燈及電力數
需用家數 拾燭換算 馬力數 及K數
福島縣 六、八九一 二四三、九一九 一、〇〇五
山形縣 一一、四三三 五九、九一七 一、三三三
栃木縣 一〇、五四〇 二八、六六四 一、三三〇
茨城縣 三、〇九七 八、六八七 一、〇三〇
合計 八六、九五二 三、四一、八七 三五、六七

福島縣 ○會津 ○磐城 ○川俣

△積立 一七四、二七七圓 △諸債却却、六圓
 △配當 無 (昭和四年下半年)
 △開業 明治四十年二月 △決算五月十一日
 △合併 好間水電株式會社 大正十四年四月
 廣瀨電力 仙臺電氣工業 同十五年三月
 △發電 水力二、〇〇〇K
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
 △電線 互長三、五哩 延長一、〇五哩
 △周波 六〇
 社長 橋本萬之介
 取締役 小松茂藤治 松本島之助 小野 晋平
 七島德太郎 田倉 孝雄 田中 源一
 監査役 鈴木九兵衛 岡山 重喜 若麻績安治
 主任技術者 鈴木 透 渡部 武雄
 △供給電燈數 總燈數五、九三二燈(十燭光換算)
 △供給電力數 二、〇六九·五馬力
 支店及出張所
 (小名濱支店)石城郡小名濱村字上明神
 (松川出張所)信夫郡松川村

會津電力株式會社

福島縣若松市榮町一五九
 電話 一一三·二一九

△資本 二、七〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 二、七〇〇、〇〇〇圓
 △借入 二、三五〇、〇〇〇圓
 △積立 二九四、一六六圓
 △收入 五二二、七二八圓
 △支出 二九〇、六二七圓 △決算四月、十月

磐城電氣株式會社

△利益 一三三、一〇一圓(昭和四年下半年)
 △開業 明治三十五年一月
 △發電 水力四、六〇〇K(工事中六、四〇〇K)
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
 △電線 延長三、六三三哩 互長六、〇〇〇哩
 常務 石堂 恒彦
 取締役 高瀬 八郎 成田 太助 阿部和永吉
 監査役 林 清 河野善九郎
 支店長 高橋 喜一 主任技術者 渡部 三久
 事務部長 新井田博次郎 技師 相良 卯吉
 營業部長 手代木金之助 主任補 大東 重彦
 △供給電燈數 六、三三七個 總燈數一、五〇〇燭
 △供給電力數 三、七四八K
 支所 (喜多方)耶麻郡喜多方 主任吉田金八
 技師 關口至郎 (坂下)河沼郡坂下町
 主任丹藤萬吉
 出張所 (猪苗代)耶麻郡猪苗代町(大寺)同磐梯
 村(大寺)川原町(若松市川原町(鹽川)耶
 麻郡鹽川町

磐城電氣株式會社

本社 東京市本郷區駒込東片町一五七
 電話 小石川一八七八·四五二一
 支社 福島縣田村郡三春町南町(電話二二二)

△資本 二、〇五〇、〇〇〇圓 △收入 二、五三六圓
 △拂込 一、〇五〇、〇〇〇圓 △支出 八、六六三圓
 △借入 六〇〇、〇〇〇圓 △利益 四、六九圓

一九四

△積立 八〇〇、〇〇〇圓 △配當 八分
 △決算 四月 十月(昭和四年十月末)
 △開業 大正十一年四月
 △發電 水力一、七〇〇K
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
 △電線 互長三哩 △周波 五〇
 社長 棚橋寅五郎
 取締役 西脇清三郎 山口誠太郎 藤 百壽
 川又彦十郎
 監査役 山本 留次 高岸 吉藏 渡邊 平助
 主任技術者 大塚 寛治
 技師 高原 則允 森 源九郎
 △供給電燈數 二、六、六四二(十燭光換算)
 △供給電力數 九四五K

川俣電氣株式會社

福島縣伊達郡川俣町寺久俣一五

△資本 七五〇、〇〇〇圓 △拂込 三、五、〇〇〇圓
 △開業 明治四十一年十二月 △決算六月 十二月
 △發電 水力一、〇〇〇K
 △電壓 最大二、〇〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
 △電線 互長二、七哩 延長九、九哩 △周波 五〇
 社長 大内彌惣兵衛
 取締役 武藤 茂平 高橋 喜作 志那推次郎
 木村德兵衛 同僚支配人 高橋 喜作
 監査役 安齋藤三郎 五十嵐爲吉

主任技術者 渡藤精右衛門
 △供給電燈數 一三、二六二個
 △供給電力數 二五九馬力

母畑水電株式會社

福島縣岩瀬郡須賀川町

△資本 七〇〇、〇〇〇圓 △拂込 六、〇〇〇圓
 △借入 二八〇、〇〇〇圓 △積立 四、〇〇〇圓
 △開業 大正九年七月 △決算 三月 九月
 △合併及買取會社 東白川、後山、山川、三電氣
 會社

△發電 水力二、二K
 △電壓 最大二、四〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
 △電線 互長一、五哩 延長三、七哩 △周波 六〇
 社長 三浦 藤八 專務 金子 常八
 取締役 諸岡 銀作 遠藤 忠太 大橋 常重
 監査役 關根 萬吉 渡邊松太郎
 主任技術者 宗田 利助 大橋 貞吉
 發電所主任 佐久間榮一
 △供給電燈數 一〇、五四五個 總燈數 九、五三三燭
 △供給電力數 一一五·五馬力
 外八六K須賀川電氣部二二〇

板谷電氣株式會社

福島縣伊達郡伏黒村小幡

△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 四〇、〇〇〇圓
 △開業 大正十三年五月(板谷水電合資會社大正
 十五年九月讓受)

電燈、力、鐵

福島縣 ○母畑 ○板谷 ○田島 ○請戸川 ○桑折

△發電 水力一、八K △周波 五〇
 △受電 電力三、〇K(福島電燈ヨリ)
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
 △電線 互長二哩九 延長三哩三
 社長 金子 與左
 取締役 渡邊 要助 中村新太郎
 監査役 金子 金六 佐川 茂男 金子堅太郎
 主任技術者 古田松次郎
 △供給電燈數 七二七燈 總燈數 一〇、一八五燭
 △供給電力數 二馬力

田島水力電氣株式會社

福島縣南會津郡田島町大字田島
 甲三千九百廿一番地

△資本 三〇〇、〇〇〇圓 △收入 二九、〇八二圓
 △拂込 二五五、〇〇〇圓 △支出 一五、九二〇圓
 △積立 二五、七〇五圓 △利益 一三、一六二圓
 △配當 九分 (昭和四年下半年)
 △決算 六月 十二月 △開業 大正五年八月
 △發電 水力一、〇〇〇K △周波 五〇
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
 △電線 延長三、三哩 互長九、七哩
 社長 渡部 又八 專務 渡邊 貞助
 常務 渡邊 新
 取締役 渡部 善三 猪股 角平 猪股利喜造
 監査役 佐藤 量平 渡邊 平治
 主任技術者 遠藤運四郎 支配人 梅宮金三郎
 △供給電燈數 八、二六七個(十燭光換算)九〇七個
 △供給電力數 一三四馬力

請戸川水力電氣株式會社

福島市大字福島字榮町一七電話七三三番

△資本 二五〇、〇〇〇圓 △拂込 二、五〇、〇〇〇圓
 △決算 五月 十一月 △開業 大正九年八月
 △發電 水力五、〇K
 △受電 電力五、〇K(福島電燈ヨリ)
 △電壓 最大二、〇〇〇V 供給二〇〇V
 △電線 延長三哩 互長三哩三
 △周波 五〇
 社長 湯川 廣 專務 大内 倉吉
 常務 吉田虎之助
 取締役 佐藤慶次郎 馬場 房時 寺澤 元良
 監査役 寺澤 元良 主任技術者 石井 定二
 △供給電燈數 六、〇〇〇個
 △供給電力數 七〇馬力
 出張所 相馬郡小高町字雷四一

桑折電氣株式會社

福島縣伊達郡桑折町字北町三八電話一九番

△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一、六、〇〇〇圓
 △開業 大正十一年一月 △決算 五月 十一月
 △發電 水力七、〇K
 △電壓 最大三、〇〇〇V 需用家二〇〇
 △電線 式哩 △周波 五〇
 社長 大沼平兵衛 專務 角田 喜藏
 取締役 近藤 周吉 吉田 弘 角田勘左衛門
 監査役 渡邊 儀八 武田熊太郎 早田傳之助

一九五

福島縣 ○御藏入
 總務兼支配人 伊藤善兵衛
 主任技術者 水野 均
 △供給電燈數 二、九三〇個
 △供給電力數 二五馬力

御藏入電氣株式會社

福島縣大沼郡川口村大字川口六五四
 △資本 二〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 一八七、五〇〇圓
 △積立 六、三〇〇圓
 △借入 二六、九七二圓
 △決算 三月 九月
 △開業 大正十一年十一月
 △發電 水力五K
 △電壓 最大三、三〇〇V 供給100-100V
 △電線 延長四、六哩 延長三、〇哩
 △周波 六〇
 社長 佐久間寅之助 常務 長谷川源太郎
 取締役 青柳五郎 長谷川三四郎 長谷川謙重郎
 長谷川佐重 山内善太郎
 監査役 星 惣十郎 星 博二 若林 善二
 五十島善次 押部 孝哉
 主任技術者 柳沼 春立 庶務主任 石井常平
 △供給電燈數 二、一七六個
 △供給電力數 二七、四一五馬力

○安達 ○移川 ○吾妻 ○竹貫

安達電氣株式會社

福島縣安達郡旭村百目木字町八六
 △資本 二〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 一〇〇、〇〇〇圓
 △積立 三、五五〇圓
 △借入 三、五五〇圓
 △利益 二、四三八圓
 △配當 五分
 △開業 大正十三年 六月 十二月
 △受電 電力七K(二本松電氣ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V 供給200-100V
 △電線 延長四、三六八米 延長三、四八六米
 社長 根本清左衛門 專務 木口庄太郎
 常務 渡邊 竹藏 取締役 渡邊直之介
 取締役 齊藤吉兵衛 菅野善次郎 佐久間善次
 監査役 伊藤武壽 船野孫右衛門 菊地 文現
 渡邊 丑吉 主任技術者 石川 正隆
 營業課長兼技術部主任 安齋 儀藏
 △供給電燈數 五、四六個
 △供給電力數 三五馬力
 △總燭數 五四、一八〇燭

移川水電株式會社

福島市大字福島字宮町七電話一〇二二番
 △資本 二〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 100,000圓
 △開業 大正十二年十一月
 △發電 水力五〇K
 △供給電力數 (川俣電氣株式會社ノミニ供給ス)
 社長 氏家 清 專務 佐久間喜助
 取締役 山田 六郎 青田憲次郎 和田 富治

一九六

吾妻電燈株式會社

福島縣耶麻郡吾妻村蕨榮
 監査役 三輪 壽治 池田嘉彦
 △資本 一五〇、〇〇〇圓
 △拂込 八四、七五〇圓
 △開業 大正七年八月
 △受電 電力三K(日本硫黃會社ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V 供給100-100V
 △電線 延長二、七哩八 延長三、三哩九
 △周波 六〇
 代表取締役 渡邊丑五郎
 取締役 山田 末吉 山田 兵一 渡邊恒次郎
 鈴木 繁吉 山田 彰
 監査役 薄 安次 西村 寅藏 鈴木 泰市
 佐々木篤行
 △供給電燈數 九七八燈 總燭數一四、〇六二燭
 △供給電力數 五一馬力三

竹貫水力電氣株式會社

福島縣東白川郡竹貫村大字竹貫二六
 △資本 一五〇、〇〇〇圓
 △拂込 一三二、五〇〇圓
 △決算 六月 十二月
 △開業 大正七年十二月
 △發電 水力五K
 △電壓 最大二、三〇〇V 供給100V
 △電線 延長五、七六哩 延長二、五〇哩
 △周波 五〇

黒谷川水力電氣株式會社
 福島縣南會津郡朝日村黒谷一五七四
 △資本 一五〇、〇〇〇圓
 △借入 八〇、〇〇〇圓
 △開業 大正十一年九月
 △發電 水力五K
 △電壓 最大三、三〇〇V 供給110-100V
 △電線 延長二、八哩 延長四哩
 社長 松浦 勇
 取締役 馬場 良悦 角田市太郎 菅家 嘉内
 吉津文次郎 新國 基 邊見 孫次
 生田日由太郎
 取締役兼支配人 川井久之助
 監査役 酒井 新 齊藤辰三郎 馬場 新吉
 主任技術者 吉津 民次
 △供給電燈數 一、五九九燈 總燭數三、二九〇燭
 △供給電力數 三〇馬力

伊南川水力電氣株式會社

福島縣南會津郡伊南村古町二番地ノ二
 △資本 一〇〇、〇〇〇圓
 △開業 大正八年十一月
 △合併 館岩水力電氣(大正十五年十一月譲受)
 △發電 水力五K(休止豫備ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V 供給100-100V
 △電線 延長三哩 延長三哩
 社長 馬場太郎右衛門 常務 河原田小作
 取締役 大宅 宗六 佐野 庄吉 馬場定五郎
 星與惣左衛門 酒井惣兵衛 鹽田作次
 邊見 孫次 星 長次
 監査役 河原田新次 山内庄次郎 仲丸治右衛門
 星 喜三太 支配人 藤森 三平
 主任技術者 佐藤 啓助
 △供給電燈數 三、九一六個 總燭數三〇、四八燭
 △供給電力數 二四馬力

玉川水力電氣株式會社

福島縣大沼郡昭和村大字下中津川
 △資本 一〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 四九、七八〇圓
 △借入 三三、七八七圓
 △決算 一回九月
 △開業 大正十二年一月
 △發電 水力三K
 △電線 延長四哩三 延長三哩五

久慈川水力電氣株式會社

福島縣東白川郡棚倉町字棚倉字城路八七
 △資本 六〇、〇〇〇圓
 △開業 大正十一年十二月
 △發電 水力五K 電力10K(福電ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
 △電線 延長二哩四 延長三哩九
 社長 水野谷八郎 專務 高橋伸右衛門
 取締役 高橋 信成 綠川龜太郎 岸波彌兵衛
 監査役 石澤 寛一 和知作太郎
 主任技術者 山口 一夫
 △供給電燈數 六五〇個 總燭數一〇、四〇〇燭
 △供給電力數 六馬力

檜枝岐水力電氣株式會社

福島縣南會津郡檜枝岐村六百三拾八番地
 △資本 二〇、〇〇〇圓
 △拂込 一一、〇〇〇圓
 △開業 大正十一年九月
 △發電 水力三K
 △電線 延長四哩三 延長三哩五

電燈、力、鐵

福島縣 ○黒谷川 ○伊南川 ○玉川 ○久慈川 ○檜枝岐

福島縣 ○須賀川町

△積立 二〇〇圓 △利益 九七圓
△開業 大正十一年六月(昭和四年八月末)
△發電 水力四〇〇K △決算 二月 八月
△電壓 二〇V △電線 延長五長共三哩三
△周波 六〇

須賀川町電氣部

福島縣須賀川町字荒町坂一八
△資本 四一五、六七〇圓
△開業 明治四十五年一月
△受電 電力三〇〇K(母畑水電ヨリ)
△發電 電力二〇〇K(東部電力ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V
△電線 延長四哩五 △周波 六〇
町長 大沼 正一 常務委員 矢部源次郎
主任技術者 高橋 英二
△供給電燈數 一九、二七個 總燭數五、八八七燭
△供給電力數 七五六馬力

福島電氣鐵道株式會社

福島市上町五〇 電話五〇四番
△資本 一、八六〇、〇〇〇圓

福島 ○八田 ○荒川

△拂込 一、一六〇、〇〇〇圓
△借入 一、一五〇、〇〇〇圓 △開業 大正五年五月
△積立 四〇〇、〇三八圓 △決算 五月 十一月
△收入 三六六、六一三圓
△支出 二八八、一七三圓
△配當 優先年九分 普通年二分
△利益 七八、四四〇圓(昭和四年十一月末決算)
△合併會社 昭和二年九月 飯坂電車株式會社
△受電 電力九〇K(福島電燈ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 電車線六〇〇V
△周波 六〇 △電線 延長三哩三

八田電燈所

福島縣河沼郡日橋村大字八田
△資本(固定) 一、〇〇〇圓
社長 日下金兵衛 專務 佐伯 宗義
取締役 渡邊 要助 金子 與左 西形吉次郎
石原正太郎 加藤 逸次 高岡唯一郎
佐藤 利助 菅野善三衛 林 甚之丞
監査役 角田 喜藏 石田 誠司 風間 力衛
阿部和永吉
主任技術者 下田 與吉
△軌道經過地 福島市 飯坂温泉間 福島市 省
線伊達驛 飯坂 保原 梁川 掛田
△電車線路 延長二、八哩
△車輛數 客車(電動キギ一車)一三臺 電動單車
五臺 電動貨車一臺 貨車二〇臺 附屬客車六臺
△乘車賃一區四錢五厘 一哩當り四錢五錢

一九八

△開業 大正十五年八月
△受電 電力三〇〇K(東京電燈ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇V
△電線 延長二哩一 五長七哩六
△周波 六〇
代表者 八田 宗吉 主任技術者 久保 憲一
△供給電燈數 總燭數四五四個 總燭數六、三三燭
△供給電力數 三馬力

荒川電力株式會社

本社 東京市京橋區北橋町一八
(千代田ビル)電話京橋三八六六
△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二、〇〇〇圓
△設立 昭和三年六月(未開業)決算 五月十一月
△合併 信夫電氣化學工業株式會社(水利使用設
可會社)ト合併手續中
△發電 水力二、八七五K
第一期工事 起工準備中 鹽ノ川發電所福島縣
信夫郡土湯村
第二期工事(第三期 第四期 第五期工事略)
荒川發電所 福島縣信夫郡土湯村
社長 田子 健吉
取締役 奥山 畑司 吾妻 六郎
監査役 佐藤庄太郎 富田 謙
△豫定 第一期工事中二、〇〇〇Kト福島電燈會
社ニ其他ト東京電燈ニ供給契約

日橋水電株式會社

福島縣河沼郡日橋村廣田二六五
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
△未開業 大正十二年十二月(設立)
社長 三田 四郎
取締役 岡野辰次郎 鈴木 隆晴 金子 徳松
伴野信太郎
監査役 伴野 祐八 坂内 佐吉 三浦 清記

新田川電氣株式會社

福島縣伊達郡川俣町字寺久保一一五
△資本 七五〇、〇〇〇圓
△拂込 一八七、五〇〇圓
△設立 昭和四年六月(未開業)
社長 大内彌惣兵衛
取締役 武藤 茂平 大内專八 木村徳兵衛
氏家文治郎 高橋 喜作 忽那推次郎
監査役 安齊藤三郎 五十嵐房吉
主任技術者 遠藤精左衛門 書記長 渡邊兼助

平電力株式會社

福島縣石城郡平町田町六〇
△資本 一、一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三三、〇〇〇圓
△發電 水力四、〇〇〇K
△設立 大正十三年六月(未開業)昭和五年一月小
玉川水電平電氣會社合併改稱

郡山湯本電鐵株式會社

福島縣郡山市燧田七一
△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一〇〇、〇〇〇圓
△設立 昭和四年一月(未開業)
取締役 柳沼彌右衛門 中島 慎 大弓 倫助
津野 喜七 岡部文四郎 川田 正智
森岡喜一郎 北島 正雄 星 十郎
監査役 古川清左衛門 岡部文治 矢部 多門
△軌道 郡山市湯本町間二六哩六〇
有限一ノ木信用利用組合 福島縣郡山郡
責任 一ノ木村
△工事費 七、〇〇九圓 △設立 大正十四年十二月
△發電 水力七、五七K
△電壓 最大三、〇〇〇V
代表者 三浦勘解由 △組員 一二七名

電燈、力、鐵

福島縣 ○日橋 ○新田川 ○平 ○郡山湯本 ○一ノ木

宮城縣

仙臺市電氣部

宮城縣仙臺市表小路一〇番地 電話二〇二二・二三〇三・三三〇八・三三〇九

宮城縣 〇仙臺市 〇宮城縣 〇東北送電

倉庫保長 本田 鶴吉
△供給電燈數 一七、三三三個 總燭數 四、四四四、五五五燭
△供給馬力數 五、一六七馬力七二二

宮城縣電氣事業所 電話三三〇〇・三三〇九

△借入 二五、二九八、三〇〇圓(縣債)
△收入 一、七五七、五〇一圓
△支出 七五八、九五四圓
△利益 九九八、五四七圓

宮城縣 〇松島電車 〇角田軌道

△電壓 (供給) 1100V-100-100V
△電線 亘長送電線路五三軒 配電線路四、四四八軒
代表者宮城縣知事 湯澤三千男

東北送電株式會社

宮城縣仙臺市北町通一〇電話四三三番
△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 七〇〇、〇〇〇圓
△積立 二一、五〇〇圓 △配當 年八分

松島電車株式會社

宮城縣宮城郡松島町初原(東北本線松島驛前)
△資本 五〇〇、〇〇〇圓
△拂込 一八〇、〇〇〇圓 △積立 一、五〇〇圓

角田軌道株式會社

宮城縣伊具郡角田町
△資本 六六、〇〇〇圓 △拂込 六六、〇〇〇圓
△決算 六月 十二月

秋保電氣軌道株式會社

仙臺市長町字大道西九
△資本 八〇〇、〇〇〇圓 △收入 五、二六三圓
△拂込 五二六、七五〇圓

△電線 亘長八哩八、延長三哩三
△電壓 最大三、三〇〇V 電車線二、〇〇〇V
△電線 亘長八哩八、延長三哩三

宮城縣

仙臺市電氣部

△資本 五、六二五、六〇〇圓
△市債 二、五九七、七三六圓
△積立 一、三〇〇、二二〇圓

△電線 亘長三哩 延長三哩 △周波 六〇
△電線 亘長二哩七哩 延長八哩三哩
(昭和四年十二月末現在)

宮城電氣鐵道株式會社

仙臺市裏五番丁一九電話一五〇一(外二)
△資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 四七、六〇〇圓
△拂込 三、九九一、二二五圓

電燈、力、鐵

〇宮城電鐵 〇秋保電軌 〇松島電車 〇角田軌道

宮城縣 ○本砂金
社長 相澤 春治
取締役 高山爲三郎 監査役 平塚 誠一
△軌道經過地 大河原町ヨリ金山町間
△電車線路 亘長三哩五

有本砂金電氣利用組合 宮城縣柴田郡川崎村
△工事費 七、四四〇圓
△發電 水力五K
△電壓 最大三〇V △組合員 八二名
△開始 大正十二年十二月
△代表者 大木源三郎
△供給電燈數 二二七個

新潟縣 ○東京發電 ○中央電氣

新 潟 縣

東京發電株式會社 (舊稱信越電力)
東京市麹町區內幸町一ノ三
電話銀座二四三二(外二)

△資本 六八、三〇〇、〇〇〇圓
△拂込 二九、七四四、一〇〇圓
△借入 七、〇八七、五〇〇圓 △配當 七分
△積立 一、〇七〇、〇〇〇圓
△收入 二、六〇二、三三二圓
△支出 六二五、三三三圓
△利益 一、九七六、九七九圓(昭和四年十二月末)
△開業 大正十三年十月 △決算 五月、十一月
△合併 中津川水電株式會社 大正八年十一月
關東水電株式會社 昭和三年十月
東北電力株式會社 同上
△發電 水力六、三三三K 増設計畫中水力一六、三〇〇K
△電壓 最大二、〇〇〇V 供給一〇〇V
△電線 延長三哩 亘長一六哩一 △周波 五〇
社長 若尾 璋八
常務 八卷 彌一 河西豐太郎 田邊 七六
取締役 藤田 謙一 中島滋太郎 水間 利雄
萩原 幸吉 太田 清藏 佐野 精一
監査役 野村 孝 神戸徳太郎 廣瀬 爲久
主任技術者 多田 耕象

中央電氣株式會社
高田市大町二丁目七六 電話二二〇二二四

△供給電燈數 一、六九四個 總燭數二、六三六燭
△供給電力數 五七、五四六K
△資本 二二、〇〇〇、〇〇〇圓
△拂込 一、二二五、〇〇〇圓
△借入 七、七〇〇、〇〇〇圓
△積立 四、二〇〇、〇〇〇圓
△收入 一、三三二、四三三圓
△支出 二、四四八、四四九圓
△配當 一、七〇〇、六四七圓
(内償却一六〇、五六四圓)
△利益 七四七、八〇二圓 △配當 年一割
△決算 五月、十一月 (昭和四年十一月末)
△開業 明治四十四年五月
△合併 大正十一年十二月 越後電氣、松本電燈
合併 同十三年十月 早川電氣株式會社買收
同十五年十一月 佐梨川水電株式會社買收
同二十年十二月 關川電力株式會社合併 同三年
十月 上田水電株式會社 同四年八月東筑
電氣株式會社 山邊電氣株式會社 同四年十一
月頸城電氣株式會社
△發電 水力四、〇七五K
△受電 電力一、〇〇〇K 志久見川電力株式會社ヨリ
△電壓 最大七、〇〇〇V 供給二〇—一〇〇V
△電線 延長七、三〇六八米 亘長三、二七、六三六米
△周波 五〇—六〇
社長 今井 五介 副社長 竹内 勝藏

專務 國友 末藏 常務取締役 瀧黒 幸市
取締役 太田黒重五郎 清水宜輝 今井 眞平
名越 重孝 池田 六齋 山本彦太郎
大塚吉太郎
監査役 岩崎徳五郎 渡部 勉 石井 祐助
小原信吉郎
支那人 小林萬三郎
高田及松本地方主任技術者 加藤政五郎
魚沼地方主任技術者 藤原政太郎
△供給電燈數 三〇九、三〇七個 總燭數六、四三、三六燭
△供給電力數 七、五〇八馬力外二七、四〇五K
高田營業所 高田市本町二丁目一
松本支社 松本市(支那人中村五一郎)
飯山出張所 長野縣下水内郡飯山町 (所長室十二郎)

縣下出張所
中頸城郡新井町 (風間忠任)
直江津町 (山下周治)
西頸城郡糸魚川町(石澤喜兵衛)
同能生町 (小島左一)
中頸城郡柿崎村 (野口幸治)
北魚沼郡(小出町谷澤藤九郎)
同新造村稻田(畑山謙太郎)
南魚沼郡六日町 (同人)

新 潟 電 力 株 式 會 社

新潟市上大川前通五番町八四
電話五二二(外五)

△資本 三七、〇〇〇、〇〇〇圓
△拂込 三〇、〇五〇、〇〇〇圓
△社債借入 一五、〇〇〇、〇〇〇圓
△積立 一、四四二、〇〇〇圓
△收入 三、五三五、〇〇〇圓
△支出 一、八九九、〇〇〇圓
△利益 一、六三六、〇〇〇圓
△開業 明治四十四年六月 △決算 五月、十一月
合併會社 高浪電化東北電化大正三年四月合併
新潟電氣(昭和五年一月八日合併)
△發電 水力 三〇、五三三K
火力 八、〇〇〇K
△受電 電力八、一〇〇K
△電壓 最大六、二〇〇V 供給 二〇—一〇〇V
△電線 亘長三、四三、四哩 延長 七、七三、四哩
△周波數 五〇
社長 松永安左衛門 副社長 白勢 景作
常務取締役 山縣 一 常任監査役 飯村俊二
取締役 田卷堅太郎 田代典三久 中野四郎太
中野 欽治 奥山 龜藏 松本 弘
藤田 簡吉 古島 安二
監査役 竹山 正男 高桑 曜一 中野忠太郎
會津 亦賢 佐野良太郎
總務部長 片山三男三

技術部長主任技術者 畑 時雄
營業部長(兼)山縣 照一 企畫部長 太田 宏一
庶務課長 樋口 八郎 主計課長 今川 幸吉
調度課長 川合 宏藏 工務課長 橋 喜八
電力課長 近藤 俊雄 電路課長 織田 政藏
電氣課長 中田 繁次 土木課長 山崎 徳義
秘書係長 伊藤 九午
新潟營業所長 瀧美 資雄
△供給電燈數 十燭換算 五五〇、〇〇〇個
△供給電力數
○出張所
中蒲原郡龜田町 清水 東洲
同郡 新津町 岡田 盛信
同郡 五泉町 佐藤金三郎
南蒲原郡加茂町 星野祐太郎
同郡 三條町 梅澤 春喜
同郡 見附町 薄田重太郎
古志郡柳井町 長谷川福太
三島郡藤野町 相澤 一郎
西蒲原郡野町 中山 善次
北蒲原郡新發田町 石田 秀松
小蒲原郡小須戸町 山田四郎平
北蒲原郡水原町 本多 英忠
福島縣高田町 佐藤柳太郎

電 燈、力、鐵

新 潟 縣 ○新 潟 ○新 潟

北越水力電氣株式會社

長岡市本町三丁目 電話特四六一

- △資本 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
- △積立 八一、九四七三圓
- △收入 一、七〇六、一八一圓
- △支出 一、二七七、一九九圓
- △利益 四二九、〇六二圓
- △決算 五月 十一月 (昭和四年十一月末)
- △開業 明治三十八年六月
- △發電 水力二、〇〇〇K
- △受電 電力二、〇〇〇K (東京電燈ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇-二、二〇〇V
- △電線 延長三、七三三軒 互長一、二五三軒
- △周波 六〇
- 社長 山口誠太郎 常務 田邊 元治
- 取締役 木間 新作 大塚 益郎 山口 政治 西脇清三郎
- 監査役 田村豊太郎 小川清之輔 日黒 文平 支那人 堀 安太郎
- 主任技術者 寺澤 亮一 經理部長 堀安太郎
- 庶務課長 酒井 利助 營業課長 小松 正倫
- 會計課長 平澤 最勝 用度課長 河内孝四郎
- 電氣課長 寺澤 亮一
- △供給電燈數 總燈數 一五五、〇一一個
- 總燭數 二、七〇八、四八〇燭
- △供給電力數 特殊三、三四三馬力 一、五七六K 電熱 一、二〇八K

村上 ○志久見川

出張所

(柏崎)刈羽郡柏崎町(主任 太刀川忠三郎)(小千谷)北魚沼郡小千谷町(同 西田彦三郎)(小國)刈羽郡小國村(同 星清一)(來迎寺)三島郡來迎寺町(同 大國藤兵衛)(六日市)古志郡六日市村(同 保科守雄)(出雲崎)三島郡出雲崎町(同 大方止)

姫川電力株式會社

東京市麹町區内幸町一丁目三 電話銀座 二、四〇〇、三、五三五

- △資本 一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
- △積立 二、五〇〇、〇〇〇圓
- △開業 昭和四年
- △決算 五月 十一月
- △發電 水力二、〇〇〇K
- 社長 田邊 七六
- 取締役 河西豊太郎 村瀬 末一 生田 謙 八巻 彌一 中野四郎太 原 安三郎 松浦四郎 萩原 英雄
- 監査役 廣瀬 爲久 鈴木 秀三 楠 久接
- 主任 神谷 元吉
- △電力 特殊供給

村上水電株式會社

新潟縣岩船郡村上本町九四一 電話一〇五

- △資本 二、四〇〇、〇〇〇圓
- △積立 一、五六〇、〇〇〇圓
- △開業 昭和四年
- △決算 五月
- △發電 水力二、〇〇〇K
- △供給電力數 一、五七六K

- △收入 一九五、五〇〇圓
- △支出 三、〇〇六圓
- △利益 七一、四四四圓(昭和四年八月末)
- △開業 大正二年四月
- △決算 二月 八月
- △發電 水力二、〇〇〇K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇-二、二〇〇V
- △電線 延長三、七三三軒 互長一、二五三軒
- △周波 六〇
- 社長 佐藤 泰造 常務 佐藤 又助
- 取締役 吉田吉右衛門 横山 巖 丹吳 康平
- 監査役 佐藤茂三郎 松坂 平松 寺澤 修次
- 主任技術者 間藤 精一
- 發電所主任 伊東 孝一 齋藤東三郎
- 技術課長 深井 留吉 營業課長 百武 五郎
- 會計課長 本間鐵次郎 庶務課長 須貝 光
- △出張所 岩船郡關谷村大字下關 主任佐藤修次
- △供給電燈數 四〇、五九二個 總燭數五、〇三三燭
- △供給電力數 八八〇、七五馬力
- △供給電熱數 二九、三K

志久見川電力株式會社

新潟縣中魚沼郡十日町 電話二六二

- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △積立 五九、〇〇〇圓
- △收入 二、七〇六、一八一圓
- △支出 一、二七七、一九九圓
- △利益 四二九、〇六二圓
- △決算 四月 十月
- △開業 昭和三年一月
- △發電 水力二、〇〇〇K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇-二、二〇〇V
- △電線 延長三、七三三軒 互長一、二五三軒
- △周波 六〇
- 社長 島田 直次
- 專務 大久保清松 飯田 茂勝

越後電力株式會社

大阪市東區高麗橋四丁目三五番地 (第一ビルディング三階)電話長本一三三六

- 取締役 山口 米藏 關口 詳次 小島 正尚
- 伊藤 泰藏
- 監査役 本山嘉久治 武田 良文 根津 万吉 宮内常太郎
- 主任技術者 伊藤龍雄 庶務會計課長小池大尋
- △電力 特殊供給
- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △積立 五五〇、〇〇〇圓
- △收入 六九、六三三圓
- △支出 六、三三二圓
- △利益 三、七二二圓
- △決算 五月 十一月
- △開業 大正十四年一月
- △發電 水力三、〇〇〇K 外二工事中並計畫中ノモノ 約一〇、〇〇〇K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇-二、二〇〇V
- △電線 延長三、七三三軒 互長一、二五三軒
- △周波 六〇
- 社長 川北 榮夫 專務 志水三津男
- 取締役 矢村 克 高桑 確一
- 監査役 上久保新七 主任技術者 志水三津男
- △供給電燈數 一、四三一一個 總燭數三、三三三燭
- △供給電力數 三、〇〇〇K
- 出張所 西頸城郡西海村栗倉 主任 鈴木末吉

魚沼水力電氣株式會社

新潟縣中魚沼十日町寅甲一〇番地ノ一 電話一〇七

- △資本 六〇〇、〇〇〇圓
- △積立 三〇〇、〇〇〇圓
- △收入 一三、〇七二圓
- △支出 九、九二二圓
- △利益 二、一四九圓
- △決算 五月 十一月
- △開業 明治四十五年七月
- △發電 水力二、〇〇〇K
- △受電 電力二、〇〇〇K (志久見川電力ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇-二、二〇〇V
- △電線 延長三、七三三軒 互長一、二五三軒
- △周波 六〇
- 社長 大久保清松
- 取締役 岡田 正平 田口 米藏 關口 詳次 根津 万吉
- 監査役 宮内常太郎 田口泰永 中林三男三郎
- 支那人兼主任技術者 後藤 唯七
- △供給電燈數 二〇、六四四個 燭光數六、四四七燭
- △供給電力數 三五九馬力

保倉川電氣株式會社

新潟縣東頸城郡大島村大字葛蒲 電話下保倉三〇番

- △資本 五〇〇、〇〇〇圓
- △積立 五〇〇、〇〇〇圓
- △收入 五、〇〇〇圓
- △支出 一、九四四圓
- △利益 三、〇五五圓
- △決算 五月、十一月
- △開業 大正九年九月
- △發電 水力六K
- △周波 六〇

佐渡電燈株式會社

新潟縣佐渡郡河原町大字本町二五 電話二二二

- △受電 電力二、〇〇〇K (中央電氣會社ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇-二、二〇〇V
- △電線 延長三、七三三軒 互長一、二五三軒
- △周波 六〇
- 社長 飯田 義勝 常務 缺
- 取締役 本山嘉久治 本山 正雄 村松 四郎 澁澤 珍平 小島 正尚 武田德三郎
- 監査役 服部 正健 上野兼三郎 吉野 榮藏
- 主任技術者 本山 源藏
- △供給電燈數 一五、〇二四個 總燭數一、七、六三三燭
- △供給電力數 四八馬力
- △出張所 東頸城郡下保倉村浦川原驛前
- △電線 延長三、七三三軒 互長一、二五三軒
- △周波 六〇
- 社長 渡邊金左衛門
- 取締役 後藤五郎右衛門 榎野爲吉 中山德太郎 酒井 直一 名畑 淺次 本間藤太郎 本間慶太郎 支那人 矢田 龜藏
- 監査役 北條 欽 林 儀太郎 松岡 雪操
- 主任技術者 林 與一
- △供給電燈數 一一、四〇九個 總燭數二、三三三燭
- △供給電力數 一一四馬力

電燈、力、鐵

○越後 ○魚沼 ○保倉川 ○佐渡

新瀧縣 ○松之山

松之山水力電氣株式會社
新瀧縣東頸城郡松之山村浦田口
電話松之山八
出張所 中魚沼郡吉田村淺川原

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓
- △借入 二一、〇〇〇圓
- △積立 一九、九五一圓
- △開業 大正八年十一月
- △決算 九月 三月
- △發電 水力五K
- △受電 電力二〇K(東京電燈會社ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △周波 五〇
- 社長 村山 眞雄
- 取締役 瀧波 政平 和久井 興平
齋木 重太郎 高橋 篤
- 監査役 久保田 倉作 柳 良吉
- 支配人 村山 眞四郎
- △供給電燈數 五、七三八燈
- △供給電力數 六一馬力

白瀬水電株式會社

新瀧縣佐渡郡加茂村

- △資本 一八〇、〇〇〇圓
- △借入 一五七、五〇〇圓
- △積立 八、六八〇圓
- △配當 四分八厘
- △決算 五月 十一月
- △發電 水力五K
- △收入 一、五五七圓
- △支出 七、一三三圓
- △利益 五、四三四圓
- △開業 大正十一年十一月末
- △電線 互長三哩七 延長三哩一
- △周波 五〇
- 社長 田邊 政次
- 取締役 外内 幸吉 羽豆 滿平 野澤 卯市
岩間 盛光 石塚 豊吉 仲野 源平
- 監査役 森川 伊八 風間 清太郎 計良 留次郎
- 主任技術者 曾山 三五郎 主事會計 萬豆 平作

前佐渡水電株式會社

新瀧縣佐渡郡赤泊村大字赤泊一六五 電話二〇

- △資本 一七〇、〇〇〇圓
- △借入 一〇、五〇〇圓
- △積立 一〇、五〇〇圓
- △配當 年四分
- △決算 四月 十月
- △開業 大正九年二月(大正八年小林電燈譲受)
- △發電 水力五K 工事中水力六K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩七 延長三哩一
- △周波 五〇
- 社長 田邊 政次
- 取締役 外内 幸吉 羽豆 滿平 野澤 卯市
岩間 盛光 石塚 豊吉 仲野 源平
- 監査役 森川 伊八 風間 清太郎 計良 留次郎
- 主任技術者 曾山 三五郎 主事會計 萬豆 平作

○白瀬 ○前佐渡 ○城内 ○東

- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩六 延長二哩三
- △周波 五〇
- 社長 竹本 忠右衛門
- 取締役 山竹 申吉 市橋 太五郎
伊藤 清右衛門 市橋 美治
古玉 宗治 白井 清太郎 三輪 梅吉
- 監査役 笠井 數馬 富樫 熊太郎 後藤 米藏
- 山下 久吉 節田 長作
- 主任技術者 富山 富吉 代務者 藤井 留吉
- △供給電燈數 二、三九四個
- △供給電力數 二九馬力 外一五K

城内水力電氣株式會社

新瀧縣南魚沼郡城内村大字上原

- △供給電燈數 三、四四七個
- △供給電力數 一五馬力
- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △借入 六〇、〇〇〇圓
- △積立 六〇、〇〇〇圓
- △開業 大正九年九月
- △決算 年一回十一月
- △發電 水力五K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩七 延長三哩七
- △周波 五〇
- 社長 南雲 浩一
- 取締役 河邊 節 久川 清一郎 南雲 茂
- 監査役 上村 四郎治 水澤 民藏 南雲 熊治郎
- 主任技術者 江口 茂一 書記 小泉 清
- △供給電燈數 總燈數二、二二六個
- △供給電力數 三八馬力

東水電株式會社

新瀧縣南魚沼郡東村大字山崎新田

- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △借入 一三、〇〇〇圓
- △積立 一、九〇〇圓
- △開業 大正十二年一月
- △決算 年一回九月
- △發電 水力一〇K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩三 延長三哩六
- △周波 五〇
- 社長 駒形 喜學
- 取締役 上村 利貞 上村 健三 上村 浦平太
佐藤 良吉 上村 靜吾 和田 梅太郎

佐渡水力電氣株式會社

新瀧縣佐渡郡兩津町大字夷 電話四五

- △資本 八〇、〇〇〇圓
- △借入 二、三〇〇圓
- △開業 大正二年三月
- △發電 水力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩 延長三哩
- △周波 五〇
- 専務 土屋 六右衛門
- 取締役 渡邊 仁平 齋藤 恒 齋藤 次兵衛
本間 金五郎 石野 頼 伊藤 四藏
- 監査役 塚本 房吉 小池 龍藏
- 主任技術者 藤浪 宇吉
- △供給電燈數 三、九六六個
- △供給電力數 四六馬力五

米山水電株式會社

新瀧縣中頸城郡上米山村

- △積立 一二、一三五圓
- △收入 二〇、八三九圓
- △利益 六、五七九圓
- △開業 大正六年十一月
- △決算 五月 十一月
- △發電 水力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩三 延長三哩四
- △周波 五〇
- 社長 雜賀 權造
- 取締役 高橋 利高 野村 與會市 小野 徳治
羽村 協輔 野村 與會市 小野 徳治
- 監査役 縣 左吉 前田 次三郎 銀林 友吉
- 支配人 藤岡 理作
- 主任技術者 藤野 春海
- △供給電燈數 三、一〇〇個
- △供給電力數 二七馬力

青海水電株式會社

新瀧縣西頸城郡青海町

- △資本 七五、〇〇〇圓
- △借入 全額
- △開業 大正九年十二月
- △決算 五月 十一月
- △發電 水力五K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩七 延長三哩七
- △周波 五〇
- 社長 小俣 伊三郎 常務 竹内 孫太郎
- 取締役 壘 五一郎 金井 晟吉 小俣 重郎
- 監査役 森山 作太郎 吉川 岩作 吉川 熊次郎
- 主任技術者 西野 龍馬
- △供給電燈數 總燈數七三〇個
- △供給電力數 總燈數三、五〇燭

電氣化學工業株式會社

本社 東京市麹町區丸ノ内郵船ビル

- △開業 大正十二年
- △決算 五月 十一月
- △發電 水力四、〇〇〇K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長四哩六 延長七哩八
- △周波 五〇
- 會長 藤原 銀次郎
- 主任技術者 衛藤 久市
- △供給電燈數 二、〇一二燈
- △供給電力數 三三、一六七燭

親不知水電株式會社

長野市大字吉田八五七

- △資本 一五、〇〇〇圓
- △借入 一、一六八圓
- △開業 大正九年十二月
- △決算 五月 十一月
- △發電 水力五K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 互長三哩七 延長三哩七
- △周波 五〇
- 取締役 横田 文五郎 三島 文治 岩崎 勇
- 監査役 中村 時雄
- 主任技術者 七澤 清助 大岩 復一郎
- △供給電燈數 二八六個
- △供給電力數 三、〇九九燭

電燈、力、鐵

○佐渡 ○青海 ○米山 ○電氣化學 ○親不知

市振電氣株式會社

新潟縣西頸城郡糸魚川町大字大町一〇八

△資本 一〇、〇〇〇圓 △拂込 七五、〇〇〇圓
△借入 六〇、〇〇〇圓 △積立 四〇〇〇圓
△收入 三、七六八圓 △支出 三、〇七〇圓
△利益 六九八圓 △配當 一割一分
(昭和四年十二月末)

△決算 年一回十二月 △開業大正十二年十一月
△發電 水力九K △周波(直流)
△電壓 最大三三〇V △周波(交流)
△電線 互長六軒一 延長三軒四

△社長 和田 俊郎 主任技術者 片桐 喜一
△事務 大原金次郎 取締役 岩崎 五郎
△監査役 正木末次郎 上野 寅吉
△供給電燈數 四一五個 總燭數五、五二六燭

吉井村電氣部

新潟縣佐渡郡吉井村

△資本 一七〇、〇〇〇圓
△開業 大正十五年一月
△發電 水力六K △周波 五〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給一〇〇—一〇〇〇V
△電線 互長六哩四 延長一三哩七
△供給電燈數 一、四八一個
△供給電力數 三一馬力五

湯澤村電氣部

新潟縣南魚沼郡湯澤村

△資本 二〇、四〇〇圓(工事費)
△開業 大正十四年八月
△受電 電力四K(東京電燈ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給一〇〇—一〇〇〇V
△電線 互長三哩九 延長六哩三 △周波 五〇
△供給電燈數 一、六〇三個
△供給電力數 五七・五馬力

西三川電氣株式會社

新潟縣佐渡郡西三川村

△資本 三〇、〇〇〇圓
△設立 大正十三年(未開業)
(舊羽茂川電氣株式會社改稱)
△發電 瓦斯力二K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給一〇〇V
△社長 藤井 豊丸
△取締役 白杵 壽八 中川 貫 氏井 壽一
△監査役 金子 利輝 小田吉太郎

蒲原鐵道株式會社

新潟縣中蒲原郡村松町

△資本 八五〇、〇〇〇圓 △借入 四〇〇、〇〇〇圓
△拂込 三一〇、〇〇〇圓 △積立 一五、一五〇圓

△收入 五三、一七八圓 △支出 三、六六四圓
△政府補助 五、七二四圓 △利益 三、五一四圓
△開業 大正十二年十二月 △決算 五月十一日
△受電 電力二〇K(新潟水力電氣ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 電車線六〇〇V
△電線 互長四哩三分 延長三哩六分 △周波 五〇

△社長 中野忠太郎 事務 茂野 誠衛
△常務 茂野 弘作
△取締役 石田 友吉 松尾 名平 淺見 鶴吉
△監査役 谷 貫一郎 永井 榮松 馬場八太郎
△主任技術者 川原 正治 運輸主任 川村 道
△庶務課長 阿部 成治 電氣長 西浦 章
△軌道經過地 五泉、菅名、村松、十全、大蒲原
△七谷、加茂
△線路 互長十三哩七分 延長十六哩一分
△未成線 村松、加茂間(一〇哩三〇〇)
△車輛 電氣機關車一輛 客車六輛、貨車七輛
△乘車賃金 五泉村松間片道十五錢

中ノ口電氣鐵道株式會社

新潟市上大川前通り五番町八四

△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二五〇、〇〇〇圓
△受電 電力六K
△設立 昭和四年六月(未開業)
△事務 奥山 龜藏
△取締役 白勢 景作 中野 孝次 山田 助作
△田代 三吉 薄田幸一郎 田中 繁太
△岡田 幸平

北海道

力札幌送電株式會社

札幌市北五條西四五ノ二 電話二七四六

△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一、三〇〇、〇〇〇圓
△借入 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △積立 一一〇、〇〇〇圓
△收入 一、四九、四〇〇圓 △利益 一、八六七圓
△支出 一、七七、二七圓 △配當 無
△決算 五月 十一月 (昭和四年下半年)
△開業 大正十四年六月
△發電 水力二、七七K 火力 七、七〇〇K

電燈、力、鐵

新潟縣 ○浦田 ○神立 北海道 ○北海道電燈 ○北海電力電氣

監査役 齋藤庫四郎 竹山 正男 會津 赤賀
佐藤政太郎
△軌道經過地 自新潟市白山浦至西蒲原郡燕町西
鄉延長二〇哩
有限浦田信用購買組合 新潟縣東頸城郡
責任 浦田 販賣利用組合 浦田村
△工事費 四〇、〇〇〇圓
△受電 電力二K(松之山水力電氣ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給一〇〇V
代表者 佐藤德二郎

有限神立購買利用組合

新潟縣南魚沼郡
神立村

△工事費 八、〇五六圓
△受電 電力一〇K
△電壓 最大三、三〇〇V △組合員 一三四名

△電壓 最大四、〇〇〇 供給三、三〇〇—一、〇〇〇—一〇〇V
△電線 互長五、九哩 延長九、五哩 △周波六〇
△社長 足立庸三
△取締役 藤藤國明 横尾 清 水島太造
△監査役 加藤藤太郎 寺田兵治
△主任技術者 鈴木一郎
△供給電力數 晝間三、三〇〇K 夜間三、三六五K
需用家 四一〇

北海道電燈株式會社

電話京橋五・七五一番
本社 東京京橋區三十四堀一丁目二富士製紙內

△資本 五五、三〇五、〇〇〇圓
△拂込 三四、三九五、〇〇〇圓
△社債 三〇、〇〇〇、〇〇〇圓
△積立 一、七一九、六〇七圓
△收入 五、〇九六、〇九九圓
△支出 二、九五七、六一三圓
△利益 二、一三八、四八六圓
△配當 一割一分 (昭和四年十一月末)
△開業 大正八年十月 △決算 五月 十一月
△合併及讓受
士別電氣(大正九年五月)美唄電氣(同年九月)北
海道電氣(同年十一月)北海電力電氣(同年四月)十
勝水力電氣(北日本電氣(大正十年三月)富良野電
氣(十年十一月)北海道電力(十二年十二月)秋田
電氣(十四年四月)夕張送電(十五年四月)秋田瓦
斯(十五年五月)大和木村電氣部(同年五月)秋田
水力電氣(十五年九月)秋田木村代電氣所(昭
和元年十二月)湧別川水力電氣(昭和三年三月)石
最上電氣(同年十月)天鹽水電(昭和三年三月)石

北海電力電氣株式會社

札幌市大通東一ノ二 電話二六四〇
東京出張所 東京市丸ノ内郵船ビル六階
電話丸ノ内一七七一

△資本 三一、一二五、〇〇〇圓
△拂込 一一、四五〇、〇〇〇圓
△借入 一一、五〇〇、〇〇〇圓 △配當 年九分
△積立 一九九、三〇〇圓
二〇九

北海道 ○函館水電

○北海道合同

△收入 二、五六六、一四二圓
 △支出 一、九〇九、七三六圓
 △利益 六五六、四〇五圓
 △決算 四月 十月 (昭和四年十月末)
 △開業 大正十五年十一月(東電北海道支店譲受)
 △合併 大正十五年十二月北海道中央電氣株式會社
 昭和二二年四月 北富士水電株式會社同 王
 子製紙札幌電氣部 同三年十月北海道電氣區域
 二村譲受) 昭和二年三月榎太ノ事業全部ヲ榎太
 電氣ニ譲渡
 △發電 水力三、二四〇K 火力六〇K
 △受電 電力九、七〇〇K(王子製紙外三社ヨリ)
 △電壓 供給三、〇〇〇—二、〇〇〇V 最大四、〇〇〇V
 △電線 延長三、六五哩 互長六哩 △周波 六〇
 社長 藤原銀次郎 專務 田中 治朗 六〇
 取締役 大橋新太郎 寺田 省齋 板谷 宮吉
 高島菊次郎 高田直屹 小笠原菊次郎
 足立 正 濱田 東稻 大瀧甚太郎
 渡藤石太郎 原 直孝 村田不二三
 後藤國明
 監査役 永橋 至剛 一柳 貞吉 田中 傳太
 渡邊直太郎
 主任技術者兼工務部長 後藤 國明
 小樽支店長 菅野修藏 札幌營業部長水島左造
 △供給電力數 三九三、〇四二個
 △供給電力數 一〇、三四一・八馬力 外二、六五五・四K
 △供給電熱數 一、六〇四・二K
 札幌營業部 札幌市大通東一ノ二
 小樽支店 小樽市富岡町一ノ二一
 俱知安出張所 虻田郡俱知安町

○北海道合同

電燈數 電動機 電力裝置 電熱
 札幌營業部 一八六、四六四、八七七、一九六七、一、七三二
 小樽支店 一九、二八五、四七六、四四三、七 二〇四・〇
 俱知安出張所 一五、三三八、三六五、二五五・〇 二七・〇
 函館水電株式會社
 北海道函館市末廣町四六
 電話七九・一〇三・二七四三・三五一七
 △資本 一三、五〇〇、〇〇〇圓 △配當 一割
 △拂込 一〇、〇三三、三二五圓
 △積立 一、六五〇、〇〇〇圓
 △收入 六六〇、六〇〇圓
 △支出 一、五七〇、六七一圓
 △利益 一、〇〇〇、八八五圓
 △決算 五月、十一月(昭和四年十一月末)
 △開業 明治三十九年十月
 △合併 大正十一年十一月 八雲電氣株式會社
 同十三年六月森水力電氣、松前水力電氣
 △發電 水力五、五〇〇K 火力二、〇〇〇K
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一、〇〇〇V
 △電線 延長一、三三哩 互長三哩五
 △周波 五〇—六〇
 取締役會長 藤原銀次郎 專務 穴水 熊雄
 取締役 高島菊次郎 山本 源太 小熊信一郎
 大川平三郎
 監査役 田中榮八郎 田中 治朗 太刀川善吉
 主任技術者 村田榮太郎 營業部長 有田義昭
 總務部長 伊藤 泰丸 主計係長 大谷 稔

二二〇

庶務係長 本間伊平治 出納係長 柳澤佐五平
 調度係長 佐藤 憲也 電燈係長 田村 芳信
 電車係長 旗野 昇
 工務兼工作係長 葛西民也 內線係長 藤浦英一
 △供給電力數 總燈數一六五、三八八個
 總燈數四、二五〇、八四三個(十燭換算)
 △供給電力數 六、九二八・五馬力
 △軌道經過地 函館市内、龜田郡湯ノ川村間
 △電車線路 互長九哩四八 延長一八哩二
 △車輛數 客車六一臺 貨車三臺
 △乘車賃金 片道四錢 往復七錢 湯ノ川線一區一錢
 △營業所
 (八雲)山越郡八雲町(所長神原梅吉(兼)茅部郡
 森町(同務各段四郎)(福島)松前郡福島村(同松
 生憲二郎)(福山)同福山町(同高田武八郎)
 北海道合同電氣株式會社
 本社 東京市京橋區世間堀一ノ二

北海道炭礦汽船株式會社支店

北海道室蘭市幸町九 電話四九(外三)

取締役 小野 連三 川島 七郎 高山 佐綱
 監査役 高山 繁治 外丸重太郎
 △供給電力數 二二、八五〇燈(十燭換算)
 △供給電力數 二〇〇馬力二五
 △資本 七〇、〇〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 四三、六七五、〇〇〇圓
 △積立 二四、〇二一、六〇〇圓 △配當 八分
 △積立 一〇、〇三六、二九九圓
 △電燈所固定 九九二、七七六圓 △開業明治十二年
 △收入 四四七、四七二圓
 △支出 三三六、七二〇圓
 △利益 一一〇、七五二圓
 △決算 五月、十一月(收支ハ昭和四年上下二期
 分電燈所分ノミヲ記載ス)
 △發電 水力五、九七K(内五、九七K日本製鋼所製鐵所專
 用) 火力二、一〇〇K
 △電壓 最大四、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一、〇〇〇V
 △電線 互長九八哩 延長三四・五哩
 △周波 五〇
 會長 男爵 團 琢磨 社長 磯村豊太郎
 常務 赤羽 克巳 高洲鐵一郎
 取締役 山田 直矢 櫻内 幸雄 倉知 鐵吉
 石黒爲次郎
 監査役 古田 慶三 石川 信 日比谷新次郎
 室蘭電燈所長 成松 彌彦
 主任技術者 井邊 一雄

電燈、力、鐵

北海道 ○北海道炭礦汽船 ○秋田稚内 ○秋田根室 ○北洋 ○瀧ノ上

秋田木材株式會社稚内電氣所

北海道室蘭市幸町九 電話四九(外三)

△供給電力數 三四、三二五個
 總燈數(十燭換算)六五、四九九燈
 △供給電力數 一、五五三馬力
 本社 東京市日本橋區本町二丁目一番地
 △資本 二七七、四四〇圓
 △開業 大正三年九月 △決算 每年十一月
 △發電 テーセル四三三K 瓦斯力六〇K
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一、〇〇〇V
 △周波 五〇
 主任技術者 松本 成壽 延長三四・二哩
 △供給電力數 五、七六一個總燈數八八、〇〇〇燭
 秋田木材株式會社根室電氣所
 北海道根室郡根室町彌生町 電話四六・三〇一
 △資本 四一三、〇六八圓
 △開業 明治四十四年十二月 △決算 十一月
 △發電 內燃力五〇〇K △周波 五〇
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一、〇〇〇V
 △電線 互長三、九九九 延長六九・九
 所長 松本 菊雄 主任技術者 瀧田 一治
 △供給電力數 一四、一〇五個 總燈數三六、七六燭

北洋電氣株式會社

本社 札幌市大通西四丁目五 營業所 北海道枝幸郡頓別村

△資本 三五〇、〇〇〇圓 △積立 五〇五圓
 △拂込 一五七、五〇〇圓 △收入 一〇、九六二圓
 △借入 二五九、五五八圓 △支出 一三、五二六圓
 △開業 大正九年十二月 △決算 五月十一月
 △發電 水力二六K △周波 五〇
 △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—一、〇〇〇V
 △電線 互長三哩 延長七〇哩
 社長 中村 誠美
 取締役 高野光三郎 中越利三郎 上田 勇
 青木鐵五郎
 監査役 太田 司 三浦源次郎 大谷 最
 支配人 中田 忠次 主任技術者 味村 茂生
 △供給電力數 二、五〇一個△總燈數 四一、二二燭
 △供給電力數 四三馬力
 瀧ノ上水力電氣株式會社
 札幌市北四條西三丁目一 電話三九九三
 △資本 三〇〇、〇〇〇圓 △收入 三一、五七三圓
 △拂込 三〇〇、〇〇〇圓 △支出 一三、六八二圓
 △積立 一〇、九〇六圓 △利益 一七、八九一圓
 △借入 六、四〇〇圓 △配當 九朱
 △開業 大正十四年十二月 (昭和四年十二月)
 △發電 水力二二K二臺 △決算 五月 十一月
 △電壓 三、五〇〇V 供給二、〇〇〇—一、〇〇〇V
 △電線 延長三六・九九 互長八・〇九

北海道 ○斜里 ○江差 ○利尻 ○日高電燈 ○日高電氣

△周波 50
社 長 山田 英三
取締役 西加 二太 金井 政男 因 光太郎
監査役 河面 七郎
主任技術者兼營業所主任 中島 秀憲
△供給電燈數 五、五〇〇燈 總燭數 1,000燭
△供給電力數 九九馬力
△出張所 (瀧ノ上)北見國紋別郡瀧ノ上村 (中島 秀憲)

斜里電氣株式會社

本社 札幌市北四條西三ノ一
營業所 斜里郡斜里村電話三八

△資本 二五〇,〇〇〇圓
△借入 一、五〇〇圓
△拂込 二五〇,〇〇〇圓
△積立 一、八四八圓
△收入 三〇,二八八圓
△支出 一、三三五圓
△利益 一八、八九三圓
△配當 一割
△決算 六月 十二月 (昭和四年十二月末)
△發電 水力二〇K
△電壓 三、三〇V 供給二〇〇—100V
△電線 延長三哩 亘長四、一六哩
△周波 50
社 長 山田 英三
取締役 金井 政男 古川 近三
監査役 中島 琢磨 主任技術者 山内 輝正
營業所主任 和知金次郎
△供給電燈數 四、〇八〇燭總燭數六九、二七四燭
△供給電力數 一六六馬力

江差電氣株式會社

北海道檜山郡江差町大字中森町一

△資本 三〇〇,〇〇〇圓
△借入 三、二七四圓
△收入 四八、二五一圓
△支出 四、三七六圓
△利益 五、八七四圓
△配當 五分
△決算 六月、十二月 (昭和四年上半年)
△發電 水力六五K
△電壓 最大二、〇〇V 供給三〇—110V
△電線 延長二、八哩 亘長三、六哩
△周波 50
社 長 山本 源太 專務 石田 達治
取締役 伊藤 泰九 有田 義昭 村田榮太郎
監査役 太刀川善吉 田中 治朗
主任技術者 小鹽 調治
△供給電燈數八、五六八個 總燭光數三三、三一五燭

利尻水力電氣株式會社

北海道北見國利尻郡雲泊村

△資本 二〇〇,〇〇〇圓
△借入 三、四〇〇圓
△拂込 一七九、二〇〇圓
△積立 五、三二〇圓
△決算 六月 十二月 (大正十年四月)
△發電 水力五五K
△電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇—100V
△電線 延長六、四哩 亘長三、三哩
社 長 大家 吉平

日高電燈株式會社

取締役 鹽田 久三 新谷清太郎 瀧野 善六
木村幸太郎 大門久次郎
監査役 間瀬喜太郎 西田松次郎 福榮 藤吉
支配人 塚越 忠恕 主任技術者 永倉 豊
△供給電燈數 總燭數三、〇三〇 總燭數六、四六燭
△供給電力數 七馬力五
出張所 (香形)香形村香形一五
(仙法志)仙法志村マラヤニ

日高電燈株式會社

本社 東京市麹町區有樂町一ノ四
營業所 北海道日高國浦河町

△資本 五〇〇,〇〇〇圓
△借入 五三、〇〇〇圓
△收入 電力三三K(勇拂電燈ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇V 供給二〇〇—100V
△周波 50
社 長 岡崎 時次 專務 手塚 信吉
取締役 石田 光毅 重盛 二三
監査役 田中治之助 主任技術者 港 清

日高電氣株式會社

北海道日高國浦河郡浦河町電話一〇八

(日高電燈株式會社ト合併日高電氣解散決議)
△資本 一五〇,〇〇〇圓
△借入 四一、三九一圓
△收入 二二、六九六圓
△支出 三〇、六五七圓

△利益 三、〇三八圓
△決算 五月 十一月 (昭和四年十一月末)
△開業 大正六年十月
△受電 電力一〇〇K
△電壓 最大二、〇〇V 供給二、〇〇V—100V
△電線 延長三哩 亘長七、六哩

社 長 坂東秀太郎 專務 手塚 信吉
取締役 重盛 二三 岡崎 時次 宮崎 芳作
村岸治郎
監査役 横山庄右衛門 田中治之助 奥田惣兵衛
主任技術者兼事務管理 池田 政一
△供給電燈數 四、三一六個 總燭數七二、〇八二燭
△供給電力數 五、七五馬力

勇拂電燈株式會社

北海道勇拂郡安平村早來電話早來一八

△資本 一三五、〇〇〇圓
△積立 二〇、六一〇圓
△收入 二九、八二二圓
△利益 六、四四二圓(昭和四年下半年)
△開業 大正十年三月
△受電 電力五〇K(王子製紙ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇V 供給二、〇〇V—100V
△電線 延長三哩 亘長二、〇新

社 長 板谷 順助
取締役 柴野仁吉郎 岸田 平作 數井 龜吉
高津卯之助 同兼支配人 河野 文治

電燈、力、鐵

北海道 ○勇拂 ○戸井 ○生田原 ○音別

監査役 佐々木理助 主任技術者 直木 文彌
△供給電燈數 二、九七九個 總燭數五〇、一〇〇燭
△供給電力數 二〇K(苦小牧町管へ供給)電動力
數 三一臺 八九・五馬力 日高電燈會社 二二
五K 沙流電氣會社 五〇K
△出張所 厚岸村、鷗川村、遠淺市街 安平市街
平取村、新冠村

戸井電氣株式會社

函館市末廣町四六

△資本 一〇〇,〇〇〇圓
△借入 一〇〇,〇〇〇圓
△積立 四、三六七圓
△決算 四月 十月
△開業 大正十一年十月(舊稱北部電氣株式會社)
△受電 電力五K(函館水電ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V 供給二〇〇V
△電線 延長三哩 亘長四哩
△周波 50
專務 山本 源太
取締役 村田榮太郎 有田 義昭
監査役 伊藤 泰九
主任技術者 村田榮太郎
△供給電燈數 三、〇七四個 總燭數 四三、六二燭

生田原電氣株式會社

北海道紋別郡生田原村字上生田原八五九
本社 常呂郡野付牛町北海道電燈事務所

△資本 一〇〇,〇〇〇圓
△借入 一、一七六圓
△開業 大正九年二月
△受電 電力四K(北海道電燈ヨリ)
取締役 清水藤次郎 坂地五郎藏 生本 仙助
倉本 肇吉 高田 喜共 小田部 毅
監査役 山田増太郎 姫野 近喜
主任技術者 小田部 毅
△供給電燈數 一、一七一一個 總燭數二〇、〇七二燭
△供給電力數 八馬力

音別工業株式會社

本社 北海道河内郡帶廣町
白糠郡音別村音別

△資本 一〇〇,〇〇〇圓
△借入 三一、二七圓
△決算 年一回十二月
△開業 大正八年十一月
△發電 汽力三〇K
△電壓 最大二、〇〇V 供給二〇〇V
△電線 延長三哩 亘長七哩六
社 長 松本淺次郎
取締役 西村武次郎 小泉 碧
監査役 羽賀 貫吾
主任技術者 野邊地 清
△供給電燈數 七五四個 總燭數二二、〇四八燭

大島電氣株式會社

本社 函館市湯ノ川通七 電話一八三一
營業所 渡島國松前郡小島村根部内(松下堤吉)
營業所 渡島國松前郡大島村下町(本多四郎)

- △資本 八〇、〇〇〇圓
- △積立 八五、一八七圓
- △拂込 五二、〇〇〇圓
- △利益 三、四二一圓
- △收入 一五、九六五圓
- △償却 一、六五〇圓
- △支出 一〇、八九四圓
- △配當 五分
- △決算 年一回 十二月 (昭和四年十二月末)
- △開業 昭和二年一月
- △受電 電力四K(函館水電ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長二、〇〇〇哩 亘長二、〇〇〇哩
- △周波 〇
- 社長 山本齊三郎 専務 芦野敬次郎
- 取締役 小木小之吉 主事 瀬川 一郎
- 監査役 小原 士磨 崎山力太郎 松本 不徳
- 主任技術者 秋元 利雄
- △供給電燈數 一、三三二個

沙流電氣株式會社

北海道沙流郡佐理太村 電話一九

- △資本 六〇、〇〇〇圓
- △積立 一八、三五〇圓
- △開業 大正九年二月
- △受電 電力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長三、〇〇〇哩 亘長八、〇〇〇哩

天鹽電燈株式會社

北海道天鹽郡天鹽町海岸六ノ二二三 電話六七

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △積立 三、五九〇圓
- △開業 大正三年十二月
- △受電 電力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇、〇〇〇V
- △電線 延長二、〇〇〇哩 亘長三、八〇〇哩
- △周波 〇
- 社長 小野 玉吉 専務 中田 鶴吉
- 取締役 宮川榮之助 石澤初次郎 魚谷虎次郎
- 監査役 山田 英三 大瀧 源六 渡輪芳次郎
- △供給電燈數 二、三四八個 總燭數 三、七、八五一燭

留壽都電氣株式會社

北海道虻田郡留壽都村 電話一六

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △積立 二、一五〇圓
- △開業 大正七年二月
- △受電 電力三K(北海道電力ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長二、〇〇〇哩 亘長三、〇〇〇哩
- △周波 〇
- 専務 田邊 新一
- 取締役 山内 信彌 五十嵐清次郎
- 監査役 堀川 勘吾 主任技術者 高橋 勇作
- △供給電燈數 一、〇六四個 總燭數 一四、九七燭
- △供給電力數 五馬力

△周波 〇

- 社長 板谷 順助 専務 本庄 勇造
- 取締役 前川 外吉
- 監査役 柴野仁吉郎
- 主任技術者 田中三郎
- △供給電燈數 一、二七三個 總燭數 一八、七〇〇燭
- △供給電力數 一馬力

羽幌電氣株式會社

北海道苦前郡羽幌町南大通三ノ三 電話七九

- △資本 六〇、〇〇〇圓
- △積立 三、七五〇圓
- △開業 大正八年二月
- △受電 電力三K(常用)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長七、〇〇〇哩 亘長三、八七哩
- △周波 〇
- 社長 濱本七左衛門
- 取締役 濱本 精一 宮本 兼吉 中村喜太郎
- 監査役 松本松次郎 本間藤右衛門
- 主任技術者 阿部 友藏
- △供給電燈數 二、一〇〇個 總燭數 三、四〇〇燭
- △供給電力數 五〇K(苦前水力電氣株式會社へ供給)

潮棚水力電氣株式會社

北海道潮棚郡潮棚町會津町一六〇 電話二六

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △積立 二五、〇〇〇圓
- △開業 大正七年十月
- △受電 電力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長三、〇〇〇哩 亘長二、五哩
- 専務 宮下 和平
- 取締役 桂田 留吉 森野芳太郎 河村善治郎
- 監査役 新保市次郎 村田榮太郎 伊藤 泰丸
- 支配人 齊藤 恒雄 主任技術者 小西 正雄
- △供給電燈數 一、八六四個 總燭數 三〇、三三燭
- △供給電力數 二八馬力
- 出張所 東潮棚村眞駒内 同丹羽利別今金

鬼脇電氣株式會社

北海道利尻郡鬼脇村

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △積立 四二、五〇〇圓
- △開業 大正九年十二月
- △受電 電力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長三、〇〇〇哩 亘長三、〇〇〇哩
- △周波 〇
- 社長 桐山三四郎

電燈、力、鐵

北海道 ○潮棚 ○鬼脇 ○廣尾 ○惠山 ○眞狩 ○落合

廣尾電氣株式會社廣尾營業所

北海道十勝國廣尾郡廣尾村

- △資本 三五、〇〇〇圓
- △積立 三五、〇〇〇圓
- △開業 大正七年十一月
- △受電 電力三K(増設計畫水力二〇〇K)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇一、一〇〇V
- △電線 延長七、〇〇〇哩 亘長三、八七哩
- △周波 〇
- 社長 西尾長次郎
- 取締役 足立 庸三 丸山 誠吾 淺野 一夫
- 監査役 村田不二三 千葉 滋 地崎宇三郎
- 主任技術者 野口喜一郎 岩崎 猛雄
- △供給電燈數 七一五個 總燭數 一一、六五四燭

惠山電氣株式會社

北海道末廣町四六 事業地 龜田郡假法華村

- △資本 三〇、〇〇〇圓
- △積立 七、一〇〇圓
- △開業 大正九年十二月
- △受電 電力三K(戶井電氣株式會社ヨリ)

落合電氣株式會社

北海道札幌市北四條西四丁目一

- △資本 五〇、〇〇〇圓
- △積立 五、〇〇〇圓
- △開業 大正十五年一月
- △受電 電力八K(伊藤工場ヨリ)

北海道 ○濱益
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 延長一哩 延長三哩八
△周波 五〇
社長 伊藤 豊次
取締役 金泉 藤太郎 上原 吉平
監査役 大谷 廣次郎 金子 利作 山本 藤太郎
主任技術者 松村 與市
△供給電燈數 四三〇個 總燭數一一、一七七燭

濱益電氣株式會社
札幌市北四條西三十三丁目

△資本 四〇、〇〇〇圓
△開業 昭和三年一月
△發電 瓦斯力三〇K
社長 青柳 直吉 主任技術者 直木 文彌
取締役 澤谷 新三郎 佐藤 正男
監査役 青柳 幸吉
△供給電燈數

木古内村外二ヶ村水力電氣組合
北海道虻田郡木古内村
△資本 二一〇、〇〇〇圓 △開業 大正十三年九月
△發電 水力四〇K △周波 六〇
△受電 電力五〇K(函館水電ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 延長三哩 延長二哩三
△車線 延長三哩 延長二哩三
組合長 中野 隆輝 主任技術者 村田 榮太郎
△供給電燈數 三、五二四個 總燭數四五、六〇燭

北海道 ○木古内村 ○苫小牧町 ○白老村 ○落部村 ○札幌市 ○旭川電軌 二一六
苫小牧町電氣課
北海道虻田郡苫小牧町
△資本 二〇〇、〇〇〇圓
△收入 九〇、〇八〇圓 △支出五六、五九二圓
△利益 三三、四九八圓
△開業 大正二年二月(王子製紙一部買収町管ト
ス)
△受電 電力三〇K(王子製紙ヨリ)
電力三〇K(勇拂電燈ヨリ)電力二六K(白老村)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 延長三哩 延長四哩
町長 飯田 誠一 主任技術者 有馬 勝三郎
△供給電燈數 一一、七七九個

白老村營電氣部
北海道白老郡白老村役場内
△資本 九〇、九三六圓
△開業 大正十三年五月(白老電氣會社譲受)
△受電 電力三〇K(王子製紙ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V △供給二〇〇V
△電線 延長三哩 △周波 六〇
村長 佐藤 隆 主任技術者 水木 六三二郎
△供給電燈數 一、六三三個 總燭數二七、六六〇燭

落部村
北海道虻田郡落部村役場内
△資本 二二、〇〇〇圓
△電線 延長六九哩 延長二〇七哩
社長 中澤 宗治郎
専務 西川 香吉 今田 房次郎
取締役 久保 兵太郎 栗林 徳一
監査役 齋藤 元橋 木村 官之坂 富田 作市
主任技術者 中島 文雄
主事 今村 於寛久
△供給電燈數 二、〇五七個 總燭數六、〇九八燭
△供給電力數 三馬力(温泉用)
△軌道經過地 省線登別ヨリ登別温泉ニ至ル
△電車線路 延長五哩 延長五哩四哩
△車輛數 客車三臺 貨車三臺 附隨客車二臺
△乘車賃金 五〇錢 一哩當り九錢二厘

旭川電軌 二一六
△開業 大正十二年九月
△受電 電力二〇K(函館水電會社ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V
△電線 延長七哩 延長六哩六 △周波 五〇
村長 高松 新一郎 主任技術者 村田 榮太郎
△供給電燈數 七三二個 總燭數一一、二五七燭

札幌市電氣部
札幌市南二條西一丁目三二九番
△資本 三、五〇〇、〇〇〇圓
△收入 八一六、八一三圓
△支出 七六三、六五六圓
△開業 昭和二年十二月(舊札幌電軌買収)
△受電 電力六三K(北海道水力電氣ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
市長 橋本 正治 電氣局長 植木 長治
工務課長 主任技術者 太田 駒雄
△軌道 札幌市内及藻岩村間山間
△線路 延長一〇哩一四 延長一九哩六八
△車輛 客車 六三臺 貨車 六六六錢往復一一

旭川電氣軌道株式會社
北海道旭川市外道分 電話一三五四
△資本 八〇〇、〇〇〇圓 △拂込四七〇、〇〇〇圓
△借入 五〇五、三七〇圓 △積立 三、九七六圓
△開業 昭和二年二月 △決算 六月 十二月
△受電 電力二〇K(北海道電燈ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 電車線六〇V
△周波 五〇

札幌溫泉電氣軌道株式會社
北海道札幌郡藻岩村大字圓山
△電車賃 全線四〇錢 一哩當八錢九厘
△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込五〇、〇〇〇圓
△開業 昭和四年六月
△受電 電力三〇K(北海道水力電氣ヨリ)
取締役 石田 康 寺田 省路 河原 直孝
高倉 安次郎
監査役 河内 純一 伊藤 八郎
△起終點 石狩國札幌郡藻岩村大字圓山村地内
延長一八〇六

登別溫泉軌道株式會社
北海道札幌郡登別村大字登別溫泉場 電話三二一〇
取締役 山内 信彌 平山 午介
監査役 鹿島 眞
總務部長 須貝 直治郎 工務部長 丸山 誠吾
營業部長 松本 利助 工務課長 大橋 金市
土木課長 丸藤 與市 運輸課長 浦野 良春
經理課長 木島 武司
電氣課長 主任技術者 落合 直道
△軌道經過地 旭川驛ヨリ東旭川村東川村ニ至ル
△電車線路 延長九哩七錢七〇節
△車輛數 客車三臺 貨車八臺
△乘車賃金 一區五錢 一哩當り四錢
△營業所 旭川市二條通一丁目右三號
(電話一二九二番)

洞爺湖電氣鐵道株式會社
札幌市南十條西六ノ四一五 電話一七三二
△資本 四〇〇、〇〇〇圓 △拂込二〇〇、〇〇〇圓
△決算 六月 十二月 △借入二一五、〇〇〇圓
△開業 昭和四年一月
△受電 電力三〇K(北海道水力電氣ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
社長 板谷 順助 常務 田邊 義秋
取締役 西村 其助 足立 庸三
監査役 和泉 次郎 笠原 小市
主任技術者 沼倉 重助
△軌道經過地 自釧路國虻田郡虻田村虻田驛 至
洞爺湖湖畔
△電車線路 延長五哩三分

定山溪鐵道株式會社 電話八〇九
札幌市豊平町五條九丁目七〇
△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込一、〇〇〇圓
△開業 昭和四年九月
△受電 電力四〇K
△電壓 直流一、五〇〇V △周波 六〇
社長 金子 元三郎 専務 伊東 祐啓
取締役 大島 金藏 田中 治朗 中西 八百吉
同 後藤 國明 菅原 鐵之助
監査役 石田 康 西尾 長次郎
主任技術者 (鐵道) 中川 菊治郎 (電氣) 中川 菊治郎
△軌道 自札幌郡白石村至札幌郡豊平町定山溪
△車輛 電動客車四 客車一二 蒸汽機關車四
無蓋貨車一四 緩急車三
二二七

電燈、力、鐵 北海道 ○登別溫泉軌
△資本 四〇〇、〇〇〇圓 △拂込四〇〇、〇〇〇圓
△借入 二三〇、〇〇〇圓 △積立 二二、〇六四圓
△收入 五二、三八二圓 △支出 四五、五八八圓
△利益 六、七九四圓
(内軌道二九一圓、電氣八四圓、温泉六、四一七圓)
△決算 五月 十一月 (以上各事業共通)
△配當 優先七厘五厘普通三厘(昭和四年十二月末)
△開業 大正五年七月
△發電 水力二七K 火力三三K △周波 五〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—一〇〇V

洞爺湖電鐵 ○札幌溫泉電軌 ○定山溪鐵

洞爺湖電鐵 ○札幌溫泉電軌 ○定山溪鐵

北海道 ○旭川市街
旭川市街軌道株式會社

△資本 一、三〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三〇、〇〇〇圓
△受電 電力三〇K
△開業 昭和四年十二月
取締役 寺田 省歸 黒田 岩吉 小泉菊次郎
監査役 平山 午助 若田瀧太郎 山内 信彌
△軌道 自旭川市四條通十七丁目至同市八條通十
六丁目

大沼電鐵株式會社

△資本 七、五〇〇、〇〇〇圓
△開業 昭和四年一月
△受電 電力二〇K(函館水電ヨリ)
社長 平山 午介 取締役 渡邊勝也 岡崎將次
主任技術者 田中 久孝
△軌道 經過地 龜田郡七飯村軍川村ヨリ茅部郡鹿
部村草濱

旭川電力株式會社

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
△設立 昭和二年三月(未開業)
社長 足立 庸三
取締役 若立瀧太郎 本多治三郎 栗原 源藏
猪俣 安造 田邊 義秋 小田 精一
監査役 小谷 義雄 新關新太郎 林 路一
松岡源之助 柳田 國良

○大沼 ○旭川 ○標津 ○雄武 ○苫前 ○空知
標津電氣株式會社

△資本 一〇〇、〇〇〇圓
△拂込 二五、〇〇〇圓
△設立 昭和三年十一月(未開業)
△發電 瓦斯力五K
代表取締役 原見 伯郎 瀨川 映 寺戸英介
取締役 石井惣五郎 岡本 文助
監査役 藤井 乘傳 近藤政五郎

雄武水力電氣株式會社

△資本 二〇〇、〇〇〇圓
△拂込 五〇、〇〇〇圓
△設立 昭和四年五月 △決算 五月 十一月
△發電 水力二〇K(工事中)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給三〇—二二〇V
△電線 亘長三哩 △周波 五〇
社長 柳井善次郎
取締役 福山甚三郎 長谷川靜治 赤須 信彰
監査役 高橋 福藏

苫前電氣株式會社

△資本 二〇〇、〇〇〇圓
△拂込 一〇〇、〇〇〇圓
△設立 昭和四年八月(未開業)

樺太

樺太電氣株式會社

△資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 五七、九三三圓
△拂込 三、五〇〇、〇〇〇圓 △支出 三、一六六圓
△積立 一三、〇〇〇圓 △利益 一六、七六七圓
△配當 一割(昭和四年九月末)
△開業 昭和三年一月
△買取及讓受會社 敷香電氣 昭和四年一月
樺太電氣會社 樺太電氣商會 昭和二年十
二月 北海水力電氣大泊、留多加、眞岡各出張
所 昭和三年三月 本斗電氣 元泊電燈 昭和
三年 富内電氣株式會社 昭和三年九月 長濱
電氣株式會社 昭和四年十一月
△發電 本斗瓦斯力三〇K(汽力三〇K休止)
富内瓦斯力五K 敷香瓦斯力二五K
△受電 電力五〇K(王子製糖ヨリ)豊原。電力五K
(同)大泊。電力五K(同)留多加。電力四〇K(樺
太工業ヨリ)眞岡。電力三K 元泊
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V △周波 五〇及六〇
社長 藤原銀次郎 専務 田中 治朗
取締役 小笠原菊次郎 河原直孝 遠藤 米七
光澤 義男
監査役 寺田 省歸 高島菊次郎 沖島 義三
高田 直屹 支配人 杉本 孝作

電燈、力、鐵

○樺太 ○富士 ○落合 ○樺太

○鷹栖 ○永山 二一八
取締役(代表)五十嵐小太郎 常盤 扇壽
監査役 石藤 滿藏 中村 政治

有限空知電力利用組合

△工事費 一五二、七八四圓
△受電 電力四〇K(北海道電燈ヨリ供給)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇—二二〇V
△開業 大正十二年十月 △周波 五〇
組合長 松島善太郎 専務理事 細野 生二
主任技術者 住友 幣雄

有限鷹栖信用購買組合

△工事費 一三〇、〇〇〇圓 △組合員二、〇一六
△受電 電力四〇K(北海道電燈ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二二〇V
△開始 大正十一年十一月 △周波 五〇
代表者 山下甚藏 主任技術者 前田六右衛門
利用部長 山崎忠四郎 代務 庄南 豊藏
△供給電燈數 二、四五〇燈 總燭數三、二〇〇燭
△供給電力數 四九馬力

有限永山村電燈電力利用組合

△工事費 一二、九〇〇圓 △開始大正十五年二月
△受電 電力五K △周波 五〇
△電壓 三、三〇〇V 供給二〇〇—二二〇V
代表者 山下 惣吉 主任技術者 野邊地 清

富士製紙株式會社

△資本 一五〇、〇〇〇圓 △開業 大正六年九月
△發電 電力一五K(自家用ヨリ受電)
△電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
△電線 亘長三軒 延長二四〇軒
社長 大川平三郎 主任技術者 高橋 直治
△供給電燈數 七、二六七個 總燭數九〇、八〇〇燭
△供給電力數 三五馬力

落合電燈株式會社

△資本 一五〇、〇〇〇圓 △拂込 一五〇、〇〇〇圓
△開業 昭和三年十二月
△受電 電力一K(平均)
△電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
△電線 亘長四、七五米 延長三、八五米
社長 高橋貞三郎
取締役 山本 省吾 玉置 寅輔
監査役 橋原 啓藏 山内 幾馬
△供給電燈數 六、四五六個 總燭數二、八五二四燭

樺太工業株式會社(惠須取町營業所)

△開業 惠須取町供給開始大正十四年八月
二一九

樺太 ○樺太泊居 ○內路 ○樺太中央 ○珍內 ○東白浦 ○樺太木材

△受電 電力200K(自家用ヨリ受電)
△電壓 三、三〇V △周波 六〇
△電線 亙長三軒 延長八軒
社 長 大川平三郎 主任技術者 石井 一心
△供給電燈數 五、九四〇個 總燭數三、〇〇〇燭
△供給電力數 二四一、五馬力 二K

樺太工業株式會社 (泊居町營業所)

營業所 樺太泊居郡泊居町

△資本 一〇〇、〇〇〇圓
△開業 大正二年
△受電 電力200K(自家用ヨリ受電)
△電壓 最大三、三〇V
△電線 亙長三軒 延長三軒
△周波 六〇
社 長 大川平三郎 主任技術者 栢森 儀作
△供給電燈數 五、五九五個
△供給電力數 一一〇馬力

內路電氣株式會社

樺太敷香郡內路村

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込五〇、〇〇〇圓
△開業 昭和二年十月
△發電 汽力四K
△電壓 最大三、三〇V △周波 五〇
△電線 亙長四軒 延長一五軒
取締役 高梨芳太郎 家田三太郎 高橋 敬治
手取 高藤 鳥影 東吾 横田 秀松

一一二〇

社 長 木部清三郎

取締役 田中與五郎 保知 清吉 伊藤 義内
石川初太郎
監査役 小泉 忠彰 榎 喜作 佐々木清助
主任技術者
△供給電燈數 八五〇個 總燭數一三、〇〇〇燭

東白浦電氣株式會社 電話六

樺太敷香郡白樺村大字東白浦字東白浦

△資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込二五、〇〇〇圓
△借入 二八、九三五圓
△開業 昭和三年十一月 △決算 每年十二月
△發電 汽力四K △周波 五〇
△電壓 最大三、三〇V 供給100V
△電線 延長九哩六 亙長三哩八
社 長 山内 慶馬
取締役 山田 克吉 藤岡榮三郎
監査役 水永 毅
總務兼主任技術者 三浦 萬吉
△供給電燈數 九八七個 總燭數一、五八六燭

樺太木材株式會社電燈部

樺太敷香郡泊岸大字泊岸字番外地

△資本 七〇、〇〇〇圓
△開業 昭和三年六月
△發電 瓦斯力四K
△電壓 三、三〇V
△周波 五〇
△電線 亙長二軒 延長四二軒

樺太中央電氣株式會社

樺太真岡郡真岡町本町一ノ四二電話五三一
營業所 真岡郡清水村二股

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二六、〇〇〇圓
△收入 九、六七〇圓 △支出 七、六九〇圓
△利益 一、九八〇圓 (昭和四年十一月末)
△開業 昭和三年一月 △決算 五月 十一月
△發電 瓦斯力五・五K(主任 荒喜須衛)
△電壓 最大三、三〇V 供給100V
△電線 亙長三哩 △周波 六〇
專 務 鳥田 德松
取締役 大橋德太郎 藤野喜四郎 末松 北郎
堀口 喜重
監査役 龜田 浦吉 白井 爽風
主任技術者兼營業所主任 島田 彌市

珍內電燈株式會社

樺太久春內郡三濱村大字小田洲字珍內二四

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込三〇、〇〇〇圓
△開業 昭和三年五月
△發電 汽力四K
△電壓 最大三、三〇V △周波 五〇
△電線 亙長一軒 延長一〇軒

榮濱細入電燈所

樺太榮濱郡榮濱村

△資本 六〇、〇〇〇圓
△開業
△發電 電力一五K
△電壓 三、三〇V △周波 五〇
△電線 亙長一軒 延長三〇軒
代表者 細入益太郎
主任技術者
△供給電燈數 七九九個 總燭數九、九九〇燭

樺太元泊郡元泊村大字樺保

樺太元泊郡元泊村大字樺保

△資本 五〇、〇〇〇圓
△開業
△發電 汽力五K
△電壓 最大三、三〇V △周波 五〇
△電線 亙長一軒 延長三三軒
主任技術者
△供給電燈數 四六〇個 總燭數五、七五〇燭

野田町營電氣部

事務所 樺太野田町東一條五ノ一九

△資本 四九、〇〇〇圓 △開業 大正十年十二月
△收入 三七、五五七圓
△支出 三七、六五七圓(經常)

代表者 伊藤 正慶
主任技術者 淺間 四郎
△供給電燈數 一、二四四個 總燭數九、三四〇燭

三井鑛山株式會社

本社 東京市日本橋區本町
事業地 樺太豊原郡川上村

△資本 一〇、〇〇〇圓 △開業
△發電 電力10K(自家用ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V △周波 五〇
△電線 亙長三軒 延長六軒
社 長 三井守之助
主任技術者 藤 三郎
△供給電燈數 三六〇個 總燭數 四、五〇〇燭
△供給電力數 一馬力

合資會社久春內製材所

樺太久春內郡久原內村

△資本 三〇、〇〇〇圓
△開業 大正十二年二月
△發電 瓦斯力10K
△電壓 最大三、三〇V △周波 五〇
△電線 亙長五軒 延長一五軒
代表者 保知 清吉 田中與五郎
支配人 小泉 忠就 主任技術者 栢森 儀作
△供給電燈數 七九九個 總燭數 九、九九〇燭

電燈、力、鐵

樺太 ○三井 ○久春內 ○榮濱細入 ○樺保細入 ○野田町 ○樺太中央產業 ○遠淵

△受電 電力六K(王子製糖會社ヨリ)

△電壓 最大三、三〇V 供給100V
△電線 亙長三哩 延長四哩 △周波 五〇
社 長 田中 生三 主任技術者 近藤 雄作
△供給電燈數 三、〇〇〇個 總燭數四六、五〇〇燭

樺太中央產業株式會社

樺太泊居郡泊居町泊居常盤町五六

△資本 三〇〇、〇〇〇圓 △拂込七五、〇〇〇圓
△設立 昭和三年十一月(未開業)
代表取締役 高橋熊次郎
取締役 佐藤 一郎 三宅 俊雄 金山 勲藏
中野孝三郎 金田 要吉
監査役 松永平治郎 榑木 尙義 半澤十次郎

遠淵電燈株式會社

樺太長濱郡遠淵村遠淵二五

△資本 六〇、〇〇〇圓 △設立 昭和四年八月
△拂込 一五、〇〇〇圓 (未開業)
取締役(代表)曾我部顯良 中野滿次郎
淺野幾次郎 篠田長次郎
監査役 石田 政治 市毛子之介

朝鮮

京城電氣株式會社
本社 東京市麹町區丸ノ内一丁目二番地
電話丸ノ内 一六四九
京城支店 朝鮮京城府南大門通二ノ五
代表番號 電話本局四四六〇

△收入 三、五六九、〇一〇圓
△支出 二、五七一、三二一圓
△利益 九九七、六八九圓(昭和四年下半年)
△開業 明治四十一年九月 △決算六月 十二月
△發電 汽力二、六〇〇K
△受電 電力七、〇〇〇K(金剛山電鐵ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V 100V 100V
△電車線 直流六〇〇V △周波 六〇
△電線 互長二、〇八三軒 延長三、三五六軒
社長 大橋新太郎 專務 武者 鍊三
常務 中屋 重樹
取締役 山口太兵衛 木本 倉二 福島甲子三
監査役 古谷 專吉
主任技術者 見目 德太
庶務課長 森 秀雄 會計課長 平井 秀雅
營業課長 寺村 虎重 瓦斯課長 齋藤 勤七
電氣課長 上村三龜藏 電車課長 米倉 元一
發電課長 和田 實
△供給電燈數 三三、二八燈 總燭數六、四四、五四燭
△供給電動力數 一六、二一六馬力
△支店 京城、仁川、馬山、鎮海、水原
△軌道經過地 京城府及府外清涼里、往十里、麻浦
△電車線路 互長三四、八五二米(營業)
延長五六、五七二米(營業)
△車輛數 客車一四三臺 貨車一臺 撒水車四臺
△乘車賃金 府内五錢均一 府外一區五錢
京城支店 京城府南大門通二ノ五
代表番號 電話本局四四六〇
主任技術者 見目 德太

△開業 明治四十一年九月
△發電 汽力二、〇〇〇K
△受電 電力七、〇〇〇K(金剛山電鐵ヨリ)
△電壓 供給三、〇〇〇V 100V 100V
最大三、〇〇〇V 電車線直流六〇〇V
△供給電燈數 三九、三三燈 總燭數 五、三三、九〇燭
△供給電動力數 一三、〇〇七馬力
仁川支店 仁川府宮町二〇 電話仁川三、二四
支店長 八木 定
主任技術者 見目德太(京城支店兼務)
△開業 明治四十五年七月
△受電 電力三、〇〇〇K(京城支店ヨリ)
△電線 互長二七、七軒 延長軒四六、八八軒
△供給電燈數二八、四三九燈 總燭數五、七三〇燭
△供給電動力數 二六三〇馬力
馬山支店 馬山府都町三ノ四
電話馬山二、二五三
支店長 山元 利雄 主任技術者佐藤 亮俊
△開業 明治四十四年五月
△發電 汽力三、〇〇K 延長三三、二六軒
△電線 互長七、六六軒 延長三三、二六軒
△供給電燈數 一一、六一五燈 總燭數七、五三〇燭
△供給電動力數 三六九馬力
鎮海支店 鎮海面岩松通三 電話鎮海一一八
支店長 山元 利雄(馬山支店兼務)
主任技術者 佐藤 亮俊(馬山支店兼務)
△受電 電力二、〇〇K(馬山支店ヨリ)
△電線 互長六、〇一軒 延長七、〇六軒
△供給電燈數 五、三七五燈 總燭數 八、三三〇燭

△供給電動力數 一四三馬力
水原支店 水原面山樓里一五三 電話水原四九
支店長代理 佐渡秀茂
主任技術者 見目 德太(京城支店兼務)
△開業 昭和三年十月(水原電氣買收)
△受電 電力三〇〇K(京城支店ヨリ)
△電線 互長六、九八軒 延長一六、八五軒
△供給電燈數 五、六六二燈 總燭數八五、二三〇燭
△供給電動力數 六七馬力

金剛山電氣鐵道株式會社

本社 朝鮮江原道鐵原郡鐵原面外村里
電話一〇、〇一一
出張所 東京市麹町區丸ノ内三ノ八
電話丸ノ内一九三四
京城府外往千里電話本局一六八五

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓△配當 一割一分
△拂込 七、八〇〇、〇〇〇圓
△社債 六、七五〇、〇〇〇圓△決算三月、九月
△積立 九〇〇、六九八圓
△政府補助 三八九、三五三圓
△收入(電鐵) 一五七、六七〇圓
△支出(電鐵) 一四四、八六二圓
△收入(電燈電力) 五三六、六〇〇圓
△支出(電燈電力) 二三八、〇九一圓
△利益 二六一、三一六圓
(外電燈電力五〇、〇〇〇圓償却)

△開業 (電燈)大正十三年二月(鐵道)同年八月
電燈、力、鐵 朝鮮 ○金剛山電鐵

△發電 水力二、九〇K
△電壓 供給二、〇〇〇V 100V 100V
最大六、〇〇〇V 電車線一、〇〇〇V
△電線 互長三三哩 延長七哩 △周波 六〇
社長 久米民之助 專務 安藤又三郎
取締役 馬越 恭平 古川辰次郎 倉地 鐵吉
木村 雄次 牧山 耕藏 山崎 勝治
監査役 男爵 千秋 季隆 岡本桂次郎
主任技術者兼電氣課長 杉村 貞雄
總務課長 長野 虎海 經理課長 山崎 勝治
鐵道課長 平井 義一 營業課長 伊藤 重雄
東京出張所 主任 山田 力治
京畿道高陽郡漢芝面馬場里出張所長 鈴木 靖
△供給電燈數 八、二四〇個 總燭數一三、九八五燭
△供給電動力數 七、五〇〇K
△軌道經過地 鐵原—金化—金城—昌道—縣里—
花溪
△電車線路 互長五九哩 延長六二哩
△車輛數 客車一臺 貨車一三臺
△乘車賃金 全線三圓 一哩當り五錢

朝鮮瓦斯電氣株式會社

本社 釜山府富平町三ノ五六 電話四〇〇〇
支社 東京市麹町區內幸町一ノ四
電話銀座二七九八

△資本 六、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 八七五、三四圓
△拂込 三、七五〇、〇〇〇圓 △支出 五四、八六圓
△積立 八五六、三〇〇圓 △利益 三〇、七六圓
△配當 一割二分 (昭和四年七月末)
△開業 明治四十三年十月 △決算 一月 七月

朝鮮瓦斯電氣 ○朝鮮電氣興業

△發電 汽力四、三〇K 瓦斯力六〇〇Kダイヤセル四〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V 100V
電車 六〇V △周波 五〇
△電線 互長三九哩 延長三六哩
社長 香椎源太郎 常務 佐久間權次郎
取締役 前島 彌 大池 忠助 迫間房太郎
水野 巖 石津 龍輔 菊谷 茂吉
監査役 竹田源太郎 岡田 松生 金子 謹吾
主任技術者兼技術課長 菅 平八
營業所長 青柳 直臣 會計課長 藤枝 茂
營業課長 遠山 茂
出張所
釜山府牧ノ島東部 金水昌町 東萊郡東萊面壽
安洞 同龜浦面龜浦 同沙下而下瀨里 金海郡
金海面 密陽郡密陽面三門里
△軌道 釜山府—東萊溫泉場間
△線路 延長一四、一七哩 延長一七、三五哩
△車輛 客車二七臺 撒水車一臺
△賃金 一區五錢 全線六區
△供給電燈數 七、三三〇個 燈總燭數二、四一七燭
△供給電動力數 三、六三二馬力

朝鮮電氣興業株式會社

朝鮮平安南道平壤府船橋里
電話三四四・八九四

△資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓△拂込 一、五〇〇、〇〇〇圓
△借入 五、三五〇、三五七圓△積立 一、〇〇〇圓
△收入 一、一三八、四四二圓△支出 三、七五、二四圓
△損失 一、五七六、七〇六圓 (昭和四年九月末)
△開業 大正八年五月 △決算三月 九月

朝鮮電氣興業

朝鮮 ○大興 ○南朝鮮

△發電 汽力、500K (10,000K増設準備中)
△電壓 最大4,000V 供給2,000V △周波 50
△電線 延長六哩 延長二七哩五

大興電氣株式會社 電話八四八

△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 四八、四三三圓
△拂込 一、一九四、〇〇〇圓 △支出 三九、七七八圓
△借入 一、一六〇、〇〇〇圓 △利益 一〇、六八四圓
△積立 三三三、二二〇圓 △配當 一割一分
△決算 三月 九月 (昭和四年九月末)
△發電 二七四K(汽力)、500K其他重油力瓦斯力)
△電壓 最大三、〇〇〇V、1,000V 供給1,000V
△電線 延長二哩五 延長三哩二 △周波 50-55
△周波 50-55
△電線 延長二哩五 延長三哩二 △周波 50-55
△電線 延長二哩五 延長三哩二 △周波 50-55

一二四

△發電 二〇四K △開業 大正十年一月
△供給電燈數 三、二六四個 總燭數 四、八〇〇燭
△浦項支店 慶尙北道浦項西浦項洞
△支店長 樺 猪之助 主任技術者 山崎 孝
△發電 六六K △開業 大正十二年四月
△供給電燈數 二、四二二個 總燭數 三、三三〇燭
△尙州支店 慶尙北道尙州西伏龍里
△支店長 中岡 五策 主任技術者 百武 廣美
△發電 四四K △開業 大正十三年六月
△供給電燈數 一、六九二個 總燭數 三、八三〇燭
△統營支店 慶尙南道統營面吉野町
△支店長 池田 謙 主任技術者 猪瀬八十吉
△發電 二四四K △開業 大正十五年八月
△供給電燈數 三、九八七個 總燭數 五、六〇〇燭
△電燈料金 全線支店下同
△永同支店 忠清北道永同面
△支店長 天野 五郎 主任技術者 伊藤 八郎
△發電 三三K △開業 昭和三年十月
△供給電燈數 八二二個 總燭數 一、一五八〇燭
△興海出張所 總燭數二、四三〇燭

南朝鮮電氣株式會社

△資本 二、一六〇、〇〇〇圓 △拂込 八〇〇、〇〇〇圓
△開業 昭和二年十月
△合併 (群山電氣 全北電氣二社合併設立)昭和二年 井邑電氣 同四年江景電氣合併
△發電 瓦斯力、1,000K(工事中、1,000K)

△電壓 最大三、〇〇〇V 供給1,000V
△電線 延長七哩 延長二四哩六
△周波 50-55

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 六五、〇〇〇圓
△借入 六〇〇、〇〇〇圓 △積立 一〇、〇〇〇圓
△收入 一五七、〇六八圓 △支出 一〇八、〇九圓
△利益 四八、一五九圓 △配當 一割一分
△決算 三月 九月
△開業 明治四十五年三月
△發電 瓦斯力三〇〇K 汽力四〇〇K
△電壓 最大二、〇〇〇V 供給1,000V
△電線 延長二七哩四 延長三六哩六
△周波 50

朝鮮電氣株式會社 電話二七

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 六五、〇〇〇圓
△借入 六〇〇、〇〇〇圓 △積立 一〇、〇〇〇圓
△收入 一五七、〇六八圓 △支出 一〇八、〇九圓
△利益 四八、一五九圓 △配當 一割一分
△決算 三月 九月
△開業 明治四十五年三月
△發電 瓦斯力三〇〇K 汽力四〇〇K
△電壓 最大二、〇〇〇V 供給1,000V
△電線 延長二七哩四 延長三六哩六
△周波 50

電燈、力、鐵

朝鮮 ○朝鮮 ○大田

○元山 ○新義州

支配人 岩村 隆 事務長 村上 瑛
主任技術者 宇野 民藏
△供給電燈數 二七、九八九燈 總燭數四、八〇〇燭

大田電氣株式會社

△資本 九〇〇、〇〇〇圓 △拂込 六〇〇、〇〇〇圓
△積立 七〇、五〇〇圓 △配當 一割
△開業 明治四十五年一月 △決算 四月、十月
△買取 清州電氣株式會社、大正八年買取ス
△發電 重油力四〇〇K 瓦斯力三〇〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給1,000V
△電線 延長二四、二七米 △周波 50
△周波 50
△電線 延長二四、二七米 △周波 50
△電線 延長二四、二七米 △周波 50

元山水力電氣株式會社

△資本 七五〇、〇〇〇圓 △拂込 四五〇、〇〇〇圓
△借入 三七五、〇〇〇圓 △配當 一割二分
△積立 一三八、三四二圓
△收入 一三三、四八二圓 △支出 八六、一四一圓
△利益 三七、三四二圓 (昭和四年十月末)
△開業 明治四十五年三月 △決算 四月、十月
△發電 水力三〇〇K 重油力三〇〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給1,000V
△電線 延長二哩五 延長三哩二 △周波 50
△電線 延長二哩五 延長三哩二 △周波 50
△電線 延長二哩五 延長三哩二 △周波 50
△電線 延長二哩五 延長三哩二 △周波 50

新義州電氣株式會社

△資本 七〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三二五、〇〇〇圓
△借入 三四〇、〇〇〇圓 △積立 四一、〇〇〇圓
△收入 一五八、七五〇圓 △支出 一〇八、二九九圓
△利益 三〇、五一二圓 (昭和四年十一月末)
△決算 五月、十一月 △開業 大正三年六月

朝鮮 ○滿鮮 ○木浦

△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△電線 瓦長六軒六五 延長二六七軒七五
△周波 五〇
社長 神保 信吉 專務 足立 秋生
取締役 加藤 治郎 佐藤 貞一 阿部 國造
今井 榮量 高橋 芳藏
監査役 高橋 仁一 橫江 重助 阿部 繁男
中込 精一
庶務會計課長 橋本 宮重
電路課長 大八木 定平 發電課長 松村 保三
主任技術者 松村 保三
△供給電燈數 二〇、八五四燈燭數五、八九五燭
△供給電力數 二、二六五·五馬力
義州出張所 義州郡義州面弘西洞(村上明雄)

滿鮮殖産電氣株式會社 電話二四八

朝鮮平安北道義州郡光城面麻田洞

△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △收入五、三五八圓
△拂込 一一五、〇〇〇圓 △支出四、八〇七圓
△積立 一、一九〇圓 △利益 五五〇圓
△決算 六月 十二月 (昭和四年十二月末)
△開業 大正十二年四月
△受電 電力三、〇〇〇K(新義州電氣ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△電線 瓦長三、八三三·八米 延長三、五七五·四米
△周波 五〇
社長 加藤 治郎
取締役 神保 信吉 今井 榮量 高橋 芳藏
足立 秋生

○開城 ○天安

監査役 高橋 仁一 橫江 重助
△供給電燈數 八一〇個
△供給電力數 五四七馬力

木浦電燈株式會社

朝鮮全羅南道木浦府福山町七 電話一三四

△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △積立一七九、九四三圓
△拂込 三五〇、〇〇〇圓 △配當 一割二分
△借入 四五、〇〇〇圓 △決算 六月 十二月
△開業 明治四十四年十二月
△發電 汽力七七K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△電線 延長二哩一 瓦長三哩四
社長 松井 邑次郎
取締役 村上 直助 多賀 榮吉 奈良 次郎
監査役 伴 諒 輔 松村 正助 赤熊 千五郎
主任技術者 山田 勝信
△供給電燈數 一五、三七五個 二九三、〇九〇燭
△供給電力數 五六六馬力

開城電氣株式會社 電話五六六

朝鮮京畿道開城郡松都面滿月町八七七ノ一

△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三三〇、〇〇〇圓
△借入 一〇〇、〇〇〇圓 △積立七二、三九二圓
△收入 八二、一九八圓 △支出五九、六八五圓
△利益 二二、五三三圓 △配當 一割
(昭和四年十二月末)
△開業 大正六年四月 △決算 六月 十二月
△發電 瓦斯力七〇K 電力二〇〇K

一二六

△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
△電線 瓦長八軒 延長三〇·九軒
△周波 六〇

社長 金正浩
取締役 金元培 金基永 孔聖學
朴鳳 崔增漢 禹哲熙
監査役 孫洪 岡本 豊喜 崔善益
主任技術者 小田 正藏
△供給電燈數 一三、五五六燈 總燭數二六、九七燭
△供給電力數 一四二馬力五

天安電燈株式會社

朝鮮忠清南道天安郡天安面 電話三二二

△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一六二、五〇〇圓
△借入 一三一、二五〇圓 △積立 一、二一〇圓
△收入 三一、〇二四圓 △支出 三〇、九一一圓
△利益 一一〇圓 (昭和四年十一月末)
△開業 大正十三年一月
△發電 火力五〇〇K
△電壓 一、〇〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V
△電線 瓦長 三哩哩
△周波 六〇
社長 桶口 虎三 專務 小淵 守次郎
取締役 安部 榮太郎 監査役 中榮 万吉
主任技術者 藤井 專作
△供給電燈數 三、一六七個

海州電氣株式會社

朝鮮黃海道海州面上町一二八 電話一六六

△資本 二七〇、〇〇〇圓 △拂込 一二五、〇〇〇圓
△借入 二一、〇〇〇圓 △配當 一割二分
△積立 一七、三〇三圓
△開業 大正九年十二月 △決算 三月 九月
△發電 瓦斯力三三K 重油力三六K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
△周波 六〇
社長 辛 承禧 延長五、五七哩
取締役 藤波 彌一 李奉植 韓 泳環
監査役 橫山 興次郎 李貞根 康 巨福
主任技術者 森田 万登
△供給電燈數 五、四四六個 總燭數六二、六四〇燭
△供給電力數 一七馬力五

順天電氣株式會社 電話一二七

朝鮮全羅南道順天郡順天面東外里

△資本 二二〇、〇〇〇圓
△拂込 五五、〇〇〇圓
△借入 六一、四九八圓
△收入 一六、八六七圓 △決算 五月、十一月
△支出 一四、八二三圓 △開業大正十四年八月
△利益 二、〇四三圓 (昭和四年十一月末)
△發電 重油力四K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
△電線 瓦長二、七〇〇軒 延長三、〇〇〇軒
社長 藤永 要一 專務 谷 哲之助

電燈、力、鐵

朝鮮 ○海州 ○順天 ○蔚山 ○北青 ○雄基

蔚山電氣株式會社

朝鮮慶尙南道蔚山郡東面

取締役 脇水 利七 監査役 脇水 豊助
主任技術者 泉 至 善
△供給電燈數二、七一五個 總燭數三五、九六二燭
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △收入一四、八一三圓
△拂込 八七、五〇〇圓 △支出一三、二二九圓
△借入 六八、〇〇〇圓 △利益 一、五八四圓
△積立 四、一九五圓 (昭和四年十二月末)
△開業 昭和四年十二月(合併年月)
(蔚山電氣株式會社ト合併)
△發電 重油力二〇K 瓦斯力六K
△電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
△電線 瓦長八哩八 延長三哩哩
社長 小倉 武之助
取締役 定金由喜太 平松 秀夫 岩井 庄次
加藤 一郎
監査役 安成 千代五郎 藤縄 文順 橋本 永太
支那人 天野 林作
主任技術者 天野 林作
△供給電燈數二、七六三個 總燭數三五、二二〇燭

北青電氣株式會社

朝鮮咸鏡南道北青郡北青面 電話二五

△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
△開業 大正十二年九月 △借入 六、〇〇〇圓
△發電 重油力四K 工事中水力五K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇—二〇〇V

雄基電氣株式會社

朝鮮咸鏡北道慶興郡雄基洞二七〇電話一〇

△電線 延長三哩九 瓦長六哩六
△周波 六〇
社長 張 敬 眞 常務 重本 興一
取締役 梅田 利一 坪倉 二三 金 炳 熙
朴 李 孝 山田 吉駒
監査役 坂口 伸三郎 金正龍 吳 壽 永
常務 奥田 富吉
主任技術者 瀨能 次郎
△供給電燈數 一、八七一一個 總燭數二二、二七九燭
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一五〇、〇〇〇圓
△積立 一三、二〇五圓 △收入 三一、一八二圓
△支出 二二、二〇一圓 △利益 八、九八一圓
△決算 三月、九月 △配當 一割
△開業 大正十三年七月 (昭和四年九月末)
△發電 重油力三〇K 重油力三六K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
△電線 瓦長二哩 △周波 六〇
社長 光永 喜七
取締役 日賀 田拾三 小倉 新次郎 大島 英吉
平澤 喜助
監査役 石原 新造 山中 宇三郎
主任技術者 野村 泰作
△供給電燈數 四、〇五四個 總燭數 六六、三二燭

朝鮮 ○青州 ○會寧 ○江界 ○定州 ○南原

青州電氣株式會社 電話五五五番

朝鮮青州郡青州面飛鳳洞一ノ一

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓
- △積立 一七〇、〇〇〇圓
- △借入 六四、〇〇〇圓
- △積立 一三、八〇〇圓
- △開業 大正八年一月
- △決算 六月、十二月
- △發電 瓦斯力二〇K
- △電壓 最大三三〇V 需用家三〇V
- △電線 互長三哩七 延長二六哩五
- △周波 五〇

- △取締役 鄭相珍 原田定造 北川茂三郎
- △監査役 原田吉藏 下條貞次郎
- △支配人 山内中二 主任技術者 河野 塔市
- △供給電燈數 一〇、八五二個
- △供給電力數 八馬力
- △支店 居昌(十燭換算一、一六三燈)
- △出張所 泗川(同七二二燈)三浦(同八九三燈)

會寧電氣株式會社 電話一四五

朝鮮咸鏡北道會寧郡會寧面鑿山洞

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △積立 一〇五、〇〇〇圓
- △借入 一〇〇、〇〇〇圓
- △積立 二五、五〇〇圓
- △收入 四二、六一五圓
- △支出 三一、七二二圓
- △利益 一〇、八九三圓
- △配當 一割二分
- △開業 大正九年八月
- △決算 三月、九月
- △發電 電力三〇K 瓦斯力三〇K
- △電壓 最大二、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長一八、九三新 延長六、三三新

定州電氣株式會社 電話二五

朝鮮平安北道定州郡定州面城外洞

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △積立 一五二、五〇〇圓
- △借入 二五、〇〇〇圓
- △積立 三、二〇〇圓
- △開業 大正十四年十二月
- △決算 三月、九月
- △發電 重油力五K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 延長高麗三、七哩 低壓一〇、三哩
- △周波 五〇

- △取締役 齊藤卯太郎 專務 松本 重壽
- △監査役 高村 勝磨 吳 恆 龍 黃 潤
- △支配人 植松 義丸 主任技術者 太田 高治
- △供給電燈數 二、五二八個
- △供給電力數 二、九四K

南原電氣株式會社 電話五六

朝鮮全羅北道南原郡南原面東忠里

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △積立 五七、〇〇〇圓
- △借入 三六、五〇〇圓
- △收入 一〇、一六八圓
- △支出 七、二〇〇圓
- △利益 二、九五八圓
- △決算 五月、十一月
- △開業 大正十五年三月
- △發電 重油力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長六哩五 延長三哩
- △周波 五〇

惠山鎮電氣株式會社 (舊稱北鮮商社)

朝鮮咸鏡南道甲山郡惠山鎮電話二一

- △資本 一一〇、〇〇〇圓
- △積立 五五、〇〇〇圓
- △借入 七、五二二圓
- △積立 四、三六七圓
- △收入 一一、八一四圓
- △支出 八、五八〇圓
- △利益 四、二三四圓
- △配當 一割
- △開業 大正九年八月
- △決算 五月、十一月
- △發電 瓦斯力三〇K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長六哩五 延長三哩
- △周波 五〇

麗水電氣株式會社 電話一三〇

朝鮮全羅南道麗水郡麗水面西町

- △資本 一〇〇、〇〇〇圓
- △積立 六、一八四圓
- △借入 七〇、〇〇〇圓
- △配當 一割
- △開業 大正十年五月
- △決算 六月、十二月
- △發電 瓦斯力三〇K 火力三五K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長六哩五 延長三哩
- △周波 五〇

江界電氣株式會社 電話六五三

朝鮮平安北道江界郡東部洞一〇二〇

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △收入 一〇、九六七圓
- △支出 一〇、二四二圓
- △借入 一五、〇〇〇圓
- △利益 三、六三四圓
- △積立 三〇〇圓
- △開業 大正十四年一月
- △決算 三月、九月
- △發電 重油力五K(兼備瓦斯力五K)
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長四哩七 延長二〇哩九
- △周波 五〇

- △取締役 足立 長吉 小畑豐次郎 加藤鏡治郎
- △監査役 金 錫 足立 秋生 三島卯太郎
- △支配人 劉 基 阿野 壹若 橫江 常藏
- △供給電燈數 一、五八一個
- △供給電力數 三、一六〇〇W

慶州電氣株式會社

朝鮮慶尙北道慶州郡慶州面南里二六五

- △資本 一二〇、〇〇〇圓
- △積立 三一、二〇〇圓
- △借入 一〇、〇〇〇圓
- △積立 五、六一〇圓
- △收入 一〇、六九〇圓
- △支出 七、六六五圓
- △利益 三、〇二五圓
- △配當 一割
- △開業 大正十二年四月
- △決算 六月、十二月
- △發電 瓦斯力三〇K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長七哩 延長三哩
- △周波 五〇

靈法電氣株式會社

朝鮮全羅南道靈光郡靈光面丹朱里

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △借入 一三、三〇〇圓
- △積立 三七、五〇〇圓
- △開業 大正十五年十二月
- △發電 重油力三K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 互長六哩五 延長三哩
- △周波 五〇

鎮南浦電氣株式會社

朝鮮鎮南浦府月見町六番地電話一〇

- △資本 一五〇、〇〇〇圓
- △積立 一五〇、〇〇〇圓
- △借入 一〇〇、〇〇〇圓
- △積立 二四、四五〇圓
- △支出 七二、二三九圓
- △利益 二八、〇〇六圓
- △開業 明治四十四年十月
- △決算 五月、十一月
- △發電 電力五〇K(朝鮮電氣與業會社ヨリ)
- △電壓 最大四、〇〇〇V 供給二〇〇-一〇〇V
- △電線 互長四八新 延長一七新
- △周波 五〇

電燈、力、鐵

朝鮮 ○靈法 ○鎮南浦 ○慶州 ○惠山鎮 ○麗水

朝鮮 ○城津 ○公州

取締役 福永善太郎 高瀬平治郎 辻森 榮三
監査役 高瀬政太郎 田中善之助
主任技術者 岩田 義雄
△供給電燈數二、四八一個 總燭數二五、三三八燭
△供給電力數 七八馬力

城津電氣株式會社 電話一六

朝鮮咸鏡北道城津郡城津面本町六一

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込六四、〇〇〇圓
△借入 五三、〇〇〇圓 △積立 七、二五〇圓
△收入 四五、二九八圓 △支出三五、四一六圓
△利益 九、八二〇圓 (昭和四年十月末)

△開業 大正十二年一月 △決算 四月 十月
△發電 重油力二〇K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長五哩 延長二哩五

公州電氣株式會社

本社 福井市佐久良下町一五電話七九八
支店 忠清南道公州郡公州面錦町大電話六七

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込一〇〇、〇〇〇圓
△借入 一八、〇〇〇圓 △積立 六〇、〇〇〇圓
△收入 一八、五七七圓 △支出 一四、三一六圓
△利益 四、二六一圓 △配當 八分 (昭和四年十月末)

△開業 大正十四年十月 △決算 六月、十二月
△發電 重油力五K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三、〇六軒

○全南 ○安東 ○城南

△積立 四、四五五圓 △配當 一割
△借入 三一、一五〇圓
△開業 大正十年五月 △決算 五月 十一月
△發電 重油力七・七K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三哩 延長二哩

全南電氣株式會社

朝鮮全羅南道羅州郡羅新面松月里
電話榮山面五七 羅州面二六

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 六〇、〇〇〇圓
△借入 一八、〇〇〇圓 △積立 九、七〇〇圓
△收入 一八、五七七圓 △支出 一四、三一六圓
△利益 四、二六一圓 △配當 八分 (昭和四年十月末)

△開業 大正十四年十月 △決算 六月、十二月
△發電 重油力五K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三、〇六軒

1110

主任技術者 德永 鐵二
△供給電燈數 三、二七個總燭數四九、五四六燭

安東電氣株式會社

朝鮮慶尙北道安東郡安東

△資本 一〇〇、〇〇〇圓
△借込 三五、〇〇〇圓
△開業 大正十五年一月
△發電 重油力四・七K
△電壓 三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長四・七哩 延長三・四哩

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込五〇、〇〇〇圓
△借入 一一、〇〇〇圓 △決算 一年一回三月
△開業 大正十五年三月
△發電 瓦斯力四K
△電壓 最大三、三〇〇V 低壓100V
△電線 延長四哩 △周波 六〇

城南電燈株式會社

朝鮮京畿道安城郡邑內面基里三八六

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込五〇、〇〇〇圓
△借入 一一、〇〇〇圓 △決算 一年一回三月
△開業 大正十五年三月
△發電 瓦斯力四K
△電壓 最大三、三〇〇V 低壓100V
△電線 延長四哩 △周波 六〇

固城電氣株式會社

朝鮮慶尙南道固城郡固城面東外洞
電話三七

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込三二、〇〇〇圓
△借入 一八、一三五圓 △積立 五〇〇圓
△收入 七、二二九圓 △支出 六、三五八圓
△利益 八七一圓 (昭和四年十一月末)

△開業 大正十四年三月 △決算 五月 十一月
△發電 重油力三K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三・五軒 延長六・三軒

河東電氣株式會社

朝鮮慶尙南道河東郡河東面

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二五、〇〇〇圓
△借入 一八、一三五圓 △積立 五〇〇圓
△收入 七、二二九圓 △支出 六、三五八圓
△利益 八七一圓 (昭和四年十一月末)

△開業 大正十四年三月 △決算 五月 十一月
△發電 重油力三K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三・五軒 延長六・三軒

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二五、〇〇〇圓
△借入 一八、一三五圓 △積立 五〇〇圓
△收入 七、二二九圓 △支出 六、三五八圓
△利益 八七一圓 (昭和四年十一月末)

電燈、力、鐵

朝鮮 ○宣川 ○濟州 ○忠州 ○固城 ○河東

朝鮮 ○城津 ○公州

取締役 福永善太郎 高瀬平治郎 辻森 榮三
監査役 高瀬政太郎 田中善之助
主任技術者 岩田 義雄
△供給電燈數二、四八一個 總燭數二五、三三八燭
△供給電力數 七八馬力

城津電氣株式會社 電話一六

朝鮮咸鏡北道城津郡城津面本町六一

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込六四、〇〇〇圓
△借入 五三、〇〇〇圓 △積立 七、二五〇圓
△收入 四五、二九八圓 △支出三五、四一六圓
△利益 九、八二〇圓 (昭和四年十月末)

△開業 大正十二年一月 △決算 四月 十月
△發電 重油力二〇K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長五哩 延長二哩五

公州電氣株式會社

本社 福井市佐久良下町一五電話七九八
支店 忠清南道公州郡公州面錦町大電話六七

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込一〇〇、〇〇〇圓
△借入 一八、〇〇〇圓 △積立 六〇、〇〇〇圓
△收入 一八、五七七圓 △支出 一四、三一六圓
△利益 四、二六一圓 △配當 八分 (昭和四年十月末)

△開業 大正十四年十月 △決算 六月、十二月
△發電 重油力五K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三、〇六軒

○全南 ○安東 ○城南

△積立 四、四五五圓 △配當 一割
△借入 三一、一五〇圓
△開業 大正十年五月 △決算 五月 十一月
△發電 重油力七・七K
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三哩 延長二哩

全南電氣株式會社

朝鮮全羅南道羅州郡羅新面松月里
電話榮山面五七 羅州面二六

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 六〇、〇〇〇圓
△借入 一八、〇〇〇圓 △積立 九、七〇〇圓
△收入 一八、五七七圓 △支出 一四、三一六圓
△利益 四、二六一圓 △配當 八分 (昭和四年十月末)

△開業 大正十四年十月 △決算 六月、十二月
△發電 重油力五K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三、〇六軒

1110

主任技術者 德永 鐵二
△供給電燈數 三、二七個總燭數四九、五四六燭

安東電氣株式會社

朝鮮慶尙北道安東郡安東

△資本 一〇〇、〇〇〇圓
△借込 三五、〇〇〇圓
△開業 大正十五年一月
△發電 重油力四・七K
△電壓 三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長四・七哩 延長三・四哩

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込五〇、〇〇〇圓
△借入 一一、〇〇〇圓 △決算 一年一回三月
△開業 大正十五年三月
△發電 瓦斯力四K
△電壓 最大三、三〇〇V 低壓100V
△電線 延長四哩 △周波 六〇

城南電燈株式會社

朝鮮京畿道安城郡邑內面基里三八六

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込五〇、〇〇〇圓
△借入 一一、〇〇〇圓 △決算 一年一回三月
△開業 大正十五年三月
△發電 瓦斯力四K
△電壓 最大三、三〇〇V 低壓100V
△電線 延長四哩 △周波 六〇

固城電氣株式會社

朝鮮慶尙南道固城郡固城面東外洞
電話三七

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込三二、〇〇〇圓
△借入 一八、一三五圓 △積立 五〇〇圓
△收入 七、二二九圓 △支出 六、三五八圓
△利益 八七一圓 (昭和四年十一月末)

△開業 大正十四年三月 △決算 五月 十一月
△發電 重油力三K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三・五軒 延長六・三軒

河東電氣株式會社

朝鮮慶尙南道河東郡河東面

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二五、〇〇〇圓
△借入 一八、一三五圓 △積立 五〇〇圓
△收入 七、二二九圓 △支出 六、三五八圓
△利益 八七一圓 (昭和四年十一月末)

△開業 大正十四年三月 △決算 五月 十一月
△發電 重油力三K △周波 六〇
△電壓 最大三、三〇〇V 供給100V
△電線 互長三・五軒 延長六・三軒

△資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二五、〇〇〇圓
△借入 一八、一三五圓 △積立 五〇〇圓
△收入 七、二二九圓 △支出 六、三五八圓
△利益 八七一圓 (昭和四年十一月末)

電燈、力、鐵

朝鮮 ○宣川 ○濟州 ○忠州 ○固城 ○河東

朝鮮 ○甘浦 ○春川 ○安州 ○溫陽 ○我橋 ○平壤府

甘浦電氣株式會社

△供給電燈數 九四九個 總燭數一、一九五燭
△資本 八〇、〇〇〇圓
△積立 六五一圓
△收入 六、七五六圓
△開業 昭和二年十二月
△發電 汽力二〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V
社長 渡井口清太郎 專務 永島 乙松
取締役 龍野三之助 松岡益太郎
監査役 榎本 貞二 渡井口米吉
主任技術者 藤波 作治
發電所主任 中島喜一郎
△供給電燈數 九六七燭 總燭數一三、三〇四燭

春川電氣株式會社

△資本 五〇、〇〇〇圓
△借入 一七、〇五八圓
△收入 三、五八三圓
△利益 七、九五八圓
△開業 大正十四年二月
△發電 瓦斯力五〇K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V
△電線 互長九、〇〇一四米 延長四、六二二一米

△周波 六〇
社長 山中友太郎 專務 村上九八郎
取締役 久武 常次 佐々木喜市 龍尾 大馬
監査役 野入 外司 高橋 茂雄
△供給電燈數 十燭換算三、八五四個

安州電氣株式會社

△資本 五〇、〇〇〇圓
△借入 一、九四〇圓
△開業 大正十一年九月
△發電 汽力二〇K
△電壓 最大二、〇〇〇V 供給一〇〇V
專務取締役 久田 茂壽
取締役 神保 信吉 福井武次郎 吉田 豊
加藤鐵治郎 樋口 吉松
監査役 足立 秋生 小貫 一誠
△供給電燈數 一、四七七個 總燭數一八、九一二燭

溫陽電氣株式會社

△資本 五〇、〇〇〇圓
△開業 昭和二年七月
△發電 重油力二五K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V
專務取締役 井上賢太郎 秋本豊之助 竹内健一
監査役 澁谷 太吉

△供給電燈數一、六九一個 總燭數二六、〇〇〇燭
電話三三三
朝鮮全羅南道寶城郡我橋面我橋里五一三

我橋電氣株式會社

△資本 三〇、〇〇〇圓
△開業 大正十五年一月
△發電 重油力八K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V
社長 森谷武次郎 常務 森谷 新一
取締役 森下 留治 森谷 重 鉉
監査役 村上 史郎 坂本 豊太
主任技術者 柚木時政光
△供給電燈數 七八〇個 總燭數八、〇〇〇燭

平壤府電氣課

△資本 二、三二〇、〇〇〇圓
△開業 大正十二年五月
△發電 火力一、〇〇〇K
△受電 電力二、〇〇〇K(電氣)六〇〇K(電車)
△電壓 二、〇〇〇V(電氣)直流六〇〇V(電車)
△周波 六〇
△電線 電燈電力 互長三、六哩 延長三、七二哩

代表者 府尹大島良士 電氣課長 主事 長尾 任
電氣係主任、主任技術者 技師 大塚 米藏
庶務係書記 八島利三郎
營業係書記 今池武次郎
電車掛主任、主任技術者 技師 上田 謙吉
庶務係書記 今池武次郎
電氣係主任、主任技術者 技師 井上 慈朗
△供給電燈數 五〇、五八七個 總燭數六、七六六燭
△供給電力數 二、五六三K
△軌道經過地 本線 起點平壤驛前ヨリ箕林里ニ至ル 支線 分岐本町郵便局前 船橋里驛ニ至ル 船橋里停留所ヨリ寺洞ニ至ル
△電車線路 互長七哩半 延長一〇哩
△車輛數 客車二四臺 貨車三臺 搬水車一臺
△乘車賃金 一區五錢(本線) 船橋區 支線 寺洞支線各一區)

兼二浦面電氣部

朝鮮黃海道黃州郡兼二浦面
營業所 面事務所内
△資本 四四、〇〇〇圓
△開業 大正九年三月
△受電 電力二〇K(三菱製鐵所ヨリ)
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V
△電線 互長三哩四 延長八哩七 周波 六〇
面長 石橋 正光
主任技術者 永田 盛雄
電氣部技師 中野源太郎 書記 樺山 三平
△供給電燈數 三、〇七七個 總燭數三三、四八〇燭
△供給電力數 三、八八K

電燈、力、鐵

朝鮮 ○兼二浦面 ○沙里院面 ○朝鮮 ○慶北 ○咸安 ○西朝鮮

沙里院面電燈部

朝鮮鳳山郡沙里院面 電話七
△資本 七五、〇〇〇圓
△借入 六五、〇〇〇圓
△開業 大正十三年十一月
△發電 重油力二五K
△電壓 最大三、〇〇〇V 供給一〇〇V
△電線 互長三哩三 延長三哩一七
面長 宇佐美盛光
主任技術者 串崎 一(發電所主任及電燈部營業部長兼任)
△供給電燈數 二、八五七個 總燭數四〇、三〇七燭

朝鮮水電株式會社

朝鮮咸鏡南道咸興郡雲田面湖南里一
△資本 二〇、〇〇〇圓
△借入 二〇、〇〇〇圓
△設立 大正十五年一月未開業
△發電 水力一六、〇〇〇K
△電壓 最大二、〇〇〇V 供給同上
△電線 延長三、二料二線 互長四、〇料一線
社長 野口 遼 專務 森田 一雄
取締役 志村源太郎 堀 啓次郎 桐島 像一 渡邊 義郎 市川 誠次 榎並直三郎 柳屋 佐祐 大島 英吉
監査役 各務幸一郎 重松 重治 荻生 傳 總務部長 大島 英吉 建設部長 松村 種雪 工務部長 久保田 豊 農林部長 井上 巖二

慶北水力電氣株式會社

林業事務長 瀧 儀三 主任技術者 安藤惟規
朝鮮慶北
△資本 五〇、〇〇〇圓
社長 大須賀哲次郎
專務 弘中 良一 常務 光田 孟輔
取締役 三枝鉦三郎 都 道均 若萩 榮市 大森 辰次
監査役 藤田悌三郎 石川 宗平
咸安電氣株式會社
大分縣大野郡大洞町大字大洞七七

咸安電氣株式會社

△資本 一五〇、〇〇〇圓
△設立 昭和三年十二月
△發電 重油力二五K
社長 內山 直治 取締役 坂本 圓藏
取締役 芝木 一登
監査役 本田 祐助 中島敬次郎
西朝鮮電氣株式會社
△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓(未開業)
△發電 重油力三〇K
社長 齊藤宇太郎
專務 金 鴻 亮 常務 康 益 夏
取締役 金 庸 雲 趙 乘 淳 鄭 建 裕
元 孝 燮 岸 本 榮 七

臺灣 ○臺灣 ○臺灣合同

- 監查役 田中 樹夫 李 用 柱 李 東 熙
- 長津江電力株式會社 成南
- △資本一〇〇、〇〇〇圓 水力二〇、〇〇〇K
- 鴨綠江水力電氣株式會社 成南
- △資本一〇〇、〇〇〇圓 水力一四、〇〇〇K
- 江陵電氣株式會社 江原
- △資本一〇〇、〇〇〇圓 重油力四五K
- 九龍浦電氣株式會社 慶北
- △資本一〇〇、〇〇〇圓 重油力二〇K
- 慶島水力電氣株式會社 慶北
- △資本三〇〇、〇〇〇圓 水力一五K

臺灣

臺灣電力株式會社

- 臺北市書院町一丁目一電話一四五(外五)
- 東京出張所 町區丸ノ内二ノ一二
- 電話丸ノ内九五九
- △資本 三四、四九五、〇〇〇圓 △配當 六分
- △拂込 三二、六九五、〇〇〇圓

- △社債 二〇、〇〇〇、〇〇〇圓 △決算六月十二月
- △積立 七、三四三、四八七圓
- △收入 四、二五一、九六一圓
- △支出 二、五七六、二八八圓
- △利益 一、六七五、六七二圓 (昭和四年下半年)
- △開業 大正八年八月
- (昭和四年七月臺灣電氣興業會社合併)
- △發電 水力六、三三三K 汽力六、六〇K
- △受電 七〇K(臺灣合同電氣ヨリ)
- △電壓 二〇〇V(臺灣製鐵ヨリ) △周波 六〇
- 社長 松本幹一郎 副社長 山中 義信
- 理事 國弘 長重 南 政吉
- 監事 永田準之助 高田元次郎
- 主任技術者 國弘 長重 庶務課長 白井泉藏
- 營業課長 川上 宣司 技術課長 松尾 秀雄
- 建設部技師長 奥村 簡二
- 同 庶務係長 五百木宗則
- 同 土木課長 心野 庄野卷治
- 同 機械課長 高原量四郎
- △供給電燈數 總燈數 四三三、一九八個
- 總燭數 一一、二七六、七九三燭
- 出張所
- 東京 東京市町區丸ノ内二丁目(水上清水郎)
- 基隆 臺北市基隆市田寮港 (四木武二)
- 臺中 臺中州臺中市大正町 (福井恭三郎)
- 臺南 臺南州臺南市南門町二丁目 (榎本靜夫)
- 高雄 高雄州高雄山下町 (谷口實行)
- 營業所 臺北市書院町一丁目(川上宣司)
- 彰化 臺中州彰化街
- 屏東 高雄州屏東街

臺灣合同電氣株式會社

- 宜蘭 臺北市宜蘭郡宜蘭街(中川勳造)
- 瓦斯 臺北市濱町 (濱谷甚平)
- 修理工場 臺北市櫻山町 (松尾秀雄)
- 電話八七五
- △資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △積立 一二七、三七〇圓 △配當 六分
- △收入 二一六、七〇四圓 △支出 一六〇、二五圓
- △利益 五六、五五一圓(昭和四年十一月末)
- △開業 大正九年八月 △決算 五月 十一月
- △發電 水力一〇、〇〇〇K 汽力三〇〇K 重油力三〇〇K
- △受電 電力三〇〇K(臺灣電力會社ヨリ)
- 電力五〇〇K(嘉府電燈ヨリ)
- △電壓 最大二、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V
- △周波 五〇 延長六、六五軒
- 社長 川北 榮夫
- 常務 菅野信躬 取締役支配人 曾田恒次郎
- 取締役 郭 延 簡 朗 山 川合 良男
- 佐々木紀綱 黃 班 爵 高橋猪之助
- 監查役 小畑 勇吉 井手 英孝 松井金二郎
- 顧問 新見 喜三 主任技術者 菅野 信躬
- 水野 耕藏
- 營業係 前島右三郎 松尾 實喜
- △供給電燈數 二一、四二六個 總燭數七三、二八燭
- △供給電力數 四三三馬力

花蓮港電氣株式會社

- 電話一〇、一〇三
- 花蓮港廳花蓮港街花蓮港黑金通八
- △資本 二四〇、〇〇〇圓 △借入 四〇、〇〇〇圓
- △拂込 四三四、〇〇〇圓 △積立 一〇二、一八六圓
- △收入 一〇五、四七四圓 △支出 六六、一〇六圓
- △利益 三九、三七一圓 △配當 一株九〇錢
- △決算 五月 十一月 (昭和四年十一月末)
- △開業 大正九年四月
- △發電 水力六、三三三K 汽力三〇〇K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給一、〇〇〇V
- △電線 延長三、九六六圓 △周波 六〇
- 社長 原 修次郎 專務 梅野 清太
- 取締役 指宿 七二 古賀爲一郎 中村五九介
- 小川 浩 大江 虎吉 饒 永昌
- 監查役 鄭 國 賓 吉村 佐平 河原謙次郎
- 支配人 岡 秀夫 主任技術者 門田 菊松
- △供給電燈數 八、五八八個 總燭數二九、二二六燭
- △供給電力數 二六四馬力
- 支店 玉里支店 花蓮港廳王麗庄玉麗
- 鳳林支店 同鳳林區鳳林

嘉義電燈株式會社

- 電話五八、九二〇
- 臺南州嘉義郡嘉義街西門外九六四
- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇〇、〇〇〇圓
- △借入 五〇〇、〇〇〇圓 △積立 九七、〇〇〇圓
- △配當 五三、〇〇〇圓
- △收入 五二六、七〇二圓 △支出 三三、九八六圓

電燈、力、鐵

臺灣 ○花蓮港 ○嘉義 ○新竹 ○恒春

新竹電燈株式會社

- 電話 新竹四三五・六一一
- 臺灣新竹州新竹市南門(外一)
- △資本 五〇〇、〇〇〇圓 △收入 一四九、〇六〇圓
- △拂込 四七〇、〇〇〇圓 △支出 一四五、五四〇圓
- △借入 二〇一、三〇〇圓 △利益 四三、五二〇圓
- △積立 一一〇、〇〇〇圓 △配當 一割二分
- △決算 三月 九月 (昭和四年九月末)
- △開業 明治四十五年四月
- △發電 水力三〇〇K 瓦斯力三〇〇K 重油力三〇〇K
- △受電 電力五〇〇K
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給三、〇〇〇V
- △電線 延長二、五五五圓 延長四、八二九圓
- 社長 赤司初太郎 主任技術者 原 辰司
- 取締役 永野榮太郎 眞木 勝太 黒田 約
- 木村 泰治
- 常務監查役 西川利藤太 監查役 古賀三千入
- △供給電燈數 二、六五四個 △供給電力數 一〇、五五馬力
- 出張所 斗六、西螺、虎尾、北港、民雄、白川
- 鹽水、大林、斗南、土庫、新臺

恒春電氣株式會社

- 高雄州恒春郡恒春庄恒春七三電話七五
- △資本 一〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二九、九二五圓
- △借入 三、三五〇圓 △積立 八、二五〇圓
- △收入 二〇、九九一圓
- △支出 一六、一四二圓
- △利益 四、八四九圓 (昭和四年九月末)
- △開業 大正十二年八月 △決算 一回九月
- △發電 瓦斯力三三K △周波 六〇
- △電壓 最大三、〇〇〇V 供給二、〇〇〇V
- △電線 延長三、三三三圓
- 社長 許 連 竹 常務 許 清 濤
- 取締役 齊藤 永浩 許 受全 董 欽 湖
- 監查役 周 貴 生 董 清 琳 郭 賢 諒
- 主任技術者
- △供給電燈數 一、二七九個 二七九五〇W
- 出張所 東城出張所 恒春郡東城庄東城
- 四重溪出張所 同四重溪

南庄山林合資會社

臺灣新竹州竹南郡南庄
資本 二〇、〇〇〇圓
開業 大正十三年九月
發電 水力八K
電線 延長二哩
代表者 許連升
供給電燈數 二〇〇個

嘉南大坵組合

臺南州嘉義街電話四三・五三・三二二
開業 大正十二年二月
發電 水力一、〇〇〇K
電壓 最大三〇、〇〇V 低壓三〇—二〇V
電線 延長七哩
代表者 枝德二
供給電燈數 一、六七九個
供給電力數 二、〇六〇馬力

有限責任里壩電氣利用組合

臺東廳里壩區里壩字里壩八八
開業 大正十五年四月
發電 重油力五K
電壓 最大二、〇〇〇V
代表者 岩崎房吉
主任技術者 仁木三四郎

有限小基隆興業組合

臺灣淡水郡小基隆
資本 六、〇〇〇圓
開業 昭和二年十一月
發電 水力七、五K
電壓 電力五八K
代表者 謝有田
供給電燈數 一三五燈

關子嶺利用組合

臺灣新營郡白河庄關子嶺
開業 昭和三年一月
發電 水力五K
電壓 三〇V
主任技術者 龜井毅

滿洲

南滿洲電氣株式會社

關東州大連市西通一七七 電話代表三一四一
資本 二五、〇〇〇圓
積立 五〇三、九〇〇圓
收入 四、二九四、八七九圓
支出 三、三二二、五八八圓
利益 九七二、二九一圓
開業 大正十五年六月
發電 水力一、〇〇〇K
電壓 最大三〇、〇〇V
電線 延長七哩
代表者 岩崎房吉
主任技術者 仁木三四郎

專務

橫田多喜助 常務 高橋 仁一
今井 榮景
取締役 向坊盛一郎 根橋 碩二 富永 能雄
中西 敏憲 山岡 信夫
監査役 白濱多太郎 武部治右衛門 金丸富八郎
庶務課長 宋綱 野 經理課長 三宅 敬夫
計課長 古泉 光男 工務課長 大磯 義勇
電燈課長 栗山 壽二 電線課長 田中 潤
試驗所長 龜山 亨 奉天支店長 彌永茂太郎
長春支店長 大浦 力 安東支店長 高橋芳藏
鞍山支店長 稅所 莊吉
供給電燈數 四三二、五八二個(一五、一一三K)
供給電力數 三九、四四六K
支店 奉天宮島町二 電長四〇五七
長春日本橋通三八 電長九三四
安東市場通八ノ一 電長三九三
鞍山大正通二ノ八五電長五三三

南滿洲鐵道撫順炭礦

南滿洲奉天省撫順縣
開業 明治四十一年十一月
發電 汽力一、〇〇〇K
電壓 二、〇〇〇—二、一〇〇V
△周波 六〇

電燈、力、鐵

滿洲 ○南滿洲 ○營口 ○北滿

主任技術者

岡村 金藏
供給電燈數 一〇八、六七五個
供給電力數 一三、二五五、五二二KW
軌道 奉天省撫順炭礦區
電車線 延長三八、四〇二米 電長二九、二〇二米
一區特等一〇錢、並等五錢
電燈電力營業所 撫順中央通(三橋重則)

營口水道電氣株式會社

南滿洲營口市街四八本街電話一番
資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓
積立 一、一五〇、四九一圓
收入 四、五五、一〇六圓
支出 二、五九、一六二圓
利益 一九八、九四四圓(各事業共通)
開業 九年九月(昭和四年十月末)
發電 汽力一、〇〇〇K(常用)汽力一、〇〇〇K(豫備)
電壓 最大送電電壓一、〇〇〇V
電線 延長二七、五五米
供給電燈數 四九、四五七燈
供給電力數 一、四九三、七五馬力
電話事業 加入者數一六七九(內長距離五四一)
專務取締役社長 加賀 種二
取締役兼支配人 松本 員男
取締役 潘 玉 田 李 序 岡 鄰 相 區
向坊盛一郎 佐藤 俊久 王 沛 瀾
監査役 夏 紹 奇 高 吉 先 金丸富八郎

北滿電氣株式會社

北滿洲哈爾濱道裡地段街 電話二一七八・二七八二・三五一三
水道部主任 今井喜代次 電話局長 大村貞平
電燈部主任 久保 小一
資本 一、二〇〇、〇〇〇圓
積立 二、七八八、〇〇〇圓
收入 四〇、三〇〇圓
支出 二二六、九八二圓
利益 二、六〇三圓(昭和四年十一月末)
開業 大正七年四月
發電 汽力四、五〇〇K
電壓 最大三、五〇V 供給二〇〇—二〇〇V
電線 延長四、七九六呎
專務 高橋 貫一
取締役 江藤 盛一 佐藤 有 二 庵 谷 忱
監査役 佐々木久松
技術課長兼主任技術者 作田 稔三
收金係主任 今井左近 庶務係主任 間庭福督
會計物品係主任 小久保利一郎
營業係主任 野島 一朗
電路試驗係主任 中澤 信吉
供給電燈數六七、四一三個 總燭數一二八、六四燭
供給電力數 一、六九七、九五馬力

滿洲 ○開原 ○四平街 ○華興 ○公主嶺 ○范家屯

開原電氣株式會社

南滿洲開原鐵道附屬地開原大御五六ノ二
電話 長 一 二 〇

- △資本 五〇〇、〇〇〇圓△積立 一七七、五二四圓
- △拂込 二二七、五〇〇圓△配當 一割二分
- △收入 一九一、〇三三圓
- △支出 一三一、六五〇圓
- △利益 五九、三八〇圓(上下兩期)
- △開業 大正三年十月△決算 六月、十二月
- △發電 瓦斯力五〇K △周波 五〇
- △電壓 最大三、〇〇V 供給二〇一、二〇〇V
- △電線 延長七、六哩 亘長二、九哩
- 專務 千々和正彦
- 取締役 權太 親吉 關 甲子郎 高橋 仁一
- 今井 榮量 佐竹 令信
- 監査役 川島定兵衛 長谷川 收 王 執 中
- 主任技術者 佐々木彦七郎
- △供給電燈數 一三、四六五個總燭數七、三八〇W
- △供給電力數 一八五、五馬力

四平街電燈株式會社

南滿洲四平街北四條路一八 電話一〇二〇

- △資本 三五〇、〇〇〇圓△拂込 二二五、〇〇〇圓
- △收入 八〇、七七八圓△積立 九六、〇七八圓
- △支出 六二、九九九圓 △利益 一七、七七九圓
- △配當年一割二分△決算三月九月(昭和四年九月)
- △開業 大正六年十二月
- △發電 汽力五五K

二三八

華興電氣株式會社

南滿洲奉天省遼寧縣鄭家屯

- △資本 三〇〇、〇〇〇圓△拂込 二二〇、〇〇〇圓
- △配當 七分
- △開業 大正七年八月
- △發電 汽力三〇K
- △電壓 二〇V △周波 五〇
- 社長 張忠義 副社長 渡邊 喜市
- 取締役 謝樹林 周義 延闕 雲 亭
- 劉運安
- 監査役 有馬 藤太 王 達 芝
- 支配人 張 道 坊 主任技術者 渡邊 喜一
- △供給電燈數八、五二〇個總燭數一五〇、〇〇〇燭

公主嶺電燈株式會社

南滿洲公主嶺蛟島通三丁目
電話四五番・二八九番

- △資本 二五〇、〇〇〇圓 △積立 一一九、〇三三圓
- △拂込 一〇〇、〇〇〇圓 △配當 一割二分

范家屯電氣株式會社

范家屯榮町第八號地電話一四

- △資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 三五、〇〇〇圓
- △積立 一、二二〇圓 △借入 七五、〇〇〇圓
- △決算 三月 九月 △開業 大正九年二月
- △發電 汽力二五K 供給一〇〇V
- △電壓 最大三、〇〇V 亘長三、三哩
- △電線 延長三、三哩 亘長三、三哩 △周波 五〇
- 專務 水野 鐵雄 (主任技術者兼務)
- 取締役 今井 榮量 穴澤喜壯次 王 關 亭
- 支店長 宇慶 武雄

- 監査役 高橋 仁一 董典 五 王 延 選
- △供給電燈數 二、八八〇個總燭數六〇、九〇〇W

大連民政署鏡子窩支署

關東州鏡子窩西街九五 電話二八

- △開業 大正十年三月
- △發電 瓦斯力三五K △周波 五〇
- △電壓 最大三、〇〇V 供給一〇〇V
- △電線 高壓亘長一哩半 低壓五哩
- 民政支署長 武波 善治
- △供給電燈數一、五一一個 △供給電力數二七K

同普蘭店支署

電話一〇七

- △開業 大正十年十二月
- △發電 瓦斯力五〇K 電力五〇K(金州民政支署ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇V 供給二〇一、二〇〇V △周波 五〇
- △電線 亘長七、三三哩 延長三、三三哩
- 支署長 池田公雄
- △供給電燈數一、八一一個 △供給馬力數二二馬力

瓦房店電燈株式會社

南滿洲瓦房店東區常盤街 電話一七

- △資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
- △借入 六一、五〇〇圓 △積立 二六、三〇〇圓
- △收入 四八、九六三圓 △支出 三九、五七七圓
- △利益 九、三八六圓
- △配當 一割 (昭和四年九月末)
- △開業 大正三年十二月 △決算 三月 九月
- △發電 二七、六K(熊岳城) 四五、〇K(瓦房店)

電燈、力、鐵

滿洲 ○鏡子窩 ○普蘭店 ○瓦房店 ○大石橋 ○商辦本溪湖

- △電壓 受電三、〇〇V 發電三、〇〇V
- △周波 五〇 供給二〇一、二〇〇V
- △電線 亘長三、七哩半 延長九、二〇米
- 專務 谷 保太郎(主任技術者兼務)
- 取締役 今井 榮量 萩 松三郎 西村 秀治
- 高橋 仁一
- 監査役 戴 如川 森田彦三郎 長谷川 收
- △供給電燈數 七、〇四八個總燭數一九、〇三五W
- 支店 南滿洲熊岳城

大石橋電氣株式會社

南滿洲大石橋大街八八 電話一六

- △資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇、〇〇〇圓
- △積立 六〇、九七四圓 △配當 一割二分
- △收入 四〇、七八六圓 △支出 二九、八〇四圓
- △利益 一〇、九八二圓 (昭和四年九月末)
- △開業 大正五年七月△決算 三月 九月
- △發電 電力三〇K(營口水電ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇V 供給二〇一、二〇〇V
- △電線 亘長三、一六米 延長高壓二、六六四米 低壓六、三三三米
- △周波 五〇
- 專務 原 豐吉(主任技術者兼務)
- 取締役 小林 才治 今井 榮量 村上 輝文
- 監査役 赤倉龜治郎 高橋 仁一
- 電路主任 池田門左衛門 事務主任 佐藤 照
- △供給電燈數 四、六三四個
- △供給電力數 二七五馬力

商辦本溪湖煤鐵有限公司

南滿洲本溪湖

- △資本 龍銀七、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 同上
- △開業 明治四十三年五月
- △發電 汽力八、〇〇〇K
- △電壓 最大三、〇〇V 供給二〇一、二〇〇V
- △電線 延長二、八、九六米 亘長九、八七米
- △周波 五〇 (主任技術者 小島喜久馬)
- 總辦(日本) 鮫島 宗平 同(中國)周 大 文
- 電燈係 香田 藤一 坑內電氣係 山下登米藏
- △供給電燈數 總燈數一七、三〇〇燈

社內(自家用) 七、六〇六燈
社外 九、六九四燈
△總燭數 四〇六、八三二燭
△供給電力數 社外 五九〇馬力

備考
當公司ハ探炭及製鐵ヲ營業ノ主眼トシ電氣事業ハ上記事業ニ要スル動力ヲ供給スル傍ラ富市内並ニ社線々路ニ近キ小邑ニテ所々電燈電力ヲ供給スル迄ニ止ルモノニシテ單ニ一部ノ附帶事業ニ過ギズ、從テ上記人員ハ直接電氣事業ニ關係シ其ノ實務ニ當レル者ノミヲ記載スルモノトス又電氣事業ノ資本金トシテハ前述ノ如ク附帶事業ニヨリ分割判明セズ

滿洲 ○奉天 ○關東廳 ○金州 ○遼陽 ○鐵嶺 ○西村

奉天電車株式會社

奉天宮島町

- △資本 一、五〇〇、〇〇〇圓
- △決算 每年十二月
- △開業 大正十五年六月
- △受電 電力二五〇K (合名會社大倉組經營 昭和二年三月讓受)
- △電壓 六〇〇V
- 社長 村岡敬四郎
- 主任技術者 浦江 隆昌
- △軌道經過地 奉天附屬地

關東廳旅順民政署

關東州旅順市學堂

- △資本 一、二五〇、〇〇〇圓(投資額)
- △決算 年一回三月
- △開業 明治四十年十二月
- △發電 電力二、〇〇〇K
- △周波 六〇
- △電壓 最大二、三〇〇V 供給三〇一、一〇〇V
- △電線 延長三八八哩 互長二五哩
- 管理者 民政署長 西山 茂
- 課長 吉野不二雄
- 主任技術者 技師 中里 末雄
- △供給電燈數 二四、九四二個
- △總燭數 四六六、〇一四燭
- △供給電力數 一、五六五馬力

金州民政支署電氣部

關東州金州新市街

- △開業 大正六年十二月
- △發電 電力六〇〇K(南滿洲電氣ヨリ受電)
- △電壓 三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 延長二八哩 互長六哩
- 民政署長 田邊 秀雄
- 主任技術者 木谷鶴次郎
- △供給電燈數 九、一四二個 總燭數三、七五一燭
- △供給電力數 四六〇馬力
- 出張所 關東州金州城内、柳樹屯、三十里堡、愛川村、金州南山通

遼陽電燈公司

電話二九七・一五〇 南滿洲遼陽東洋街七ノ一〇

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓(拂込二〇〇、〇〇〇圓)
- △積立 一五九、六六九圓(配當 一割二分)
- △收入 一六二、一四四圓(支出一四三、五六六圓)
- △利益 一八、五七七圓(昭和四年九月末)
- △開業 明治四十五年三月(昭和四年九月末)
- △受電 電力五〇〇K(南滿洲電氣ヨリ)
- △電線 延長三、八八三哩 互長六〇、三三〇哩
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇一、一〇〇V
- △周波 六〇
- 總辦 于 沖漢
- 支配人兼主任技術者 中村 信
- 監事 陳 德 榮 陳 時 昇 橫田多喜助 高橋 仁一

二四〇

鐵嶺電燈局

南滿洲鐵嶺東大街 電話二五

- △供給電燈數 一九、六七九燈 五五九、九〇〇W
- △供給電力數 三、二〇五・九馬力
- △資本 一五〇、〇〇〇圓(拂込一五〇、〇〇〇圓)
- △借入 一四〇、七四二圓
- △收入 九六、〇七六圓 △支出 七三、六七六圓
- △利益 二二、四〇〇圓 (昭和四年九月末)
- △開業 明治四十三年十一月(昭和四年九月末)
- △發電 電力五〇〇K
- △電壓 最大三、三〇〇V 供給二〇〇V
- △電線 延長三、八八三哩 互長六〇、三三〇哩
- △周波 六〇
- 總辦 于 沖漢 主任 宗 石 昂
- 監事 橫田多喜助 高橋 仁一 瀧寄準次郎
- 主任技術者 石川 一清
- △供給電燈數 一一、二二六個
- △供給電力數 五〇九馬力

西村 茂

首山附屬地

- △資本 三、〇〇〇圓
- △決算 每年一回三月
- △開業 大正十三年九月
- △發電 電力一K
- △電壓 最大直流二〇V
- △電線 互長一哩
- 代表者 西村 茂
- △供給電燈數 一三〇個

電氣化學工業

了之部

旭硝子株式會社

電話九ノ内三、一八六 京都市龜町區九ノ内一ノ八

- △資本 一、二、五〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 六、八七五、〇〇〇圓
- △開業 明治四十年九月
- △主要製作品 曹達灰、重曹、鹽化石灰、炭酸苦土、炭酸石灰、補助肥料類
- △發電 電力四〇〇K
- △受電 七〇〇K(九州水力ヨリ)
- △電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
- 社長 岩崎 俊彌 常務 田村 八二
- 總務課長 長谷川國三
- 牧山工場 八幡市枝光(工場長森井清藏)

旭電化工業株式會社

電話九ノ内三一、九一(外二) 京都市龜町區九ノ内三ノ二

- △資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓(拂込二、〇〇〇、〇〇〇圓)
- △開業 大正六年一月 △決算 五月 十一月
- △主要製作品 苛性曹達、晒粉、鹽酸、硬化油、石鹼
- 合成鹽酸

電氣化學 アイウオ

イ之部

揖斐川電氣株式會社

電話九ノ内三九三七 京都市丸ノ内一丁目六海上ビル

- △一ヶ年製産 價格六、〇〇〇、〇〇〇圓
- △受電 二、一〇〇K(東京電燈)
- △電壓 最大三、三〇〇V
- 社長 鈴木市之助 支配人 磯部倫一郎
- 技師長 藤堂 良廣
- 尾久工場 京都市外尾久町
- 工場長 浦野三朗 電氣主任技術者 原田圓治
- 大垣出張所 (電燈電力供給事業岐阜縣參照)
- 支配人 眞中 義定 總務課長 荒川 重次
- 技術課長 岸 興三
- 工場 大垣市西大垣驛前 電話五五・四七〇
- △工場開始 大正六年二月
- △主要製作品 炭化石灰、黑鉛
- △四ヶ年上半期製産高 炭化石灰五、七二九、八五〇封度 炭素製品 四〇四、五四五封度 炭化石灰工場主任 永井定治郎 技師中西調次郎 炭化石灰工場主任 牧野左武郎

ウ之部

宇島酸水素株式會社

福岡縣築上郡宇島村電話八屋一一〇番

- △資本 五〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
- △開業 大正九年十月 △決算 二月 八月
- △主要製作品 酸水素、水素製造
- △一ヶ年製産量 四八〇〇〇立方尺(酸水素倍)
- △同價格 一立方尺付約四〇錢(工場渡)
- △受電 二〇〇K(九州水力會社)
- △電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
- 社長 大木熊太郎
- 工場 福岡縣築上郡宇島町 (電氣) 主任技術者兼工場長 石本 卯一

オ之部

大阪アルカリ土地株式會社

大阪市西淀川區大野町八二 電話 土佐堀二、九一〇外

- △資本 一、五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇〇、〇〇〇圓
- △決算 五月 十一月 △開業 大正十五年八月

二四一

△主要製作品 硫酸及過燐酸肥料
 △一ヶ年製産 硫酸一、四〇〇萬
 △同價格 硫酸一〇〇萬圓 肥料二八〇萬圓
 △受電 年八、〇〇〇K(日電)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
 社長 田中榮八郎 常務 吉米地義三
 支配人 進藤千之助
 (電氣)主任技術者 野崎 清壽
 ○工場 大阪市西淀川區大野町八二
 工場長 岡田 清 電氣技術師 伊藤 英亮

大阪曹達株式會社

大阪市東區南久寶寺町四ノ七
 電話船場一四四三
 △資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △收入 三、三三三圓
 △拂込 一、〇六二、五〇〇圓 △支出 四、二二二圓
 △開業 一五四、一〇七圓(昭和四年十一月末)
 △開業 大正四年十月 △決算 五月 十一月
 △主要製作品 苛性曹達、晒粉
 △一ヶ年製産高 苛性曹達百萬封度、晒粉千百萬封度
 △受電 三、〇〇〇K(九州電氣軌道)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
 社長 尼崎伊三郎
 取締役 大塚和三郎 清水捷太郎
 監査役 山田市治郎
 支配人 營業部長 矢野 寛
 技術部長 金森 基倍
 ○工場 小倉市中井

共立鑛業株式會社

東京市麹町區丸ノ内興銀内
 △資本 二、四〇九、一七九圓
 △主要製作品 型鉛、精鉛、精銀
 △發電 水力、一、〇〇〇K
 △受電 六〇〇K(宮城縣管)
 △電壓 最大三、〇〇〇V △周波 六〇
 ○鑛業所 宮城縣栗原郡鶯澤村
 所長 西島 九郎
 主任技術師 高橋 嘉一

京都電燈株式會社

(電燈電力供給事業京都府參照)
 ○勝山工場 福井縣大野郡遲羽村電話四九番
 工場長 山田甚次郎
 主任技術師 林 聚太郎
 △主要製作品 炭化石灰
 △一ヶ年製産 價格一五八、六三三圓
 △受電 一、七〇〇K(不定時使用)
 △電壓 最大三、三〇〇V

コ之部

株式會社小松製作所電話小松三三三二
 石川縣能美郡小松町字八日市町地六五
 出張所 東京市麹町區丸ノ内二丁目二
 △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込六二五、〇〇〇圓
電氣化學 キコシ

大阪酸水素株式會社

京都府紀伊郡向島新葎島田
 △資本 五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
 △主要製作品 酸水素、硬化油、硬化蠟
 △受電 電力
 社長 泉 彌市 常務 岡田 赤一
 伏見工場 伏見市外矢倉島(電話二二二一)

株式會社大島製鋼所

東京市外大島町四ノ一三
 △資本 六、〇〇〇、〇〇〇圓 △積立 一七五、三三三圓
 △拂込 五、三七八、一五八圓 △借入 五二、八二二圓
 △開業 大正五年六月 △決算 四月 十月
 △主要製作品 製鋼並諸機械製造
 △受電 電力五〇〇K(東京電燈)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
 社長 大川平三郎 常務 長谷川太郎吉
 取締役 田中榮八郎 白石元治郎 門野重九郎
 監査役 渡谷 澄 渡澤武之助 末兼 要
 支配人 山田馬次郎 松野 千勝 淺野 良三
 (電氣)主任技術者 田邊文之助

大淀川水力電氣株式會社

東京市麹町區丸ノ内二丁目
 △資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 一、二五〇、〇〇〇圓
 △未開業

代表取締役 藤原銀次郎
 常務 高橋 利喬 近藤 銀次
 取締役 岩城 正一 羽村 協輔 大和田市郎
 濱田 東稻

幸之部

九州電氣工業株式會社

大分縣速見郡川崎村八六〇電話日出一六
 △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 五〇〇、〇〇〇圓
 △決算 四月 十月
 △開業 大正八年五月
 △主要製作品 炭化石灰、酸水素、合成醋酸
 △一ヶ年製産 炭化石灰 三百八十萬冠 酸水素 五億四千萬立突 醋酸七百冠
 △受電 電力三、三〇〇K(九水)
 代表取締役 菱形 重之
 支配人 曾 木 朴
 ○炭化石灰日出工場 大分縣速見郡川崎村八六〇
 敷地 二、五八八坪 但し九州水力電氣株式會社
 より受託經營
 ○炭化石灰小野屋工場 大分縣大分郡阿南村東長
 實四〇九 敷地 二、九四一坪
 ○酸水素小倉工場 小倉市大字板櫃四二五 敷地七
 〇〇坪
 ○醋酸工場 大分縣速見郡川崎村八五二ノ一 敷
 地 二、五〇〇坪

四國水力電氣株式會社

香川縣多度津町 電話三六・四〇
 (電燈電力供給事業香川縣參照)
 △資本 二一、七〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三、三三三、〇〇〇圓
 △開業 昭和三年七月(化學工場)
 △主要製作品 硅素鐵
 △一ヶ年製産 三〇〇〇冠
 △同價格 六八、〇〇〇圓
 △周波 六〇
 會長 景山甚右衛門 常務 高橋 正忠
 支配人 卯之木首一郎
 (電氣)主任技術者 瀧野 幾平
 ○化學工場 香川縣多度津郡多度津町大字多度津
 工場長 吉田武比古(化學工場)

飾磨化學工業株式會社

兵庫縣飾磨町中島 電話六六
 △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
 △開業 大正七年一月
 △主要製作品 硫酸鹽土、明礬、プラスチック、白色セ
 メント、酸化アルミナ
 △一ヶ年製産 六五〇、〇〇〇圓
 △使用電力 二八五馬力
 社長 淺田貞次郎 常務 淺田 義藏
 淺田 平藏
 二四三

シ之部

神島人造肥料株式會社

大阪市北區中ノ島江南ビル五階
 電話本局一七七七
 △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 六二八、〇〇〇圓
 △開業 大正六年六月
 △主要製作品 硫酸、過燐酸、肥料類
 △一ヶ年製産 過燐酸一六、〇〇〇、〇〇〇圓
 硫酸九八、〇〇〇、〇〇〇圓
 社長 田中 隆三 常務 吉米地義三

電氣化學 キコシ

信濃電気株式会社

長野市吉田町
(電燈電力供給事業長野縣参照)
△主要製作品 カーバイト
△一ヶ年製産 一三、二〇九噸
○柏原工場 長野縣上水内郡柏原村(信越線柏原驛前)
工場長 丸山 英一 主任技師 米村 貞雄
○吉田工場 長野市吉田町

信越窒素肥料株式会社

長野市吉田町
△資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二、三〇、〇〇〇圓
△設立 大正十五年九月
△主要製作品 炭化石灰、石灰窒素、硫酸
△受電 一七、〇〇〇K(信濃電氣)
△電壓 七、七〇〇V △周波 六〇
○工場 新潟縣中頸城直江津外二ヶ村
工場長 岩橋 勇 工場次長 米村 貞雄
主任技師 二司 丈夫

昭和曹達株式会社

電話九ノ内七三〇
東京市麹町區九ノ内二丁目八
△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓 △決算 五月十一日
△拂込 三七五、〇〇〇圓
△設立 昭和三年十二月
△主要製作品 苛性曹達、晒粉

株式会社大正電氣製錬所

東京市本郷區千駄木町一三
△開業 大正十一年十二月
△受電 三〇〇K
△電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
社長兼主任技師 高橋武太郎
○工場 長野縣上水内郡柏原驛

株式会社大同電氣製鋼所

名古屋市南區熱田東町丸山六〇
電話 南一、八五五・一、八五四
△資本 二、八〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一、八〇〇、〇〇〇圓
△開業 大正十年十一月 △決算 三月 九月
△主要製作品 合金鐵、鐵鋼品、鋼鋼品、厚延鋼
昭和四年上期産出 一、六四一噸
△受電 三、八〇〇K(木曾川電力ヨリ)
△電壓 最大二、〇〇〇V △周波 六〇
社長 寒川 恒貞 常務工博 川崎合恒三
取締役 村瀬 末一 葛生 暉 島田 忠次
齋藤 直武 志水 渡民
監査役 増田 次郎 内藤 熊喜
商務課長支配人 島田 忠次
工務課長技師 深田 辨三
工場長主任技師者常務兼務

電氣化學

株式会社住友肥料製造所

大阪市東區北濱五ノ二二
△資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 一、八〇〇、〇〇〇圓
△開業 大正十四年六月(住友合資會社ヨリ分離)
△發電 電力(自家用電氣参照)
△主要製作品 各種人造肥料、硫酸
△一ヶ年製産 肥料四一、〇〇〇、〇〇〇圓
硫酸二二、〇〇〇、〇〇〇圓
取締役會長 湯川 寛吉 常務 山本 信夫
支配人 矢崎 地治
工場 愛媛縣新居郡新居濱町總開
工場長兼技師長 羽室 廣一

住友別子鑛山株式会社

愛媛縣新居郡新居濱町
△資本 一五、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
△設立 昭和二年住友合資會社ヨリ分離組織變更
△主要製作品 電氣鋼、金、銀
社長 湯川 寛吉
常務 白井 定民 野尾勘解治
支配人 生野 章作

夕之部

株式会社多木製肥所

兵庫縣加古郡別府村
電話別府二四・明石一五四
△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額

諏訪電氣株式会社

長野縣諏訪郡下諏訪町
(電燈電力長野縣之部参照)
△營業 炭化石灰製造販賣
製品賣上額九一、二三五圓
社長 尾澤福太郎 副社長 小口 善重
常務取締役 大久保要四郎
常務監査役 高橋 模藏
主任技師 村松 保壽 支配人 神岡 龜夫
○營業工場 長野縣東筑摩郡鹽尻村

熱田工場

名古屋市熱田東町丸山六〇
○熱田工場 名古屋市熱田東町丸山六〇
鑄鋼主任技師 與倉 虎雄
電燈主任技師兼 竹内 保資
鍛鋼主任技師 竹内 保資
機械主任技師 熊谷 一郎
○築地工場 名古屋市南區築地三二
工務技師 關東 香吉 電氣技師 石原 常忠
○福島工場 長野縣西筑摩郡福島町下萬郡
○東京出張所 麴町區九ノ内一ノ六海上ビル
主任 坂下 忠雄 電話九ノ内八四〇、三八八
○大阪出張所 北區堂島濱通一ノ一壹島ビル
主任 小田切春雄 電話北三〇八三・五八九〇外
○門司出張所 西本町〇仙臺出張所 米ヶ袋下町

大同肥料株式会社

電話五、六五
福井縣南條郡武生村北府村
工場 同上
△資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 三、三〇〇、〇〇〇圓
△積立 八一、一〇〇圓
△借入仕拂手形 一、〇六九、〇〇〇圓
△收入 七〇三、五五二圓 △利益二八、〇二三圓
△支出 六七五、五二九圓(昭和四年十一月末)
△開業 大正十一年十一月 △決算 五月十一月
△發電 火力四八K
△受電 三K(大同電力)五〇K(東邦電力)
△電壓 三、三〇〇V △周波 六〇
△主要製作品 硫酸アンモニア 一、七七〇米噸
(昭和四年上期産出高) 石灰窒素二、三五五米噸

大日本特許肥料株式会社

東京市外大島町五丁目四五
電話長本所五、〇一八
△資本 二、四〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
△開業 明治二十年
△受電 電力三、〇〇〇K(東京電燈ヨリ)
△主要製作品 苛性曹達、肥料
社長 田中榮八郎
專務 二神 駿吉 主事 關 定次郎

大日本人造肥料株式会社

東京市麹町區九ノ内一ノ八
電話九ノ内二四二一
△資本 二、二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
△開業 明治二十年
△受電 電力三、〇〇〇K(東京電燈ヨリ)
△主要製作品 苛性曹達、肥料
社長 田中榮八郎
專務 二神 駿吉 主事 關 定次郎

夕之部

株式会社多木製肥所

兵庫縣加古郡別府村
電話別府二四・明石一五四
△資本 二、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額

酸素瓦斯二四、三八五立方

社 增田 次郎 常務 山崎 傳七
取締役 島 德藏 村瀬末一 三田村甚三郎
堀内明三郎
監査役 森 廣三郎 續木篤次郎
技師 磯矢 三郎 電氣係技師 石橋勘太郎
庶務 主事 三浦隆一郎
商務 主事 三浦隆一郎

大日本人造肥料株式会社

東京市外大島町五丁目四五
電話長本所五、〇一八
△資本 二、五〇〇、〇〇〇圓
△拂込 一、二五〇、〇〇〇圓
△主要製作品 特許機安(加里)肥料其他各種肥料
△受電 一、七K(東京電燈ヨリ)
△電壓 最大三、三〇〇K △周波 五〇
△開業 大正八年

社長 小西安次郎 專務 鈴木千代吉
取締役支配人 大濱龜太郎
主任技術者 早野 貞夫

第二東洋曹達株式会社

富山縣上新川郡東岩瀬町大字東岩瀬五〇

- △資本 二〇〇,〇〇〇圓
- △拂込 二〇〇,〇〇〇圓
- △設立 昭和四年十月
- △主要製品 各種化學製品
- 取締役 磯村 晋介 磯村 秀策 近藤 晋
- 監査役 伊藤 茂七

第一窒素肥料株式会社

神戸市海岸通一〇

- △資本 一五〇,〇〇〇,〇〇〇圓
- △拂込 一〇〇,〇〇〇,〇〇〇圓
- △開業 大正十一年四月
- △主要製品 アンモニア、酸安
- △受電 一五〇K
- △電壓 最大三、三〇〇V
- 社長 磯部 房信 專務 伊藤乙次郎
- 工場 山口縣豊浦郡彦島町

臺灣電力株式会社

(電燈電力供給事業臺灣參照)

- △主要製品 カーバイト
- △一ヶ年製産 三、三六三、七〇〇封度
- △受電 一、二〇〇K(本社ヨリ)
- △電壓 最大六、〇〇V △周波 六〇
- 工場 臺北州羅東街
- 工場長 谷口 實行

臺灣肥料株式会社

臺灣基隆市田寮港二〇五

- △資本 一、〇〇〇,〇〇〇圓
- △拂込 八三八、七五〇圓
- △決算 一月、七月
- △開業 明治四十三年六月
- △主要製品 肥料、硫酸、化學工業藥品
- △一ヶ年製産量 一、一五〇,〇〇〇圓
- △同價格 二、〇〇〇,〇〇〇圓
- △受電 (年)六、三三K(臺灣電力)K 四錢五厘
- 社長 二神 駿吉 常務 今岡 徳藏
- 工場 基隆市田寮港二〇五
- 工場長 神長武雄
- 高埠工場 高雄市榮町三丁目
- 技術長兼 高雄工場長 杉浦芳太郎

中央電氣株式会社

高田市馬出町 電話二一四・二二〇

- △開業 明治三十九年
- △主要製品 カーバイト
- △一ヶ年製産量 二四、〇〇〇圓
- △同價格 二、一六〇,〇〇〇圓
- △受電 二、八〇〇K(本社ヨリ)
- 社長 今井 五介 專務 岡友 末藏
- 支配人 小林萬五郎
- 主任技術者 加藤政五郎
- 工場 新潟縣田口驛前電話關川五番
- 工場長 今井 康平

朝鮮窒素肥料株式会社

朝鮮咸鏡南道咸興郡雲田面湖南里一番地 電話四四七・五〇六

- △資本 三〇〇,〇〇〇,〇〇〇圓
- △拂込 三〇〇,〇〇〇,〇〇〇圓
- △設立 昭和二年五月 △決算 四月、十月
- △受電 一八〇,〇〇〇K(朝鮮水電ヨリ)
- △電壓 最大一〇,〇〇〇V
- △周波 六〇
- △主要製品 硫酸アンモニア、硫酸燐酸アンモニア

テ之部

帝國人造肥料株式会社

大阪市港區船町一〇

- △資本 二、五〇〇,〇〇〇圓
- △拂込 一、五〇〇,〇〇〇圓
- △配當 年四分
- △主要製品 過燐酸、肥料類
- 製産量 九、八八五、〇〇〇圓

帝國染料製造株式会社

福山市八舟町 電話二二二

- △資本 七〇〇,〇〇〇圓
- △主要製品 各種染料及硝酸、硫化曹達
- △開業 大正五年十一月
- 社長 長久伊勢吉

帝國電化株式会社

京都市下京區西七條名倉町四〇ノ二 電話上四五三九

- △資本 一、〇〇〇,〇〇〇圓
- △拂込 八〇〇,〇〇〇圓

電氣化學

鐵興社

(東部電力株式会社ヨリ依託經營ス)

- △主要製品 鉄鐵、硫酸鐵、カーバイト類
- 工場長 我孫子廣助
- 主任技術者 木間 駒吉

電氣化學工業株式会社

東京市丸の内二丁目二〇番地 郵船ビルディング内

- △資本 二八、〇〇〇,〇〇〇圓
- △拂込 一七、五〇〇,〇〇〇圓
- △積立 五一八、一四五圓
- △社債 一〇、〇〇〇,〇〇〇圓
- △仕拂手形 三、五〇〇,〇〇〇圓
- △収入 八、二八〇、五八五圓
- △支出 七、一五四、四九〇圓
- △利益 一、一二六、〇九四圓(昭和四年十一月)
- △開業 大正四年五月 △決算 五月、十一月
- △主要製品 硫酸、石灰窒素、炭化石灰、セメント類
- △一ヶ年製産 一〇〇,〇〇〇圓
- △發電 水力三、〇〇〇K

株式會社電氣興業所

東京市麹町區丸の内二丁目 海上ビル 東邦電力本社内 電話丸の内二四六一

- △資本 一七五、〇〇〇圓
- △拂込 一七五、〇〇〇圓
- △開業 大正十一年十月 △決算 四月、十月
- △主要製品 カーバイト
- (昭和四年上期製出四、〇一六、〇五〇封度)
- 代表取締役 大島小太郎
- 取締役 櫻木 亮二 久留島政治 眞中 義定
- 監査役 寒川 恒貞 谷川與四吉
- 大垣工場 岐阜市河間町二二四 電話九二二
- 工場長 眞中 義定 主任 中牟田富太

○美濃工場 岐阜武儀郡美濃町一九五九電話七二
主任 酒井早太郎
○名島工場 福岡市外多々良村名島
主任(兼) 藤 徳次郎
○福岡工場 福岡市住吉町川口二三七電話二九三
主任 藤 徳次郎

ト之部

東海曹達株式会社 電話九ノ内七三〇
東京市麹町區丸ノ内二ノ八(丸ノ内伸通十號館)
△資本 一、二五〇、〇〇〇圓△決算 五月 十一月
△拂込 六六二、五〇〇圓△配當 一割
△受電 電力六〇K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V △周波 六〇
△主要製品 苛性曹達 二、二〇〇、〇〇〇封度
晒 粉 四、八〇〇、〇〇〇封度
(昭和四年上期産出)
△開業 大正六年九月
社長 福澤 駒吉
取締役 山崎久太郎 村瀬 栄一
久留島通彦 飯田 正英
監査役 田中福之助 井東 悦造 渡邊喜多躬
○工場 名古屋市南區築地四號地五〇電話南七五
支配人 久留島通彦 工場長 飯田 正英
主事 小川濤三郎
技師長 渡邊喜多躬 次長技師 實積利右衛門

東洋曹達株式会社

東京市芝區櫻田本郷町一〇
△資本 九六〇、〇〇〇圓△拂込四三五、〇〇〇圓
△開業 大正五年十一月
△主要製品 過酸化曹達、金屬ラザラム
△受電 一、〇〇〇K(東部電力ヨリ)
専務 磯村 晋介 常務 近藤 晋
○工場 福島縣郡山市各局
工場長 廣瀬 基

東洋人造肥料株式会社

尼ヶ崎市大洲村新城屋
△資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
△主要製品 過磷酸、肥料類
製産量 六、六八九、〇〇〇圓

東洋窒素工業株式会社

東京市麹町區丸ノ内二ノ四
電話九ノ内一八〇三
△資本 五、〇〇〇、〇〇〇圓△拂込 一、三〇〇、〇〇〇圓
△設立 大正十五年十二月(未開業)
△主要製品 窒素化合物製造
取締役 石川 一郎 河西三九郎 牧田 環
鹽原 又策 吉村 萬治 大屋 敦
光谷光太郎 奥村 政雄
監査役 湯川 寛吉 中井 四郎 佐藤梅太郎
支配人 只見 晨 囑 託 富山 保

電氣化學 トナ

東京鋼材株式会社

東京府南葛飾郡大島町大丁目五〇
電話本所自一、二二五至一、二二七番
△資本 四〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
△決算 六月 十二月
△主要製品 各種鋼鐵
△受電 八〇K(東京電燈ヨリ)
常務取締役 松田貞治郎
支配人 藤村 蓋 主任技術者 三宅 徹男

東京硫酸株式会社

東京市外大島町七ノ九五七
電話本所二一三三七
△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓△拂込 全額
△開業 明治三十八年十月
△主要製品 各種硫酸、白金接觸用硫酸、二次電池
用硫酸液、亞硫酸瓦斯
△受電 三三K(東京電燈ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V △周波 六〇
専務 藤井榮三郎
取締役兼技師長 兵藤 藤吉
同兼營業部長 石谷傳兵衛
主任技術者 藤本 起

株式会社東邦製燐工場

京都市下京區西七條名倉町四〇
電話下四五三九
△資本 三〇〇、〇〇〇圓
△主要製品 黃燐、赤燐、炭化石灰、燐鐵

東洋電化株式会社

臺灣高雄州高雄郡前金庄三三〇
△資本 五〇〇、〇〇〇圓△拂込一二五、〇〇〇圓
△開業 大正八年五月
△主要製品 炭化石灰、電氣化學製品
社長 小松仁三郎

東洋電氣工業株式会社

東京市京橋區墨町四
△資本 一五〇、〇〇〇圓 △拂込二五〇、〇〇〇圓
△開業 大正十三年十二月 △決算五月 十一月
△主要製品 黃燐、赤燐、電氣化學製品
社長 棚橋寅五郎 主任技術者 川又 孝
○工場 福島縣田村郡三春町天王前三
△受電 磐城電氣會社ヨリ使用電力受電

東洋塗料製造株式会社

神戸市尻池菅原通二丁目
電話海川四一五・四一六
△資本 五〇〇、〇〇〇圓△拂込二五〇、〇〇〇圓
△開業 大正三年三月 △決算 四月 十月
△主要製品 塗料、顏料
△一ヶ年製産 二、〇〇〇、〇〇〇圓
△同價格 一、二〇〇、〇〇〇圓
△受電 電力二、〇〇〇K
社長 福島行信 常務 堀 吉次郎
○工場 神戸市菅原通二丁目二

株式会社東邦電氣鑄鋼所

名古屋市南區豐田町二ノ割九〇九
電話南三二一五番
△資本 一、二〇〇、〇〇〇圓 △拂込六〇〇、〇〇〇圓
△開業 昭和三年七月 △決算 十一月、五月
△主要製品 鑄鋼品、特殊鑄鋼品
△受電 六〇K(東邦電力ヨリ)
△電壓 最大二、三〇V △周波 六〇
社長 小林子之輔 専務 栗田福之助
社(電氣)主任技術者 小島 綱治
○工場 本社ト同
工場長 小林子之輔 電氣技師 小島 綱治

東洋クローム株式会社

大阪市西淀川區海老江下二ノ一三
電話土佐堀二三五七
△資本 五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 五〇〇、〇〇〇圓
△開業 昭和二年四月 △決算 五月 十一月
△主要製品 クローム電氣鍍金及加工
△一ヶ年製産 六〇、〇〇〇圓
△受電 一七〇K(宇治川電氣ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V △周波 六〇
社長 北村惣太郎
工場長兼主任技術者 古市 修次

十之部

南海晒粉株式会社

和歌山市杉ノ馬場二丁目
電話四二九・九八四
△資本 一、三五〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
△決算 五月 十一月 △配當 一割
△開業 明治三十九年十月
△主要製品 苛性曹達、晒粉、硫酸、硝酸、鹽酸、
硫化曹達
△一年製産高 晒 粉五、七〇〇、〇〇〇封度
△發電 重油力三三三K
△受電 六〇K(京阪電氣軌道ヨリ)
△電壓 最大三、三〇V △周波 六〇
社長 小泉 米藏 常務 名出 義雄
主任技術者 深見 隆一
技師 武山 貞衛 井出 市藏 村井 定男
營業所主任 小野田欽一 出張所主任 小野保次郎
○工場 和歌山縣海草郡富前村小畑賀
同浜村青岸

長良川電化株式会社

東京市麹町區丸ノ内一丁目六番地ノ一
電話九ノ内 三九三七
△資本 五〇〇、〇〇〇圓△拂込一二五、〇〇〇圓
△設立 大正十一年三月(未開業)
(代表)取締役 進藤 甲兵

二之部

日本硫黃株式會社

電話半込六〇九二
東京市丸ノ内日本興業ビル

- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 八七五、〇〇〇圓
- △配當 年一割 △決算 六月 十二月
- △開業 明治三十九年七月
- △主要製品 硫黃製煉及硫黃加工品
- △一ヶ年製産量 硫黃五、八〇〇(噸) 加工品七〇〇(千貫) 大約
- △發電 水力三六K
- △電壓 最大二、〇〇〇V △周波 六〇
- 工場 山田 彰 主任技術者 佐々木篤行
福島縣郡郡吾妻村
大冨市河津川區大和田町
工場長 富川七之助

日本化學工業株式會社

東京府南葛飾郡龜戸町九丁目貳百番地
電話墨田三〇七二・三〇七三・三〇七四・三〇七五

- △資本 二、五〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 二、〇〇〇、〇〇〇圓
- △積立 四三六、六〇〇圓
- △收入 三五四、三五八圓 △利益二、七六〇圓
- △支出 三五五、五九八圓(昭和四年十月末)

△開業 明治四十二年九月 △決算 四月 十月

- △主要製品 硫酸加里肥料、沃度劑、硫酸加里、リウム鹽類、リトホン、光明丹、リサーシロニス、亞鉛華、黃燐、赤燐
- △一ヶ年製産高 價格三、五〇〇、〇〇〇圓
- △受電 二〇K(東京電燈ヨリ)
- △電壓 最大三〇〇V △周波 五〇
- 取締役 河西三九郎 門野重九郎 根津嘉一郎
棚橋寅五郎
- 監査役 山本 留次 大倉善七郎
- 支配人 高瀬 隆親 工場長 岡江 義彦
主任技術者 古山 祐吉

日本鑛業株式會社

東京市龜町區九ノ内二ノ一二

- △資本 五〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 二五〇、〇〇〇、〇〇〇圓
- △設立 昭和四年四月
- △主要製品 鑛業關聯化學工業
- 社長 竹内 雅彦 取締役 鮎川 義介
- 取締役 今井喜代志 伊藤 文吉 濱田八之助
- 監査役 坂本 威郎 島田 利吉
小平 浪平 山田 敬亮

日本黒鉛工業株式會社

神戸市三宮町三ノ六五ノ二
電話三宮一六三九

- △資本 二〇〇、〇〇〇圓 △拂込五〇、〇〇〇圓
- △決算 四月 十月 △開業 大正八年三月

二五〇

△主要製品 黒鉛、精煉

- △一ヶ年製産 四五〇、〇〇〇噸
- △受電 三十一馬力晝夜(京都電燈ヨリ)
- △電壓 最大三〇〇V △周波 六〇
- 社長 松本 連潮 常務 松尾 徳義
- 支配人 來見 秀吉
- 工場所在地 滋賀縣滋賀郡石山村
工場長 渡邊 頼信

日本鋼管株式會社

川崎市渡田字若尾新田二七三〇
電話一八・一五九 外二

- △資本 二一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 一五、二二五、〇〇〇圓
- △決算 五月 十一月
- △主要製品 鋼塊、鋼管、條鋼、形鋼
- △製産 製品一五六、一八六噸
- △受電 三、〇〇〇K(東京電燈ヨリ) 三、〇〇〇K(東京灣電氣ヨリ) 一、〇〇〇K(富士電力ヨリ)
- △電壓 最大三、〇〇〇V △周波 五〇
- 社長 大川平三郎 副社長 白石元治郎
- 取締役兼支配人 笠原 寛美
- 技師長 松下 長久
- 營業部理事 間島 三次 博林 篤夫

日本産業株式會社

東京市龜町區九ノ内二丁目十四番地
電話九ノ内二四一七

- △資本 七五、〇〇〇、〇〇〇圓

日本曹達株式會社

東京市龜町區九ノ内二丁目十四番地

- △資本 三、六〇〇、〇〇〇圓
- △開業 大正九年二月 △決算 六月 十二月
- △合併 大正十五年四月(日本電燈工業株式會社)
- △主要製品 苛性曹達、晒粉、鹽素酸曹達、過酸化曹達、金屬ナトリウム、硬化油液體鹽素、水素瓦斯、鹽化物、電氣亞鉛、滿他鐵、硅素鐵、其他一般化學工業、藥品製造並ニ販賣
- △發電 水力四、〇〇〇K
- △受電 電力二、〇〇〇K
- △電壓 最大二、〇〇〇V △周波 六〇
- 社長 鈴木 宣彦 專務 中野 有禮
- 支配人 小長谷新太郎
- 技師 武田晴四郎 大岩 進
- 工場 荻野 重治 遠藤太一郎 風卷 嘉次
新潟縣中頸城郡中郷村 福島縣郡郡
勢梯村 富山県外山賣野前
倉庫 新潟縣中頸城郡直江津町

日本曹達工業株式會社

山口縣徳山町鹽濱 電話一三三七

- △資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
- △開業 大正七年二月
- △主要製品 曹達灰
- △一ヶ年製産 二五、〇〇〇噸
- △發電 汽力六〇K

日本染料製造株式會社

大阪市此花區春日出町一九九ノ二
電話土佐堀三五〇〇外五

- △資本 七、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 同上
- △配當 五分 △決算 六月 十二月
- △開業 大正五年七月
- △主要製品 直接、鹽基性、酸性、酸性媒染、硫化不溶性性アノ、各染料及中間物、助劑
- 社長 鈴木 茂雄
- 取締役兼支配人 神戶 正樹
- 取締役 吉田 定七 阪根武兵衛 菅 禮之助
- 監査役 山口喜三郎
- 工場 野田吉兵衛 宮崎彌作 長谷川鐵太郎
工場長 小出 鏡雄

日本伸銅株式會社

大阪市北區天神橋筋四ノ二四
電話北四七〇〇・四七〇五

- △資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二、七五〇、〇〇〇圓
- △借入五〇〇、〇〇〇圓 △積立 一、九一九、〇〇〇圓
- △開業 明治二十七年一月 △決算 九月 三月
- △製作品(半期間)伸 板三、〇一六、四四七噸
- 加工品 一三一、〇八二噸
- △賣上額(半期間)伸板加工品地金 三、三六四、二四八圓
- △電壓 最大二、〇〇〇V
- △受電 電力K

電氣化學 二

二五一

△受電 吉K(山口縣電氣局ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
 社長 長島寛太郎 専務 岩瀬徳三郎
 (電氣)主任技術者 小村 金三
 ○工場 山口縣郡濃郡徳山町

株式會社日本鑄鋼所

大阪市港區千鳥町三八三
 電話櫻川五九四・五九五

△資本 一、五〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 七五〇、〇〇〇圓
 △決算 六月、十二月
 △開業 明治四十五年七月
 (大正五年八月現組織ニ變更)
 △主要製品 鑄鋼品
 △一ヶ年生産高 四五〇噸
 △受電 一、三六K(宇治電ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
 社長 奥村 千吉 工場長 久芳 道雄
 主任技術者 西山 二之

日本窒素肥料株式會社

大阪市北區宗是町一(大阪ビル)
 電話土佐堀九三〇・九三一・二五五〇
 二五六一・八〇一七

△資本 四五〇、〇〇〇圓
 △拂込 二七、七五〇、〇〇〇圓
 △社債 二七、〇〇〇、〇〇〇圓
 △借入 七、〇〇〇、〇〇〇圓△配當年一割五分

△積立 五、四八六、九九九圓
 △收入 八、六九一、九〇二圓
 内譯 製品代七、六一四、七二二圓
 電燈電力料八六、一四三圓
 其他 九九一、〇三七圓
 △支出 五、七三六、四七四圓
 △利益 二、九五五、四二八圓
 (以上昭和四年十一月末決算)
 △開業 明治三十九年一月 △決算五月、十一月
 △主要製品 各種窒素肥料類
 △發電 水力五、六〇K(外工事中三、六〇K)
 火力二、〇〇〇K
 △受電 七、〇〇〇K(日本水電ヨリ)
 △電壓 最大六、〇〇〇V
 △周波 五〇 △電線 互長六三哩
 専務 野口 遊 常務 市川 誠次
 取締役 渡邊 義郎 桐島 像一 志村源太郎
 同支配人 榎並直三郎
 監査役 各務幸一郎 堀 啓二郎
 主任技術者兼水俣工場長 柳屋 佐祐
 延岡工場長 五十嵐清治
 工場 宮崎縣東白杵郡富村 熊本縣青北郡水俣町

株式會社日本電解製鐵所

大阪市北區宗是町一番地
 電話土佐堀六六一・六六二二

△資本 一五〇、〇〇〇圓△拂込一五〇、〇〇〇圓
 △開業 昭和二年十二月 △決算 三月、九月
 △積立 九二、五〇〇圓
 △收入 一、二四、五四〇圓 △利益 五〇、〇〇〇圓
 △支出 一八三、九三〇圓
 △配當六朱(昭和四年下半年)
 △主要製品 過燐酸石灰並ニ配合肥料
 △受電 一、〇〇K(東京電燈ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
 △開業 大正五年八月
 會長 田中榮八郎 専務 二神 駿吉
 常務 石川 一郎
 取締役兼支配人 小田代慶太郎
 工場長 香坂 昌孝
 主任技術者 藤浪 次郎
 ○工場 東京市外小松川町下平井
 電話墨田三三四六・二七一六

新潟電氣工業株式會社

新潟市上大川前通リ五番地八四

△資本 一〇〇、〇〇〇圓△拂込 全額
 △設立 大正十五年二月
 △決算 五月、十一月
 △主要製品 炭化石灰
 △一ヶ年製産 二、五〇〇噸
 専務 磯角 司

新潟硫酸株式會社

新潟市關屋一六八電話四〇・一四四〇外

△資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 同上
 △配當年一割
 △開業 明治二十九年八月△決算 五月、十一月
 △主要製品 工業用硫酸及人造肥料
 △一ヶ年製産量 硫酸七、六〇〇噸 肥料製成、〇〇〇噸
 △同價格 六、二五〇、〇〇〇圓
 △受電 年六、〇〇〇K(新潟電力ヨリ)
 社長 齊藤庫之助 常務 小澤 國治
 支配人 富谷 直
 ○工場 新潟市關屋

フ之部

福岡酸素株式會社

福岡市佐吉町人參畑電話福岡二九五二
 △資本 三〇〇、〇〇〇圓△拂込二七〇、〇〇〇圓

電氣化學 ニフホ

△積立 五、四八六、九九九圓
 △收入 八、六九一、九〇二圓
 内譯 製品代七、六一四、七二二圓
 電燈電力料八六、一四三圓
 其他 九九一、〇三七圓
 △支出 五、七三六、四七四圓
 △利益 二、九五五、四二八圓
 (以上昭和四年十一月末決算)
 △開業 明治三十九年一月 △決算五月、十一月
 △主要製品 各種窒素肥料類
 △發電 水力五、六〇K(外工事中三、六〇K)
 火力二、〇〇〇K
 △受電 七、〇〇〇K(日本水電ヨリ)
 △電壓 最大六、〇〇〇V
 △周波 五〇 △電線 互長六三哩
 専務 野口 遊 常務 市川 誠次
 取締役 渡邊 義郎 桐島 像一 志村源太郎
 同支配人 榎並直三郎
 監査役 各務幸一郎 堀 啓二郎
 主任技術者兼水俣工場長 柳屋 佐祐
 延岡工場長 五十嵐清治
 工場 宮崎縣東白杵郡富村 熊本縣青北郡水俣町

保土谷曹達株式會社

東京市芝區櫻田本郷町一〇
 電話銀座三四八二

△資本 七〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
 △開業 大正四年六月
 △主要製品 苛性曹達、晒粉、液化鹽素、合成純鹽酸、化學兵器、歷斯瓦斯類、高級染料
 △一ヶ年製産 價格一、二〇〇、〇〇〇圓
 △受電 一、五〇K(東京電燈ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
 社長 磯村 晋介 常務 磯村 秀策
 常務 近藤 晋
 主任技術者 藤屋 達夫
 ○工場 横浜市保土ヶ谷區榎子町七九一
 工場長 磯村 秀策 工場敷地 二〇、五四坪

木之部

保土谷曹達株式會社

東京市芝區櫻田本郷町一〇
 電話銀座三四八二

△資本 七〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額
 △開業 大正四年六月
 △主要製品 苛性曹達、晒粉、液化鹽素、合成純鹽酸、化學兵器、歷斯瓦斯類、高級染料
 △一ヶ年製産 價格一、二〇〇、〇〇〇圓
 △受電 一、五〇K(東京電燈ヨリ)
 △電壓 最大三、三〇〇V △周波 五〇
 社長 磯村 晋介 常務 磯村 秀策
 常務 近藤 晋
 主任技術者 藤屋 達夫
 ○工場 横浜市保土ヶ谷區榎子町七九一
 工場長 磯村 秀策 工場敷地 二〇、五四坪

北越水力電氣株式會社

新潟縣長岡市本町三丁目
 (電燈電力供給事業新潟縣參照)

○職工工場 長岡市藏王町(電話七五九番)
 工場主任 松田 弘俊 技師 開發不二男
 △開業 明治三十九年三月
 △主要製品 カイバイト、石灰窒素、硫酸安母尼亞
 △一ヶ年製産 價格 七五〇、〇〇〇圓
 二五三

△開業 大正八年十一月 △決算 五月、十一月
 △主要製品 歷斯酸素瓦斯
 △一ヶ年製産 四三〇、〇〇〇、〇〇〇立
 △受電 年四、〇〇〇K(九水ヨリ)
 常務 江崎 秀敏
 主任技術者 上野 芳夫
 ○工場 福岡市住吉町人參畑

藤田鑛業株式會社

大阪市北區堂島北町二〇
 電話北 二四〇一・二四五

△資本 三〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓
 △拂込 一五〇、〇〇〇、〇〇〇圓
 △開業 大正六年九月 △決算 三月、九月
 △主要製品 クロム鐵、電氣鋼、類
 小坂鑛山 秋田郡鹿角郡小坂町 花岡鑛山 同
 北秋田郡花田村 柳根倉鑛山 岩手郡和賀郡湯田村 大荒澤鑛山 同湯田村 棚原鑛山 岡山郡久米郡吉岡村
 (使用電力其他ハ自家用之部へ參照)
 社長 藤田徳次郎 常務 日吉 平吉
 東京支店 東京市京橋區山崎町六

古河電氣工業株式會社

東京市麹町區丸ノ内
 (電氣商工一覽東京ノ部參照)

主任 吉田 正一
 △主要製品 電氣鋼、銅線類、銅鍍鍍、條棒板類
 ○工場 栃木縣日光町大字清瀧

北海曹達株式會社

東京市日本橋區本革屋町通五

- △資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二、一〇〇、〇〇〇圓
- △決算 三月 九月 △開業 大正七年四月
- △主要製品 (一)晒粉 (二)苛性曹達
- △一ヶ年生産 (一)五、七五二疋 (二)二、四九六疋
- △受電 二、六〇〇K(日本海電氣)
- △電壓 最大四、〇〇〇V △周波 六〇
- 會長 中井 四郎
- 主任技術者 藤田 達一
- 工場 富山縣射水郡伏木町
- 工場長 (取締役) 坂本 敏彦

北海電化工業株式會社

東京市丸の内三丁目二

- △資本 一、六二五、〇〇〇圓 △拂込 全額
- △開業 大正六年 △決算 四月 十月
- △主要製品 硫安、石灰、窒素、カーバイド
- △受電 三、〇〇〇K(日本海電氣)
- △電壓 最大四、〇〇〇V
- 社長 千葉 清 主任技術 中倉圭三郎
- 工場 富山縣射水郡伏木町申岡

北海油脂工業株式會社

小樽市入舟町八ノ四七電話二二八〇五

- △資本 二、五〇〇、〇〇〇圓 △拂込 全額

北海道硫黃株式會社

東京市日本橋區駿河町一(三井鑛山内)

- △決算 四月 十月
- △開業 大正十一年五月
- △主要製品 硫化油
- △一ヶ年生産量 一、〇〇〇噸
- △受電 二〇〇K(北海水力電氣)
- △電壓 最大三、三〇〇V △周波 六〇
- 專務 香村英太郎
- 工場 前掲同シ
- 工場長 今村 朋恒 電氣技術 八木 重成

北海道硫黃株式會社

東京市日本橋區駿河町一(三井鑛山内) 電話日本橋二七五〇

- △資本 三、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 二、五〇〇、〇〇〇圓
- △決算 四月 十月 △開業 大正九年四月
- △主要製品 硫黃
- △一ヶ年生産 二〇、〇〇〇噸
- △發電 水力二四〇K
- △電壓 最大三、三〇〇V
- 社長 小田 良治 專務 栗原作太郎
- 工場 岩手縣 同俱知安町

北陸電氣工業株式會社

富山縣中新川郡滑川町大字吾妻町二六六ノ一

- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △積立 五七、〇四〇圓
- △拂込 八七五、〇〇〇圓 △利益 二六、四九六圓
- △收入 一、一五、七五四圓 △支出 八九、二五八圓
- △配當五朱(昭和四年十月末)

ミ之部

- △主要製作品 炭化石灰、石灰窒素肥料
- △一ヶ年生産 一、〇〇〇、〇〇〇圓
- △受電 一〇、〇〇〇K(立山水力電氣會社、日本海電氣會社ヨリ)
- △電壓 最大六、〇〇〇V
- 社長 橋本 林太郎
- 取締役支配人 藤森 龍廣
- 主任技術者 藤森 龍廣
- 工場 本社所在地ニ同シ

三井鑛山株式會社

東京市日本橋區駿河町

- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 六三、五〇〇、〇〇〇圓
- △開業 明治四十四年十二月(現組織トス)
- △主要製品 石灰、炭、硫、亞鉛末、ホイラーナ、電氣精製鉛、金、銀、亞硫酸各種染料、硫化曹達、ナフタリン、晒粉、硫安、クレオソート、ピツチ等
- △一ヶ年生産 計約五、三五〇、〇〇〇噸
- △發電 (自家用電氣參照)
- 社長 三井三之助
- 工場及鑛業所 (自家用電氣參照)

三菱鑛業株式會社

東京市麹町區丸の内二丁目四

- 電話丸の内一六五六・二一三一―二一七〇
- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 六二、五〇〇、〇〇〇圓
- △開業 大正七年四月 △決算 三月 九月
- △主要製品 石灰、炭、硫、金、銀、電氣精製鉛、銅板、丹麥、メンゲステン、硫酸ニツケル
- △發電 汽力三、八三三K 水力八、八七六K
- △受電 二、九四〇K
- 電力 一、〇〇〇K 東京電燈ヨリ受電
- 電力 一、〇〇〇K 日本電力ヨリ受電
- 電力 二、〇〇〇K 三陽中央水電ヨリ受電
- 電力 三、〇〇〇K 九州水力電氣ヨリ受電
- 電力 一、〇〇〇K 九州電氣軌道ヨリ受電
- 電力 一、〇〇〇K 東邦電力ヨリ受電
- 電力 二、八〇〇K 北海道電燈ヨリ受電
- △電壓 最大三、〇〇〇V 三〇〇V △周波 六〇―五〇
- 社長 三谷 一二一
- 常務 船田 一雄 河手 捨二 池田龜三郎
- 總務 村上 伸雄 主任技術者 水上 政尙
- 鑛業研究所 東京府下品川町 (主任技術者 樋口 喜六)
- 大阪製煉所 大阪市北區新川崎町 (主任技術者 原 通)
- 直島製煉所 香川縣香川郡直島村 (主任技術者 市村 義雄)
- 其他 (鑛山及炭山ハ自家用電氣參照)

電氣化學

ミモヤラ

モ之部

盛岡電燈株式會社

盛岡市紺屋町二七電話二〇外

- △開業 明治三十八年九月 (電氣事業會社岩手縣參照)
- △主要製品 珪素鐵、滿他鐵、鏡鐵
- 主任技術者(兼) 坂水 潔
- 電氣技術 小川 時
- 工場 岩手縣上閉伊郡宮守下宮

ヤ之部

株式會社安來製鋼所

鳥根縣能義郡安來町電話長三五番

- △資本 一、〇〇〇、〇〇〇圓 △拂込 六五〇、〇〇〇圓
- △開業 大正五年二月 △決算 三月 九月
- △主要製品 打刃物用鋼、鋸用鋼、高速度鋼
- 工具用炭素鋼 高級特殊鋼
- △一ヶ年生産量 各種刃物鋼六〇〇噸
- 合金鋼材 四〇〇噸
- △受電 二〇〇K(廣島電氣ヨリ受電)
- △電壓 最大二、二〇〇V △周波 六〇
- 社長(工博)工藤 治人
- 工場 鳥根縣仁多郡島上村

ラ之部

ラサ島鑛株式會社

大阪市西淀川區高見町一丁目六四番地

- △資本 七、五〇〇、〇〇〇圓
- △拂込 五、〇〇〇、〇〇〇圓
- △開業 大正二年五月
- △合併 大正九年五月 大阪晒粉株式會社
- △主要製品 晒粉苛性曹達
- △受電 一、〇〇〇K(日本電力株式會社)
- 二〇〇K(阪神電鐵會社)
- 三〇〇K(東京支店(東京電燈))
- △電壓 最大二、二〇〇V △周波 六〇
- 代表取締役 小野 義夫 深川喜次郎
- 主任技術者 大阪工場 鶴岡 新一
- 東京工場 金谷 壽
- 本社及大阪工場 大阪市西淀川區高見町一丁目六四番地
- 東京支店工場 東京市外大島町七丁目

鐵道省 官廳用電氣 100KW以上

鐵道省

電氣鐵道
 △發 電 汽力二、八〇〇K
 △受 電 三、〇〇〇K (東電ヨリ)
 △電 壓 最大三、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △使用區域 (電車)
 ○東海道線 自野上野木町
 ○中央線 自赤羽至國分寺
 ○東上線 自赤羽至小田原
 ○東武東上線 自赤羽至小田原
 ○東武東上線 自赤羽至小田原
 ○東武東上線 自赤羽至小田原
 ○東武東上線 自赤羽至小田原

△使用區域
 ○靜岡縣田方郡熱海町伊豆山
 ○新海縣南魚沼郡湯澤村土樽村
 ○岩手縣岩手郡滝岸村土樽村
 ○東京鐵道局
 ○赤羽發電所 東京市外岩淵町字下電話赤羽五四
 △發 電 汽力六、〇〇〇K
 △受 電 最大交流二、〇〇〇V
 △電 壓 五〇
 ○橫川發電所 群馬縣碓氷郡白井町橫川
 △發 電 汽力三、〇〇〇K
 △受 電 最大二、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 五〇—二、五〇〇V

△發 電 汽力二、〇〇〇K
 △受 電 最大二、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 五〇—二、五〇〇V
 ○神戶鐵道局
 ○神戶發電所 神戶市須磨町鐵道冠取工場内
 △發 電 汽力二、五〇〇K
 △受 電 最大二、五〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 五〇—二、五〇〇V
 ○吹田發電所 大阪府下三島郡吹田町
 △發 電 汽力四、〇〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 五〇—二、五〇〇V
 ○廣島地方電氣局 廣島市
 △發 電 汽力二、〇〇〇K
 △受 電 最大二、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 五〇—二、五〇〇V

陸軍省

陸軍遺兵廠
 △發 電 汽力二、八〇〇K
 △受 電 東京市小石川區小石川町
 △火工廠本部 同 市外王子町
 △火藥製造所 同 市外王子町
 △大阪工廠 大阪市東成區城東町
 △名古屋工廠 名古屋市南區熱田東町
 △兵器製造所 同 市東區千種町
 ○兵器製造所 同 市南區熱田東町
 ○千住製鐵所 東京府下千住町千住南
 △發 電 汽力一、九〇〇K
 △受 電 延長九、〇七哩瓦長一、〇五哩
 △送電線路 同 延長九、〇七哩瓦長一、〇五哩
 △電 壓 最大三、〇〇〇V △周波 五〇

海軍省

海軍燃料廠炭部
 △發 電 汽力二、四〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇V △周波 五〇

商工省

八幡製鐵所 福岡縣八幡市 電話特長一
 △發 電 汽力六、二〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇V △周波 五〇
 ○二瀬出張所 福岡縣嘉穂郡村電話飯塚七
 △發 電 汽力一〇、〇〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇V △周波 五〇
 ○(五、〇〇〇キロ一臺増設、一、〇〇〇キロ一臺撤
 廢工事中)
 △發 電 汽力一、〇〇〇K (豫備水州水力ヨリ)
 △受 電 最大二、〇〇〇V △周波 五〇
 ○大阪電氣局 大阪市北區新川町一
 △發 電 汽力九、四〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇V △周波 五〇
 △電 壓 最大三、〇〇〇V △周波 五〇
 ○大阪地方電氣局 大阪市
 △發 電 汽力九、〇〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇V △周波 五〇
 ○廣島地方電氣局 廣島市
 △發 電 汽力二、〇〇〇K
 △受 電 最大二、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 最大三、〇〇〇V △周波 五〇

官廳用電氣

陸軍省、海軍省、商工省、大藏省

△發 電 汽力二、八〇〇K
 △受 電 三、〇〇〇K (東電ヨリ)
 △電 壓 最大三、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △使用區域 (電車)
 ○東海道線 自野上野木町
 ○中央線 自赤羽至國分寺
 ○東上線 自赤羽至小田原
 ○東武東上線 自赤羽至小田原
 ○東武東上線 自赤羽至小田原
 ○東武東上線 自赤羽至小田原

△發 電 汽力二、八〇〇K
 △受 電 東京市小石川區小石川町
 △火工廠本部 同 市外王子町
 △火藥製造所 同 市外王子町
 △大阪工廠 大阪市東成區城東町
 △名古屋工廠 名古屋市南區熱田東町
 △兵器製造所 同 市東區千種町
 ○兵器製造所 同 市南區熱田東町
 ○千住製鐵所 東京府下千住町千住南
 △發 電 汽力一、九〇〇K
 △受 電 延長九、〇七哩瓦長一、〇五哩
 △送電線路 同 延長九、〇七哩瓦長一、〇五哩
 △電 壓 最大三、〇〇〇V △周波 五〇

△發 電 汽力二、四〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇V △周波 五〇
 ○神戶鐵道局
 ○神戶發電所 神戶市須磨町鐵道冠取工場内
 △發 電 汽力二、五〇〇K
 △受 電 最大二、五〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 五〇—二、五〇〇V
 ○吹田發電所 大阪府下三島郡吹田町
 △發 電 汽力四、〇〇〇K
 △受 電 最大三、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 五〇—二、五〇〇V
 ○廣島地方電氣局 廣島市
 △發 電 汽力二、〇〇〇K
 △受 電 最大二、〇〇〇—六、〇〇〇V
 △電 壓 最大三、〇〇〇V △周波 五〇

臺灣總督府

殖産局埤子頭工場 臺南州嘉義街
始 大正十三年三月
電 火力八〇〇K
△開 波 〇
△電 壓 〇
△周 波 〇

△工 場 山口縣中ノ國町向島
△開 始 昭和四年七月
△電 電 三三〇K(高松電燈ヨリ)
△電 壓 二、三〇〇V △周波 〇
△工 場 高松市出張所
△電 電 汽力六〇〇K
△電 壓 最大 五〇〇V
石川縣廳 金澤市廣坂通
△開 始 大正十三年
△受 電 電力五〇〇K
△電 壓 最大三、三〇〇V

朝鮮總督府

平壤總事務所 平壤府
始 明治四十四年十一月
電 〇
△開 始 大正十三年二月
△開 始 大正十三年二月
△開 始 明治四十二年十一月
△開 始 昭和二二年十二月
△開 始 昭和二二年十二月

自家用電氣

(五〇〇KW以上)

了之部

○愛知織物株式會社 名古屋市東區聖代官町
社長 溫 信四郎
○千種工場 名古屋市東區千種町高見
△開 始 大正七年八月
工場長 早川鐘次郎
主任技術者 鷺井高治
▲受電容量 一、二〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 一〇、〇〇〇V ▲周波數六〇
▲使用交流 一、〇〇〇キロ
▲變電方式 單相變壓器三個 三角結線
○淺野セメント株式會社 東京市丸ノ内
社長 淺野總一郎
○東京工場 市内深川區清住町
△開 始 大正十四年七月
工場長 川上 高帆
主任技術者 大島又雄
▲受電容量 汽力三、〇〇〇キロ
▲受電容量 一、六〇〇キロ(東電ヨリ)
▲變電場所 構内 ▲周波數 五〇
▲最大電壓 七五、〇〇〇V
▲使用交流 四、六〇〇キロ

電燈、力、鐵

自家用電氣(了)

▲使用直流 三〇〇キロ
▲變電方式 變壓器及電動發電機

○川崎工場 神奈川県川崎市
△開 始 大正六年
支店長 田中勝作 主任技術者 三谷峰吉
▲受電容量 火力五、〇〇〇キロ(廢熱利用)
▲受電容量 二、二〇〇キロ(東京灣電氣)
▲最大電壓 七五、〇〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 七、一〇〇キロ
▲使用直流 一〇〇キロ(勵磁用)
▲變電方式 Δ-Δ

○大阪工場 大阪市西區區津守町
△開 始 大正十一年八月
主任技術者 小幸 昇
▲受電容量 汽力一、五〇〇キロ
▲最大電壓 一〇、〇〇〇V ▲周波數六〇
○門司工場 門司市門司三〇〇
△開 始 大正十三年一月
工場長 土谷師家人
主任技術者 藤本紫朗
▲受電容量 汽力七、〇〇〇キロ
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(九州電氣軌道)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 八、〇〇〇キロ

○北海道支店 北海道札幌市上磯町
△開 始 大正四年七月
工場長 河野嘉作 主任技術者 稻葉清重
▲受電容量 汽力五、五〇〇キロ
▲最大電壓 六五、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 五、〇〇〇キロ
▲使用直流 二八〇キロ
▲變電方式 電動發電機及整流機
○株式淺野造船所 横濱市鶴見區潮田
△開 始 大正三年七月
社長 淺野總一郎
主任技術者 牧野治三郎
▲受電容量 汽力三、〇〇〇キロ
▲受電容量 電力二、〇〇〇キロ
▲最大電壓 二二、〇〇〇V ▲周波數 五〇
○旭硝子株式會社 東京市麴町區永樂町
社長 岩崎俊彌
○工場 横濱市鶴見區潮田町
△開 始 大正五年九月
主任技術者 馬淵 潔
▲受電容量 汽力七五キロ
▲受電容量 六〇〇キロ(東京灣電氣外一社)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

東京電燈株式會社

供給電燈電力數(昭和四年十一月末)

支店	電燈個數	電力KW
東京中野營業所	一、九一〇、四〇五	一、五三、〇三三・五
東京東部營業所	一、三〇一、三八八	一、四八、一七六・四
東京南部營業所	七六三、六六三	五〇、八七三・〇
東京西部營業所	一、三五六、七二七	八八、六四四・七
横濱支店	一、三三五、一八六	一〇三、七四四・六
前橋支店	九二二、四六六	三三、八六六・七
沼津支店	四〇一、九二八	三八、二六六・八
千葉支店	五五七、六九九	一〇、三三三・〇
川越支店	五八八、九二四	一八、七三三・一
宇都宮支店	二九一、八六九	八、三〇二・六
濱松營業所	三七六、九三五	二〇、三三四・六
長岡出張所	一、九一五	五、五四五・〇
計	九、五四六、三四	六七九、四六六・〇

自家用電氣(ア)

○牧山工場

戸畑市戸畑字牧山 四四五九

- ▲開 始 大正三年五月
- ▲受電容量 汽力一四五キロ
- ▲最大電壓 七〇〇キロ(九州電氣軌道ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○旭紡織株式

大阪市西區江戶堀 南通二ノ三

- ▲開 始 喜多又藏
- ▲受電容量 汽力五五〇キロ
- ▲最大電壓 二、五〇〇キロ(京都電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○大津工場

滋賀縣滋賀郡膳所町 中ノ庄字平田

- ▲開 始 大正十三年九月
- ▲受電容量 汽力五五〇キロ
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○旭電化工業株式

東京市豊町區 有樂町一ノ一

- ▲開 始 大正六年十一月
- ▲受電容量 一、五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、四五〇V ▲周波數 五〇

○尾久工場

東京市尾久町上尾久 電話下各一、一四八

- ▲開 始 大正十年九月
- ▲受電容量 汽力三、〇〇〇キロ
- ▲最大電壓 三、四〇〇V ▲周波數 六〇

○仙臺工場

仙臺市長町 電話三五三・二〇三四

- ▲開 始 大正十年九月
- ▲受電容量 汽力三、〇〇〇キロ
- ▲最大電壓 三、四〇〇V ▲周波數 六〇

○湊工業所

青森縣三戸郡湊町 電話八戸四四・一一二

- ▲開 始 大正十年(舊日之出セメント)
- ▲受電容量 六〇〇キロ(八戸水力電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○磐城炭礦株式

東京市豊町區永 榮町(正金ビル)

- ▲開 始 大正十一年十一月
- ▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
- ▲最大電壓 二、〇〇〇V ▲周波數 五〇

○礦業地

福島縣石城郡内郷村 電話湯本一番

- ▲開 始 大正十一年十一月
- ▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
- ▲最大電壓 二、〇〇〇V ▲周波數 五〇

○重内礦業所

茨城縣多賀郡 北中郷村

- ▲開 始 明治四十一年十二月
- ▲受電容量 汽力三七〇キロ(煤備)
- ▲最大電壓 一、八〇〇キロ(東部電力外一社)
- ▲最大電壓 三三、〇〇〇V ▲周波數 六〇

電燈、力、鐵

自家用電氣(イ、キ、シ)

○尼崎伸銅株式

尼崎市大洲村新城屋 電話(土佐堀)三九五

- ▲開 始 大正十年
- ▲受電容量 一、二〇〇キロ(仙南電氣工業)
- ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 五〇

○和泉紡織株式

大阪府春木町泉町五 電話岸和田三三・七三

- ▲開 始 大正二年八月
- ▲受電容量 汽力二、一四〇キロ
- ▲最大電壓 一、一〇〇V ▲周波數 六〇

○伊丹製絨所

兵庫縣川邊郡 伊丹町古城下一

- ▲開 始 大正十二年六月
- ▲受電容量 五〇〇キロ(阪神急行電鐵ヨリ)
- ▲最大電壓 三、一五〇V ▲周波數 六〇

○千代田礦業所

茨城縣多賀郡 松岡村

- ▲開 始 大正七年十月
- ▲受電容量 一、八〇〇キロ(重内坑共通)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○乾製紙株式

大阪府三島郡吹田町 電話吹田六一番

- ▲開 始 大正八年七月
- ▲受電容量 一、五〇〇キロ(宇治電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○入山探炭株式

東京市京橋區銀座 二丁目(大倉ビル)

- ▲開 始 大正七年四月
- ▲受電容量 五〇〇キロ(阪神急行電鐵ヨリ)
- ▲最大電壓 三、一五〇V ▲周波數 六〇

○礦業所

福島縣石城郡湯本町 電話湯本三番

- ▲開 始 大正十一年十一月
- ▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
- ▲最大電壓 二、〇〇〇V ▲周波數 五〇

○浦賀工場

神奈川縣三浦郡浦賀町 電話浦賀四・二五・五五

- ▲開 始 明治三十三年
- ▲受電容量 二、五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○宇部セメント株式

山口縣宇部市 電話六七外

- ▲開 始 大正十二年九月
- ▲受電容量 汽力三、六〇〇キロ
- ▲最大電壓 二、〇〇〇V ▲周波數 六〇

○東京工場

東京市深川區猿江町七〇

- ▲開 始 大正十五年(舊鈴木セメント)
- ▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○四倉工業所

福島縣石城郡四倉町 電話一三番

- ▲開 始 明治四十年十月
- ▲受電容量 汽力三、〇〇〇キロ
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○磯城セメント株式

東京市豊町區 永樂町一ノ一

- ▲開 始 大正十三年
- ▲受電容量 電力五〇〇キロ(東電ヨリ)
- ▲最大電壓 一、五〇〇V ▲周波數 五〇

○砂町工場

東京府下砂町八右衛門町

- ▲開 始 大正十三年
- ▲受電容量 電力五〇〇キロ(東電ヨリ)
- ▲最大電壓 一、五〇〇V ▲周波數 五〇

○岩淵電氣工業株式

東京市京橋區木挽 町五ノ三

- ▲開 始 大正十三年
- ▲受電容量 一、二〇〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇

エ、エ之部

鹽水港製糖株式會社 濠洲南洲
社 長 入江 海平
大阪府此花區西野下之町
四三

工場 昭和二年五月
主任技術者 中野 榮夫
▲發電容量 汽力一八〇キロ
▲受電容量 四〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

工場 東京市芝區芝浦月見町一ノ三
使用開始 昭和二年六月(舊東京製糖)
▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

オ、ヲ之部

小田炭礦株式會社 福島縣石城郡好間村
社 長 大正十年
▲受電容量 電力七八〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V

小野田セメント株式會社 山口縣厚狹郡
式會社 小野田町
電話一・二・一・四二
▲目的 セメント製造
▲開始 明治十四年
社 長 笠井 眞三
主任技術者 丸山 兼市

金澤工場 金澤市白町町野裏
電話三四九二
▲目的 同右 ▲開始 同右
▲受電容量 一、六〇〇キロ(金澤市電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、二〇〇キロ

大君鑛業株式會社 福岡縣遠賀郡折尾町
▲目的 鑛業
主任技術者 古賀實次郎
▲受電容量 一、七〇〇キロ(九軌ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 一、七〇〇キロ
▲變電方式 三角接線

大倉鑛業株式會社 東京市京橋區銀座
○茂尻炭坑 北海道空知郡
赤平村茂尻
主任技術者 小川 辰正
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V 周波數 五〇
▲使用交流 七〇〇キロ

大倉鑛山 茨城縣多賀郡北中郷村
▲開始 明治三十六年
主任技術者 常野 當三
▲發電容量 汽力三三六キロ
▲受電容量 汽力三六五キロ
▲最大電壓 三、五〇〇V(日立電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇

電燈、力、鐵 自家用電氣(オ、ヲ)

エ、エ之部

發電容量 汽力四、五〇〇キロ
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(山口縣電ヨリ)
▲發電所 本社構内
▲最大電壓 二、〇〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 五、〇〇〇キロ

愛知支社 名古屋南區熱田町
電話南二〇・一・二〇二
▲開始 明治二十三年五月
(大正十三年十二月愛知セメント合併)
主任技術者 熊井忠一郎
▲發電容量 二、一〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、二〇〇キロ
▲變電方式 變壓器

大連支社 大連市外臭水子
▲開始年月 明治四十二年六月
支社 長 溝口勝郎 主任技術者 青木宗一
▲發電容量 汽力二、四三〇キロ
▲發電所 工場内 ▲周波數 五〇
▲電線路 延長二六杆七 巨長八杆九
▲最大電壓 二、二〇〇V

平壤支社 朝鮮平南江東郡
晚達面勝湖里
▲發電容量 汽力四、七〇〇キロ
▲受電容量 一、二〇〇キロ(朝鮮電氣興業)
▲大分セメント株式會社 大分市本町五三四
電話三四・七五番

大分工場 大分縣北海部郡青江町
電話三四・七五番
▲目的 セメント製造
▲開始年月 大正七年十二月
工場 長 東八郎 主任技術者 足立榮爾

大隈鑛業株式會社 福岡縣遠賀郡
底井野村
▲使用開始 大正五年七月
▲受電容量 六〇〇キロ(九州電軌ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 一、二〇〇キロ

大阪織物株式會社 堺市七道西町一〇一
▲開始 大正三年七月
社 長 平賀義美 主任技術者 石松末雄
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 四六〇V ▲周波數 六〇

大阪毛織株式會社 大阪市東淀川區長柄
中道四ノ七九
▲開始 大正三年八月
社 長 柴川英助 主任技術者 田中重美
▲受電容量 七〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

大阪合同紡績株式會社 大阪市北區堂島
濱通二丁目
電話北三・四・三七
社 長 谷口 房藏

住吉支店 大阪市西區粉濱本町四
電話五・五一
▲目的 電燈及動力 ▲開始 大正十年
工場 長 高坂清一郎
主任技術者 野村清一郎
▲發電容量 汽力三〇〇キロ(豫備)
▲受電容量 電力五五〇キロ(宇治電ヨリ)
▲發電所 構内 ▲周波數 六〇
▲最大電壓 三、一五〇V
▲使用交流 五五〇キロ

エ、エ之部

發電容量 汽力一、二五〇キロ
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(九水ヨリ)
▲發電所 構内 ▲周波數 六〇
▲最大電壓 五三、〇〇〇V
▲營業所 大阪市北區宗是町大阪ビル

由良工場 和歌山縣日高郡由良村
▲開始 大正十二年
工場 長 松波菊太郎
主任技術者 岩熊信一
▲發電容量 汽力一、二五〇キロ
▲受電容量 電力三〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V

大井手普通水利組合 佐賀市松原町七七
▲目的 機械灌漑揚水用
▲開始 大正十一年六月
主任技術者 古賀 官一

大垣工場 同右
▲目的 合金鐵製造
▲開始 大正十五年
工場 長 東馬 三郎
主任技術者 小林恒造
▲受電容量 一、六〇〇キロ(揖斐川電氣ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V
▲周波數 六〇
▲使用交流 一、〇〇〇キロ

赤穂支店 兵庫縣赤穂郡赤穂町
▲開始 昭和三年十月
主任技術者 藤山 虎二
▲受電容量 一、四〇〇キロ(山陽中央水電)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

神崎支店 兵庫縣川邊郡小田村
電話土佐堀三〇一五
▲開始 大正二年
工場 長 隅田 光藏
主任技術者 野村清一郎
▲發電容量 汽力七、一二〇キロ
▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 五〇

小松島支店 德島縣小松島町
電話三一・四〇
▲目的 工場動力及點燈用
▲開始 大正十一年
支店 長 大井善四郎
主任技術者 佐伯正夫
▲發電容量 汽力三、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、五〇〇キロ ▲發電所構内

今治支店 今治市
▲第二工場 今治市天保山濱
電話一九三・八二八
▲開始 昭和二年五月
主任技術者 切目 宗吉
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(伊豫鐵電ヨリ)
▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、〇〇〇キロ
▲變電方式 三相三線式

電燈、力、鐵 自家用電氣(オ、ヲ)

◎大阪市役所

大阪市長 柴島水源

▲開 始 大正八年九月

▲受電容量 三、六〇〇キロ(市電ヨリ)

▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇

◎大阪製鐵株式會社

▲開 始 大正八年六月

▲受電容量 一、三一五キロ(宇治電及日電)

▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇

◎株式大阪製鐵所

▲開 始 大正十五年六月

▲受電容量 八〇〇キロ(日本電力ヨリ)

▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇

◎大阪曹達株式會社

▲開 始 大正五年十一月

▲受電容量 二、〇〇〇キロ(九州電氣ヨリ)

▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

◎大辻炭礦株式會社

▲開 始 大正十一年五月

▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

◎大辻岩屋炭礦株式會社

▲開 始 大正十一年五月

▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

◎大辻炭礦株式會社

▲開 始 大正十一年五月

▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

◎王子製紙株式會社

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 一、五七五キロ(山口縣電ヨリ)

▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

◎王子工場

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 一、五七五キロ(山口縣電ヨリ)

▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

◎櫻島工場

▲開 始 大正三年

▲受電容量 二、〇〇〇キロ(日本電力ヨリ)

▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇

◎第二工場

▲開 始 昭和三年一月

▲受電容量 五五〇キロ(日本電力ヨリ)

▲最大電壓 三、一五〇V ▲周波數 六〇

◎工場

▲開 始 明治四十五年三月

▲受電容量 一、〇〇〇キロ(瀬戸内海電力)

▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎工場

▲開 始 大正八年二月

▲受電容量 一、〇〇〇キロ(廣島電氣ヨリ)

▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

◎株式大阪ビルディング

▲開 始 昭和二年六月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎株式大阪鐵工所

▲開 始 昭和二年八月

▲受電容量 六三〇キロ(大阪市電ヨリ)

▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

◎大阪莫大小紡織株式會社

▲開 始 昭和二年八月

▲受電容量 八五〇キロ(日本電力ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎三島町工場

▲開 始 大正三年五月

▲受電容量 五斯力五六〇キロ(汽力八〇キロ)

▲最大電壓 二、〇〇〇V ▲周波數 五〇

◎大阪窯業株式會社

▲開 始 大正七年六月

▲受電容量 四、六五〇キロ(日本電力ヨリ)

▲最大電壓 一、一〇〇V ▲周波數 六〇

◎榑太分社

▲開 始 大正十一年五月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎豊原工場

▲開 始 大正五年十一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎野田工場

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎朝鮮分社

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎朝鮮工場

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎小倉工場

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎伏木工場

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎都島工場

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎王子製紙株式會社

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

◎王子工場

▲開 始 大正十一年一月

▲受電容量 六三三キロ(市電及宇治電ヨリ)

▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

電燈、力鐵

自家用電氣(オ、ナ)

●近江帆布株式 滋賀縣蒲生郡

●味野工場 岡山縣見島郡味野町

- ▲目的 動力及電燈 ▲開始大正十二年
- ▲工場長 栗生謙吉 主任技術者 新田忠藏
- ▲發電容量 火力八〇キロ(豫備)
- ▲受電容量 八〇三キロ(山陽中央水電ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

力之部

●貝島鑄業株式 福岡縣鞍手郡宮田町

●開 始 明治三十四年九月

- ▲主任技術者 貝島榮四郎
- ▲發電容量 汽力常用四、八〇〇キロ
- ▲受電容量 同豫備三、〇〇〇キロ
- ▲發電所 構内 ▲周波數 四〇
- ▲電線路 延長三六杆六 亘長一二杆二
- ▲最大電壓 一一、五〇〇V
- 柏原紡織株式 大阪府南河内郡柏原町
- ▲開 始 大正七年
- ▲代表者 玉井英二 主任技術者 若松常雄
- ▲發電容量 汽力一五〇キロ
- ▲受電容量 五〇〇キロ(大阪電力ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V
- ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 五〇〇キロ

●鐘淵紡績株式 東京市外隅田町一六一二

●開 始 明治廿年(發電所昭和元年十月)

- ▲主任技術者 武藤 山治
- ▲工場長 橋爪捨三郎 主任技術者 河野憲一
- ▲發電容量 汽力四〇〇キロ
- ▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、一五〇V
- ▲使用交流 三、二〇〇キロ ▲周波數 五〇
- 新町工場 群馬縣多野郡新町八幡西
- ▲主任技術者 濱邊 重一
- ▲發電容量 汽力三〇キロ(豫備)
- ▲受電容量 四〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 五〇
- 松坂支店 三重縣松坂町
- ▲開 始 大正十二年九月
- ▲工場長 渡邊寅藏 主任技術者 竹村信作
- ▲受電容量 四〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 四〇〇キロ
- 京都支店 京都市上京區一野上開町
- ▲開 始 明治十一年
- ▲工場長 瀧川定次 主任技術者 太田豊次
- ▲發電容量 汽力五〇キロ
- ▲受電容量 一、二〇〇キロ(京都市電ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 一、一五〇キロ

●山科絹布工場 京都府宇治郡山科町

●開 始 大正十年七月

- ▲主任技術者 鈴木正武
- ▲工場長 鈴木正武 主任技術者 清水亮輔
- ▲發電容量 瓦斯力二〇〇キロ(豫備)
- ▲受電容量 五〇〇キロ(京都電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 一〇、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 四五〇キロ 直 流八五キロ
- ▲變電方式 變壓器及電動發電機
- 大阪支店 大阪市東區鳴野町三〇〇
- ▲開 始 大正四年
- ▲工場長 三宅郷太 主任技術者 岸田松次
- ▲發電容量 汽力四、〇〇〇キロ
- ▲受電容量 一、二〇〇キロ(宇治電ヨリ)
- ▲發電所 構内 ▲周波數 六〇
- ▲最大電壓 三、五〇〇V
- ▲使用交流 二、〇〇〇キロ
- 淀川支店 大阪市東區友瀨町六反田
- ▲開 始 昭和三年二月
- ▲主任技術者 田中 菊市
- ▲發電容量 汽力五〇キロ
- ▲受電容量 一、〇〇〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 高砂支店 兵庫縣加古郡高砂町
- ▲開 始 大正七年十一月
- ▲主任技術者 眞弓 勲
- ▲發電容量 汽力七五キロ
- ▲受電容量 一、一〇〇キロ(山陽中央水電)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

●兵庫支店 神戸市御崎町二丁目

●開 始 明治二十八年六月

- ▲主任技術者 古河 真雄
- ▲發電容量 汽力三、〇〇〇キロ(豫備)
- ▲受電容量 三、〇〇〇キロ(宇治電ヨリ)
- ▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 三、〇〇〇キロ
- 洲本支店 兵庫縣津名郡洲本町
- ▲開 始 明治三十年三月
- ▲主任技術者 宮前 義
- ▲發電容量 汽力二、〇〇〇キロ
- ▲受電容量 五〇〇キロ(三重合同電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 備前工場 岡山市下石井一九八
- ▲開 始 大正十二年二月
- ▲工場長 古宇田唯吉
- ▲主任技術者 志村 榮
- ▲發電容量 汽力七五キロ(豫備)
- ▲受電容量 一、〇〇〇キロ(山陽中央水電ヨリ)
- ▲發電所 構内 ▲周波數 六〇
- ▲最大電壓 三、五〇〇V
- ▲使用交流 一、一〇〇キロ
- 岡山支店 岡山市花畑二〇
- ▲開 始 大正十二年二月
- ▲工場長 廣瀬朝三 主任技術者 志村 榮
- ▲發電容量 汽力四五キロ(豫備)
- ▲受電容量 七五〇キロ(山陽中央水ヨリ)

▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇

▲使用交流 七五〇キロ

- 西大寺工場 岡山縣上道郡西大寺町
- ▲開 始 明治三十一年二月
- ▲發電容量 汽力五〇キロ(豫備)
- ▲受電容量 六〇〇キロ(山陽中央水電ヨリ)
- ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 三、〇〇〇キロ
- 川崎車輛株式 神戸市和田山通一ノ六
- ▲開 始 明治三十年十月
- ▲主任技術者 多田 文吾
- ▲發電容量 汽力二、五〇〇キロ
- ▲受電容量 五、三二〇キロ(神戸市電ヨリ)
- ▲最大電壓 一、一〇〇〇V
- ▲周波數 五〇及六〇
- ▲變電方式 電動發電機
- 株式川崎造船所 神戸市東川崎町
- ▲開 始 明治二十九年十月
- ▲主任技術者 鹿島房次郎
- ▲發電容量 汽力一、五〇〇キロ
- ▲受電容量 六〇〇キロ(神戸市電ヨリ)
- ▲最大電壓 二、三〇〇V
- ▲發電所 構内 ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 一、〇二二キロ
- ▲使用直流 七、〇〇〇キロ
- ▲變電方式 變壓器及電動發電機

●荻合工場 神戸市臨海町三丁目

●開 始 大正七年四月

- ▲主任技術者 多田 文秋
- ▲發電容量 汽力五、〇〇〇キロ
- ▲受電容量 一、五〇〇キロ(神戸市電ヨリ)
- ▲最大電壓 二、三〇〇V
- ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 三五〇〇キロ
- ▲同 直流 八〇〇キロ
- 釜石鑛山株式 東京市日本橋區本草屋町
- ▲開 始 大正五年
- ▲主任技術者 瀧口 武
- ▲發電容量 瓦斯力四四〇キロ
- ▲受電容量 電力二、四〇〇キロ
- ▲最大電壓 一、一〇〇〇V
- 樺太工業株式 樺太泊居町
- ▲開 始 大正三年(舊中央製紙)
- ▲主任技術者 瀧口 武
- ▲發電容量 水力二、〇〇〇キロ
- ▲送電線路 延長四杆五 亘長二杆二五
- ▲最大電壓 七、四〇〇V
- ▲周波數 六〇
- ▲變電方式 三相交流三線式

電燈、力、鐵

自家用電氣(カ)

○中津工場

岐阜縣惠那郡中津川町
電話長二五
開 始 大正八年十二月
工場長 瀨古太一郎
主任技術者 瀨古太一郎
▲發電容量 水力二、一五〇〇キロ
▲受電容量 八〇〇キロ(大同電力ヨリ)
▲發電所 岐阜縣惠那郡阿木村川上竹之堰
▲變電所 同 中津川町尾島
▲最大電壓 七七、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲變電方式 三角型結線

○坂本工場

熊本縣八代郡上松求麻村
電話八代長三二・〇一五九
開 始 明治三十六年八月(舊九州製紙)
主任技術者 伊藤 俊記
▲發電容量 水力一、二〇〇K 汽力二二五K
▲受電容量 三、〇〇〇K(熊本電氣ヨリ)
▲發電所 (貼附)八代郡下松求麻村日田地組
(深水)同 生名子組
▲最大電壓 三、五〇〇V
▲周波數 五〇及六〇
▲使用交流 四、四三五キロ

○樺太木材紙料株式

樺太大泊郡大泊町
工場 富山縣射水郡能町村
開 始 大正九年七月
社長 利光小三郎
主任技術者 小野寺正八
▲受電容量 九五〇キロ(立山水力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V

○關西製鐵株式

尼ヶ崎市大洲村
新屋一
開 始 大正八年十二月
代表者 久保田福四郎
▲受電容量 一、五〇〇キロ(阪神電氣鐵道)
▲最大電壓 二一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
○西製鋼株式
岸和田市中北町七〇七
代表者 寺田元之助
○津田工場
大阪府泉南郡麻生郷村
津田六五
開 始 大正七年九月
▲受電容量 容七キロ(大阪電力及南海鐵道)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
○漢城製鐵株式
朝鮮平安南道大同郡
梧野洞
開 始 大正二年七月
▲發電容量 汽力三六キロ
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(朝鮮電氣興業)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

キ之部

○キリンビール株式
横濱市鶴見區
生夢町一七
開 始 大正十五年四月
工場長 淺見貫一 主任技術者 中野每雄
▲受電容量 五五〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 五五〇キロ
▲變電方式 三相交流三線式

○横濱工場

横濱市鶴見區生夢町一七
電話本局三四三一外五
開 始 大正十五年四月
工場長 淺見貫一 主任技術者 中野每雄
▲受電容量 五五〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 五五〇キロ
▲變電方式 三相交流三線式

ク之部

○藏内鑛業株式

福岡縣田川郡添田町
電話一・二・三番
社長 藏内次郎兵衛
主任技術者 瓦田友次郎
▲受電容量 平均一、八三三(九水ヨリ)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 五〇

○倉敷紡績株式

岡山縣倉敷市
電話一〇一・一三
開 始 明治二十年七月
社長 大原孫三郎
主任技術者 原 健
▲發電容量 汽力一、九五〇キロ
▲受電容量 六、〇〇〇キロ(京阪電鐵、中國合同、四國水力、伊豫鐵道ヨリ)
▲發電所 香川縣高松市松島町
▲電線路 巨、延長共一、一杆
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇

○東京支店

東京市本所區錦糸町一四七
電話本所二、一五一
支店 佐々木和三郎
主任技術者 伊藤 長雄
▲受電容量 六八〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲變電所 構内 ▲周波數 五〇
▲最大電壓 三、三〇〇V

○紀陽織布株式

和歌山縣海草郡岡町村
川向九一
電話一五〇・六六四
開 始 大正十一年
(受電開始昭和二年十月)
代表取締役 糸川龜之助
主任技術者 辻 喜三郎
▲受電容量 一、五〇〇キロ(京阪電鐵ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、五〇〇キロ

○汽車製造株式

大阪市此花區島屋町
開 始 大正五年八月
社長 長谷川正五
主任技術者 松井洵一
▲發電容量 汽力二五〇キロ
▲受電容量 二、〇六五キロ(宇治電ヨリ)
▲最大電壓 三一、五〇V ▲周波數 六〇

○九州製鋼株式

八幡市前田
開 始 大正九年八月
主任技術者 田中嘉久三
▲受電容量 二、〇〇〇キロ(九軌ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇

○九州製鋼株式

八幡市前田
開 始 大正九年八月
主任技術者 田中嘉久三
▲受電容量 二、〇〇〇キロ(九軌ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇

○九州炭鑛汽船株式

東京市豊町區
八重洲町一ノ一
開 始 明治四十四年四月
▲發電容量 汽力二、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇

○菊井紡績株式

名古屋市中區米野町
電話々島二九ノ一
開 始 大正七年九月
主任技術者 豐田 佐助
▲受電容量 一、七〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 二、〇〇〇V ▲周波數 六〇

○岸和田紡績株式

岸和田市北町
九五三
開 始 大正十五年三月
主任技術者 小林三郎兵衛
▲發電容量 汽力一、一五〇キロ
▲受電容量 七〇〇キロ(三重合同電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○津工場

津市上濱町
開 始 明治四十四年九月
主任技術者 高橋嘉一
▲發電容量 水力一、〇〇〇キロ
▲受電容量 六〇〇キロ(宮城送電興業ヨリ)
▲最大電壓 二五、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 九〇〇キロ直流一、〇八〇キロ

電燈、力、鐵

自家用電氣(キ、ク)

コ之部

- 株式小松製作所 石川縣小松町 電話長小松三三二
 - ▲開 始 大正六年
 - ▲工場長 岩井興助 主任技術者 矢野政義
 - ▲發電容量 水力二八〇キロ
 - ▲受電容量 晝間七五〇キロ(北陸共同電氣) 夜間五七〇キロ(ヨリ各受電)
 - ▲最大電壓 二二、〇〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 一、〇五〇キロ
 - ▲變電方式 交流三相三線式
- 合同毛織株式 大阪市東淀川區 中津濱通一ノ九
 - ▲開 始 大正十五年二月
 - ▲主任技術者 畑中興七郎
 - ▲受電容量 一、二五〇キロ(日本電力ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 今津工場 兵庫縣武庫郡今津町 大字今津
 - ▲開 始 大正七年十一月
 - ▲主任技術者 大神 正秋
 - ▲受電容量 一、〇〇〇キロ(日本電力ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 戸之内工場 兵庫縣川邊郡岡田村 戸之内七五〇
 - ▲開 始 大正十一年十一月
 - ▲主任技術者 畑中興太郎
 - ▲受電容量 六〇〇キロ(日本電力ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

サ之部

- 千住工場 東京府下南千住町地方 橋場五三五
 - ▲開 始 明治四十三年三月(舊東京毛織)
 - ▲主任技術者 永山鐵之助
 - ▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 合同油脂株式 東京市丸ノ内 丸ノ内八郎
 - ▲開 始 大正十二年十月
 - ▲主任技術者 高石 淳
 - ▲受電容量 一、四九二キロ(神戸市電ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 三〇〇キロ 直流一、〇〇〇キロ
- 兵庫工場 神戸市須藤通七ノ一 電話兵庫一四・二一五
 - ▲開 始 大正十五年二月
 - ▲主任技術者 春日 季彦
 - ▲發電容量 汽力一、五〇〇キロ
 - ▲受電容量 一、〇〇〇キロ(中國合電ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲變電方式 電動發電機
- 山手工場 神戸市臨海町二ノ三一
 - ▲開 始 明治三十八年十月
 - ▲主任技術者 和田 三夫
 - ▲發電容量 汽力一、二五〇キロ
 - ▲受電容量 一〇、〇〇〇キロ(神戸市電ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 播磨造船工場 兵庫縣赤穂郡相生町 電話相生一四ノ一六
 - ▲開 始 大正五年二月
 - ▲主任技術者 春日 季彦
 - ▲發電容量 汽力一、五〇〇キロ
 - ▲受電容量 一、〇〇〇キロ(中國合電ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲變電方式 電動發電機
- 株式神戸製鋼所 神戸市臨海町 二ノ三一
 - ▲開 始 大正七年十一月
 - ▲主任技術者 大神 正秋
 - ▲受電容量 一、〇〇〇キロ(日本電力ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 相模紡績株式 東京市日本橋區堺町二 電話浪花一七七七
 - ▲開 始 大正十年一月
 - ▲主任技術者 矢野源榮
 - ▲受電容量 六七三・五キロ(大同電力及南海)
 - ▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 住友九州炭礦株式 福岡縣若松市 本町五丁目
 - ▲開 始 明治四十年一月
 - ▲主任技術者 曾我勳
 - ▲發電容量 火力四、八〇〇キロ
 - ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 忠隈炭坑 福岡縣嘉穂郡穂波村 電話塚二・二一七
 - ▲開 始 明治四十年一月
 - ▲主任技術者 曾我勳
 - ▲發電容量 火力四、八〇〇キロ
 - ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 住友伸銅管株式 大阪市此花區 島屋町五六
 - ▲開 始 大正六年五月
 - ▲主任技術者 中河直憲
 - ▲受電容量 五、七〇〇キロ(宇治電及日電)
 - ▲最大電壓 一〇、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 西野田工場 大阪市此花區安治川 上通一ノ二二
 - ▲開 始 明治四十一年九月
 - ▲主任技術者 森口 茂
 - ▲發電容量 汽力六六七キロ
 - ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 島屋町工場 大阪市此花區島屋町 電話島屋一三〇
 - ▲開 始 昭和二年九月
 - ▲主任技術者 森口 茂
 - ▲受電容量 一、五〇〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、一五〇V ▲周波數 六〇
- 株式住友製鋼所 大阪市此花區島屋町 電話土佐堀一二〇外
 - ▲開 始 明治四十年九月
 - ▲主任技術者 馬杉榮次郎
 - ▲發電容量 汽力五〇〇キロ(豫備)
 - ▲受電容量 五〇〇キロ(堅田町電氣部ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 一七、〇〇〇キロ

又之部

- 三光紡績株式 堺市市長濱 電話三三二外一
 - ▲開 始 大正十年九月
 - ▲工場長 古橋林司 主任技術者 原西隆
 - ▲受電容量 一、五〇〇KVA(東電ヨリ)
 - ▲最大電壓 四二、〇〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 一、一五〇キロ
 - ▲變電方式 三相三線式
- 三豊紡績株式 香川縣三豊郡觀音寺町
 - ▲使用開始 大正二年一月
 - ▲受電容量 五五〇キロ
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- シ之部
 - 株式時事新報社 東京市麹町區入重 洲町一ノ一 電話九ノ内二一
 - ▲開 始 新聞印刷 大正十五年十一月
 - ▲工場長 尾崎正文 主任技術者 長田秀吉
 - ▲受電容量 六〇〇KVA(東京電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
 - 昭和レーヨン株式 大阪市北區堂島 濱通二ノ八
 - ▲開 始 昭和二年十二月
 - ▲主任技術者 谷 眞三
 - ▲發電容量 汽力五〇〇キロ(豫備)
 - ▲受電容量 五〇〇キロ(堅田町電氣部ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 一七、〇〇〇キロ
 - 直江津工場 新潟縣直江津町 電話直江津三一三
 - ▲開 始 昭和二年十月
 - ▲工場長 岩橋勇 主任技術者 二司丈夫
 - ▲受電容量 一七、〇〇〇キロ(信濃電氣)
 - ▲最大電壓 七、七〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 一七、〇〇〇キロ
 - 信越窒素肥料株式 長野市吉田町 八五七
 - ▲開 始 大正十五年四月(使用認可)
 - ▲工場長 太田黒野生
 - ▲受電容量 三、六〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲變電方式 變壓器
 - 鶴見工場 横浜市鶴見區末廣町 電話鶴見一二二・二三五
 - ▲開 始 大正十五年四月(使用認可)
 - ▲工場長 太田黒野生
 - ▲受電容量 三、六〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲變電方式 變壓器及電動發電機
 - 東京工場 東京市芝區金杉新濱町一 電話高輪三八〇外四
 - ▲開 始 大正十五年一月(使用認可)
 - ▲工場長 三澤宣一 主任技術者 百田貞次
 - ▲受電容量 一、六〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲使用交流 一、六〇〇キロ 直流一五〇キロ
 - ▲變電方式 變壓器及電動發電機
 - 榎山鑛業株式 朝鮮忠清南道 天安郡成歡面
 - ▲開 始 大正五年九月
 - ▲發電容量 水力五〇〇キロ
 - 株式芝浦製作所 東京市芝區金杉新 濱町一
 - ▲開 始 大正十五年一月(使用認可)
 - ▲工場長 三澤宣一 主任技術者 百田貞次
 - ▲受電容量 一、六〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲使用交流 一、六〇〇キロ 直流一五〇キロ
 - ▲變電方式 變壓器及電動發電機
 - 住友九州炭礦株式 福岡縣若松市 本町五丁目
 - ▲開 始 明治四十年一月
 - ▲主任技術者 曾我勳
 - ▲發電容量 火力四、八〇〇キロ
 - ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
 - 忠隈炭坑 福岡縣嘉穂郡穂波村 電話塚二・二一七
 - ▲開 始 明治四十年一月
 - ▲主任技術者 曾我勳
 - ▲發電容量 火力四、八〇〇キロ
 - ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
 - 住友伸銅管株式 大阪市此花區 島屋町五六
 - ▲開 始 大正六年五月
 - ▲主任技術者 中河直憲
 - ▲受電容量 五、七〇〇キロ(宇治電及日電)
 - ▲最大電壓 一〇、〇〇〇V ▲周波數 六〇
 - 西野田工場 大阪市此花區安治川 上通一ノ二二
 - ▲開 始 明治四十一年九月
 - ▲主任技術者 森口 茂
 - ▲發電容量 汽力六六七キロ
 - ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
 - 島屋町工場 大阪市此花區島屋町 電話島屋一三〇
 - ▲開 始 昭和二年九月
 - ▲主任技術者 森口 茂
 - ▲受電容量 一、五〇〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、一五〇V ▲周波數 六〇
 - 株式住友製鋼所 大阪市此花區島屋町 電話土佐堀一二〇外
 - ▲開 始 明治四十年九月
 - ▲主任技術者 馬杉榮次郎
 - ▲發電容量 汽力五〇〇キロ(豫備)
 - ▲受電容量 五〇〇キロ(堅田町電氣部ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 一七、〇〇〇キロ

電燈、力、鐵

自家用電氣(サ、シ、ス)

- ▲發電容量 汽力八六九キロ
- ▲受電容量 二、五〇〇キロ(宇治電ヨリ)
- ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 一八五〇キロ
- ▲使用直流 六五〇キロ
- ▲變電方式 電動發電機 變壓器
- 株式住友電線製造所 大阪市港區 恩貴島町
- ▲開 始 大正五年八月
- ▲主任技術者 湯川寛吾
- ▲受電容量 一、六五〇キロ(宇治電及日電)
- ▲最大電壓 一五、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 株式住友肥料製造所 大阪市東區 北濱五丁目
- ▲開 始 大正四年
- ▲主任技術者 志田文雄
- ▲受電容量 約四、五〇〇キロ(土佐吉野川ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 三〇
- 住友別子鑛山株式 愛媛縣新居郡 新居濱町
- ▲開 始 明治三十七年
- ▲主任技術者 山口忠俊
- ▲受電容量 二、〇〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 二、〇〇〇キロ
- ▲變電方式 三相式
- 四坂島製鍊所 愛媛縣越智郡 四坂島
- ▲開 始 明治三十七年
- ▲主任技術者 龍野昌之 主任技術者 松尾正男
- ▲受電容量 汽力一、三五〇キロ
- ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 三〇
- ▲使用交流 一、〇〇〇キロ 直流一五〇キロ

セ之部

- 潤榮合資工場 名古屋市中區東芳野町 電話東七八八、七八九
- ▲開 始 大正十四年十二月
- ▲主任技術者 加藤捨三郎
- ▲受電容量 九六〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 泉州織物株式 岸和田市南町一六〇
- ▲開 始 大正六年八月
- ▲主任技術者 島田良藏 主任技術者 山田孝
- ▲受電容量 汽力一、五〇〇キロ
- ▲最大電壓 八〇〇キロ(大同電力ヨリ)
- ▲使用交流 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲變電方式 ステップダウン變壓器三角結線
- 第一室素肥料株式 神戸市海岸通一〇
- ▲開 始 大正十五年
- ▲主任技術者 横井道夫
- ▲受電容量 一、四〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 一、四〇〇キロ
- ▲變電方式 ステップダウン變壓器三角結線
- 彦島工場 山口縣豐浦郡彦島町西山
- ▲開 始 大正十五年
- ▲主任技術者 横井道夫
- ▲受電容量 一、四〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 一、四〇〇キロ
- ▲變電方式 ステップダウン變壓器三角結線

- 株式田代商店 名古屋市中區七曲町 三丁目
- ▲開 始 大正十五年二月
- ▲主任技術者 田代平太郎
- ▲受電容量 五〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
- 鯛生金山株式 福岡縣八女郡矢部局 區内
- ▲開 始 大正元年十月
- ▲主任技術者 寶藤平吉 主任技術者 吉丸歡平
- ▲受電容量 汽力八〇〇キロ(瓦斯力一〇二キロ)
- ▲最大電壓 九六〇キロ(熊本電氣ヨリ)
- ▲使用交流 二、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲變電方式 三相式
- 大正鑛業株式 福岡縣遠賀郡中間村
- ▲開 始 大正元年
- ▲主任技術者 伊藤傳右衛門
- ▲受電容量 八五〇キロ(九州水力電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲使用交流 八五〇キロ
- 株式大同電氣製鋼所 東京市麴町區 永樂町一ノ一
- ▲開 始 大正五年八月
- ▲主任技術者 松尾 瑞郎
- ▲受電容量 汽力三二〇キロ
- ▲最大電壓 四〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲使用交流 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲變電方式 三相式
- 砂町工場 東京府南葛飾郡砂町治兵衛 四七九
- ▲開 始 大正十年十二月
- ▲主任技術者 尾野 人志
- ▲受電容量 汽力三二〇キロ
- ▲最大電壓 四〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲使用交流 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲變電方式 三相式
- 大里工場 門司市大里町北區 電話一〇五、四二四
- ▲開 始 大正四年十月
- ▲主任技術者 金行二郎 主任技術者 加藤佐平
- ▲受電容量 汽力五〇キロ
- ▲最大電壓 四八〇キロ(九州電氣軌道ヨリ)
- ▲使用交流 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲變電方式 變壓器三角結線法
- 大日本製氷株式 東京市本所區中ノ 郷業平町一七一
- ▲開 始 大正十年五月(舊日東製氷)
- ▲主任技術者 笠井平馬 主任技術者 桂 好助
- ▲受電容量 六五〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 六五〇キロ
- 扇橋工場 東京市深川區扇橋町二六 電話本所三一〇
- ▲開 始 大正六年(舊日東製氷)
- ▲主任技術者 丸茂富治郎
- ▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V
- ▲周波數 五〇

- 熱田工場 名古屋市中區熱田東町丸山 電話南一八五四、一八五五
- ▲開 始 大正十年十一月
- ▲主任技術者 山口忠俊
- ▲受電容量 二、〇〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 二、〇〇〇キロ
- ▲變電方式 三相式
- 築地工場 名古屋市中區築地五區 電話南長七四七番
- ▲開 始 大正九年七月
- ▲主任技術者 山口忠俊
- ▲受電容量 二、〇〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 二、〇〇〇キロ
- ▲變電方式 三相式
- 大同肥料株式 福井縣武生町北府村 電話五番六五番
- ▲開 始 大正十一年十一月
- ▲主任技術者 増田次郎 主任技術者 磯矢多郎
- ▲受電容量 汽力四八〇キロ(豫備)
- ▲最大電壓 (不定時)九、四〇〇キロ(大同電 力外一社)
- ▲變電方式 交流三相三線式 ▲周波數 六〇
- 大日本鑛業株式 東京市丸ノ内 海上ビル六階
- ▲開 始 明治四十年五月
- ▲主任技術者 坪井 美雄
- ▲受電容量 汽力四八〇キロ(豫備)
- ▲最大電壓 (不定時)九、四〇〇キロ(大同電 力外一社)
- ▲變電方式 交流三相三線式 ▲周波數 六〇
- 八盛鑛業所 秋田縣山本郡八森村
- ▲開 始 明治四十年五月
- ▲主任技術者 坪井 美雄
- ▲受電容量 汽力四八〇キロ(豫備)
- ▲最大電壓 (不定時)九、四〇〇キロ(大同電 力外一社)
- ▲變電方式 交流三相三線式 ▲周波數 六〇

- ▲發電容量 水力四二〇キロ(汽力四〇〇キロ)
- ▲受電容量 一五〇キロ(北海道電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、四五〇V
- ▲使用交流 六〇及五〇
- ▲變電方式 三相三線式三角結線法
- 吉乃鑛業所 秋田縣雄勝郡西成瀬村 吉野
- ▲開 始 大正七年
- ▲主任技術者 羽生實 主任技術者 富田誠健
- ▲受電容量 特殊五〇〇キロ(各増田水電ヨリ)
- ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲使用交流 一、一七〇キロ 直流二五キロ
- ▲變電方式 過降三相三線、單相二線混用
- 大日本人造肥料株式 東京市麴町區 永樂町二ノ七
- ▲開 始 大正六年十一月
- ▲主任技術者 上倉 次郎
- ▲受電容量 三、〇〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲使用交流 五〇〇キロ 直流二、一〇〇キロ
- ▲變電方式 交流三相三線式 直流二線式
- 王子工場 東京府下王子町豐島一七〇〇 電話小石川五六六一五六八
- ▲開 始 大正六年十一月
- ▲主任技術者 上倉 次郎
- ▲受電容量 三、〇〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲使用交流 五〇〇キロ 直流二、一〇〇キロ
- ▲變電方式 交流三相三線式 直流二線式
- 大日本製糖株式 東京市丸ノ内 昭和ビル内
- ▲開 始 大正六年(舊日東製氷)
- ▲主任技術者 丸茂富治郎
- ▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V
- ▲周波數 五〇

- 砂町工場 東京府南葛飾郡砂町治兵衛 四七九
- ▲開 始 大正十年十二月
- ▲主任技術者 尾野 人志
- ▲受電容量 汽力三二〇キロ
- ▲最大電壓 四〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲使用交流 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲變電方式 三相式
- 大里工場 門司市大里町北區 電話一〇五、四二四
- ▲開 始 大正四年十月
- ▲主任技術者 金行二郎 主任技術者 加藤佐平
- ▲受電容量 汽力五〇キロ
- ▲最大電壓 四八〇キロ(九州電氣軌道ヨリ)
- ▲使用交流 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲變電方式 變壓器三角結線法
- 大日本製氷株式 東京市本所區中ノ 郷業平町一七一
- ▲開 始 大正十年五月(舊日東製氷)
- ▲主任技術者 笠井平馬 主任技術者 桂 好助
- ▲受電容量 六五〇キロ(東邦電力ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 六五〇キロ
- 扇橋工場 東京市深川區扇橋町二六 電話本所三一〇
- ▲開 始 大正六年(舊日東製氷)
- ▲主任技術者 丸茂富治郎
- ▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V
- ▲周波數 五〇

電燈、力、鐵

自家用電氣(タ、チ、ツ)

●株式大丸 大阪市南区心齋橋

▲開 始 大正十四年七月
▲代表者 里見 純 主任技術者 大野 藍
▲受電容量 五〇〇キロ(大阪市電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

●太平洋炭礦株式 東京市日本橋區

▲開 業 大正八年七月
▲發電容量 汽力三五〇キロ
▲受電容量 電力二五〇キロ
▲最大電壓 一、〇〇〇V

●釧路鑛業所 北海道釧路市

▲開 業 大正八年七月
▲發電容量 汽力三五〇キロ
▲受電容量 電力二五〇キロ
▲最大電壓 一、〇〇〇V

●高取鑛業株式 佐賀縣杵島郡

▲開 始 明治三十四年
▲發電容量 汽力一、〇七二キロ
▲受電容量 三〇〇キロ(肥前電氣鐵道ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇

●杵島炭坑 第一坑 佐賀縣杵島郡

▲開 始 明治三十四年
▲發電容量 汽力一、〇七二キロ
▲受電容量 三〇〇キロ(肥前電氣鐵道ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇

○同 第三坑 佐賀縣杵島郡

▲開 始 大正八年五月
▲發電容量 汽力一、三〇〇キロ(常用)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇

テ之部

●帝國火藥工業株式 東京市豊町區永

▲開 始 大正十年五月
▲發電容量 汽力四二五キロ
▲受電容量 三〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○工場 愛知縣知多郡武豐町

▲開 始 大正十年五月
▲發電容量 汽力四二五キロ
▲受電容量 三〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

●帝國人造絹糸株式 神戸市海岸通

▲開 始 大正十年五月
▲發電容量 汽力四二五キロ
▲受電容量 三〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○廣島工場 廣島市米田町沖ノ三ノ割

▲開 始 大正十一年十一月
▲發電容量 一、二〇〇キロ(廣島電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

●帝國製麻株式 東京市日本橋區

▲開 始 明治二十三年十月
▲發電容量 水力一四〇キロ(東電ヨリ)
▲受電容量 一、五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三三、〇〇〇V ▲周波數 五〇

▲變電方式 三相三線式

電燈、力、鐵

自家用電氣(テ)

●ダンロップ 護謨株式 神戸市筒井町二〇

▲開 始 大正十四年九月
▲代表者 グイ・ビー・ウィルソン
▲主任技術者 魚谷徳次郎
▲發電容量 汽力三五キロ
▲受電容量 二、〇〇〇キロ(神戸市電ヨリ)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

チ之部

●中央毛糸紡績株式 大阪市東區北

▲開 始 大正十一年十二月
▲發電容量 六五〇キロ(揖斐川電氣ヨリ)
▲最大電壓 一、〇五〇V ▲周波數 六〇

●中央セメント株式 大阪市東區

▲開 始 大正十三年
▲發電容量 一、〇〇〇キロ(九水ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

○黒崎工場 福岡縣八幡市藤田

▲開 始 大正十三年
▲發電容量 一、〇〇〇キロ(九水ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

▲變電方式 三相三線式

●中央電氣株式 (事業會社新瀉縣)

▲開 始 明治四十三年
▲發電容量 四、二〇〇キロ(本社發電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○田口工場 新瀉縣中頸城郡田口

▲開 始 明治四十三年
▲發電容量 四、二〇〇キロ(本社發電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

●秩父工場 埼玉縣秩父郡秩父町大宮

▲開 始 大正十四年
▲發電容量 汽力二、九〇〇キロ
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

▲變電方式 交流三相三線式

ツ之部

●辻紡績株式 京都市下京區壬生

▲開 始 大正十一年七月
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○御徳鑛業所 福岡縣鞍手郡小竹町

▲開 始 大正十二年九月
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ(九水ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇

○起行小松鑛業所 福岡縣後藤寺町

▲開 始 大正七年五月
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ(九水ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

●株式帝國ホテル 東京市豊町區山下

▲開 始 大正十一年六月
▲發電容量 一、八〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇

▲變電方式 三相三線式

●株式寺田紡績工場 大阪府泉南郡

▲開 始 大正十一年七月
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ(南海鐵道ヨリ)
▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 六〇

▲變電方式 三相三線式

▲變電方式 三相三線式

▲變電方式 三相三線式

●社団法人電気俱樂部 東京市豊町五

▲開 始 昭和二年十一月
▲主任技術者 鈴木 岩雄
▲受電容量 五〇〇キロ(東京電リ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

●天滿織物株式 大阪市東區北濱町
▲開 始 大正十一年八月(舊三國紡績)
▲主任技術者 黒板英次郎

●三國工場 大阪府豊能郡豊津村
▲開 始 大正十一年八月(舊三國紡績)
▲主任技術者 黒板英次郎

▲受電容量 一、〇〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 六〇

ト之部

●戸畑鑄物株式 戸畑市大字戸畑

▲開 始 明治四十三年六月
▲主任技術者 菊田多利男
▲受電容量 四、二〇〇キロ(九州電氣軌道)

●變電所 戸畑市戸畑明治町三丁目
▲最大電壓 三、五〇〇V
▲周波數 五〇

▲使用交流 四、二〇〇キロ
▲變電方式 三相三線式

●木津川工場 大阪府港區編町一ノ二

▲目的 電燈、電動力及電熱
▲開 始 大正十二年五月(舊木津川製作所)
▲工場長 竹原 傳 ▲主任技術者 末田二郎
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(大阪市電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲變電方式 交流三相及直流二線式

●土佐セメント株式 高知市湖江野町

▲開 始 大正九年四月
▲主任技術者 宇田友四郎
▲受電容量 水力七〇〇キロ (汽力二、七〇〇キロ)

▲受電容量 一、一七〇キロ(縣電外一社ヨリ)
▲發電所 (水力)高知縣土佐郡龍村
(汽力)高知市湖江野町

▲變電所 橋内 ▲周波數 六〇
▲送電線路 延、直長共六哩九
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲使用交流 三、〇〇〇キロ

●土肥金山株式 大阪府北區堂島濱通

▲開 始 大正八年八月
▲主任技術者 寺田 精一

▲受電容量 汽力一〇〇〇キロ
▲發電容量 電力五〇〇キロ(河津水力ヨリ)
▲最大電力 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

●東亞セメント株式 尼ヶ崎市大洲村

▲開 始 明治四十一年七月
▲主任技術者 吳 啓 藩
▲受電容量 一、六〇〇キロ(宇治電及日電ヨリ)
▲最大電壓 三、一五〇V ▲周波數 六〇

●東海鋼業株式 東京市豊町區永樂町二

▲開 始 大正七年
▲主任技術者 大古堀忠一
▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲發電容量 九〇〇キロ(九州水力電氣)

▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
●東海紙料株式 靜岡縣島田町四三九六

▲開 始 明治四十三年十月
▲主任技術者 辻 俊一郎
▲發電容量 水力二、二五〇キロ
▲發電所 靜岡縣志太郡島田村地名

▲變電所 同 ▲志太郡島田町
▲電線路 直長一四哩三〇八
▲最大電壓 二五、〇〇〇V
▲周波數 五〇
▲使用交流 二、一六〇キロ
▲變電方式 交流三相三線式

●東海曹達株式 東京市豊町區八重洲町

▲開 始 大正六年九月
▲主任技術者 寶積利右衛門
▲受電容量 六〇〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

●東京朝日新聞社 東京市丸ノ内

▲開 始 昭和二年二月
▲主任技術者 藤三郎
▲受電容量 一、二〇〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

●株式東京石川島造船所 東京市京橋區島五四

▲開 始 大正十三年三月
▲主任技術者 松野明十
▲受電容量 一、七〇〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

●東京瓦斯株式 東京市豊町區

▲開 始 大正十三年四月
▲主任技術者 戸田真一
▲受電容量 一、二〇〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

電燈、力、鐵 自家用電気(ト)

▲使用交流 九〇〇キロ
▲變電方式 三相三線式

●東京瓦斯電氣株式 東京市豊町區

▲開 始 大正八年八月
▲主任技術者 山田大路元
▲受電容量 電力七三〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 五五、〇〇〇V
▲周波數 五〇

●大森分工場 東京府荏原郡大森海岸

▲開 始 大正六年四月
▲主任技術者 松田貞次郎
▲受電容量 八〇〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇

▲使用交流 八〇〇キロ
▲變電方式 三相三線式

●廣田製鋼工場 福島縣河沼郡日橋村

▲目的 電氣製鋼用
▲開 始 大正十三年十一月
▲工場長 松本 滋 ▲主任技術者 小谷 齋
▲受電容量 五六五キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 六、六〇〇V ▲周波數 五〇
▲變電方式 三相三線式

●東京護謨工業株式 東京市外護謨村

▲開 始 大正七年四月
▲受電容量 五二五キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

●水道局錢瓶町ポンプ場 東京市豊町

▲開 始 大正二年三月
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

●水道ポンプ所 東京市豊草區田町

▲開 始 大正十年
▲受電容量 二、七〇〇キロ(市電ヨリ)
▲最大電壓 一一、〇〇〇V
▲使用交流 二、〇〇〇キロ

●淀橋淨水場 府下淀橋町角等

▲開 始 昭和二年三月
▲主任技術者 竹前 知明
▲受電容量 二、〇〇〇キロ(市電ヨリ)
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲使用交流 二、〇〇〇キロ

二七九

●三河島汚水處分場 東外三河島町

▲開 始 大正十三年三月
▲工場長 廣中一三 ▲主任技術者 直村達也
▲受電容量 二、七〇〇キロ(東京電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 二五

自家用電氣(ト)

●東京市電氣研究所 東京市麴町區 有樂町二ノ六 電話丸ノ内二三八八外

▲開 始 大正十三年八月
所 長 井井恒太郎
第一課長 高田 實
第二課長 小津延之助
第三課長 川口丙三郎
主任技術者 原田保之助

▲受電容量 六〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 二〇〇、〇〇〇V
▲周波數 五〇

●東京製鋼株式會社 東京市日本橋區吳服町 三ノ五 電話 日本橋一一一五

○川崎工場 川崎市戸手 電話川崎一六五・九二七
▲開 始 大正十三年

工場長 篠崎小一郎
主任技術者 杉谷秀二郎

▲受電容量 二、〇〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
●東京電氣株式會社 神奈川縣川崎市 長 山口喜三郎

○工場 神奈川縣川崎市磯前 電話川崎五〇・一〇一外三

▲目的 電球及附屬器具製造
▲開 始 明治四十二年十二月
主任技術者 内海 芳造

▲受電容量 一、二五〇キロ(東電外二社)
▲最大電壓 三、四五〇V ▲周波數 五〇
▲變電方式 三相三線式及三相四線式

●東京モスリン紡織株式會社 東京市外香房町 請地 隅田三六九 電話隅田三六九

社 長 青木五兵衛
○吾孺工場 東京府南葛飾郡香房町
主任技術者 山城 亥吉

▲受電容量 汽力三一七キロ(豫備)
▲最大電壓 一、三〇七キロ(東電ヨリ)
▲周波數 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○龜戸工場 東京府龜戸町 主任技術者 山城 亥吉

▲受電容量 汽力七五キロ(豫備)
▲最大電壓 一、四七〇キロ(東電ヨリ)
▲周波數 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○金町工場 東京府南葛飾郡金町二三七七 電話新宿二六

▲開 始 大正十二年十月
工場長 加藤 憲 主任技術者 山城亥吉
▲受電容量 電力八〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲變電所 工場構内 ▲周波數 五〇
▲最大電壓 一、〇〇〇V
▲使用交流 八〇〇キロ ▲變電方式△-△

○名古屋工場 名古屋市中區下飯田町 電話三三三・三三六

▲開 始 大正十二年一月
工場長 舟橋 榮 主任技術者 柳 洋
▲受電容量 一、五〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲變電所 構内
▲最大電壓 一、〇〇〇V
▲周波數 六〇 ▲變電方式 三相三線式

○愛知工場 名古屋市中區下飯井町三 電話中田八一・二四〇

▲開 始 明治二十六年二月
工場長 宮地 貞澄
主任技術者 金井 孝次

▲受電容量 八五〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V
▲周波數 六〇

○名古屋工場 名古屋市中區正木町 電話南一二

▲開 始 大正五年
工場長 伊藤平七 主任技術者 金井孝次
▲受電容量 八〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇

○尾張工場 名古屋市南區尾頭町 電話六二二

▲開 始 明治二十九年十二月
主任技術者 岡田 謙二

▲受電容量 汽力三〇キロ
▲最大電壓 六三〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲周波數 二、〇八〇V

○大曾根工場 名古屋市中區上飯田町 電話三三三

▲開 始 大正二年十二月
主任技術者 増田 金吾

▲受電容量 七九〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V

電燈、力、鐵

自家用電氣(ト)

二八〇

●東洋合同鑛業株式會社 朝鮮 平安北道 雲山郡北鎮草里

▲開 始 明治三十六年
▲受電容量(水力)一、〇〇〇キロ

●東洋曹達株式會社 東京市芝區櫻田 社 長 磯村 音介

○郡山工場 福島縣郡山二二三番 電話郡山二二三番

▲開 始 大正五年十一月
主任技術者 柴 玄六
▲受電容量 一、五〇〇キロ(東部電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

●東洋紡績株式會社 大阪市北區堂島濱町 二丁目八

○王子工場 東京府北豐島郡王子町船方 電話小石川三三三 王子七四

▲開 始 大正七年
工場長 中村 卓爾
主任技術者 古谷 勇作

▲受電容量 九五〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
○濱松工場 濱松市東伊場町 電話九四八

○宮川工場 三重縣會郡御園村高向 電話山田六四四

▲開 始 大正十一年四月
工場長 吉海政信 主任技術者 山本正八
▲受電容量 一、五〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇

○桑名工場 三重縣桑名郡桑名町 電話九

▲開 始 大正十年
工場長 谷山 敬之
主任技術者 金尾健太郎

▲受電容量 汽力三五キロ
▲最大電壓 八五〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲周波數 一、〇〇〇V

○富田工場 三重縣三重郡富田原町 電話富田五二・二五二番

▲開 始 大正六年八月
工場長 土屋喜太郎
主任技術者 内田 道之

▲受電容量 火力一〇〇キロ(補給)
▲最大電壓 二、六〇〇キロ(東邦電力)
▲周波數 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

○四日市工場 三重縣四日市市濱町 電話三三三番

▲開 始 大正六年
主任技術者 鈴木 善八

▲受電容量 汽力一〇〇キロ
▲最大電壓 二、七〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲周波數 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇

自家用電氣(ト、ナ)

○山田工場 宇治山田市船江町

▲開 始 大正十一年十月
▲主任技術者 佐藤留五郎
▲受電容量 二、四〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 六〇
○三軒家工場 大阪市港區三軒家濱通四丁目 電話櫻川三三三、三三六
▲開 始 大正十三年七月
▲主任技術者 山東友三郎
▲受電容量 二、五〇〇キロ(宇治電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 二、〇〇〇キロ ▲變電方式 變壓式

○四貫島工場 大阪市此花區四貫島町

▲開 始 明治四十年
▲主任技術者 花田留人
▲受電容量 二、五〇〇キロ(宇治川電氣)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲變電方式 變壓器三相交流

○東洋モスリン株式 東京市外龜戸町

▲開 始 大正十一年十二月
▲主任技術者 一瀬日出夫
▲受電容量 二、二七〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V
▲周波數 五〇

○靜岡工場 靜岡市小黒二〇八

▲開 始 大正十二年六月
▲主任技術者 石井重吉
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、四〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一七〇〇キロ
▲變電方式 交流三相三線式
○德山鐵板株式 山口縣郡澤郡大華村
▲開 始 大正七年八月(舊大阪鐵板)
▲主任技術者 岩井英一郎
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(靜電ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 七〇〇キロ

○株式巴川製作所 靜岡縣清水市入江町

▲開 始 大正十三年四月
▲主任技術者 藤原朋一郎
▲受電容量 五、五〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
○豊國セメント株式 東京市丸の内
▲開 始 大正九年六月
▲主任技術者 山本周一郎
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(九州電氣軌道)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○名古屋工場 名古屋市南區大江町六

▲開 始 大正九年十一月
▲主任技術者 藤垣勸太郎
▲受電容量 一、五〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲變電方式 三相式 ▲使用交流 一五〇〇K
○豊田紡織株式 名古屋市西區榮生町
▲開 始 大正十一年一月
▲主任技術者 藤垣勸太郎
▲受電容量 一、五〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲變電方式 三相式 ▲使用交流 一五〇〇K

○長井戸沼 耕地暨 茨城縣猿島郡長田村

▲開 始 大正七年七月
▲主任技術者 小松崎西藏
▲受電容量 一、三五〇キロ(鬼怒川水電ヨリ)
▲變電所 茨城縣猿島郡長田村下小橋
▲送電線路 八哩 ▲最大電壓 三、五〇〇V
▲使用交流 一、三〇〇キロ ▲周波數 二五

○長崎紡織株式 長崎市幸町一ノ

▲開 始 大正三年四月
▲主任技術者 遠藤 宗吉
▲受電容量 汽力三キロ(電燈用設備)
▲受電容量 三、六〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲變電所 構内 ▲周波數 六〇
▲最大電壓 三、五〇〇V
▲變電方式 三相三線式

○堺工場 大阪府堺市吾妻橋通

▲開 始 大正十年五月
▲主任技術者 今橋 正作
▲受電容量 汽力一七六キロ
▲受電容量 九三〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
○中島鑛業株式 福岡縣嘉穂郡波打村
▲開 始 大正十一年七月
▲主任技術者 小田倉顯
▲受電容量 一、二〇〇キロ(九軌ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

電燈、力、鐵

自家用電氣(ニ)

二八二

○濱松工場 靜岡縣濱名郡北濱村

▲開 始 大正十五年十一月
▲主任技術者 關口靜之助
▲受電容量 二、二〇〇キロ(岡崎電燈ヨリ)
▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 二、三〇〇キロ ▲變電方式 三相式

○岡崎工場 岡崎市針ヶ崎町、戸崎町

▲開 始 大正十年三月
▲主任技術者 鈴木誠一 ▲主任技術者 天野匡夫
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(矢作水力ヨリ)
▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 二、〇〇〇キロ ▲變電方式 三相式

○名古屋工場 名古屋市西區榮生町

▲開 始 大正四年三月
▲主任技術者 安田種治郎
▲受電容量 汽力三〇〇キロ(設備)
▲最大電壓 一、一五〇キロ(日本電力ヨリ)
▲變電方式 三相式 ▲使用交流 受電全部
○刈谷工場 愛知縣碧海郡刈谷町
▲開 始 大正十三年四月
▲主任技術者 豐田利三郎
▲受電容量 六五〇キロ(矢作水力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V

○南海晒粉株式 和歌山縣海草郡淡村

▲開 始 大正七年
▲主任技術者 丸山餘四郎
▲受電容量 五新力五一五キロ
▲最大電壓 六五〇キロ(京阪電氣鐵道ヨリ)
▲使用交流 六五〇キロ ▲周波數 六〇
▲變電方式 電動發電機

○小雜賀工場 和歌山縣海草郡宮前村

▲開 始 大正七年
▲主任技術者 深見 隆一
▲受電容量 五新力五一五キロ
▲最大電壓 六五〇キロ(京阪電氣鐵道ヨリ)
▲使用交流 六五〇キロ ▲周波數 六〇
▲變電方式 電動發電機

○日清紡績株式 東京府下龜戸町

▲開 始 大正十一年
▲主任技術者 深澤 家保
▲受電容量 二、七〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 五五〇V ▲周波數 六〇
○西新井工場 東京府南足立郡梅島村
▲開 始 大正十一年七月
▲主任技術者 小林八重治
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 五〇
▲變電方式 デルター

二八三

自家用電氣(テ)

二八四

- 日清製粉株式 東京市日本橋末廣河岸六
社 長 正田眞一郎
▲開 始 昭和二年八月
▲主任技術者 古谷 三郎
▲受電容量 三、三〇〇キロ(東京電氣ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本化學工業株式 東京市外龜戸九丁目
▲開 始 電話三三三二外
▲主任技術者 古谷 三郎
▲受電容量 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- 郡山工場 福島県郡山市高南二〇
▲開 始 電話郡山長一七三
▲主任技術者 古谷 三郎
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(東部電力ヨリ)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 工 場 新潟縣中頸城郡中郷村
▲開 始 電話中郷一
▲主任技術者 久田 義憲
▲受電容量 汽力五〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 日本毛織株式 神戸市西出町六九一
▲開 始 電話兵庫二〇二外七
▲主任技術者 久田 義憲
▲受電容量 汽力五〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 姫路工場 姫路市天神町一
▲開 始 大正七年
▲主任技術者 久田 義憲
▲受電容量 汽力五〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 加古川工場 兵庫縣加古郡加古川町
▲開 始 電話加古川一
▲主任技術者 石松 七郎
▲受電容量 一、五〇〇キロ(中央電力ヨリ)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 印南工場 兵庫縣印南郡米田村
▲開 始 電話印南七三
▲主任技術者 石松 七郎
▲受電容量 九〇〇キロ(山陽電力ヨリ)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇
- 明石工場 明石市茶園場町
▲開 始 電話六二二
▲主任技術者 石松 七郎
▲受電容量 六八〇キロ(山陽中央電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 名古屋工場 名古屋市中區岩塚町
▲開 始 大正十四年十二月
▲主任技術者 石松 七郎
▲受電容量 一、三〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 岐阜工場 岐阜市鶴田町三丁目
▲開 始 大正四年三月
▲主任技術者 石松 七郎
▲受電容量 八〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 五五〇V ▲周波數 六〇
- 日本絹糸紡績株式 東京市京橋區南傳馬町
▲開 始 電話二ノ一八
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 水力一、七九〇キロ
▲最大電壓 九〇〇V ▲周波數 六〇
- 大宮工場 群馬縣富士郡大宮町
▲開 始 大正十五年六月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 水力一、七九〇キロ
▲最大電壓 九〇〇V ▲周波數 六〇
- 日本絹綿紡績株式 大阪府三島郡
▲開 始 大正八年十二月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 水力一、七九〇キロ
▲最大電壓 九〇〇V ▲周波數 六〇
- 新田工場 川崎市田島町渡田若尾
▲開 始 大正三年
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 七、五〇〇キロ(東電外二社)
▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 電氣製鐵所 富山縣新湊町三ヶ新
▲開 始 大正八年六月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 六、七三〇キロ(富山電氣)
▲最大電壓 四、四〇〇V ▲周波數 六〇
- 輪西工場 空關市輪西町
▲開 始 大正五年
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力二、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本製粉株式 東京市丸の内
▲開 始 大正九年八月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力四、三〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本製布株式 京都府伏見向島
▲開 始 大正九年十一月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力二、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 室蘭工場 室蘭市茶屋町四
▲開 始 明治四十四年二月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力三、二〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本石油株式 京ノ部參照
▲開 始 明治四十四年九月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 七、〇〇〇キロ(九州電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

- 日本鋼業株式 福岡縣筑上郡八屋町
▲開 始 大正九年八月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 八〇〇キロ(九州電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本曹達株式 東京市丸の内仲九ノ六
▲開 始 電話丸之内二九六
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力二、四〇〇キロ
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 工 場 新潟縣中頸城郡中郷村
▲開 始 大正六年
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力四、三〇〇キロ
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
- 日立鑛山 茨城縣多賀郡日立村
▲開 始 明治三十九年
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 四、五〇〇キロ(日立電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
- 大生院鑛山 愛媛縣新居郡大生院村
▲開 始 大正十五年三月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 水力一、一六九キロ
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 佐賀關製鍊所 大分縣北海部郡
▲開 始 大正六年二月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 二、〇〇〇キロ(九州電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 日本紙業株式 東京市四谷區元町五九
▲開 始 電話新宿一〇一三
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 二、二五〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- 龜有工場 東京府下總青村龜有
▲開 始 大正八年六月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 二、二五〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本車輛製造株式 名古屋市南區熱田
▲開 始 電話熱田一〇一七
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 六五二キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 東京支店工場 東京府南葛飾郡隅田町
▲開 始 大正七年五月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 六五二キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 室蘭工場 室蘭市茶屋町四
▲開 始 明治四十四年二月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力三、二〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本製粉株式 東京市丸の内
▲開 始 大正九年八月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力四、三〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本製布株式 京都府伏見向島
▲開 始 大正九年十一月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 汽力二、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 門司工場 門司市大里町
▲開 始 明治四十四年九月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 七、〇〇〇キロ(九州電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
- 日本石油株式 京ノ部參照
▲開 始 明治四十四年九月
▲主任技術者 尾崎坊義信
▲受電容量 七、〇〇〇キロ(九州電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇

電燈、力鐵

自家用電氣(ニ)

二八五

○中央發電所 新潟縣刈羽郡内郷村塚田

▲開 始 大正六年十一月
▲主任技術者 入江 由巳
▲發電容量 瓦斯力七五〇キロ
▲受電容量 三〇〇キロ(北越水力電氣)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
▲電線路 延長八哩 巨長五哩

○新潟製油所 新潟縣刈羽郡内郷村

▲受電容量 六〇〇キロ(北越水力電氣)
▲最大電壓 六六、〇〇〇V ▲周波數 六〇

○西山鑛業所 新潟縣刈羽郡二田村

▲目的 石油掘鑿、採油其他原動力電燈
▲開 始 大正七年五月
▲工場長 小池清澄 ▲主任技術者 三村信一
▲發電容量 火力六〇〇キロ
▲受電容量 六〇〇キロ(北越水力電氣)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、〇〇〇V
▲使用直流 二〇〇V(豫備)

○日本セメント株式 東京市丸ノ内正金

▲開 始 明治四十二年
▲主任技術者 武田壽太郎
▲受電容量 一、六〇〇キロ(無本電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、四〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

○八代工場 熊本縣八代郡八代町

▲開 始 明治四十二年
▲主任技術者 渡邊 珍久
▲受電容量 一、六〇〇キロ(無本電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、四〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

○佐伯工場 大分縣南海部郡八幡村

▲開 始 大正十五年三月
▲主任技術者 松下 尚孝
▲發電容量 火力二、五〇〇キロ
▲受電容量 一〇〇〇キロ(九水ヨリ)
▲最大電壓 二、三〇〇V
▲使用交流 二、二五〇キロ 直流一〇〇キロ
▲變電方式 電動發電機

○日本染料製造株式 大阪府此花區

▲開 始 大正七年十一月
▲主任技術者 金子 正勝
▲受電容量 一、七〇〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

○日本鑄鋼所 大阪府此花區千鳥町

▲開 始 昭和三年三月
▲主任技術者 西山二之
▲受電容量 一、三一六キロ(宇治川電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

○日本鑄鋼株式 東京府下南葛飾郡

▲開 始 大正二年一月
▲主任技術者 黒板 傳作
▲受電容量 七四五キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

又之部

○沼津毛織株式 沼津市七反田五七

▲開 始 大正十年四月
▲主任技術者 三谷讓
▲受電容量 九六〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 三相三線式

ハ之部

○函館船渠株式 函館市辨天町八八

▲開 始 大正十三年
▲主任技術者 大内貞治
▲受電容量 汽力三五〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V (函館水電ヨリ)
▲使用交流 三相三線式六〇〇キロ

○株式服部商店 名古屋市南區熱田東町

▲開 始 大正六年
▲主任技術者 大橋徳一
▲受電容量 汽力三〇キロ
▲最大電壓 一、八八四キロ(日電外一社ヨリ)
▲使用交流 一、八八四キロ

電燈、力、鐵

自家用電氣(ニ、ス、ハ、ヒ)

○日本電氣株式 東京市芝區三田四國町

▲開 始 明治三十七年八月
▲主任技術者 大畑源一
▲受電容量 八〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 七五〇キロ 直流五〇キロ
▲變電方式 電動發電機

○日本電線製造株式 尼ヶ崎市大洲村

▲開 始 明治四十年
▲主任技術者 津江 爲美
▲受電容量 一、四〇〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
▲最大電壓 五〇、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

○日本陶器株式 名古屋市西區則武町

▲開 始 大正十一年一月
▲主任技術者 中村孝
▲受電容量 七〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

○日本特殊鋼株式 東京府下大森町

▲開 始 大正五年八月
▲主任技術者 長谷川安太郎
▲受電容量 一、二〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 全部 ▲變電方式 三相三線式

ヒ之部

○株式日立製作所 東京市丸ノ内

▲開 始 大正十五年
▲主任技術者 鎌居 大藏
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(日立電力ヨリ)
▲最大電壓 五〇、〇〇〇V
▲周波數 六〇

○笠戸工場 山口縣都瀨郡下笠町

▲開 始 大正七年三月
▲主任技術者 金野臣一
▲受電容量 九二〇キロ(山口縣電ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 三相三線式

○日出紡織株式 姫路市千代田町

▲開 始 大正六年
▲主任技術者 山下熊之助
▲受電容量 汽力一、八三〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V (山陽中央水電ヨリ)
▲使用交流 八五〇キロ
▲變電方式 周波數變換式

○日高工場 和歌山縣日高郡御坊町 電話御坊四・一〇七

▲開 始 大正十四年六月
工場長 小池 辨治
主任技術者 北川新一郎
▲發電容量 汽力四〇キロ
▲最大電壓 五五〇キロ(京坂電氣鐵道ヨリ)
▲變電方式 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○大津工場 滋賀縣滋賀郡膳所町 電話一・二九
工場長 中野熊助 主任技術者 阿部春平
▲受電容量 八〇〇キロ(京都電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
▲變電方式 三相三線式

○匹見川水力工業株式會社 島根縣美濃郡 匹見上村 電話九・九二
▲目的 自家用 ▲開始 昭和三年七月
主任技術者 久木田 清
▲發電容量 水力一、八五〇キロ
▲最大電壓 四四、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、八五〇キロ
▲變電方式 三相三線式△△結線

○廣島水道水源池 廣島市外牛田村 電話九・九二
▲目的 唧筒運轉 ▲開始 昭和二年二月
工場長 中村 寛治
主任技術者 吉岡幾久生
▲發電容量 汽力二一〇キロ
▲受電容量 九〇〇キロ(廣島電氣ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 五七〇キロ

○富士製紙株式會社 東京市京橋區三十三間堀 電話一・一〇二
社長 大川平三郎

○千住工場 東京府下南千住町千住南 電話淺草五五六・五五七
▲開 始 明治二十三年
主任技術者 長橋金太郎
▲發電容量 汽力三〇〇キロ(點燈機備)
▲受電容量 一、二〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 一、二〇〇キロ 直流三〇〇キロ
▲變電方式 △-△ユパンタ並列

○江戸川工場 東京府南葛飾郡篠崎村 電話市川一・一〇
▲開 始 大正十一年十一月
主任技術者 植田 政禮
▲受電容量 二、〇〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 六、六〇〇V ▲周波數 五〇

○中川工場 東京市南足立郡東堀江 電話新宿三二二
▲開 始 大正九年九月(舊大日本製紙)
主任技術者 岡崎 才次
▲受電容量 一、二〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇

電燈、力、鐵

自家用電氣(フ)

フ之部

○富士瓦斯紡績株式會社 東京市日本橋區 坂本町四〇 電話茅場町一六〇六
社長 森村 開作

○川崎工場 川崎市富士見町 電話川崎二〇
▲開 始 大正十五年三月
工場長 湯川滿壽夫
主任技術者 水品 潔
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(富士電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 三、〇〇〇キロ
▲變電方式 △-△結線

○保土ヶ谷工場 橫濱市保土ヶ谷區榎子 電話小山三
▲開 始 大正五年六月
工場長 增田源平 主任技術者 吉田數吉
▲發電容量 汽力一、二八〇キロ
▲受電容量 二、四〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 二、四〇〇キロ 直流三〇〇キロ

○鳥取工場 北海道釧路市外鳥取村 電話一・一〇
▲開 始 大正九年八月
主任技術者 鈴木幾太郎
▲發電容量 汽力一五〇キロ(北電ヨリ)
▲受電容量 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 七、二五〇キロ
▲變電方式 △-V式

○神崎工場 兵庫縣川邊郡小田村常光寺 電話土一三〇一・尼崎六三六
▲開 始 大正五年六月
工場長 增田源平 主任技術者 吉田數吉
▲發電容量 汽力一、二八〇キロ
▲受電容量 二、四〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 二、四〇〇キロ 直流三〇〇キロ

○江別工場 北海道札幌郡江別町 電話長七二
▲開 始 大正七年十二月
工場長 宇宿 勇輔
主任技術者代理 小林又次郎
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ(備備)
▲受電容量 七〇〇キロ(北海道電燈ヨリ)
▲最大電壓 五五〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 七〇〇キロ

○池田工場 北海道中川郡池田町 電話特長七二
▲開 始 大正七年十二月
工場長 宇宿 勇輔
主任技術者代理 小林又次郎
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ(備備)
▲受電容量 七〇〇キロ(北海道電燈ヨリ)
▲最大電壓 五五〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 七〇〇キロ

○釧路工場 北海道釧路市 電話一・一〇
▲開 業 大正八年
▲受電容量 六〇〇キロ(北海道電燈ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V

○名古屋工場 愛知縣四批把島町 電話四七六〇外一
▲開 始 大正九年十月(第二及第三工場共)
工場長 竹内仁一郎
主任技術者 曾我常三郎
▲受電容量 一、九〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、一〇〇V ▲周波數 六〇
▲變電方式 三相交流式

○岐阜工場 岐阜縣稲葉郡加納町 電話七六五・二二三三
▲開 始 大正九年七月
主任技術者 曾我常三郎
▲發電容量 汽力一〇〇キロ(備備)
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○大阪工場 大阪府西淀川區大和田町 電話土佐堀一六七〇外一
▲開 始 大正八年三月
工場長 植田 和作
主任技術者 木村繁太郎
▲受電容量 一、四〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、四〇〇キロ
▲變電方式 三相三線式

○大分工場 大分市生石 電話一四二・二〇三
▲開 始 大正二年十二月
主任技術者 中島 雅治
▲受電容量 二、〇〇〇キロ(九水ヨリ)
▲最大電壓 六六〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 六六〇V ▲周波數 六〇

○青島工場 中華民國山東省青島
▲開 始 大正十二年七月
主任技術者 藤倉 留吉
▲發電容量 五〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○富士電機製造株式會社 川崎市田島町 電話一・一〇二
社長 名取 和作
主任技術者 北村辨四郎
▲受電容量 一、二七〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○藤倉電線株式會社 東京市深川區平久町 電話二・二〇六
▲開 始 大正十二年七月
主任技術者 藤倉 留吉
▲發電容量 五〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○小坂鑛山 秋田縣鹿角郡小坂町 電話小坂二・三
▲開 始 明治二十九年三月
所長 日吉平吉 主任技術者 西田卓二
▲發電容量 水力四、八五〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲變電所 三ヶ所
▲使用交流 四、五〇〇V ▲周波數 六〇

○卯根倉鑛山 岩手縣和賀郡湯田村 電話二・二〇
▲開 始 大正二年十二月
所長 中村二郎 主任技術者 鹽田鏡二
▲發電容量 水力五五〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 五五〇キロ

自家用電氣(7)

二九〇

- 大荒澤鑛山 岩手縣和賀郡湯田村
 - ▲開 始 大正二年十二月
 - ▲主任技術者 壽田敬之丞
 - ▲發電容量 水力五〇〇キロワット力三五キロ
 - ▲最大電壓 三、五〇〇V
- 株式藤永田造船所 大崎市住吉區
 - ▲社 長 永田三十郎
 - ▲工場 大崎市港區新炭屋町五八
 - ▲開 始 大正十五年四月
 - ▲主任技術者 野村安太郎
 - ▲發電容量 一、四〇〇キロ(宇治川電氣ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 福岡炭礦株式 福岡市新町中東二〇九
 - ▲開 始 大正四年七月
 - ▲發電容量 電力一、〇〇〇キロ
 - ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
- 福島紡績株式 大崎市北區玉江町
 - ▲社 長 八代祐太郎
 - ▲工場 德島市前町一四ノ一
 - ▲電話 德島市長六六・七六八
 - ▲開 始 大正元年十二月
 - ▲主任技術者 小泉喜久治
 - ▲發電容量 (汽力三、〇〇〇キロ)
 - ▲發電容量 (内煤備二、〇〇〇キロ)
 - ▲受電容量 一四〇〇キロ(三重合同電氣)
 - ▲發電所 構内
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 二四〇〇キロ

- 堺工場 堺市西湊町一九
 - ▲開 始 明治三十年八月
 - ▲主任技術者 國鹽 音男
 - ▲發電容量 汽力七五キロ
 - ▲受電容量 五〇〇キロ(日本電力ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 飾磨工場 兵庫縣飾磨郡飾磨町細江
 - ▲開 始 大正三年五月
 - ▲主任技術者 加藤 堅次
 - ▲發電容量 汽力二、九三〇キロ
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V
- 同寄宿舎等 兵庫縣飾磨郡城南村
 - ▲開 始 昭和三年五月
 - ▲主任技術者 加藤 堅治
 - ▲發電容量 汽力二五キロ
 - ▲受電容量 八〇〇キロ(山陽中央水電ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 古河鑛業株式 東京市丸ノ内八重洲町
 - ▲社 長 古河虎之助
 - ▲足尾鑛業所 栃木縣上都賀郡足尾町
 - ▲主任技術者 守屋 信之
 - ▲發電容量 水力一、八〇〇キロ
 - ▲發電容量 重油力一、〇〇〇キロ
 - ▲受電容量 電力一〇、五〇〇キロ
 - ▲發電所 栃木縣日光町及足尾町
 - ▲電線路 延長二四哩 亘長一四哩
 - ▲最大電壓 一九、〇〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲使用交流 一〇、〇〇〇キロ
 - ▲使用直流 二五〇〇キロ

- 好間鑛業所 福島縣石城郡好間村
 - ▲目的 供給及自家用
 - ▲開 始 大正七年十一月
 - ▲主任技術者 小林三郎
 - ▲發電容量 汽力三、七五〇キロ
 - ▲供給電力 不定時三〇〇キロ(日立電力)
 - ▲發電所 福島縣石城郡好間村
 - ▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲使用交流 三、七五〇キロ
- 阿仁鑛業所 秋田縣北秋田郡
 - ▲主任技術者 阿仁合町
 - ▲發電容量 水力八〇〇キロ
- 西部鑛業所 福岡縣鞍手郡小竹町
 - ▲開 業 大正三年三月
 - ▲主任技術者 甲斐 宣
 - ▲發電容量 汽力二、三七五キロ
 - ▲發電所 構内 ▲周波數 五〇
 - ▲送電線路 延長三六杆八 亘長一二杆四
 - ▲最大電壓 二、三〇〇V
 - ▲使用交流 一、〇〇〇キロ
- 第二目尾炭坑 福岡縣鞍手郡野村
 - ▲開 始 大正三年三月
 - ▲發電容量 (汽力一、二七五キロ(常用))
 - ▲發電容量 (汽力一、〇〇〇キロ(煤備))
 - ▲最大電壓 二、三〇〇V ▲周波數 四〇
- 古河電氣工業株式 東京市丸ノ内
 - ▲社 長 中川 末吉

水之部

- 日光電氣精銅所 栃木縣日光町清瀨
 - ▲開 始 明治三十九年七月
 - ▲主任技術者 吉田 正一
 - ▲發電容量 水力八二〇キロ
 - ▲受電容量 四、〇〇〇キロ(古河鑛業ヨリ)
 - ▲電線路 延長一四杆九 亘長一杆六
 - ▲最大電壓 一一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲使用交流 一、二五キロ
 - ▲使用直流 一、六九五キロ
- 横濱電線製造所 横濱市神奈川區
 - ▲開 始 大正元年四月
 - ▲電話 長者町一四三一外七
 - ▲工場 長 利根川守三郎
 - ▲主任技術者 秋元 實
 - ▲受電容量 一、〇〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、〇〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲變電方式 變壓器、回轉變流器
 - ▲使用交流 九〇〇キロ 直流 一〇〇キロ

- 保土ヶ谷曹達株式 東京市芝區櫻田
 - ▲開 始 大正四年八月
 - ▲主任技術者 勝屋達夫
 - ▲受電容量 七五〇キロ(東電ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、四〇〇V ▲周波數 五〇
- 豊年製油株式 東京市豊町區永樂町
 - ▲開 始 大正五年十二月
 - ▲電話 江尻三番清水六・二三
 - ▲工場 長 原田三左衛門
 - ▲主任技術者 馬瀬 菊松
 - ▲受電容量 五〇〇キロ(東電ヨリ)
 - ▲發電所 構内 ▲變電方式 三相三線式
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
 - ▲使用交流 四九五キロ
- 北海曹達株式 東京市日本橋區
 - ▲開 始 大正八年
 - ▲主任技術者 藤田達一
 - ▲受電容量 一、二七五キロ(富山電氣ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
 - ▲使用交流 二一五キロ 直流一〇五〇キロ
 - ▲變電方式 同期電動發電機

- 北海道製糖株式 北海道十勝郡
 - ▲開 始 大正九年十二月
 - ▲主任技術者 石塚久之丞
 - ▲發電容量 汽力八二四キロ
 - ▲受電容量 二四キロ(北海道電燈ヨリ)
 - ▲最大電壓 四四〇一三、三〇〇V
 - ▲周波數 六〇一五〇
- 北海電化工業株式 東京市豊町區八
 - ▲開 始 大正七年五月
 - ▲主任技術者 吉富 環一
 - ▲受電容量 (四、五〇〇キロ(富山電氣ヨリ))
 - ▲受電容量 (三、〇〇〇キロ(立山電氣ヨリ))
 - ▲最大電壓 四〇、〇〇〇V
- 北海道支店 北海道夕張郡夕張町鹿谷
 - ▲開 始 明治三十一年八月
 - ▲支店 長 高洲鐵一郎
 - ▲主任技術者 黒川 主
 - ▲發電容量 (水力一、一六八キロ)
 - ▲發電容量 (汽力一九、四八〇キロ)
 - ▲受電容量 (二、〇〇〇キロ(北海道電燈))
 - ▲受電容量 (一五〇キロ(三井鑛山ヨリ))

電燈、力、鐵

自家用電氣(7、ハ、ホ)

二九一

- ベルベツト石鹼株式 大崎市西區江戶
 - ▲開 始 大正十五年七月
 - ▲主任技術者 山川滿行
 - ▲發電容量 汽力三〇〇キロ▲發電所 構内
 - ▲受電容量 六三五キロ(阪神電氣ヨリ)
 - ▲最大電壓 三、三〇〇V
 - ▲周波數 六〇

自家用電氣(ホ、マ、ニ)

- ▲發電所
 - (清水澤)夕張郡夕張町清水澤
 - (夕張)同 同 高松
 - (瀧ノ上)同 同 瀧ノ上
 - (風ノ上)同 同 風ノ上
- ▲最大電壓 四四、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲使用交流 六、七五〇キロ
- ▲直 流 一七〇キロ
- ▲變電方式 Δ-Δ
- 夕張炭礦 夕張郡夕張町
- 同第二真谷地礦 同郡登川村
- 幾春別炭礦 空知郡三笠山村幾春別
- 空知炭礦 空知郡歌志內村
- 北陸電氣工業株式會社 富山縣中新川郡滑川町
- 滑川工場 富山縣中新川郡滑川町 大白堂製粉
- ▲開 始 大正七年六月
- ▲主任技術者 關谷 知彦
- ▲受電容量 二、五〇〇キロ(立山水力ヨリ)
- ▲最大電壓 一、〇〇〇キロ(富山電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 六〇、〇〇〇V
- 星製藥株式會社 東京府佐原郡大崎町
- ▲開 始 大正七年十一月
- ▲工場長 長井敏明
- ▲主任技術者 小西壽夫
- ▲受電容量 五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V
- ▲周波數 五〇

マ之部

- 松島炭礦株式會社 長崎市常盤町三
- 松島炭坑 長崎縣西彼杵郡松島村
- ▲開 始 明治四十年三月
- ▲發電容量 汽力四、〇〇〇キロ
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- ミ之部
- 三井鑛山株式會社 東京市日本橋區河町
- ▲開 始 大正五年十二月
- ▲主任技術者 久田久太郎
- ▲發電容量 水力二、一六〇・七五キロ
- ▲受電容量 五〇キロ(神岡水電ヨリ)
- ▲最大電壓 六、六〇〇V ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 二、二四〇キロ
- ▲使用直流 二〇キロ
- 三池鑛業所 大牟田市有明町
- ▲開 始 明治廿七年十一月
- ▲主任技術者 古田 正康

ニ九二

- ▲發電容量 汽力八、四七五キロ
- ▲受電容量 最大六、〇〇〇キロ(熊本電氣)
- ▲最大電壓 二、三〇〇V
- ▲周波數 四〇・一六〇
- ▲使用交流 一七、二一五キロ
- ▲使用交流 一、六二〇キロ
- ▲變電方式 回轉變流式及周波數變換式等
- 田川鑛業所 福岡縣田川郡後藤寺町
- ▲開 始 明治四十年十二月
- ▲主任技術者 中根 元
- ▲受電容量 汽力三、〇〇〇キロ
- ▲發電容量 一、五〇〇キロ(九水ヨリ)
- ▲發電所 田川郡伊田町伊田
- ▲電線路 延長一七哩二 亘長五哩七
- ▲最大電壓 一三、〇〇〇V ▲周波數 四〇
- ▲使用交流 四、〇〇〇キロ
- ▲使用直流 二〇〇キロ
- 山野鑛業所 福岡縣糟郡稻築村
- ▲開 始 明治三十五年
- ▲主任技術者 荻本芳彦
- ▲受電容量 二、四〇〇キロ(田川鑛ヨリ)
- ▲最大電壓 一三、〇〇〇V ▲周波數 四〇
- ▲使用交流 一、四〇〇キロ
- ▲變電方式 變壓器
- 串木野鑛業所 鹿兒島縣日置郡串木野村 電話四一
- ▲開 始 大正三年三月
- ▲主任技術者 森田豐福

電燈、力、鐵

自家用電氣(ミ)

- ▲發電容量 瓦斯力一、〇〇〇キロ
- ▲受電容量 一〇、〇〇〇キロ(日本水電ヨリ)
- ▲最大電壓 一〇、〇〇〇V
- ▲周波數 四〇及六〇
- ▲使用交流 一、〇〇〇キロ
- ▲變電方式 過降ΔΔ
- 砂川鑛業所 北海道砂川町上砂川
- ▲開 始 大正八年一月
- ▲主任技術者 河合賢三
- ▲發電容量 汽力五〇〇キロ
- ▲受電容量 二、二〇〇キロ(北海道電燈ヨリ)
- ▲最大電壓 二二、二〇〇V ▲周波數 五〇
- ▲變電方式 過降式電動發電機
- 三井物產株式會社 東京市日本橋區本町一
- ▲開 始 大正十年
- ▲主任技術者 田結 一郎
- ▲發電容量 汽力一、七五〇キロ
- ▲受電容量 九〇〇キロ(中國合同電氣ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V
- ▲周波數 六〇
- 三渚耕地整理組合 福岡縣三渚郡安武村
- ▲開 始 大正十四年一月
- ▲受電容量 水力一、五〇〇キロ
- ▲最大電壓 二、四〇〇V
- ▲周波數 六〇

- 三菱鑛業株式會社 東京市丸ノ内八重洲町
- ▲開 始 明治二十九年十一月
- ▲主任技術者 北垣 幹郎
- ▲發電容量 汽力一、五四九キロ
- ▲受電容量 一、二〇〇キロ(日本電力ヨリ)
- ▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 高島製鍊所 香川縣香川郡直島村
- ▲開 始 明治三十四年十月
- ▲主任技術者 太田 市三
- ▲發電容量 汽力七〇〇キロ(常用)
- ▲受電容量 七〇〇キロ(山陽中央水電)
- ▲最大電壓 三三、〇〇〇V ▲周波數 六〇
- 生野鑛山 兵庫縣朝來郡生野町
- ▲開 始 大正三年三月
- ▲主任技術者 太田 市三
- ▲發電容量 汽力六六〇キロ
- ▲最大電壓 二二、〇〇〇V
- ▲周波數 六〇
- 明延鑛山 兵庫縣養父郡南谷村
- ▲開 始 大正三年三月
- ▲主任技術者 太田 市三
- ▲發電容量 汽力六六〇キロ
- ▲最大電壓 二二、〇〇〇V
- ▲周波數 六〇

ニ九三

- 吉岡鑛山 岡山縣川上郡吹屋町坂本
- ▲開 始 明治三十六年六月
- ▲主任技術者 小林儀三郎
- ▲受電容量 八四五キロ(山陽中央水電)
- ▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
- 筑豊鑛業所 福岡縣鞍手郡直方町
- ▲開 始 大正十一年三月
- ▲主任技術者 高野義清
- ▲發電容量 汽力六、〇〇〇キロ
- ▲受電容量 三、〇〇〇キロ(九水ヨリ)
- ▲發電所 嘉穂郡飯塚町餘田
- ▲電線路 延長七六杆 亘長三九杆
- ▲最大電壓 二二、〇〇〇V
- ▲周波數 六〇
- ▲使用交流 六、〇〇〇キロ
- ▲使用直流 一、二〇〇キロ
- ▲變電方式 電動發電機
- 高島鑛業所 長崎縣西彼杵郡高島村
- ▲開 始 大正三年
- ▲主任技術者 青柳 謹爾
- ▲發電容量 汽力七、三〇〇キロ
- ▲發電所 西彼杵郡高島村二子島
- ▲最大電壓 三、五〇〇V
- ▲周波數 五〇
- ▲使用交流 三、〇〇〇キロ

○唐津礦業所 佐賀縣東松浦郡相和町

▲開 始 明治三十三年三月
▲主任技術者 寺井庄太郎
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲受電容量 六〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○嶺峰鑛山 宮崎縣東臼杵郡北方村

▲開 始 吹原彌生三
▲主任技術者 川上榮治郎
▲發電容量 水力六〇八キロ
▲受電容量 水力六〇八キロ
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 五〇〇キロ
▲使用直流 一〇八キロ

○尾去澤礦山 秋田縣鹿角郡尾去澤

▲開 始 明治二十六年
▲主任技術者 伊藤 喬介
▲發電容量 水力二、八七〇キロ
▲受電容量 水力二、八七〇キロ
▲最大電壓 一、〇〇〇V
▲周波數 六〇
▲使用交流 一、九〇〇キロ
▲使用直流 一〇〇キロ

○荒川鑛山 秋田縣仙北郡荒川村

▲主任技術者 北村 與市
▲發電容量 水力三、〇五〇キロ
▲受電容量 水力三、〇五〇キロ
▲最大電壓 一、三三〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、七九二キロ

○佐渡鑛山 新潟縣佐渡郡相川町

▲開 始 大正五年十月
▲主任技術者 谷 梅八郎
▲發電容量 汽力八、七三〇キロ
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(北海道電燈)
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 二、五〇〇キロ

○美唄礦業所 北海道空知郡美唄町

▲開 始 大正八年一月
▲主任技術者 松村 寒時
▲發電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、四五〇V
▲周波數 六〇
▲使用交流 七〇〇キロ
▲使用直流 變壓器

○三菱航空機株式 東京市豊町區八重洲町一ノ一

▲開 始 大正十年
▲主任技術者 竹内喜重郎
▲發電容量 汽力二、〇〇〇キロ
▲受電容量 七五〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 一、一〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 同期電動發電機

○名石屋製作所 名古屋市中區大江町

▲開 始 大正十二年二月
▲主任技術者 赤星 陸治
▲發電容量 最大五〇〇キロ(東京電燈ヨリ)
▲受電容量 同 五〇〇キロ(東京市電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 一、〇〇〇キロ

○中川工場 東京市南葛飾郡新宿町

▲開 始 大正六年二月
▲主任技術者 齊藤 勝敏
▲發電容量 汽力五〇〇キロ
▲受電容量 一、五〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

○高砂工場 兵庫縣加古郡高砂町

▲開 始 大正六年 ▲目的 製紙用
▲主任技術者 藤本 喜三
▲發電容量 汽力五〇〇キロ
▲受電容量 一、八〇〇キロ(山陽中央水電)
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲周波數 六〇
▲使用交流 一、八〇〇キロ 直流 七〇キロ
▲變電方式 三相三線式 ▲V逆降

○三菱製鐵株式 東京市豊町區八重洲町

▲開 始 大正六年十一月
▲主任技術者 松田貞治郎
▲發電容量 汽力五、〇〇〇キロ
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(神戸市電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇一六〇
▲使用交流 二、〇〇〇キロ
▲使用直流 一、二〇〇キロ
▲變電方式 電動發電機

○神戸造船所 神戸市兵庫和南町

▲開 始 明治三十九年五月
▲主任技術者 秋野 廉二
▲發電容量 汽力三、〇〇〇キロ (換價)
▲受電容量 三、〇〇〇キロ(神戸市電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇一六〇
▲使用交流 二、〇〇〇キロ
▲使用直流 一、二〇〇キロ
▲變電方式 電動發電機

○長崎造船所 長崎市飽浦町一丁目

▲開 始 明治三十年九月
▲主任技術者 河合俊太郎
▲發電容量 汽力四、〇〇〇キロ
▲受電容量 三、六〇〇キロ(東邦電力)
▲最大電壓 延長一三杆五七 巨長一杆八六
▲周波數 四〇一六〇
▲使用交流 二、二九〇K 直流七九〇K
▲變電方式 回轉變流機 周波數變換機 變壓器

○長崎兵器製作所 長崎市茂里町四〇

▲開 始 大正十年
▲主任技術者 越中龍玄
▲發電容量 晝間六〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲受電容量 夜間三〇〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 六〇〇キロ
▲變電方式 三相交流三線式及單相二線式

○三河セメント株式 愛知縣瀧美郡

▲開 始 大正六年二月
▲主任技術者 佐々木刀司
▲發電容量 四四八キロ(岡崎電燈ヨリ)
▲受電容量 二二〇キロ(東邦電力ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 六〇

○三重セメント株式 三重縣度會村

▲開 始 大正十二年十二月
▲主任技術者 栗原善太郎
▲發電容量 八〇〇キロ(三重合同ヨリ)
▲受電容量 八〇〇キロ(三重合同ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 六〇〇キロ(九州電氣軌道ヨリ)

○宮川モスリン株式 三重縣度會郡

▲開 始 大正十一年三月
▲主任技術者 小松郷雄
▲發電容量 三、〇〇〇キロ(三重合同電氣)
▲受電容量 四四、〇〇〇V ▲周波數 六〇
▲使用交流 一、八〇〇キロ

○明治製革株式 東京市豊町區八重洲町

▲開 始 大正十五年
▲主任技術者 大塚長次郎
▲發電容量 五、一七キロ(東電ヨリ)
▲受電容量 三、三〇〇V ▲周波數 五〇

電燈、力、鐵

自家用電氣(三)

- 明治鑛業株式 福岡縣戸畑市
社長 松本健次郎
- 豊國鑛業所 福岡縣田川郡糸田村
電話直方一四
▲開 始 大正十四年九月
▲主任技術者 植田 李造
▲受電容量 一、二〇〇キロ(富社赤池ヨリ)
▲最大電壓 六、六〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 最大一、二〇〇キロ
▲變電方式 交流變壓器
- 赤池炭礦 福岡縣田川郡上野村
電話直方一二〇
▲開 始 大正十一年十二月
▲主任技術者 荒木 利雄
▲受電容量 汽力二、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 明治鑛業所 福岡縣嘉穂郡頼田村
電話直方一〇
▲開 始 大正十三年十二月
▲所長 岩永 巖 ▲主任技術者 手島殿男
▲受電容量 一、五〇〇キロ(赤池發電所ヨリ)
▲最大電壓 三、五〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 一、五〇〇キロ
▲變電方式 三相三線式誘導電壓調整器
- 明治製糖株式 廣島縣曾文郡
▲開 始 大正十一年十一月
- 清水工場 北海道下轄國上川郡人舞村
▲開 始 大正十一年十一月
▲受電容量 汽力七五〇キロ
▲最大電壓 三、〇〇〇V
▲周波數 六〇
- 明治紡績會社 福岡縣戸畑市
電話四二二三
▲開 始 明治四十一年
▲主事及主任技術者 岡田音次郎
▲受電容量 一八五〇キロ(九州水力電氣ヨリ)
▲最大電壓 二、五〇〇キロ(九州電氣軌道ヨリ)
▲使用交流 一、二〇〇キロ
▲變電方式 交流三相三線式
- 妊濱鑛業株式 福岡縣早良郡妊濱町
電話四六一
▲開 始 大正十五年十月
▲主任技術者 根岸亮太郎
▲受電容量 汽力四、一〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲周波數 六〇
- 福岡鑛業所 福岡縣早良郡妊濱町
▲開 始 大正十五年十月
▲主任技術者 根岸亮太郎
▲受電容量 汽力三、八〇〇キロ(備備)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇
- 森永製菓株式 東京市麹町區永樂町
電話一ノ一
▲開 始 大正十五年八月
▲主任技術者 坂口茂三
▲受電容量 一、一〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 鶴見工場 神奈川縣橋本郡旭村
▲開 始 大正十五年八月
▲主任技術者 坂口茂三
▲受電容量 一、一〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
- 安田商事株式會社 八幡市枝光
▲開 始 大正元年十一月
▲主任技術者 川邊 清
▲受電容量 汽力七五〇キロ
▲最大電壓 一、八〇〇キロ(九水ヨリ)
▲使用交流 八幡市黒崎町
▲變電方式 三角形
- 安田製釘所 八幡市枝光一七六〇
電話特長二八五七八
▲開 始 大正元年十一月
▲主任技術者 川邊 清
▲受電容量 汽力七五〇キロ
▲最大電壓 一、八〇〇キロ(九水ヨリ)
▲使用交流 八幡市黒崎町
▲變電方式 三角形
- 横濱船渠株式 横濱市永住町
▲開 始 大正八年十一月
▲主任技術者 江崎 衛
▲受電容量 一、七〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- 尾小屋鑛山 石川縣能美郡西尾村
▲開 始 明治四十四年六月
▲主任技術者 横山 芳雄
▲受電容量 水力七九四キロ
▲最大電壓 二、〇〇〇V
▲周波數 六〇 ▲送電線路 延長四哩
- 惠須取工場 樺太名野郡惠須取町
▲主任技術者 石井一心
▲受電容量 汽力八、一二八キロ
▲變電方式 變流機八五〇キロ(三基)
▲最大電壓 四、六〇〇キロ(工事中)
- 富士製紙株式 東京市京橋區三十間堀
▲開 始 大正九年十二月
▲主任技術者 山内幾馬
▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇
- 知取工場 樺太元泊郡知取町
電話五五七五番
▲開 始 大正九年十二月
▲主任技術者 高橋直治
▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇
- 落合工場 樺太榮濱郡落合町
電話三、四番
▲開 始 大正十一年五月舊日本化學製糖
▲主任技術者 葛岡計策
▲受電容量 汽力五、三三〇キロ(交流)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 四、五〇〇キロ
▲使用直流 二、五〇〇キロ

ヨ之部

モ之部

ヤ之部

ワ之部

ラ之部

- 株式会社米子製鋼所 鳥取縣米子市
▲開 始 大正八年二月
▲受電容量 五〇〇キロ(廣島電氣ヨリ)
▲最大電壓 二、一〇〇V
▲周波數 六〇
- ラサ島燐礦株式 東京市麹町區
有樂町一ノ一
▲開 始 大正二年五月
▲社長 恒藤 規隆
- 大阪支店 大阪府西淀川區高見町一ノ四
電話土佐堀四三九外
▲開 始 大正二年五月
▲受電容量 一、〇〇〇キロ(日本電力ヨリ)
▲最大電壓 二、〇〇〇キロ(阪神電氣軌道ヨリ)
▲周波數 六〇
- ▲使用交流 一、〇九〇キロ
▲使用直流 一、〇〇〇キロ
▲變電方式 電動發電機(直流通分接交流同期)
- 樺太工業株式 樺太泊居町
▲開 始 大正六年九月
▲主任技術者 根岸亮太郎
▲受電容量 汽力四、一〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲周波數 六〇
- 眞岡工場 樺太眞岡郡眞岡南濱町
電話眞岡五七・七四
▲開 始 大正六年九月
▲主任技術者 根岸亮太郎
▲受電容量 汽力四、一〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲周波數 六〇
- ▲使用交流 二、六〇〇キロ及二、一五〇キロ
- 横濱船渠株式 横濱市永住町
▲開 始 大正八年十一月
▲主任技術者 江崎 衛
▲受電容量 一、七〇〇キロ(東電ヨリ)
▲最大電壓 一、〇〇〇V ▲周波數 五〇
- 尾小屋鑛山 石川縣能美郡西尾村
▲開 始 明治四十四年六月
▲主任技術者 横山 芳雄
▲受電容量 水力七九四キロ
▲最大電壓 二、〇〇〇V
▲周波數 六〇 ▲送電線路 延長四哩
- 惠須取工場 樺太名野郡惠須取町
▲主任技術者 石井一心
▲受電容量 汽力八、一二八キロ
▲變電方式 變流機八五〇キロ(三基)
▲最大電壓 四、六〇〇キロ(工事中)
- 富士製紙株式 東京市京橋區三十間堀
▲開 始 大正九年十二月
▲主任技術者 山内幾馬
▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇
- 知取工場 樺太元泊郡知取町
電話五五七五番
▲開 始 大正九年十二月
▲主任技術者 高橋直治
▲受電容量 汽力一、〇〇〇キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 五〇
- 落合工場 樺太榮濱郡落合町
電話三、四番
▲開 始 大正十一年五月舊日本化學製糖
▲主任技術者 葛岡計策
▲受電容量 汽力五、三三〇キロ(交流)
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 五〇
▲使用交流 四、五〇〇キロ
▲使用直流 二、五〇〇キロ

電燈、力、鐵

自家用電氣(ヨ、ラ、ワ)

臺灣之部

○淺野セメント株式會社 東京市丸ノ内海上ビル 電話丸ノ内一五三〇外

○田町工場 臺灣市田町

▲開 始 大正六年十二月
▲主任技術者 鹽野傳三郎
▲發電容量 汽力一、五〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲周波數 六〇

○鹽水港製糖株式會社 臺灣臺南州新營郡新營

○新營工場 同

▲開 始 大正八年一月
▲主任技術者 天野 敬男
▲發電容量 汽力二、〇〇〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V
▲周波數 六〇

○金瓜石鑛山株式會社 臺灣臺北州基隆郡瑞芳庄九分

▲開 始 明治四十四年六月
▲主任技術者 中林 一
▲發電容量 五三五キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V
▲周波數 六〇

○大日本製糖株式會社 東京府南葛飾郡砂町治兵衛四七九

○虎尾工場 臺灣臺南州虎尾郡虎尾庄

▲開 始 明治四十二年七月
▲發電容量 汽力六七六キロ
▲最大電壓 二二〇V ▲周波數 六〇

○臺南市役所 臺灣臺南州臺南市

○山上水源池 臺灣臺南州新化郡山上庄

▲開 始 大正九年十一月
▲發電容量 汽力六六〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

○臺北市役所 臺灣臺北州臺北市

○水源池 臺北市水道町

▲開 始 大正十一年七月
▲主任技術者 池田雄之進
▲發電容量 一、三五八キロ
▲最大電壓 三、三〇〇V ▲周波數 六〇

○臺灣製糖株式會社 臺灣高雄州屏東街

○灣裡製糖所 臺灣臺南州新化郡善化街

▲開 始 昭和三年 ▲目的 製糖用
▲主任技術者 安部 昇
▲發電容量 汽力五三〇キロ
▲最大電壓 二、二〇〇V ▲周波數 六〇

○明治製糖株式會社 臺灣曾文郡麻豆街

○蒜頭工場 臺灣臺南州六脚庄

▲開 始 明治四十四年三月
▲發電容量 汽力七六九キロ
▲最大電壓 二三〇V ▲周波數 五〇

○南靖工場 臺灣臺南州嘉義郡水上庄

▲開 始 明治四十三年五月
▲主任技術者 樋口 徳男
▲發電容量 汽力七一五キロ
▲最大電壓 二、三〇〇V
▲周波數 六〇



本邦唯一水車專門製造所

國產最大容量水車



朝鮮窒素肥料株式會社松興第二發電所納

31,000 馬力水車二臺ノ中

本水車ノ有スル驚異的三大記録

國產最大容量 31,000馬力

本邦ニ於ケル最高落差反動式水車 702呎

本邦最大容量自働運轉水車

株式會社 電業社原動機製造所

東京市外代々橋町

電話四谷

{ 1031 1033
1032 1034

高級ブラックテープ
高級ゴムテープ



見本御入用の御方は御申越次第無代郵送致します。

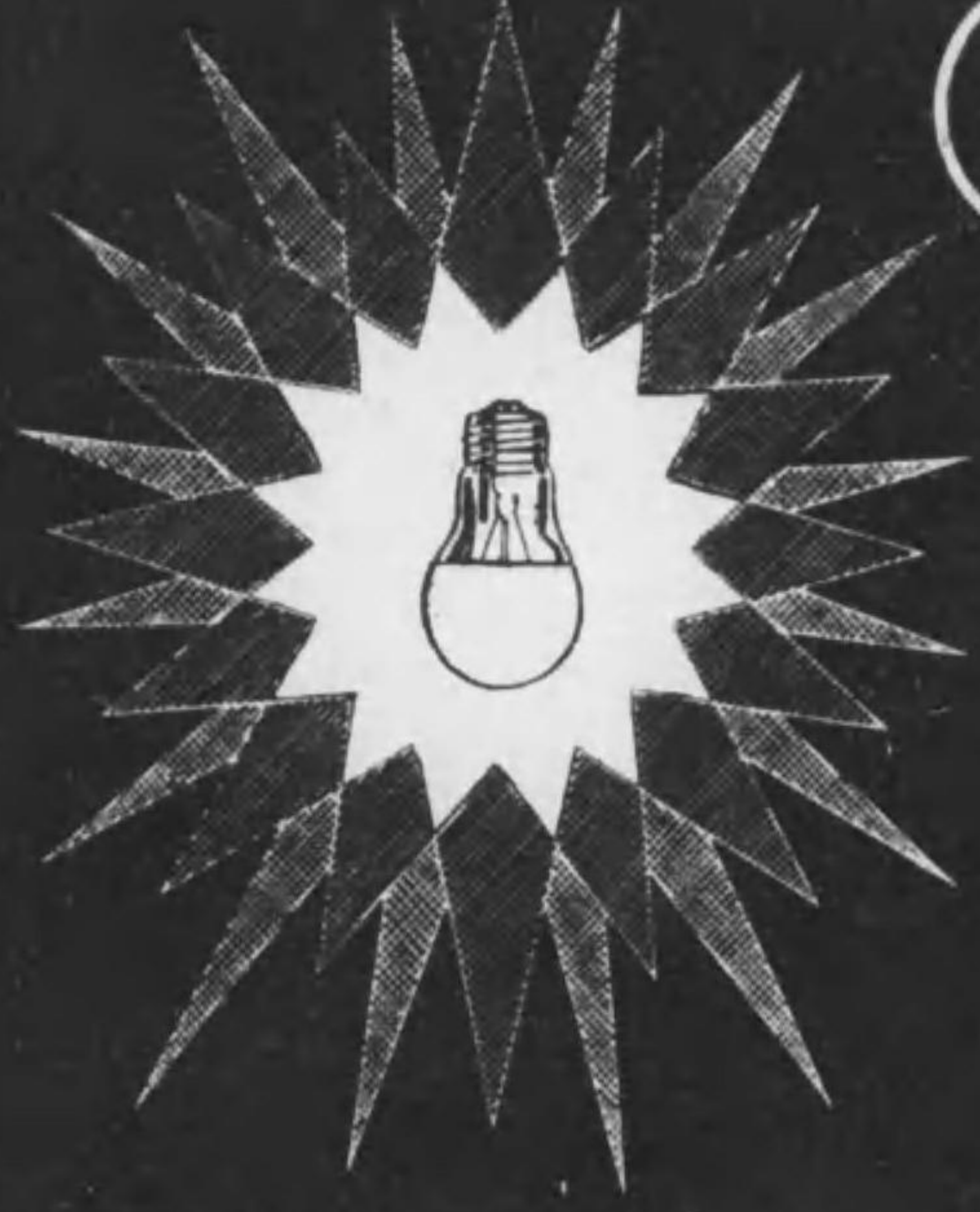
東京市外南品川西廣町一一一四

電氣絶縁
材料製造 寺岡製作所

電話高輪園四六二七番



純國産材料自給重石織條硝子電球



球電震耐許特 球電スピア許特
球電形管許特 球電入斯瓦許特
球電種各許特 球電子親許特國萬

プンラスピア
條織熱白ンテスグンタ

於大禮記念
國産振興 東京博覽會優良國産賞牌受領

地番九四山向町谷澁外市京東

社會式株球電スピア

一三九七・四一七七因輪高話電

二七七二森大話電場工子硝

町麴京東・臺仙・幌札・岡福岡高・阪大 店 支

二六山向町谷澁外市京東(二第) 九四山向谷澁外市京東 (一第)場 工

七三山向町谷澁外市京東(四第) 黒目上外市京東 (三第)

山鏡スピア村川蛭那惠縣阜岐 山鏡ンテスグンタ

電氣工商業一覽

製造及販賣會社

製造工場及商店

昭和五年三月現在

○京濱之部	東京府	一頁
○京阪神之部	京都府	一六七頁
	大阪府	一八一頁
	兵庫縣	二六九頁
○地方之部	石川縣	三五九頁
	富山縣	三五九頁
	滋賀縣	三五九頁
	奈良縣	三五九頁
	和歌山縣	三五九頁
	岡山縣	三五九頁
	廣島縣	三五九頁
	山口縣	三五九頁
	島根縣	三五九頁
	鳥取縣	三五九頁
	德島縣	三五九頁
	香川縣	三五九頁
	高知縣	三五九頁
	愛媛縣	三五九頁
	福岡縣	三五九頁
	大分縣	三五九頁
	長崎縣	三五九頁
	佐賀縣	三五九頁
	熊本縣	三五九頁
	鹿兒島縣	三五九頁
	神戶縣	三五九頁
	岩手縣	三五九頁
	青森縣	三五九頁
	秋田縣	三五九頁
	山形縣	三五九頁
	宮城縣	三五九頁
	福島縣	三五九頁
	新潟縣	三五九頁
	北海道	三五九頁
	樺太	三五九頁
	臺灣	三五九頁
	朝鮮	三五九頁
	滿洲	三五九頁
	支那	三五九頁



營業科目

電氣企業投資
土木電氣工事
電燈電力電熱工事
都市造營ニ關スル
一切ノ高級電氣工事
電話、電鈴、工事事
一般電氣工事事
設計監督請負

發電機、配電盤、變壓器、電氣計器、電話機、交換機、電熱器、エレベーター、唧筒、モーター、サイレン、器具製造販賣

京都電機株式會社 川北電氣土木工事株式會社 川北電氣商事株式會社

京電本社 京都市下京區西七條
 工事本社 大阪市此花區上福島北三丁目
 商事本社 大阪市北區宗是町大阪ビルヂング
 支店 東京 福岡



向島工場

川崎工場

營業品目

各種電線、電纜
動力用紙絕緣ケーブル
通信用紙絕緣ケーブル
電線電纜接續用品

東京

日本電線株式會社

社長 崎山 刀太郎

本 社 東京府南葛飾郡寺島町

向島工場 東京府南葛飾郡寺島町

川崎ケーブル工場 川崎 市 古川 通

營業所 大阪府北區道木町四二

代理店 札幌、横須賀、吳、佐世保、舞鶴

代理店 臺北、京城、大連、上海、長崎、神戸

電氣商工業一覽目次

(〇印ハ株式会社)

京濱之部

東京之部

上、植、白、礎、内、阪、浦	〇共、極、銀	恒、高、廣、興	ス、須、誠、末、菅、杉	深、司、月、辻、土、樋
エ、工、〇、エ、在	木、汽、菊、岸	興、國、九、越、壽	鈴、錫、住	筒、綱
榮、枝、越、根、遠	岸、北、甲、清、共	近	〇精	橋、坪、鶴
オ、ラ、〇、オ	京、協、玉、旭、極、桐	〇三	七、瀨、成、精、盛	テ、帝
〇小、尾、大	〇大、玉、應、沖	早、佐	〇石、赤、關、接、鉢	テ、手、帝、鐵、寺
〇大、尾、大	〇大、尾、大	佐、西、齊	千、全、善	電
小、尾、及、大	小、尾、及、大	齊、阪、坂、酒、堺、榮	ソ、智、早、宗、圓、染	ト
大、岡、沖、荻、奥	大、岡、沖、荻、奥	櫻、笹、里	〇太、第、泰、高、興	〇東
奥、長、押、乙、香	奥、長、押、乙、香	血、察、澤、三	〇太、第、泰、高、興	〇東、特
折	折	山、三、山	〇太、第、泰、高、興	土、戸、斗、東
カ、〇、カ、海	カ、〇、カ、海	〇芝、下、昭、幸	〇太、第、泰、高、興	〇東
〇川、蒲、神	〇川、蒲、神	〇神、新	〇太、第、泰、高、興	〇東
カ、加	カ、加	シ、志、鹿、茂、品	〇太、第、泰、高、興	〇東
加、鹿	加、鹿	信	〇太、第、泰、高、興	〇東
海、岳、寛、笠、梶、柏	海、岳、寛、笠、梶、柏	〇芝、下、昭、幸	〇太、第、泰、高、興	〇東
春、葛、金、叶	春、葛、金、叶	〇神、新	〇太、第、泰、高、興	〇東
要、川	要、川	〇芝、下、昭、幸	〇太、第、泰、高、興	〇東
川、河、上、龜	川、河、上、龜	〇神、新	〇太、第、泰、高、興	〇東
鴨、唐、輕、神、關	鴨、唐、輕、神、關	〇芝、下、昭、幸	〇太、第、泰、高、興	〇東
キ、〇、菊、共	キ、〇、菊、共	〇神、新	〇太、第、泰、高、興	〇東

商工目次

電氣商工業一覽

西日	二一九	堀本	三三〇	カ加	三三〇	マ松	三三〇
西二	二二〇	マ馬	三三〇	蒲	三三〇	ク久	三三〇
又布沼	二二一	眞前	三三〇	キ京	三三〇	コ小	三三〇
本根	二二二	前牧	三三〇	木菊	三三〇	サ佐	三三〇
野能	二二三	増町	三三〇	協強	三三〇	齊坂	三三〇
野能	二二四	松の丸	三三〇	久栗	三三〇	シ島	三三〇
ハ白	二二五	丸萬	三三〇	立良	三三〇	〇松	三三〇
ハ土	二二六	三美	三三〇	レ連	三三〇	須周	三三〇
萩白	二二七	道水	三三〇	〇津	三三〇	正堰	三三〇
島泰	二二八	宮都	三三〇	ワ和	三三〇	丹	三三〇
鳩羽	二二九	宮妙	三三〇	追加	三三〇	中	三三〇
濱速	二三〇	武向	三三〇	朝東	三三〇	津塚	三三〇
ヒ〇	二三一	村室	三三〇	力北	三三〇	テ電	三三〇
〇平	二三二	〇明	三三〇	酒三	三三〇	ト東	三三〇
ヒ日	二三三	〇明	三三〇	千電	三三〇	富巴	三三〇
平廣	二三四	〇明	三三〇	日藤	三三〇	ナ奈	三三〇
平廣	二三五	〇明	三三〇	ミ水	三三〇	日新	三三〇
フ〇	二三六	〇明	三三〇	神奈	三三〇	本根	三三〇
〇藤	二三七	〇明	三三〇	安阿	三三〇	ハ白	三三〇
不富	二三八	〇明	三三〇	東伊	三三〇	ヒ比	三三〇
不富	二三九	〇明	三三〇	ウ字	三三〇	菱平	三三〇
不富	二四〇	〇明	三三〇	エ小	三三〇	フ〇	三三〇
不富	二四一	〇明	三三〇	オ小	三三〇	富深	三三〇
不富	二四二	〇明	三三〇	尾大	三三〇	〇北	三三〇
不富	二四三	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇
不富	二四四	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇
不富	二四五	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇
不富	二四六	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇
不富	二四七	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇
不富	二四八	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇
不富	二四九	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇
不富	二五〇	〇明	三三〇	尾大	三三〇	北相	三三〇

平燈	二七〇	伊飯	二七〇	キ木	二七〇	ス住	二七〇	得殿	二七〇
平燈	二七一	池石	二七〇	樹基	二七〇	ス須	二七〇	鳥	二七〇
平燈	二七二	市	二七〇	共京	二七〇	鈴	二七〇	〇内	二七〇
平燈	二七三	泉和	二七〇	ク九	二七〇	セ世	二七〇	〇浪	二七〇
平燈	二七四	乾岩	二七〇	ク九	二七〇	誠夢	二七〇	ナ奈	二七〇
平燈	二七五	今	二七〇	九工	二七〇	ソ双	二七〇	中	二七〇
平燈	二七六	ウ〇	二七〇	倉藏	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二七七	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二七八	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二七九	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八〇	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八一	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八二	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八三	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八四	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八五	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八六	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八七	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八八	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二八九	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇
平燈	二九〇	ウ〇	二七〇	栗黒	二七〇	タ大	二七〇	中	二七〇

商工目次

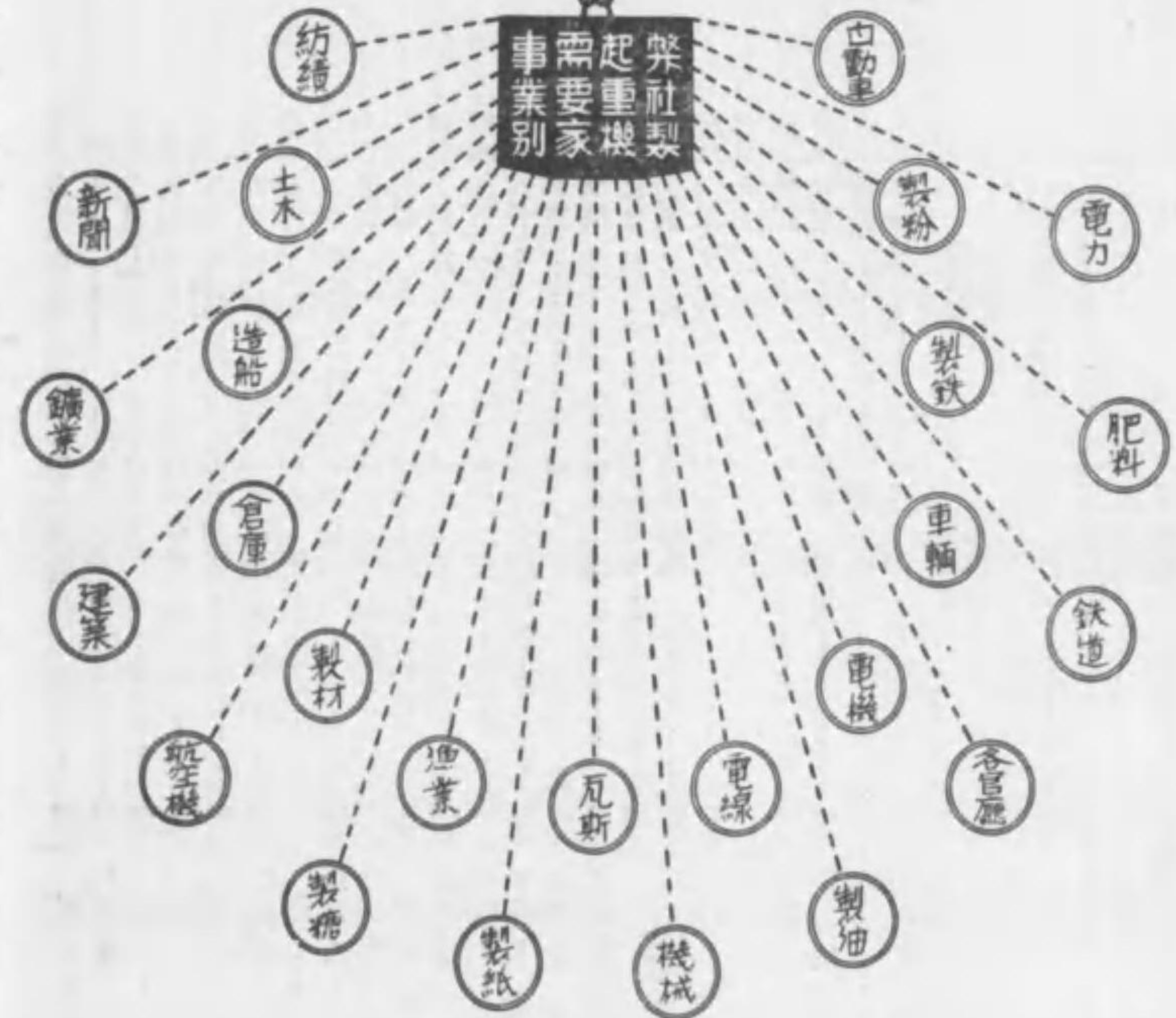
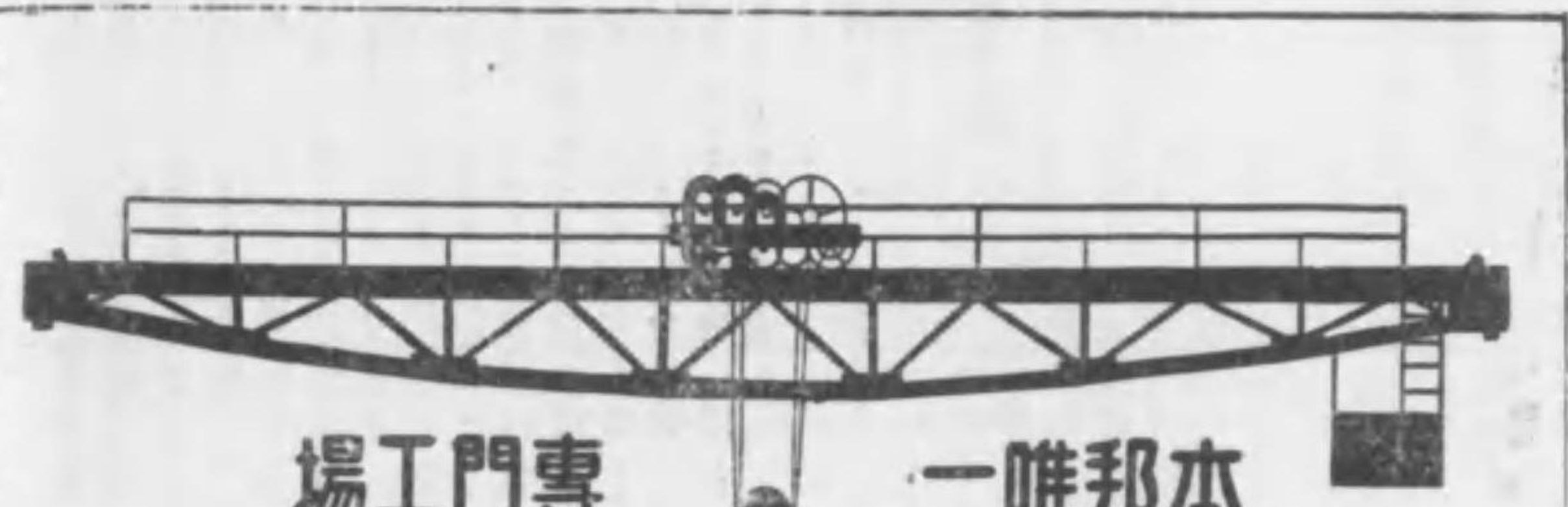
電氣商工業一覽

セ成	三三	ナ中	三三	ク熊	三三	ワ波	三三
夕高	三三	ハ羽	三三	ク廣	三三	イ池、石、岩	三三
竹、武、立、谷	三三	新歌山縣之部	三三	コ小	三三	ウ梅	三三
手千、中	三三	ア安、安	三三	コ廣	三三	カ加、河	三三
ト土、東、供	三三	イ伊	三三	サ○佐	三三	○關	三三
ナ中	三三	カ川、假	三三	シ局、昭、榮	三三	コ小、河	三三
ハ博	三三	キ紀	三三	スス、菅	三三	サ○山	三三
フ古	三三	ク神	三三	鈴	三三	シ白	三三
ホ北、堀	三三	ク酒	三三	タ太、田、瀧、谷	三三	ス下、正	三三
ム村	三三	テ電	三三	セセ	三三	ス鈴	三三
モ守、森	三三	ト土	三三	タ太、田、瀧、谷	三三	セ盛	三三
ヤ矢	三三	ナ中	三三	ハ泰、服部、原	三三	タ田、高、武	三三
ヨ吉、横	三三	ハ萩、酒	三三	ニ日、新、堂	三三	ト巴	三三
富山縣之部	三三	フ富	三三	ヒ○廣	三三	ナ中、長	三三
ア淡、朝	三三	ク草	三三	平、廣	三三	ニ日、新、堂	三三
オ○同	三三	シ清	三三	福、藤	三三	ハ長谷	三三
尾、大	三三	テ寺	三三	ム村	三三	ヒ日	三三
力藤	三三	ト鳥	三三	福、藤	三三	フ福、藤	三三
キ木	三三	ナ中	三三	マ海、増、松	三三	マ○樹	三三
サ○三	三三	マ松	三三	ム村	三三	三宮	三三
シ島、白	三三	ヤ安	三三	ホ本	三三	ム村	三三
セ七、尾	三三	オ大	三三	ミ港、宮	三三	モ森	三三
夕大、高	三三	カ河	三三	ム村	三三	ヨ吉	三三
チ中	三三	キ木	三三	福、藤	三三	島根縣之部	三三
ト富	三三	シ島	三三	ム村	三三	ア朝	三三
ナ中	三三	タ太	三三	山口縣之部	三三	イ池	三三
ハ長谷、瀧	三三		三三	ヨ湯、吉	三三	キ清	三三

商工目次

電氣商工業一覽

夕竹	三三	ニ西	三三	高知縣之部	三三	ワ波	三三
ナナ	三三	ヒ日	三三	ア安、足	三三	ア青	三三
ニ日	三三	ノ乃	三三	青、芦、荒、有	三三	イ今	三三
ヒ廣	三三	フ藤	三三	イ伊、井、池、石、岩	三三	エ江	三三
フ○藤	三三	ミ宮	三三	ウ鶴、植	三三	カ○唐	三三
鳥取縣之部	三三	ヨ四	三三	受、内	三三	唐	三三
オ大	三三	イ入	三三	エ○警	三三	コ香	三三
カカ、加、春日	三三	カ河	三三	オ小、大、岡、沖、奥	三三	ナ中	三三
サ○山	三三	キ木	三三	カ加、柏、野、神、金	三三	コ古	三三
徳島縣之部	三三	ク久、桑	三三	川、河、關	三三	サ三	三三
ア阿	三三	コ○高	三三	キ木、黄、北、九、清、共	三三	ト○戸	三三
カ川	三三	テ電	三三	川、河、關	三三	ナ中	三三
キ木	三三	ト東	三三	桃	三三	フ深	三三
サ佐	三三	ナ中	三三	○共	三三	ワ波	三三
ト○徳、富	三三	ニ西	三三	ク久、熊	三三	熊本縣之部	三三
フ福、燕	三三	ノ野	三三	コ香	三三	カ川	三三
ヤ山	三三	ハ原	三三	サ西	三三	キキ	三三
香川縣之部	三三	ミ三	三三	シ篠、鳥、昭、照、新	三三	コ古	三三
ア朝、淡、綾	三三	ヨ吉	三三	ス須、杉	三三	サ酒	三三
ウ植	三三	ヤ山	三三	セ正、盛	三三	スス	三三
カ川、鎌	三三	ヨ吉	三三	タ○大	三三	テ電	三三
キ共	三三	愛媛縣之部	三三	田、高	三三	ト巴	三三
コ小	三三	イ岩、今	三三	イ井、藤、稻	三三	ナ中、長	三三
シ四	三三	ウ浮	三三	大分縣之部	三三	ニ日、新、堂	三三
夕高	三三	エ江	三三	ワ波	三三	ハ長谷	三三
トト	三三	サ三、山	三三	イ井、藤、稻	三三	ヒ日	三三
	三三	テ電	三三		三三	フ福、藤	三三
	三三	ナ○内	三三		三三	マ○樹	三三



日本起重機製作所

東京市京橋區月島通六丁目

東京

了之部

商號及所在地	電話	營業要目	開業(年)	總資本金 拂込資本	總收入	諸積立金 配當率
アドルフメタル株式會社 下谷區上野櫻木町二二	五五	諸金屬鐵アルミニウム、ニクロム線其他各種合金製造アルミツト施設材料及同機 械器具製造販賣施工請負	大正一五年	150,000 (全額)		
株式會社 アンドリュース商會 芝區芝公園第五號地 二ノ五號	二四二 二四六	諸機械、科學機械、工業用油脂及調帶類、 米國「ボシニウム」製眼鏡類及光學諸器械、 米國「ドアー」會社上下水汚水處理裝置及鑛山 用磁石選礦裝置、金庫其他	明治二七年	100,000 (全額)		
亞細亞アルミナム株式會社 日本橋區室町三共ビル内	二四三 四五九 四	鋼心アルミナム電線及米國アルミナム會社 製品一手販賣、アルミナム塊、板、箔、粉 末、管錠合金等、マグネシウム塊及粉末	大正一〇年	100,000 (全額)		一割二分
安全電機工業株式會社 芝區白金志田町五四	五七〇 六九六 九	電氣油並各種油販賣並製造	大正六年	100,000 (全額)		

商工

東京

東京

商號及所在地 電話 營業 要目 開業(年) 總資本金 總支出 諸債立金
 株式會社 安中電機製作所 高輪 五二九九 無線電信電話機及附屬品 明治三三年 1,000,000 111,110 50,000
 株式會社 安中電機製作所 市外澁谷町伊達四 六一七七 變壓器各種器具等 明治三三年 475,000 107,110 50,000

株式會社 阿部式 電氣時計製作所 市外日暮里町一〇七六 下谷 六〇四八 電氣時計各種、任意自動時報器、電池試驗器 大正一〇年 1,000,000 350,000
 株式會社 愛國電氣株式會社 本所區石原町四二 墨田 二八六六 瓦斯入氣球製作 昭和四年 200,000 300,000
 株式會社 赤羽冶金株式會社 芝區神明町二五 芝 三三八四 各種電熱線及抵抗線並ニ特殊合金製作販賣 昭和三年 85,000 (全額) 五十嵐治季

株式會社 淺野物産株式會社 龜町區丸ノ内海上ビル 丸内 自二五八〇 機械類一切建築材料一切自動車肥料其他輸 大正七年 1,000,000 (全額) 淺野良三
 株式會社 旭工業株式會社 市外澁谷町鉢山二 青山 二〇二四 電氣絶緣用グアニツシユ、コムパウソド、 大正八年 1,500,000 81,600 三六,900 (四年下期) 56,700

株式會社 旭製線株式會社 市外品川町北品川宿舎三 高輪 六一四九 エナメル線、伸縮線並無線機械器具製造 昭和二年 50,000 (全額) 香山春三
 株式會社 旭電氣株式會社 京橋區銀座一ノ四 京橋 六〇六八 電球及電氣器具各種、電氣工事 大正二年 1,000,000 50,000 10,000 六分

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

株式會社 雨宮製作所 本所 一三六七 蒸汽電氣、ダイヤル、ガソリン各種機關車 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 三八四六 客車、貨車、電車、各種自動客車及附屬品 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二
 株式會社 雨宮製作所 深川區和倉町三一 本所 四七六七 一式並橋桁其他諸機械 明治三九年 1,000,000 (全額) 谷十二

イ之部

商工

東京

東京

電話

營業

要目

開業(年)

總資本

總收入

諸積立金

商號及所在地
インダリーナシヨナル、セネラル、エレクトリック、コムパニイ、日本支社
日本橋區本町(三井物産内)

株式會社 井口鐵工所
芝區白金志田町七四

株式會社 池貝鐵工所
芝區三田四國町二

株式會社 石井鐵工所
京橋區月島西仲通五ノ一

株式會社 石渡電機株式會社
麻布區富士見町六

株式會社 磯村合名會社
芝區櫻田本郷町一〇

株式會社 岩淵電氣工業株式會社
京橋區木挽町五ノ一

GE會社 エゲン電氣會社製品全部外國販賣、其他米國著名機械器具製造所三十社ノ外國販賣代理店
大正一〇年
總資本 2,000,000
總收入 3,000,000
諸積立金 1,000,000

社長 クラーク、エッチ、マイナー 副社長 イー、エー、コロラン、エー、エス、アイユランド
日本代表者 オー、ブルースマン、シエー、アル、ギャリー、エー、ケー、ワイル
日本販賣部長 シー、シー、ダリンネル 本社 米國經育スケネクター、支店及出張所 世界各國ノ著名ナル都市
高輪 四八〇〇 工作機械、空氣壓縮機及諸機械 明治二七年
五七七四 井口勇 取締役 大塚榮吉 高木貞幹 牧野秀四郎 吉村義久 千田武彦
監査役 井口義一 吉村鐵之助
三田自一〇〇八 諸機械製造
芝區白金志田町七四 池貝鐵工所 池貝喜四郎 池貝杉二 今井三吉
監査役 千乘龜之助(工場)三田四國町及本芝四丁目

芝區三田四國町二 池貝鐵工所
社長 池貝正太郎 副社長 千乘恒次郎 專務 齋藤眞 取締役 池貝喜四郎 池貝杉二 今井三吉
監査役 千乘龜之助(工場)三田四國町及本芝四丁目

京橋區月島西仲通五ノ一 石井鐵工所
社長 石井太吉 取締役 我孫子駒吉 富永丈吉 石井悅郎 同兼技師長 鈴木英正 監査役 秀島寛
(工場) 月島西仲通 市外龜戸町
三三七 水力發電所設置一切、ローリングダム水門
三三九 門扉捲揚機送電鐵塔
五八三 門扉捲揚機送電鐵塔
五八四 門扉捲揚機送電鐵塔

麻布區富士見町六 石渡電機株式會社
高輪 五二七一
專務 重松萬治 取締役 吉村鐵之助 渡邊勝三郎 齋藤積善 監査役 石原彦太郎 若尾鐵之助
製作課長 市村修三
銀座自三六四六 電氣器具、電氣用ゴム製品並エポナイトア 明治四三年
至三六四八 セナリン照明燈
社長 磯村音介 常務 小田村有芳(工場) 市外大崎町五反田

芝區櫻田本郷町一〇 磯村合名會社
社長 磯村音介 常務 小田村有芳(工場) 市外大崎町五反田
銀座 五二七一
專務 重松萬治 取締役 吉村鐵之助 渡邊勝三郎 齋藤積善 監査役 石原彦太郎 若尾鐵之助
製作課長 市村修三

京橋區木挽町五ノ一 岩淵電氣工業株式會社
銀座 五二七一
專務 重松萬治 取締役 吉村鐵之助 渡邊勝三郎 齋藤積善 監査役 石原彦太郎 若尾鐵之助
製作課長 市村修三
一五五 一八九七 電氣用金物製造、電動機、電氣計器、電熱 大正九年
專務 佐々木宗勝 常務 三輪政次郎 柳瀬唯 監査役 佐々木勝太郎 八木原銀
工場 市外砂町 埼玉縣川口町 會津 出張所 愛知縣瀬戸市(安齋正一)

ウ之部

株式會社 ウロコ商會 茅場町三三〇・三三二
日本橋區北新堀町一四
社長 岡本康太郎 常務 末富孝治郎 電氣主任 海老名左力
丸内自一五〇六 昇降機、暖房器具、金庫扉、ガソリンポンプ、大正六年
代表取締役 八木貞次 取締役 千乘茂次郎 三原美男 監査役 内田誠太郎 相談役 窪田四郎
機械部長 伊澤治郎
支店 大阪市東區北濱三ノ四〇 電話本局三五五六一三五五八(支店長 播井彌之助)
神戸市仲町四五 電話三宮一三八三(支店長 三原美男)

エ之部

株式會社 エビス電球株式會社
市外濠谷町向山四九
高輪 長七七一
七九三
六三三
各種電球製造並ダングスタン線條販賣 大正八年
1,000,000
3,500,000
(硝子工場用)

株式會社 荏原製作所
市外南品川七五〇
高輪 一八六〇
七三六
六〇六
各種電球製造並ダングスタン線條販賣 大正元年
3,000,000
7,000,000
送風機

株式會社 荏原製作所
市外南品川七五〇
高輪 一八六〇
七三六
六〇六
各種電球製造並ダングスタン線條販賣 大正元年
3,000,000
7,000,000
送風機
專務 高山一清 取締役 吉野又四郎 山岸靖一 酒井億尋 監査役 岡本次三郎
出張所 大阪市北區堂島ビル(小柳津雄一) 京城府青葉町二ノ一

オ之部

株式會社 オットライメルス會社
丸内自二九二五
三二七
電線製造用機械、工作機械、蓄電池式運搬車、無限軌道式トラック、電氣起重機、ベルクマン精算電力計、其他電氣計器類
明治二二年
代表者 オット、ライメルス、エツチ、フオクス、イー、フオン、コツホ 機械部支配人 アイ、モツシユ
副支配人 今井武光 本社 獨乙ハンブルヒ市 支店 大阪市北區東梅田町二八(電北四五三八)

東京

東京力

商號及所在地

神奈川電氣株式會社

芝區仲門前二ノ一

芝 自二九〇 電話諸機械器具材料、電線、電球、電信、大正元年
至二九五 電話、總務材料並工事請負
社長 松田福一郎 取締役 松田七郎 加藤竹松 松田恒之助 監査役 山下和則 同松田齊次郎
平井精三 泉市三郎 支那人 高森五郎 營業部長 田村嘉一郎 會計部長 山下和則
大阪支店長 加藤竹松 門司支店長 松田長藏
支店 大阪市東區瓦町二ノ八 (電話本局長三一五三、二〇一五)
出張所 門司 舞鶴 横須賀 吳 佐世保 長崎 大連 臺北 熊本

株式會社 神奈川電氣 工場地

市外澁谷町田每八

川合電氣株式會社

市外澁谷町東樂二二

川北物産株式會社

芝區丸ノ内一ノ六

蒲田車輛製造株式會社

府下蒲田町北蒲田四四

キ之部

株式會社 菊池商會

牛込區西五軒町二〇

共榮商工株式會社

芝區丸ノ内幸町一幸ビル

八

總資本金

總收入

諸積立金

1,000,000

1,000,000

1,000,000

400,000

400,000

400,000

1,000,000

600,000

27,333

三、三三

1,500,000

1,500,000

1,500,000

1,000,000

600,000

六六六、〇〇〇

六、七三〇

(全額)

立川電

鈴木三郎

大正八年

500,000

技師 竹内嘉助

昭和二年

1,000,000

近江恒藏

望月輝一

株式會社 共榮電氣商會

芝區丸ノ内二丁目九ビル八階

共益電氣株式會社

芝區白金三光町五〇

共立電機株式會社

麻布區富士見町三九

極東商事株式會社

府下下落合九七一

株式會社 銀座高田商會

京橋區銀座七ノ二

ク之部

クロードネオン株式會社

芝區芝浦町三ノ一

株式會社 下部商店

京橋區加賀町五

商工

東京

九

丸ノ内二七三八

東京電氣製品特約卸商、京都電球製品一手販賣、瑞西サウタ、會社製品關東一手販賣、ハリオ印刷製品發賣元

專務 佐々木新雲 取締役 佐野俊文 早川義治 監査役 河村允明

支店 大阪市北區堂島ビル四階 (支店長 早川義治)

高輪 七七八七 電信機、陸軍省通信省電話機製造

明治四四年 明谷利作

1,000,000 (全額)

高輪 七五〇〇 電話機、交換機、電信機、無線電信機、電

氣計器類及電線製作販賣 大正一二年

社長 青山藤郎 專務 石黒慶三郎 常務 大平五郎 取締役 松本留吉 堀江貞治郎

監査役 布山富章 西本國之助 原義一良 支那人 松原靜惠

大塚 三九二七 電球、電機、材料、硝子製造販賣工事請負

大正七年 100,000

片倉備一 片倉勝彌

專務 岩波伯太 常務營業部長 茂木邦治 常務工場長 長崎唯惠 取締役 片倉備一 片倉勝彌

監査役 片倉武雄 技術部 和田實平 山田正實 高橋三四郎 伊澤春次郎 顧問 吉岡千代吉 山口萬男

相談役 片倉兼太郎 今井五介 伊原五郎兵衛

電球工場 同所 硝子工場 深川區旗江町二七 (電話本所二〇五三)

出張所 大阪市北區老松町、神戸、金澤、仙台、佐賀

社長 倉田秋介 常務 加藤英夫 取締役 永見谷久四郎 松瀬勇雄 監査役 松田積

大正一四年 750,000

電氣器具、材料、建築用品、電設工事

100,000

取締役 中山政成 森山富藏 內藤光次 喜多河德藏 監査役 中川福太郎 中田喜八郎

置設計販賣其他 昭和四年 600,000

150,000

諸機械、電機、電線絕緣材料

大正一〇年 專務 日下部徳丸

出張所 大阪市西區京町堀北通り四丁目一四 札幌市南二條東二丁目 横須賀市稻岡町一八

吳市登町一ノ六七 福岡市下名島町七

出張所

大正一〇年 專務 日下部徳丸

取締役 中山政成 森山富藏 內藤光次 喜多河德藏 監査役 中川福太郎 中田喜八郎

置設計販賣其他 昭和四年 600,000

150,000

諸機械、電機、電線絕緣材料

大正一〇年 專務 日下部徳丸

出張所 大阪市西區京町堀北通り四丁目一四 札幌市南二條東二丁目 横須賀市稻岡町一八

吳市登町一ノ六七 福岡市下名島町七

東京ク、ケ、コ

商號及所在地 電話 營業 要 日 開業(年) 總支收入 儲蓄立金 配當率

ケ之部

栗原電機株式會社 高輪 三五九五 各種通信機製作 大正九年 總支收入 五〇〇,〇〇〇 儲蓄立金 二五〇,〇〇〇 配當率 二五〇,〇〇〇

コ之部

京濱電氣工業株式會社 府下板橋町金井窪二五二 營業所 東京市四谷區片町一(電話四谷一三七七) 大正一〇年 專務 前橋俊一 昭和四年 監查役 增田與司 島田敦 資本金 三〇〇,〇〇〇 總支收入 三〇〇,〇〇〇 儲蓄立金 一五〇,〇〇〇 配當率 一五〇,〇〇〇

小松電氣株式會社 高輪 三四一 扇風機、電熱器、小型電動機 大正四年 資本金 一〇〇,〇〇〇 總支收入 一〇〇,〇〇〇 儲蓄立金 五〇,〇〇〇 配當率 五〇,〇〇〇

株式後藤風雲堂 神田 六七一 醫療機械、理化學用器械 大正八年 資本金 五〇,〇〇〇 總支收入 五〇,〇〇〇 儲蓄立金 二五,〇〇〇 配當率 二五,〇〇〇

株式弘電社 京橋區木挽町五ノ四 資本金 六九〇,〇〇〇 總支收入 七〇,〇〇〇 儲蓄立金 三〇,〇〇〇 配當率 三〇,〇〇〇

合同事業株式會社 京橋區新榮町四ノ一 代表取締役 小野良平 取締役 安藤省義 佐藤鐵五郎 大石三千治 監查役 宮崎生 成川喜七 昭和三年 資本金 五〇,〇〇〇 總支收入 一〇,〇〇〇 儲蓄立金 五,〇〇〇 配當率 五,〇〇〇

サ之部

國華電球株式會社 大森 二二五七 電球及照明器具販賣 大正一四年 資本金 一〇〇,〇〇〇 總支收入 一〇〇,〇〇〇 儲蓄立金 五〇,〇〇〇 配當率 五〇,〇〇〇

國際無線電話株式會社 丸ノ内三六六一 ラヂオ輸入販賣 大正一四年 資本金 五〇,〇〇〇 總支收入 五〇,〇〇〇 儲蓄立金 二五,〇〇〇 配當率 二五,〇〇〇

國產電機株式會社 市外大井町水神下三三四 代表取締役 石田英藏 取締役 池本季龜 白崎政助 監查役 加藤力 昭和四年 資本金 一〇,〇〇〇 總支收入 一〇,〇〇〇 儲蓄立金 五,〇〇〇 配當率 五,〇〇〇

株式權田製作所 芝區白金三光町二七一 代表取締役 權田良平 取締役 橫山芳松 山田鏡一 內田秀四郎 太田國馨 監查役 井坂勝三 小島啓次 芝區新堀町二八 社長 長尾要平 常務 齊藤留吉 取締役 袖岡由太郎 石原清 昭和四年 資本金 一〇,〇〇〇 總支收入 一〇,〇〇〇 儲蓄立金 五,〇〇〇 配當率 五,〇〇〇

三機工業株式會社 府下板橋町金井窪二五二 營業所 東京市四谷區片町一(電話四谷一三七七) 大正一〇年 專務 前橋俊一 昭和四年 監查役 增田與司 島田敦 資本金 三〇〇,〇〇〇 總支收入 三〇〇,〇〇〇 儲蓄立金 一五〇,〇〇〇 配當率 一五〇,〇〇〇

商工

東京

東京

一四

商號及所在地

電話

營業

要目

開業(年)

總資本

總收入

儲蓄立金

株式會社 神保電器製作所

大森 二二二

配線器具製造

立川友太郎

鈴木二郎

田中忠雄

監査役 脇屋治太郎

三輪梅三郎

大正一三年

株式會社 振業社

小石川三〇四

電氣機器製作及石油發動機販賣、工事請負

笠井勝男

大正一五年

株式會社 新電社

銀座 七二四

電氣機械器具販賣、阿部式電氣時計製作所

代理店並電氣機械器具取付工事及保安

佐々木弘一

取締役 橋本豪介

監査役 玉井幹一

昭和三年

株式會社 須田電氣商會

墨田 二五四

電氣工事請負、專賣特許アイスクリーム機製造販賣

鈴木明照

取締役 花保恒七

監査役 淺倉寅雄

五味元助

大正一〇年

株式會社 諏訪工業所

茅場町 一四四〇

電信、電話機及電氣機器製作販賣貸並私設電信電話電燈其他電氣工事設計請負

石黒慶三郎

諏訪方季

西本國之輔

監査役 石井千與次

昭和三年

株式會社 菅原電氣商會

京橋區銀座七ノ四

電氣機械器具及絕緣材料電線通信機械製造

菅原浩

取締役 菅原卓

監査役 菅原弘篤

支店 大阪市此花區上福島中二ノ七四

明治四一年

株式會社 七ール商會

丸ノ内 二一六一

電氣機器其他物品販賣、仲立及代理業

取締役 シー、ワイ、セル

エフ、シー、セル

エス、セル

エツチ、エー、チャアマン

大正一五年

株式會社 精電舎

丸ノ内 四八三一

無線用、船舶用、鍍金用、電解用、充電用、電氣製作、米國ナショナルボイソン會社、スターリングサイレン會社、ピアレス電氣會社、マルチンデール會社製器具販賣

取締役 山本秀雄

安東孝

松岡清作

同業支配人 杉崎治三郎

監査役 東海林仲左衛門

明治四二年

株式會社 七ール商會

丸ノ内 二一六一

電氣機器其他物品販賣、仲立及代理業

取締役 シー、ワイ、セル

エフ、シー、セル

エス、セル

エツチ、エー、チャアマン

大正一五年

株式會社 精電舎

丸ノ内 四八三一

無線用、船舶用、鍍金用、電解用、充電用、電氣製作、米國ナショナルボイソン會社、スターリングサイレン會社、ピアレス電氣會社、マルチンデール會社製器具販賣

取締役 山本秀雄

安東孝

松岡清作

同業支配人 杉崎治三郎

監査役 東海林仲左衛門

明治四二年

夕之部

株式會社 田中電線製造株式會社

本所 一四一〇

東京線、電球線、銅線、バンド線、銅卷線

田中次郎

取締役 田中俊二郎

國枝拾次郎

監査役 北村都三郎

大正八年

株式會社 大同信號株式會社

市外大森町諏訪九八七

電氣機器並鐵道保安裝置用品販賣、電氣企業設計工事請負

代表取締役 本多貞次郎

取締役 吉岡正司

山口喜三郎

杉浦文一

渡邊修

中村幹治

舟橋喜一

株式會社 大同電氣株式會社

府下大森町字富士見 一一一〇

白熱電燈球、真空管類、照明並電機器具類

社長 本多貞次郎

專務 杉浦文一

常務 吉岡正司

齊藤通二

取締役 山口喜三郎

井上篤太郎

大正八年

株式會社 大都土木建築株式會社

丸ノ内 二六四七

土木建築請負、特許鐵筋コンクリート電柱及煙突、根柢橋梁水塔、水道管、土管、ト

取締役 今井多三郎

林慶次郎

舟中豊作

兼支配人 富永國一

監査役 岸川善太郎

大正八年

株式會社 大日本電球株式會社

市外東町一二五七

各種電球製造

社長 吉村鐵之助

專務 奥村鐵太郎

取締役 進藤太

山口喜三郎

清水與七郎

エツチ、ユー、ピアース

大橋進一

株式會社 大日本電球株式會社

市外東町一二五七

各種電球製造

監査役 大橋光吉

田村茂一

江藤基三郎

若尾鴻太郎

經理課長 渡部長三

電球課長 芳田寛一

大橋進一

商工

東京

一五

東京

商號及所在地	電話	營業要目	開業(年)	總資本	總支出入	儲蓄立金	配當率
太平電氣工業株式會社 芝區源助町二二	三一六一	電氣機械器具製造販賣、電氣材料、電氣工事、其他配線材料、電氣工事	昭和四年	500,000	500,000	500,000	100%
第一電氣株式會社 京橋區銀座一ノ四	三六六八	モートル、變壓器、電熱器、電燈電力内外、線工事請負	大正六年	100,000	100,000	100,000	100%
泰平商事株式會社 芝區愛宕町二ノ一四	八二二	電氣機械器具、一般絶緣材料及電球販賣	大正九年	100,000	100,000	100,000	100%
高砂工業株式會社 市外大崎町三八八	四三三四	電池製造	大正五年	500,000	500,000	500,000	100%
高島屋飯田株式會社 京橋區銀座四ノ三	一一三五	(電氣部)電氣機械、電氣材料、一般工業用、電氣工業用電氣部分品、電氣機器販賣	大正五年	1,000,000	1,000,000	1,000,000	100%
株式會社 高田商會 龜町區丸ノ内八重洲ビル	一一八二	木村其他諸般ノ器具機械、鋼鐵及諸金屬、及理化學用品、油脂、染料、純砲火藥類、藥材及度量衡器具賣買、問屋仲介立代理業並諸機械器具賣買	大正一四年	1,000,000	1,000,000	1,000,000	100%
異商事株式會社 龜町區丸ノ内海上ビル	二六〇〇	取締役 佐藤源太郎 取締役 福島行信 吉岡美清 監査役 小林拾次郎 技師長 山口四郎 技術部係長 齊藤不二男 出張所 大阪市西區櫻木町小林ビル(電話西四三三二)	大正一〇年	100,000	100,000	100,000	100%

手之部

チエルベルヂス繼續會社 龜町區内幸町一ノ三	九九八二 九八八三 九八六三	瑞典國產品、モーター其他電氣機械用SK Fボルト及ローラー、ベアリング、ソングレージ及タップ類其他鋼鐵機械類、電氣機關車及電車用ベアリング附アリスル、ボツクス	明治四一年	1,000,000	1,000,000	1,000,000	100%
株式會社 千代田組 龜町區丸ノ内帝國生命館八階	九九〇〇	電氣諸機械、電氣器具材料、油類、機械金物工具、セメント、製紙機械材料、鋼鐵製(外)金庫、人形細糸用バルブ冷藏機械等	明治四二年	300,000	300,000	300,000	100%
千代田電線株式會社 市外邊谷町榮一四	五四六四	一般電力線及電話線類	明治三九年	1,000,000	1,000,000	1,000,000	100%
中央電氣工業株式會社 府下世田ヶ谷太子堂三〇	七五〇〇	電氣絶緣材料及諸塗料製造及電氣諸機械器具販賣	大正八年	750,000	750,000	750,000	100%

ツ之部

塚本商事株式會社 京橋區銀座西四ノ三	四五六六 四五六一	電氣諸機械器具、モートル、電氣諸材料一般	大正八年	500,000	500,000	500,000	100%
株式會社 東京チ、ツ	一七						

商工

東 京 ツ、テ

商號及所在地 電 話 營 業 要 目 開業(年)

月島機械株式會社 京橋 110310 昇降器、發電所用壓力鐵管、鐵塔汽機汽罐 大正六年
 京橋區月島通五ノ九 社長 黒板傳作 常務 宮崎好文 取締役 大倉榮馬 大倉發身 監査役 今井善太郎
 總資本金 1,500,000
 拂込資本金 525,000
 總收入 2,900,000
 總支出 2,900,000
 諸積立金 配當率

テ之部

帝國堅紙株式會社 日本橋 14376 ハードフアパー板管、棒製造及加工品並ニ
 日本橋區本石町一ノ六 社長 東虎二郎 常務 山本庄太郎 常務 人見吉彦 取締役主任技師 田川房一 監査役 大野市太郎 山口彌太郎
 工場 市外野方町上高田三三〇(電話四谷一七四七)

帝國商事株式會社 市外北品川宿五四四
 取締役 鈴木隆晴 東義人 鈴木孝興 加藤利雄 監査役 鈴木雲洋

帝國電氣株式會社 市外北品川小關五五
 高輪 四六四八 帝國ランプ、瓦斯入ランプ、美置ランプ、耐
 五〇六五 震クランプ其他特許油入閉閉器、電流測定器 大正一三年
 (外二) 高級計器、電氣工事請負
 會長 (子) 瀧脇宏光 社長 鈴木隆晴 常務 加藤利雄 鈴木孝興 取締役 岩間是雄 宮富保雄 森牛兵衛
 同支配人 東義人 監査役 宮原幸三郎 鈴木雲洋 電球部長 米村雅次郎 研究課長並機械工場係 向笠榮三
 工場長 井澤源之助 東北支店 仙臺市東一番町九五(電話一三九一)鈴木次雄
 出張所 大阪市西區立賣場北通一ノ一〇(電話新町五五一)小原淺次
 札幌市南九條西一〇丁目(電話二七五七)宮城利純

帝國聯合電球株式會社 銀座 三三〇(2) 各種電球、電氣器具及機械製作及販賣、電氣
 芝區芝口一丁目一 店舖專用 三三〇 工事設計監督請負及投資、硝子製品販賣 大正九年 1,000,000
 專務 中村幹治 常務 木原敏胤 取締役 山口喜三郎 鈴木留吉 青山隼郎 箕録司 藤岡圭助
 取締役 ガー、ブルスマン 立川龍 エツチ、ユー、ピアース
 監査役 福永丈之助 岡田顯三 田村貫一 根岸鉄太郎

株式會社 鐵道材料社 芝 一五〇一 電氣、鐵道、軌道用品販賣及建設工事請負
 芝區琴平町二 社長 佐藤秀松 取締役主事 白井彦三 小菅泰治郎 監査役 太平忠吾 雨宮源太郎
 株式會社 電 營 社 青山 二五四八 電氣機器及自家特許品製作、電氣工事設計 明治四〇年 50,000
 市外上目黒三二五 社長 山本助一 取締役 和田兵一 末次虎次郎 松長金美 監査役 坂口政照 安樂源十
 工場 市外上目黒三二八(昭和四年會社組織變更)

株式會社 電氣絕緣材料製作所 市外澁谷町下通三ノ三
 代表取締役 岩井清水(河本信幸) 取締役 並木春信 並井寛太郎(大同恒次郎)
 監査役 角田強哉 土屋晴 昭和四年 6,000 (全額)

株式會社 電業社原動機製造所 市外代々木幡町幡ヶ谷三七
 谷至 10031 發電用各種水車並唧筒 明治四三年 1,150,000 (全額)
 常務 三好松吉 取締役 田澤昌孝 寒川恒貞 中島博 監査役 武田勝太郎 佐々木文平

株式會社 電 成 社 銀座 三六一六 芝浦製作所製品、ウエスタングキヤビネツ
 三二一八六 ト、電流制限器、電熱用陶磁器、休燈アラ
 京橋區采女町二一 社長 伊藤春太郎 取締役 勝田悌治 外二名 昭和四年 50,000 (全額)
 株式會社 電 友 社 銀座 二四 電氣機器製造販賣、電氣工事設計請負、
 八五七 屋井乾電池、森式外燈代理店 明治二四年 500,000
 京橋區銀座八ノ一 社長 加藤木重教 常務 加藤木貞次 取締役 矢田久利 小野惣次郎
 (新橋際) 監査役 石崎千代吉 湯野尻初太郎

ト之部

ドイツカーボン株式會社 丸ノ内一七八九 獨逸リングスドムフカーボン製品一手販賣 昭和三年 50,000
 龜町區有樂町三三三號館 取締役 白石仲次 松本理三郎 大本雄一 監査役 角南野彦 25,000

商 工

東 京 ツ、テ

東京

戶畑鑄物株式會社

商號及所在地 電話 營業 要目 開業(年) 總資本金 拂込資本金 總支出口 諸積立金 配當率

東亞工業株式會社

府下池袋一九三三 社長 西村辰造 取締役 前迫常吉 谷口和一郎 監査役 酒井重太郎 加藤元次郎

東亞電機株式會社

市外澁谷町新宿一七 社長 村上正輔 取締役 榎居喜九郎 工藤治人 山田敬亮 泰正次郎 監査役 池田健熊 相談役 鮎川義介

東海電極製造株式會社

九ノ内 社長 寒川恒貞 取締役 技術顧問 竹内時次 取締役 川崎會恒三 福澤駒吉 下田義雄 小早川常雄

東京イーシー工業株式會社

市外世田谷町池尻三三 專務 和田稻吉 常務 齊藤正平 取締役 桐島像一 小池厚之助 武田秀雄 岩崎正彌 廣瀬宮太郎

株式會社 東京石川島造船所

京橋 專務 淺澤正雄 常務 松村菊男 取締役 栗田金太郎 田中樞吉 小川鐵五郎 竹山純平

株式會社 東京瓦斯電氣工業株式會社

市外入新井町不入斗二〇 社長 松方五郎 取締役 今四與七郎 小田切延壽 谷三治郎 橫濱俊 星子勇 榮國嘉七 監査役 瀧鼻慶吾

株式會社 東京計器製作所

小石川區原町一〇 社長 和田嘉徳 專務兼支配人 相馬閑二 取締役兼工場長 堀越郎 取締役 江崎一郎 須田信次

株式會社 東京工機製作所

芝區愛宕下町二ノ三 社長 山内虎太郎 取締役 春木壽一 田邊俊雄 監査役 堺鐵太郎 主任技師 田部井利治

株式會社 東京工業社

京橋區木挽町一ノ六 專務 深澤又一郎 取締役 小島富次郎 岡本太郎 監査役 宮崎好文 深澤金太郎

株式會社 東京工電株式會社

芝區田村町一六 社長 廣瀬次郎 常務 郡谷照一郎 取締役 鈴木辰五郎 戶澤八五郎 森田彦隆 中野喜三郎

商工

東京

商號及所在地	電話	營業要目	開業(年)	總資本金	總支出入	儲蓄立金
東京鋼材株式會社 市外大島町六ノ五〇	本所 一三二五 支店 一三二七	平爐鋼塊、電氣爐鋼塊、各種製鋼材料、鐵工品、磨シヤ、鋼製密栓、發條、鋼線、鋼索、鋼管、鋼板、鋼卷、鋼絲、鋼釘、鋼絲網、鋼線、鋼索、鋼管、鋼板、鋼卷、鋼絲、鋼釘、鋼絲網	大正六年	1,000,000	1,850,000	240,000
東京製線株式會社 麹町區丸ノ內三ノ一〇 仲通五號館		各種電線、電纜、鐵鋼線、電話同內ケーブル、各種軍用電線、エナメル線、製造販賣	明治四五年	1,000,000	1,000,000	六七、三三
東京田中商會 京橋區銀座座西七ノ五	銀座 三四一八	電氣諸機械材料販賣	明治六年	1,000,000	350,000	
東京電氣瓦斯株式會社 市外澁谷町櫻ヶ丘五	青山 一四八九	電氣瓦斯機械、電線製造、工事設計	大正二年	500,000	(全額)	
東京電氣時計株式會社 神田區小川町六〇	神田 三七四七	電氣時計及電氣器具	大正一三年	500,000	(全額)	
東京電機製造株式會社 市外南千住五ノ八二 (南千住驛前)	淺草 三八〇	東電モートル、發電機、特許タービン水車、向笠式油壓機、發電機、發電機、特許タービン水車	大正四年	100,000	(全額)	
東京電療株式會社 麹町區丸ノ內三ノ六		代表取締役 山崎嘉平 取締役 中原廣 仲田徹 片貝新 監査役 佐々木徳夫 山崎規矩夫 内形萬次郎	昭和四年	100,000	(全額)	

東京ネオン株式會社 京橋區南傳馬町三ノ二	京橋 九九三	ネオンサイン及一般照明器具販賣	昭和四年	150,000	75,000	
東京變壓器製作所 市外北品川宿五三五	高輪 一七七二	變壓器、誘導電壓調整器其他諸機械製造	大正一二年	100,000	100,000	
東京報知機械株式會社 芝區愛宕町二ノ八	芝 二八三三	M式火災警報機知機製品及米國ノーション、消防唧筒販賣	大正七年	100,000	100,000	15,000
東京無線電機株式會社 市外蒲田町蒲田新宿 一四五	蒲田 一三二二	各種無線電信電話機、其他電氣機械器具	大正一一年	100,000	(全額)	
東西商事株式會社 京橋區銀座座一ノ四	京橋 六三四五	電氣機械器具、カーバイド	大正九年	50,000	(全額)	
東電電球株式會社 市外北品川袖ヶ崎四五	高輪 一一三二	電球及其他諸材料、電氣機器製造販賣	昭和三年	1,000,000	1,038,810	九分
東邦電氣表示機株式會社 深川區龜田町二一	本所 三〇七九	特許松本式電氣表示機兼自動特種電氣機械	昭和三年	50,000	50,000	
東邦電機工務所 麹町區丸ノ內一ノ六	丸ノ內二四六〇	變壓器、電熱器、鐵塔、水門、鐵管、捲揚機、製作販賣	大正一一年	1,000,000	(全額)	
東洋カーボン株式會社 府下蒲田町御園三八	蒲田 五三	各種電極製造	大正七年	100,000	(全額)	

東京

商號及所在地

電話 營業要目 開業(年) 二四 總資本 總收入 儲蓄立金 拂込資本 總支出 配當率

株式會社 東洋工業社

丸ノ内三〇四六

米、獨、英、和國製諸機械、空氣壓縮機、鑿岩機、捲揚機、起重機、抗打機、牽引車、運搬車、土木用諸機械、エツゲモア水管汽機、アライストロイカー、シンプレックス、微粉炭機其他火力發電所用諸機械、勢力節減用機械、高敏セメント並ボルト、ランドセメント製造用諸機械、空氣揚水裝置

大正七年 500,000 (全額) 110,000

株式會社 東洋蓄電池工業

芝區本芝二ノ一

專務 中尾直吉 常務 宮崎峰太郎 取締役 納村章吉 岩崎重次郎 監査役 片岸清太郎 相設役(工博)原田鐵治 出張所 大阪市東區今橋帝國ビル(電話本局二七一四) 小倉市大坂町十一丁目森ビル(電話小倉一五〇八) 外三ヶ所

100,000 (全額)

株式會社 東洋電氣材料株式會社

本所區向島押上町三六

專務 千代浦昌 取締役 支配人 今井正武 取締役 楢林宗太 監査役 菊地達郎

100,000 (全額)

株式會社 東洋電機製造株式會社

丸ノ内二九八五

製造用電動機、ドラム型復式制御器、自動遮断器、抵抗器、パンダグラフ、三相交流整流子電動機製造、英米製品販賣

大正七年 1,000,000 1,200,000

株式會社 東洋電業株式會社

市外大崎二五五

專務 渡邊善一 取締役 武和三郎 井坂孝 太田光熙 山脇正吉 W.M.ブリス 同支配人 上遠野亮三 監査役 近藤賢二 中村靜喜 谷口守雄 工場長 栗田金太郎 庶務課長 三由藤二 營業課長 岩倉茂吉 事務課長 大石小太郎 倉庫課長 野村太郎 工作課長兼設計課長 岡村勇 工場 横濱市中區久保町反町一九七(電話長者町五四六二) 一六二五

大正八年 1,500,000 1,800,000

株式會社 東洋フューズ株式會社

市外龜谷町山下二一

高輪 二七六一 軟硬質各種フューズ、インククロスフューズ、ソルダリングペースト

大正八年 500,000 1,200,000

株式會社 東洋パブコック株式會社

丸ノ内一八九五

專賣特許水管式蒸氣々爐、過熱器、燃炭機各種クレーン、油粉炭機、燃炭裝置、石炭及灰殼運搬裝置等、汽罐室ニ關スル凡テノ機械及裝置

明治三十九年 1,250,000 (日本)

株式會社 東洋枕木工業株式會社

本所區駒込千駄木町三三

本店及工場 横濱市磯子區磯子町一番地 (取締役社長 南條金雄) 支店 大阪市北區北濱三丁目四七 (鈴木勝次郎) 出張所 門司市西濱町二丁目 (黒川清左衛門)

昭和二年 15,000 (全額)

株式會社 東洋美術電球株式會社

府下大井町倉田三三三

大森 三一八四 電球製作及電氣機械器具販賣

大正一二年 100,000 (全額)

株式會社 東洋無線電信電話株式會社

芝區西應寺町五一

三田 自四〇〇〇 無線電信電話並附屬品製造販賣

大正一三年 500,000 250,000

株式會社 東洋濾紙株式會社

京橋區入舟町三ノ一

分折用工業用、高級濾紙其他專賣特許濾紙

大正五年 50,000 (全額)

株式會社 特許硝子株式會社

芝區新堀河岸三三

取締役 瀨川昌也 梅岡平七 野田俊作 石川頂二 中村彌八 中村藤吉 監査役 結城安次

昭和二年 500,000 150,000

ナ之部

株式會社 ナンコク商事株式會社

丸ノ内一九八七

シエラードタト・コンアットチユーブ、ナシヨナル・モデル・モルヤンダ、ウエルカー、アングラーフロワー、ダクト・アロー電氣配線器具、エコーノミミクス、シローパー電熱機、ダイヤモンド鏡前

昭和三年 500,000 100,000 六六、四六七 五七、七三三 二、〇〇〇

商工

東京トナ

二五

商號及所在地

電話

營業

要目

開業(年)

總資本金

總收入

諸積立金

内外電用品株式會社

芝 八五三

芝區西久保廣町二四
社長 橋井忠吉
監査役 兩角信
電氣、電氣機器、同上諸機器一切、變
用諸機器類製作輸入販賣
芝區三田四國町 近藤可哉 星野主馬
同技術部長

内外物産株式會社

京橋 四〇六七

京橋區船松町河岸七
社長 岡本京之
監査役 西村丁亥助
内外各種燃料鐵物、セメント、電球諸
機械、建築用各種材料類販賣
大正一三年

中島商事株式會社

芝 五四八

芝區丸の内三ノ有樂館
社長 中島謙三郎
監査役 永見義英
石炭及其他燃料金、特設電話材料一式
昭和二一年
今泉淺之丞

株式會社中西商會

芝 二二七八

芝區櫻田佛前町二
監査役 荒井七平 吉田覺樹
電氣鐵道用諸材料及諸機械
大正八年

南北商事株式會社

京橋 一七二九

京橋區桶町二二
社長 牧山清砂
監査役 荒井七平 吉田覺樹
各種電動機類、電氣器具販賣
大正七年

二之部

株式會社 新潟鐵工所

九ノ内 二一〇

九ノ内(外四)
芝區松本町一〇
社長 鈴木信太郎
監査役 渡邊三郎
電氣絕緣用各種テープ
大正一〇年

日東テープ製造株式會社

府下大崎町桐ヶ谷 四二〇

府下大崎町桐ヶ谷
專務 小野傳次郎
電氣絕緣用各種テープ
大正一〇年

日東電氣工業株式會社

市外大崎町谷山三三 二二一

市外大崎町谷山三三
社長 稻村藤太郎
監査役 田中榮藏
電氣絕緣用品
大正七年

日本アスベスト株式會社

市外北品川宿五三二 四三三

市外北品川宿五三二
社長 大野徳三郎
監査役 大野市太郎
アスベスト加工品、石棉糸及紙、保温材料
明治二九年

日本護謨株式會社

淺草 六〇八

淺草區玉姫町一三四
專務 大熊仁三郎
監査役 福田金一郎
日本ゴム合資、吉田ゴム製作所ゴム板、ゴ
ム管、エポナイト棒及板、タイヤール
明治三三年

日本工劑株式會社

芝 二五二二

芝區愛宕下町一ノ四
社長 坂井三八
專務 入江金太郎
監査役 鈴木千東
セメント急硬防水劑、テーパー製造販賣
大正一一年

日本國產株式會社

丸ノ内 三三三

丸ノ内三三三
社長 青山祿郎
監査役 弘田國太郎
電氣瓦斯及蒸氣用其他各種機械器具材料
製造販賣、内外物品ノ受託販賣及輸出入、
度量衡器計量器、諸工事設計監督並請負
大正四年

日本自動發電所建設株式會社

市外入新井町新井宿四三

市外入新井町新井宿四三
專務 三輪又一
取締役 鳥居村治 山本正 監査役 宮川正尊
各種電機器具、發電所變電所自動運轉機製造
並据付、自動裝置諸機械及特殊電氣機械製
大正一四年

商工

東京